

令和7年度（2025年度）
障害福祉サービス意向調査
報告書

令和8年（2026年）3月
中野区

は じ め に

本調査は、令和6年3月に策定した中野区障害者計画、第7期中野区障害福祉計画及び第3期中野区障害児福祉計画が改定時期を迎え、令和8年度に次期計画を策定するにあたり、障害者の健康福祉サービスの利用実態や今後の利用意向等を把握するために実施したものです。

この調査結果は計画改定の基礎資料として、また、区の障害福祉施策を改善・充実させるための検討材料として活用させていただきます。

ここに、本調査にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

令和8年（2026年）3月
中野区健康福祉部

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 報告書を読む際の留意点.....	4

II 調査結果の分析

障害者調査

1. 調査回答者の属性.....	9
1.1. アンケートの回答者.....	9
1.2. 性別	9
1.3. 年齢	10
1.4. 身体障害者手帳の等級.....	11
1.5. 愛の手帳の度数.....	11
1.6. 精神障害者保健福祉手帳の等級.....	11
1.7. 障害支援区分認定.....	12
1.8. 要支援・要介護認定.....	13
1.9. 家族構成	13
1.10. 所持手帳別アンケート回答者.....	14
1.11. 所持手帳別年齢.....	15
2. 住まいについて	16
2.1. 住居形態	16
2.2. 住宅で困っていることの有無.....	18
2.2.1. 住宅で困っていること.....	19
2.3. 将来、生活したいところ.....	21
2.4. 災害への不安の有無.....	23
2.4.1. 災害に関して不安を感じていること.....	24
2.5. 防災訓練への参加の有無.....	26
2.6. 参加したい防災訓練.....	27
2.7. 災害時個別避難計画書の共有の仕組みの認知状況.....	28
3. 日常生活の介助や支援について.....	29
3.1. 日常生活での介助の必要性の有無.....	29
3.1.1. 日常生活で介助を必要とすること.....	30

3. 1. 2. 主な介助者.....	32
3. 1. 3. 主な介助者を除く日常的な介助者.....	34
3. 2. 主な介助者が介助困難になった場合の対処.....	35
3. 3. 平日の日中の過ごし方.....	37
4. 外出状況について.....	39
4. 1. 外出の頻度	39
4. 2. 外出の主な目的.....	41
4. 3. 外出する上での妨げの有無.....	43
4. 3. 1. 外出する上で妨げになっていること.....	44
4. 4. 外出の際の主な交通手段.....	46
5. 働くことについて.....	48
5. 1. 就労による定期的な収入の有無.....	48
5. 1. 1. 現在の就労形態.....	50
5. 1. 2. 仕事を見つけた方法.....	52
5. 1. 3. 仕事や職場への不安や不満の有無.....	54
5. 1. 3. 1. 仕事や職場への不安や不満.....	57
5. 2. 希望する働き方.....	60
5. 3. 障害者が働くための環境整備.....	63
6. 健康福祉サービスについて.....	65
6. 1. 相談サービスの利用有無.....	65
6. 1. 1. 利用した相談サービス.....	66
6. 1. 2. 相談サービスの満足度.....	68
6. 1. 2. 1. 相談サービスの満足の理由.....	69
6. 1. 2. 2. 相談サービスの不満の理由.....	71
6. 2. 障害福祉サービス.....	73
6. 2. 1. 障害福祉サービスの利用状況.....	73
6. 2. 2. 障害福祉サービスの利用意向.....	75
6. 2. 3. サービス等利用計画について不満に思うこと.....	77
6. 2. 4. 障害福祉サービスを利用していない理由.....	79
6. 3. 障害福祉に関する情報入手元.....	81
6. 4. 障害者に対する理解.....	83
6. 5. ヘルプマークの認知度.....	85
6. 6. 充実して欲しい施策.....	87
6. 7. 障害者差別解消法の認知度.....	89
6. 8. 障害を理由に、差別的な対応を受けたこと.....	90
6. 9. 障害への配慮で特に嬉しいと感じたこと.....	92

7. 自由回答	95
7.1. 日常生活で困っていること.....	95
7.2. 健康福祉行政全体への意見・要望.....	98
施設入所者調査	
1. 調査回答者の属性.....	103
1.1. アンケートの回答者.....	103
1.2. 性別	103
1.3. 年齢	103
1.4. 身体障害者手帳の等級.....	104
1.5. 愛の手帳の度数.....	104
1.6. 身体障害者手帳に記載された障害名（複数回答）	104
1.7. 障害支援区分.....	105
1.8. 入所施設の種類.....	105
2. 入所について	106
2.1. 入所年数	106
2.2. 入所理由	107
2.3. 施設の場所	108
3. 今後の生活について.....	109
3.1. 生活したい場所.....	109
3.1.1. 施設退所後の生活.....	111
3.1.2. 施設退所後に住みたい場所.....	113
4. 自由回答	115
4.1. 健康福祉行政全体への意見・要望.....	115
発達支援等調査	
1. 調査回答者の属性.....	119
1.1. アンケートの回答者.....	119
1.2. 性別	119
1.3. 年齢	119
1.4. 家族構成（複数回答）	119
1.5. 兄弟姉妹の人数.....	120
1.6. 子どもの在籍.....	120
1.7. 子どもの発育や発達が気になった時期.....	120
1.8. 身体障害者手帳の等級.....	121
1.9. 愛の手帳の度数.....	121
1.10. 精神障害者保健福祉手帳の等級.....	121
1.11. 所持手帳別年齢.....	121

2. 療育相談について.....	122
2.1. 療育相談の利用状況.....	122
2.1.1. 療育相談の満足度.....	124
2.1.2. 療育相談に満足した理由.....	126
2.1.3. 療育相談に満足しなかった理由.....	127
3. 福祉サービス等について.....	128
3.1. サービス等の利用状況.....	128
3.1.1. これまで利用できなかったサービス等の有無.....	131
3.1.2. 利用できなかったサービス等.....	132
3.2. サービス等利用計画の作成状況.....	134
3.2.1. サービス等利用計画作成についての意見・要望.....	136
4. 児童福祉法のサービスについて.....	137
4.1. 児童発達支援の利用状況.....	137
4.1.1. 利用している児童発達支援事業所数.....	139
4.1.2. 児童発達支援事業所に通う日数.....	141
4.1.3. 児童発達支援の希望利用日数.....	143
4.1.4. 児童発達支援の利用日数増加希望.....	145
4.1.5. 児童発達支援に求める支援.....	147
4.1.6. 児童発達支援の利用意向.....	150
4.1.6.1. 児童発達支援を利用したくない理由.....	152
4.2. 放課後等デイサービスの利用状況.....	153
4.2.1. 利用している放課後等デイサービス事業所数.....	155
4.2.2. 放課後等デイサービス事業所に通う日数.....	157
4.2.3. 放課後等デイサービスの希望利用日数.....	159
4.2.4. 放課後等デイサービスの利用日数増加希望.....	161
4.2.5. 放課後等デイサービスに求める支援.....	163
4.2.6. 放課後等デイサービスの利用意向.....	166
4.2.6.1. 放課後等デイサービスを利用したくない理由.....	168
4.3. 区外の事業所を利用している理由.....	169
4.4. 保育所等訪問支援の利用状況.....	170
4.4.1. 保育所等訪問支援の利用頻度.....	172
4.4.2. 保育所等訪問支援を利用していない理由.....	174
4.4.3. 保育所等訪問支援の利用意向.....	176
4.4.3.1. 保育所等訪問支援の希望利用頻度.....	178
4.5. 居宅訪問型児童発達支援の利用状況.....	180
4.5.1. 居宅訪問型児童発達支援の利用頻度.....	181

4. 6. 障害児に対する地域の理解.....	182
4. 7. 充実してほしい施策・サービス.....	184
5. 自由回答	186
5. 1. 日常生活で困っていること.....	186
5. 2. 健康福祉行政全体への意見・要望.....	189

Ⅲ 調査票と単純集計

1. 障害者調査	195
2. 施設入所者調査	215
3. 発達支援等調査	219

I 調査の概要

1. 調査の目的

障害者の健康福祉サービスの利用実態や今後の利用意向を把握することを目的とする。

2. 調査の項目

① 障害者調査

- (1) 調査回答者の属性
- (2) 住まいについて
- (3) 日常生活の介助や支援について
- (4) 外出状況について
- (5) 働くことについて
- (6) 健康福祉サービスについて
- (7) 自由回答

② 施設入所者調査

- (1) 調査回答者の属性
- (2) 入所について
- (3) 今後の生活について
- (4) 自由回答

③ 発達支援等調査

- (1) 調査回答者の属性
- (2) 療育相談について
- (3) 福祉サービス等について
- (4) 児童福祉法のサービスについて
- (5) 自由回答

3. 調査の設計

調査は、以下の①～③について、郵送による配布、郵送またはインターネットによる回収の方法で行った。

① 障害者調査

- ・調査対象：基準日（令和7年8月1日）時点で、身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している区民、難病等により障害福祉サービスを利用する区民。ただし、施設入所支援の利用者を除く。
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：1,500人
- ・有効回収数：682人（回収率45.5%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和7年9月19日～10月10日

② 施設入所者調査

- ・ 調 査 対 象：身体障害者手帳、愛の手帳を所持している障害者のうち、基準日（令和7年8月1日）時点で、施設入所支援を利用している中野区の給付対象者。
- ・ 調 査 地 域：日本全域
- ・ 調査標本数：170 人
- ・ 有効回収数：135 人（回収率 79.4%）
- ・ 調 査 期 間：令和7年9月19日～10月10日

③ 発達支援等調査

- ・ 調 査 対 象：基準日（令和7年8月1日）時点で、0歳から18歳までの発達支援の対象児童、および身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している児童。
- ・ 調 査 地 域：中野区全域
- ・ 調査標本数：650 人
- ・ 有効回収数：355 人（回収率 54.6%）
- ・ 調 査 期 間：令和7年9月19日～10月10日

4. 報告書を読む際の留意点

- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。なお、単数回答形式の場合、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- アンケート選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- グラフ中の「n」とは、その質問への回答者数を表す。
- 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。
- クロス集計の表の中で、上段の数字は回答者数（単位：人）を、下段の数字は割合（単位：%）を表す。
- 所持手帳別の集計には、複数の手帳所持者も含まれている。
- 文中の割合の表記は、下記のとおりである。

表記	約4割 (4割)	4割台前半	4割半ば	4割台後半	約5割 (5割)
範囲	39.0～41.9% (40.0%)	42.0～43.9%	44.0～46.9%	47.0～48.9%	49.0～51.9% (50.0%)

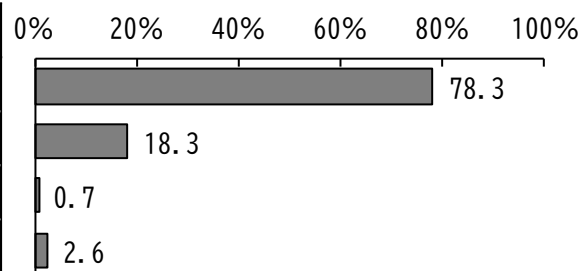
Ⅱ 調査結果の分析

障害者調査

1. 調査回答者の属性

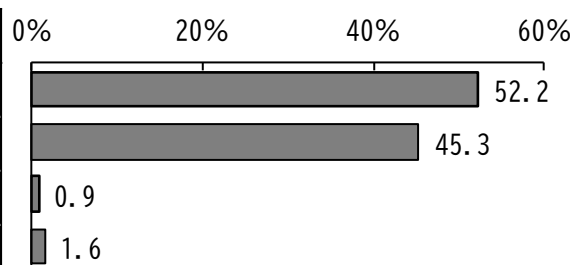
1.1. アンケートの回答者

	基数	構成比 (%)
本人（代筆を含む）	534	78.3
家族	125	18.3
その他の人	5	0.7
無回答	18	2.6
全 体	682	100.0

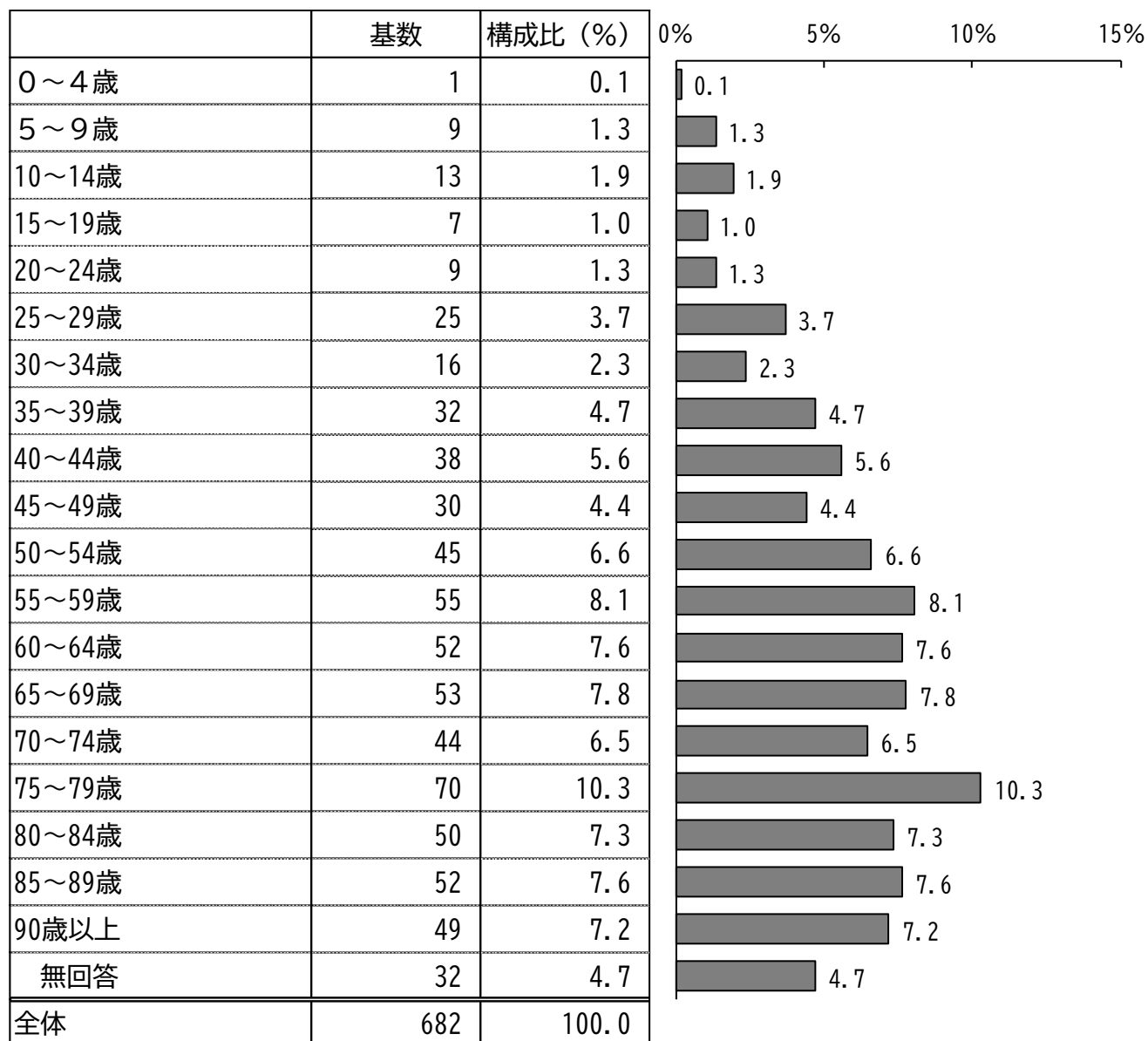


1.2. 性別

	基数	構成比 (%)
男性	356	52.2
女性	309	45.3
その他	6	0.9
無回答	11	1.6
全 体	682	100.0

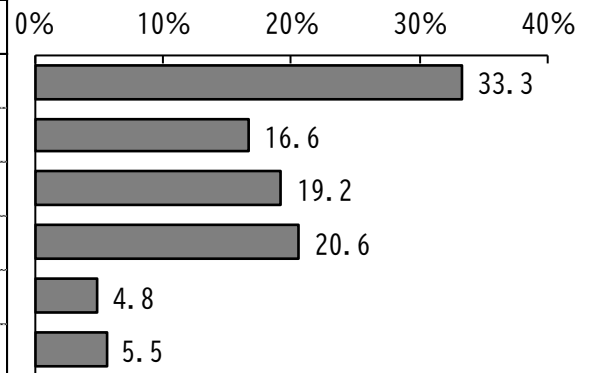


1.3. 年齢



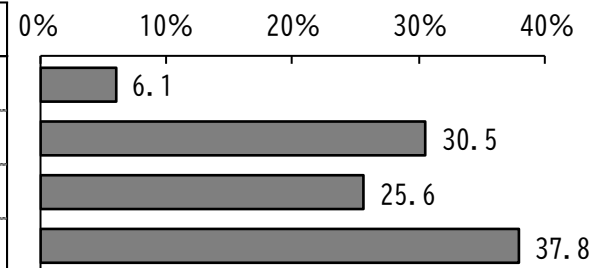
1.4. 身体障害者手帳の等級

	基数	構成比 (%)
1 級	144	33.3
2 級	72	16.6
3 級	83	19.2
4 級	89	20.6
5 級	21	4.8
6 級	24	5.5
全 体	433	100.0



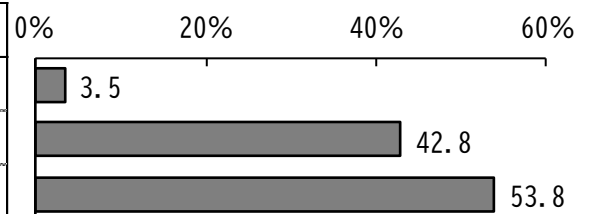
1.5. 愛の手帳の度数

	基数	構成比 (%)
1 度	5	6.1
2 度	25	30.5
3 度	21	25.6
4 度	31	37.8
全 体	82	100.0



1.6. 精神障害者保健福祉手帳の等級

	基数	構成比 (%)
1 級	6	3.5
2 級	74	42.8
3 級	93	53.8
全 体	173	100.0



1.7. 障害支援区分認定

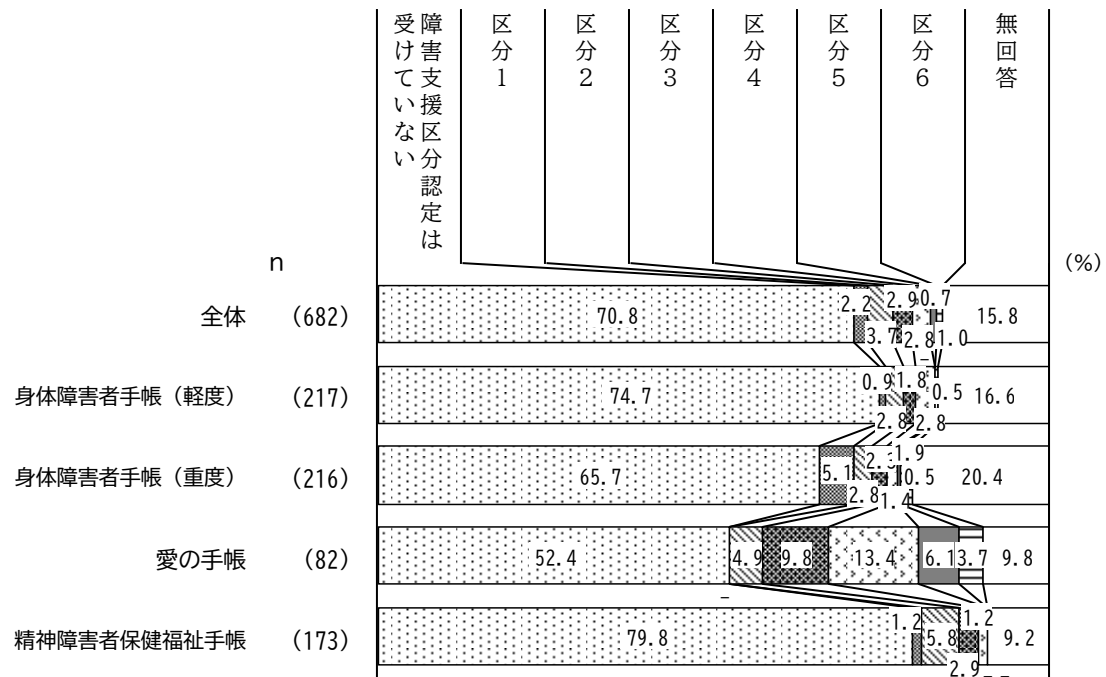
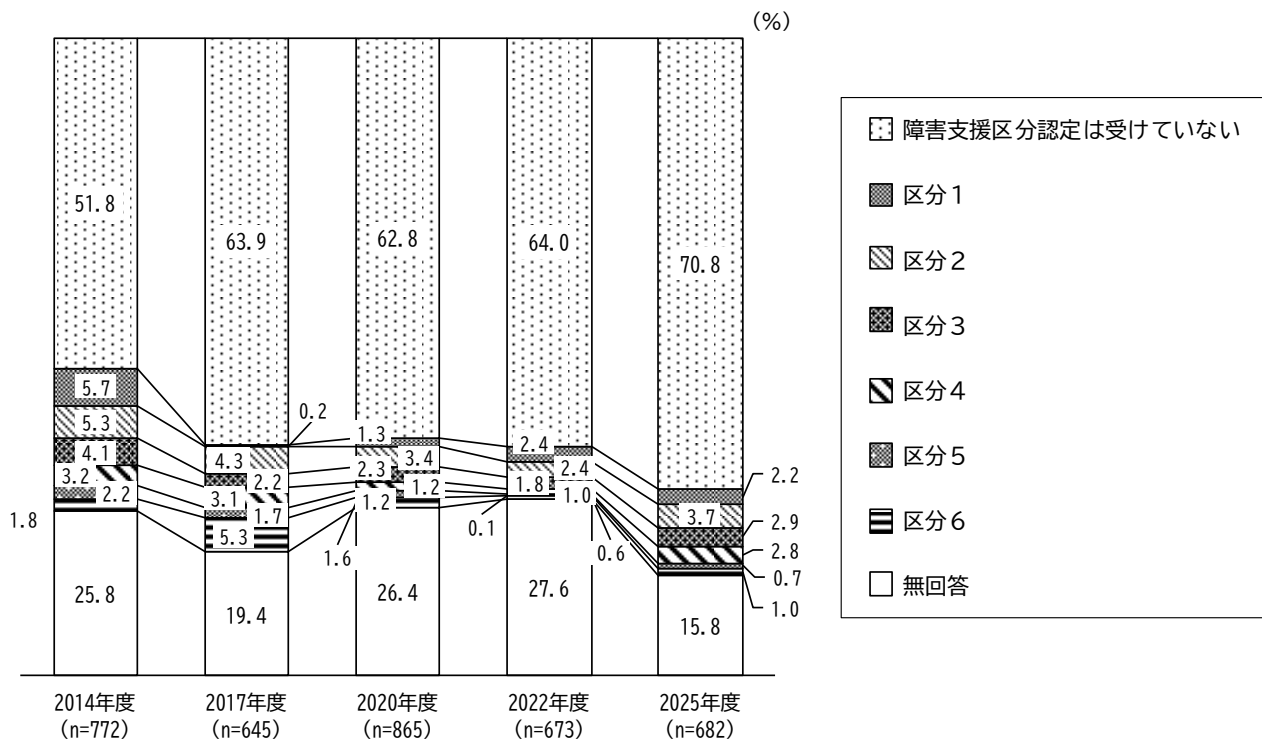
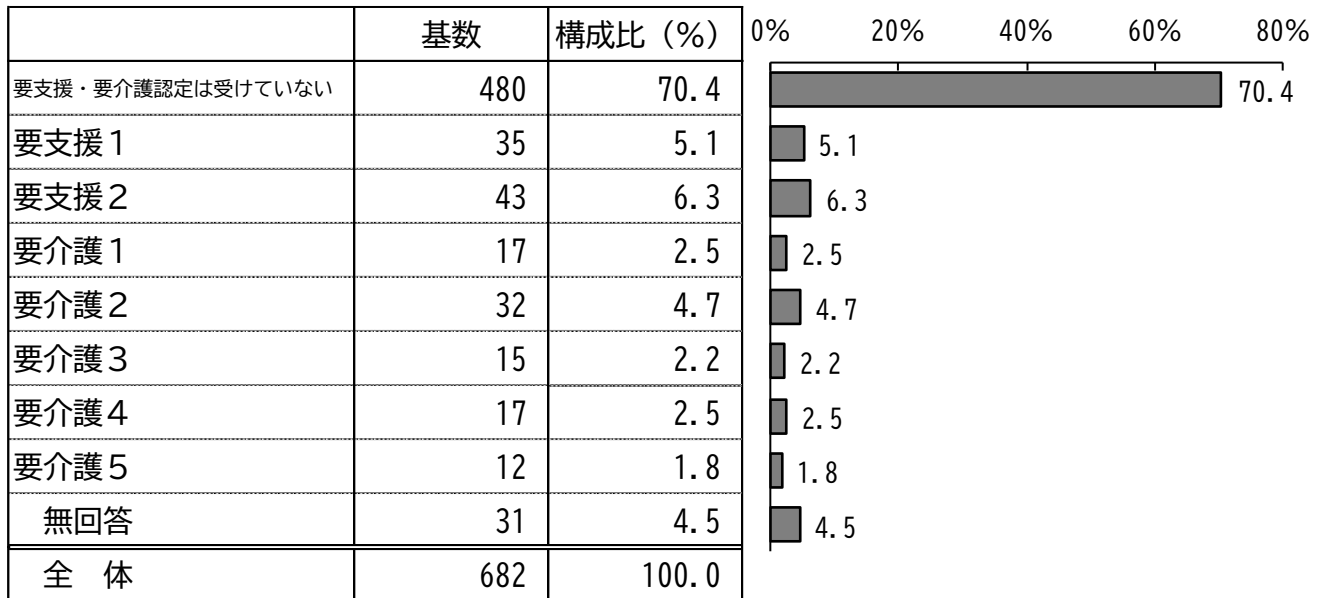


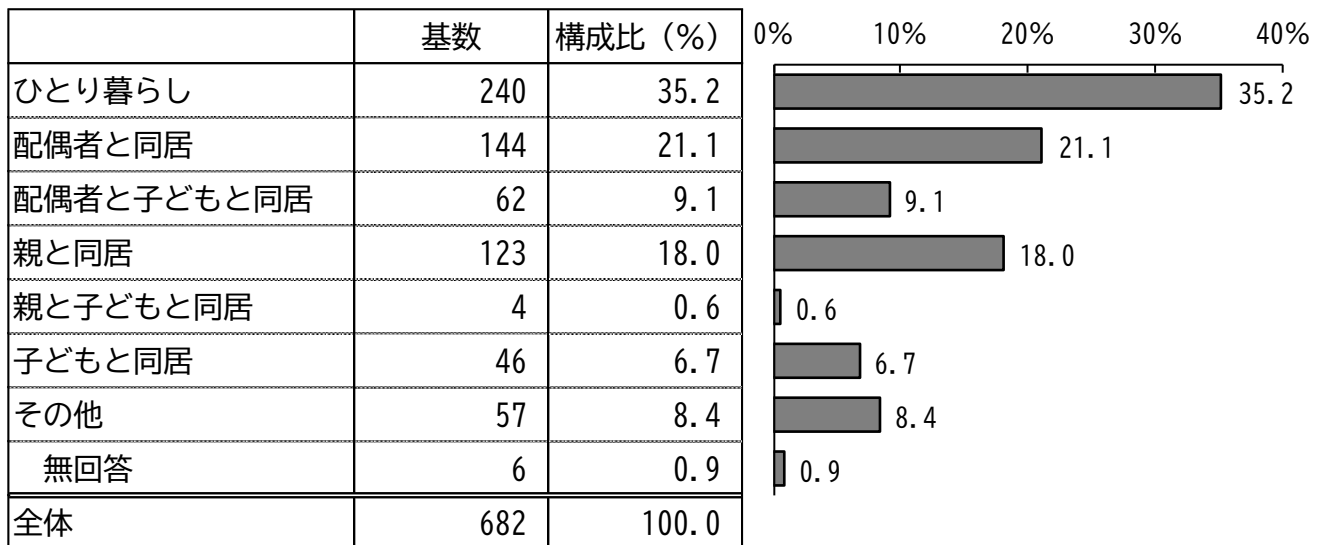
図1 【経年比較】障害支援区分認定



1.8. 要支援・要介護認定



1.9. 家族構成



1.10.所持手帳別アンケート回答者

①身体障害者手帳の等級別

	全 体	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
全体	433	144	72	83	89	21	24
本人（代筆を含む）	357	108	57	76	78	18	20
家族	66	32	14	7	9	1	3
その他の人	3	1	0	0	1	0	1

②愛の手帳の度数別

	全 体	1 度	2 度	3 度	4 度
全体	82	5	25	21	31
本人（代筆を含む）	23	2	0	8	13
家族	57	3	24	12	18
その他の人	2	0	1	1	0

③精神障害者保健福祉手帳の等級別

	全 体	1 級	2 級	3 級
全体	173	6	74	93
本人（代筆を含む）	162	3	69	90
家族	8	2	4	2
その他の人	1	0	1	0

1.11.所持手帳別年齢

上段：(人) 下段：(%)

	全体	0 5 歳	6 9 歳	10 14 歳	15 19 歳	20 24 歳	25 29 歳	30 34 歳	35 39 歳	40 44 歳	45 49 歳	50 54 歳
全体	682	1	9	13	7	9	25	16	32	38	30	45
	100.0	0.1	1.3	1.9	1.0	1.3	3.7	2.3	4.7	5.6	4.4	6.6
身体（軽度）	217	0	1	1	1	0	1	1	5	8	9	5
	100.0	-	0.5	0.5	0.5	-	0.5	0.5	2.3	3.7	4.1	2.3
身体（重度）	216	0	2	1	2	1	4	5	7	3	4	11
	100.0	-	0.9	0.5	0.9	0.5	1.9	2.3	3.2	1.4	1.9	5.1
愛の手帳	82	1	6	11	4	5	11	5	7	7	6	5
	100.0	1.2	7.3	13.4	4.9	6.1	13.4	6.1	8.5	8.5	7.3	6.1
精神障害者保健福祉手帳	173	0	0	1	1	5	11	6	15	21	11	25
	100.0	-	-	0.6	0.6	2.9	6.4	3.5	8.7	12.1	6.4	14.5

	全体	55 59 歳	60 64 歳	65 69 歳	70 74 歳	75 79 歳	80 84 歳	85 89 歳	90 歳 以上	無 回 答	(生 産 5 5 歳 未 満 人口)
全体	682	55	52	53	44	70	50	52	49	32	309
	100.0	8.1	7.6	7.8	6.5	10.3	7.3	7.6	7.2	4.7	45.3
身体（軽度）	217	12	16	17	19	30	21	27	38	5	58
	100.0	5.5	7.4	7.8	8.8	13.8	9.7	12.4	17.5	2.3	26.7
身体（重度）	216	17	21	23	19	30	23	23	9	11	75
	100.0	7.9	9.7	10.6	8.8	13.9	10.6	10.6	4.2	5.1	34.7
愛の手帳	82	1	2	1	5	2	0	1	0	2	53
	100.0	1.2	2.4	1.2	6.1	2.4	-	1.2	-	2.4	64.6
精神障害者保健福祉手帳	173	25	15	13	5	8	1	0	1	9	135
	100.0	14.5	8.7	7.5	2.9	4.6	0.6	-	0.6	5.2	78.0

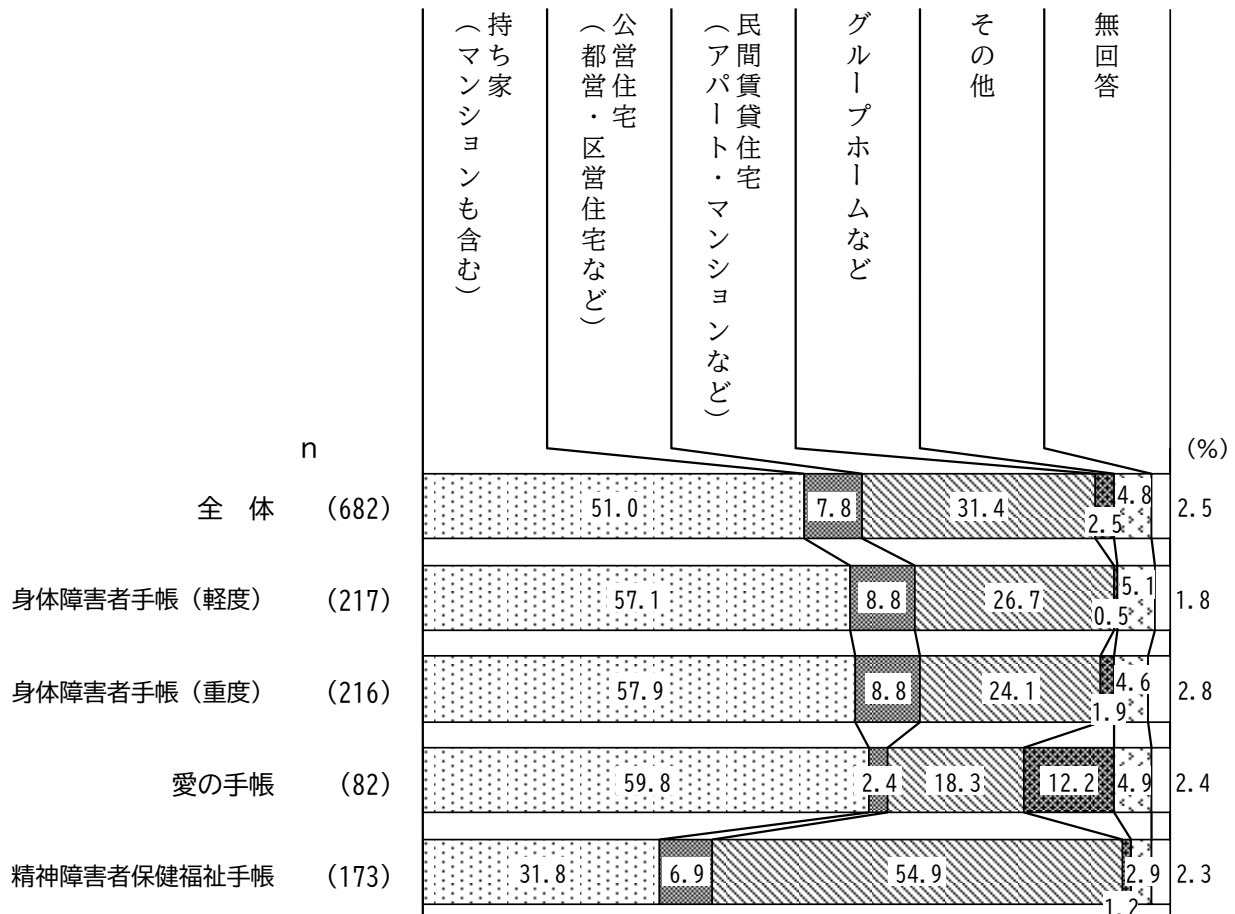
2. 住まいについて

2.1. 住居形態

◆住居形態は「持ち家」が約5割

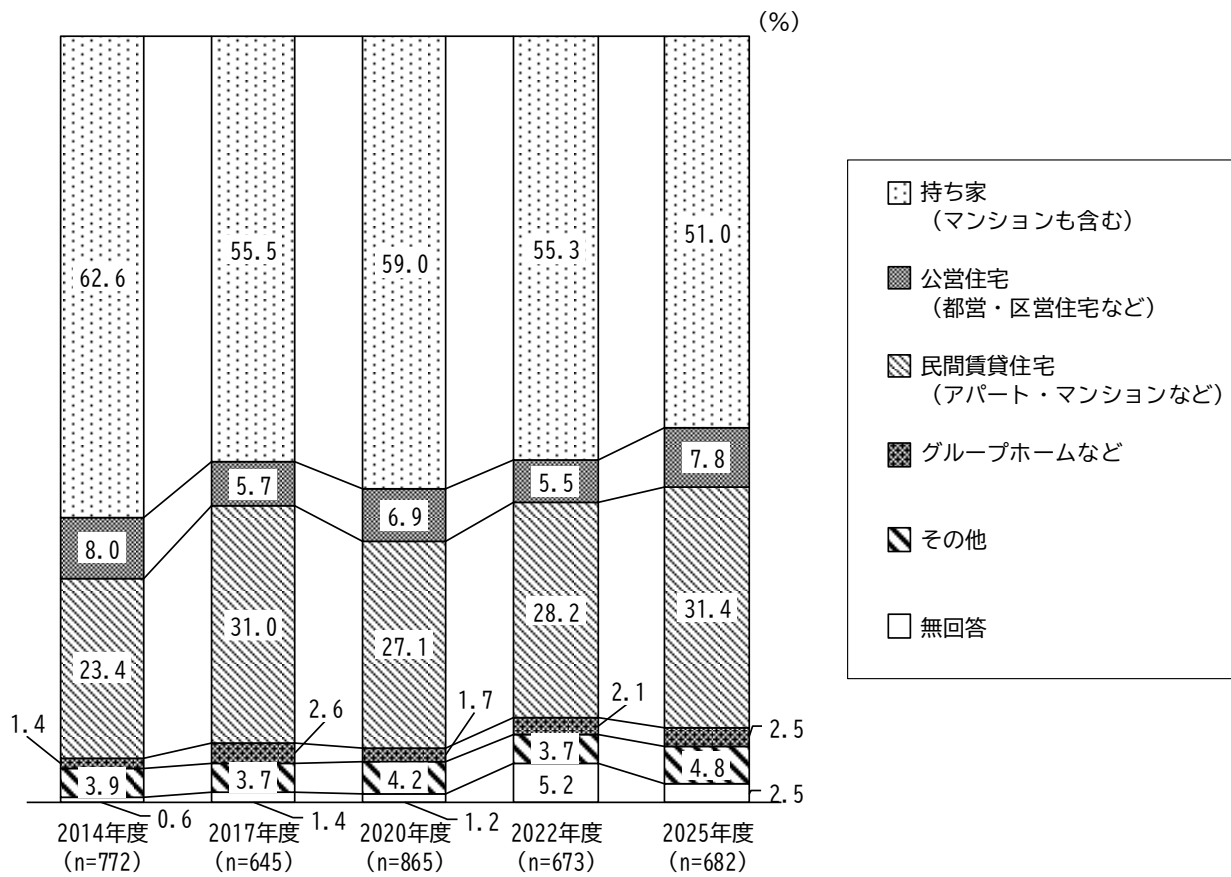
問7. あなた（あて名の方ご本人）のお住まいは次のどれにあたりますか。（○は1つ）

図2-1 【所持手帳別】住居形態



住居形態は、全体では「持ち家（マンションも含む）」が約5割となっている。所持手帳別でみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「民間賃貸住宅（アパート・マンションなど）」が5割半ばで高くなっている。また、「グループホームなど」を住居としている人は愛の手帳所持者が12.2%と、他の手帳所持者と比べ高くなっている。

図 2-2 【経年比較】住居形態



住居形態を経年比較でみると、2020 年度から「持ち家」が減少傾向にある。

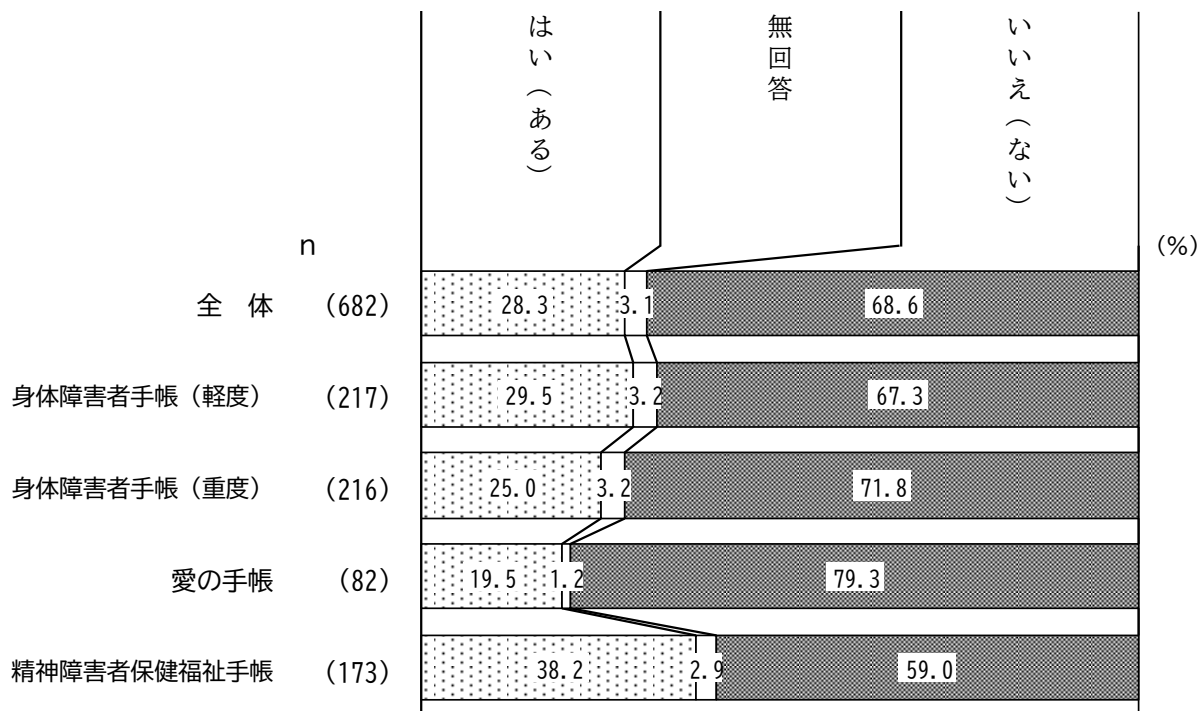
2.2. 住宅で困っていることの有無

◆住宅で困っていることが「ある」方は全体の2割台後半

(全員の方に)

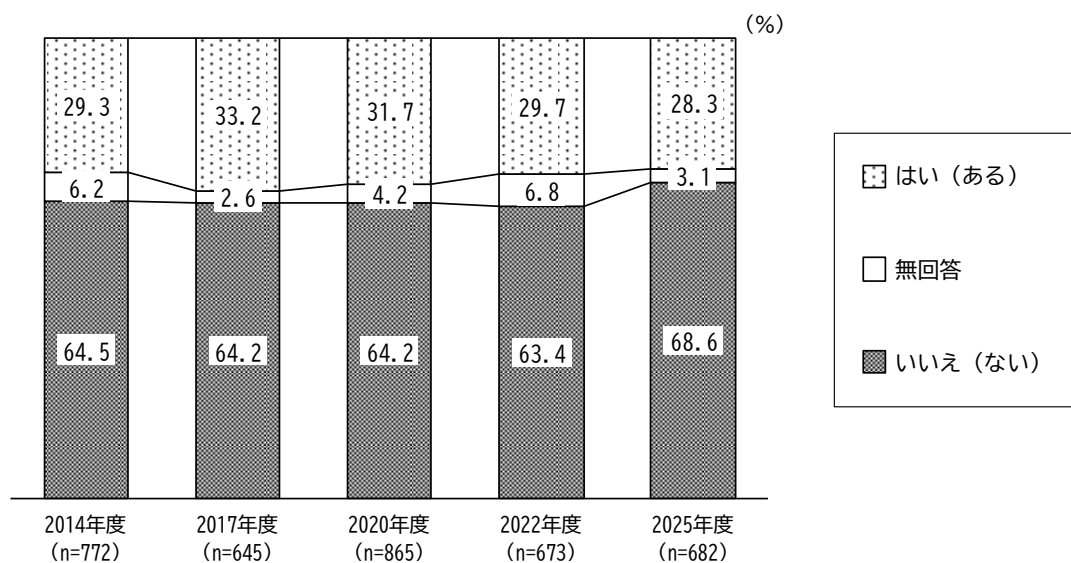
問 8. あなた（あて名の方ご本人）の住宅で困っていることはありますか。（○は1つ）

図 2-3 【所持手帳別】住宅で困っていることの有無



住宅について困っていることの有無で、「はい（ある）」が、全体で2割台後半となっている。

図 2-4 【経年比較】住宅で困っていることの有無



住宅で困っていることの有無を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ、「いいえ（ない）」が約5ポイント増加している。

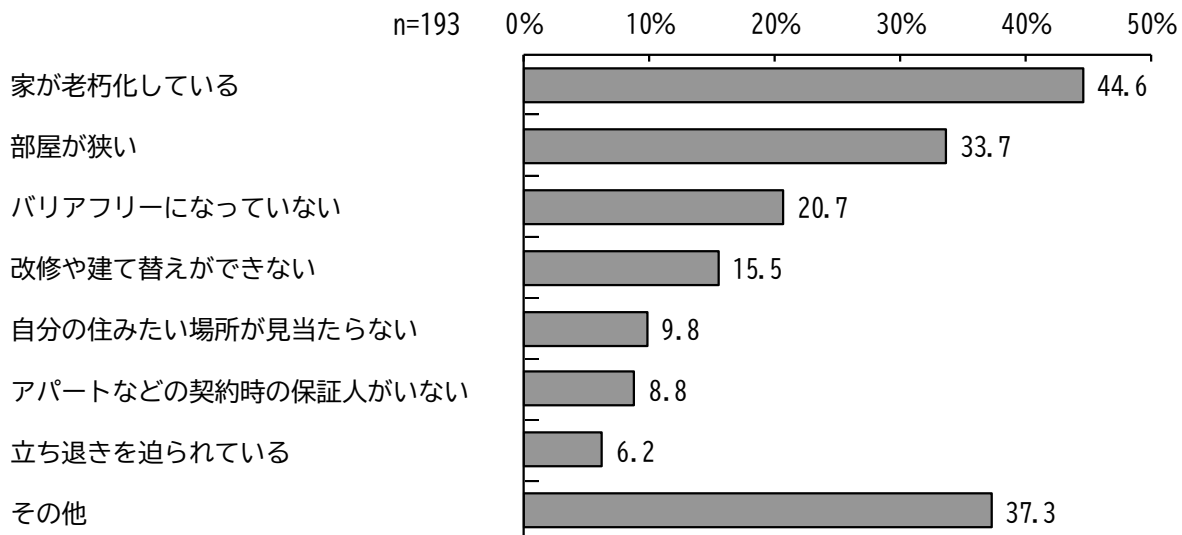
2.2.1. 住宅で困っていること

◆住宅で困っていることは「家が老朽化している」が4割半ば

(問8で「1. はい」とお答えの方に)

問8-1. 住宅で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

図2-5 住宅で困っていること



住宅で困っていることがあると回答した方に、困っている内容をきいたところ、「家が老朽化している」が最も高くなっており、次いで「部屋が狭い」「バリアフリーになっていない」となっている。

図2-6 【所持手帳別】上位5項目 住宅で困っていること

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳（軽度） n=64	家が老朽化している 45.3	部屋が狭い 25.0	バリアフリーになっていない 23.4	改修や建て替えができない 18.8	自分の住みたい場所が見当たらない 6.3
身体障害者手帳（重度） n=54	家が老朽化している 40.7	部屋が狭い／バリアフリーになっていない 31.5	改修や建て替えができない 14.8	自分の住みたい場所が見当たらない 13.0	
愛の手帳 n=16	家が老朽化している 50.0	部屋が狭い 37.5	バリアフリーになっていない 18.8	改修や建て替えができない 12.5	立ち退きを迫られている／自分の住みたい場所が見当たらない 6.3
精神障害者保健福祉手帳 n=66	家が老朽化している 43.9	部屋が狭い 40.9	アパートなどの契約時の保証人がいない 16.7	バリアフリーになっていない／自分の住みたい場所が見当たらない 12.1	

すべての手帳所持者で「家が老朽化している」が第1位となっている。

図 2-7 【経年比較】上位 5 項目 住宅で困っていること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=193	家が老朽化している 44.6	部屋が狭い 33.7	バリアフリーになっていない 20.7	改修や建て替えができない 15.5	自分の住みたい場所が見当たらない 9.8
2022年度 n=200	家が老朽化している 42.0	部屋が狭い 35.5	バリアフリーになっていない 25.0	アパートなどの契約時の保証人がいない 14.5	改修や建て替えができない 14.0
2020年度 n=274	バリアフリーになっていない 41.6	部屋が狭い 39.4	家が老朽化している 31.0	改修や建て替えができない 22.3	アパートなどの契約時の保証人がいない 5.8
2017年度 n=214	部屋が狭い 41.1	家が老朽化している 34.6	バリアフリーになっていない 29.9	改修や建て替えができない 13.1	アパートなどの契約時の保証人がいない 11.7
2014年度 n=226	家が老朽化している 40.3	部屋が狭い 31.9	バリアフリーになっていない 31.0	改修や建て替えができない 15.5	アパートなどの契約時の保証人がいない 11.5

住宅で困っていることを経年比較でみると、「家が老朽化している」「部屋が狭い」「バリアフリーになっていない」はいずれの年度でも上位 3 位以内に入っている。

2.3. 将来、生活したいところ

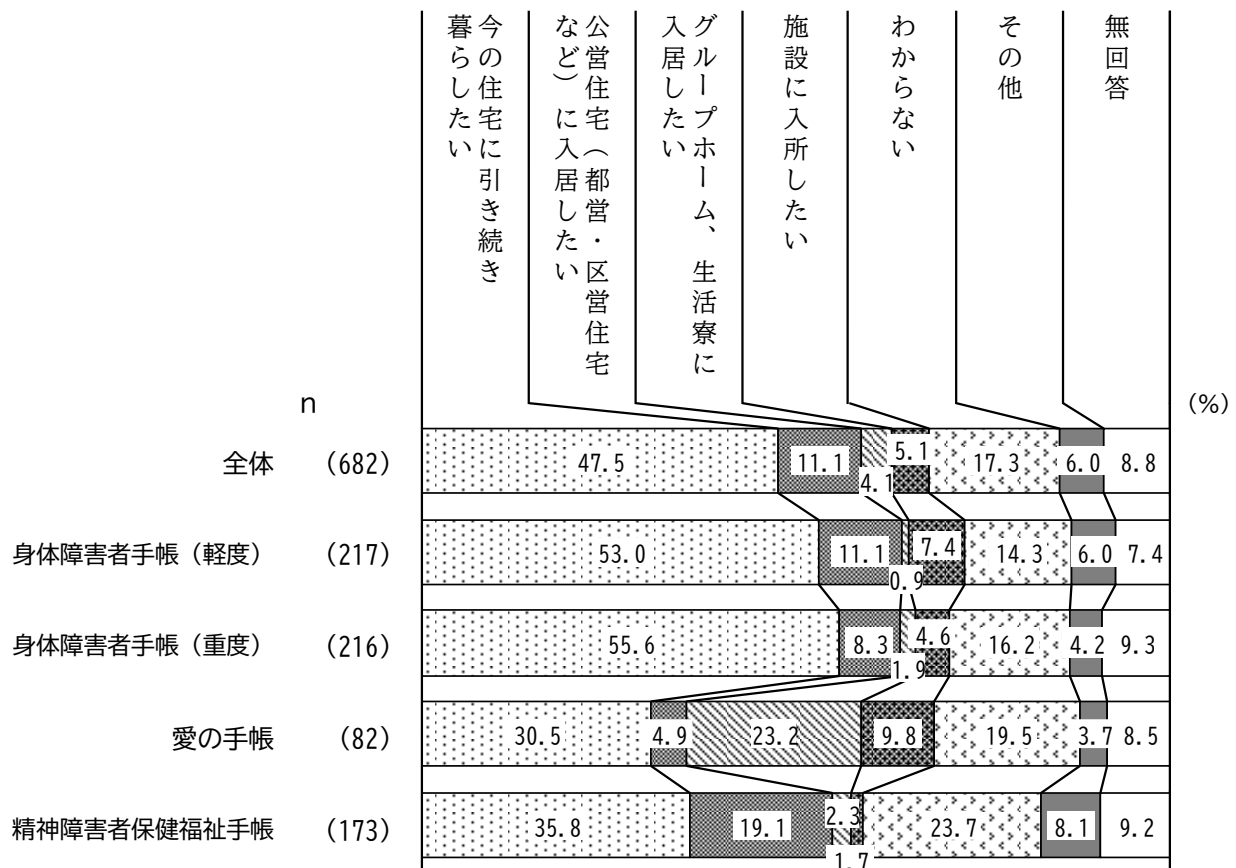
◆将来も「今の住宅に引き続き暮らしたい」はいずれの手帳所持者においても最も高い

(全員の方に)

問9. あなた(あて名の方ご本人)は、将来はどのようなところで生活したいと思いますか。

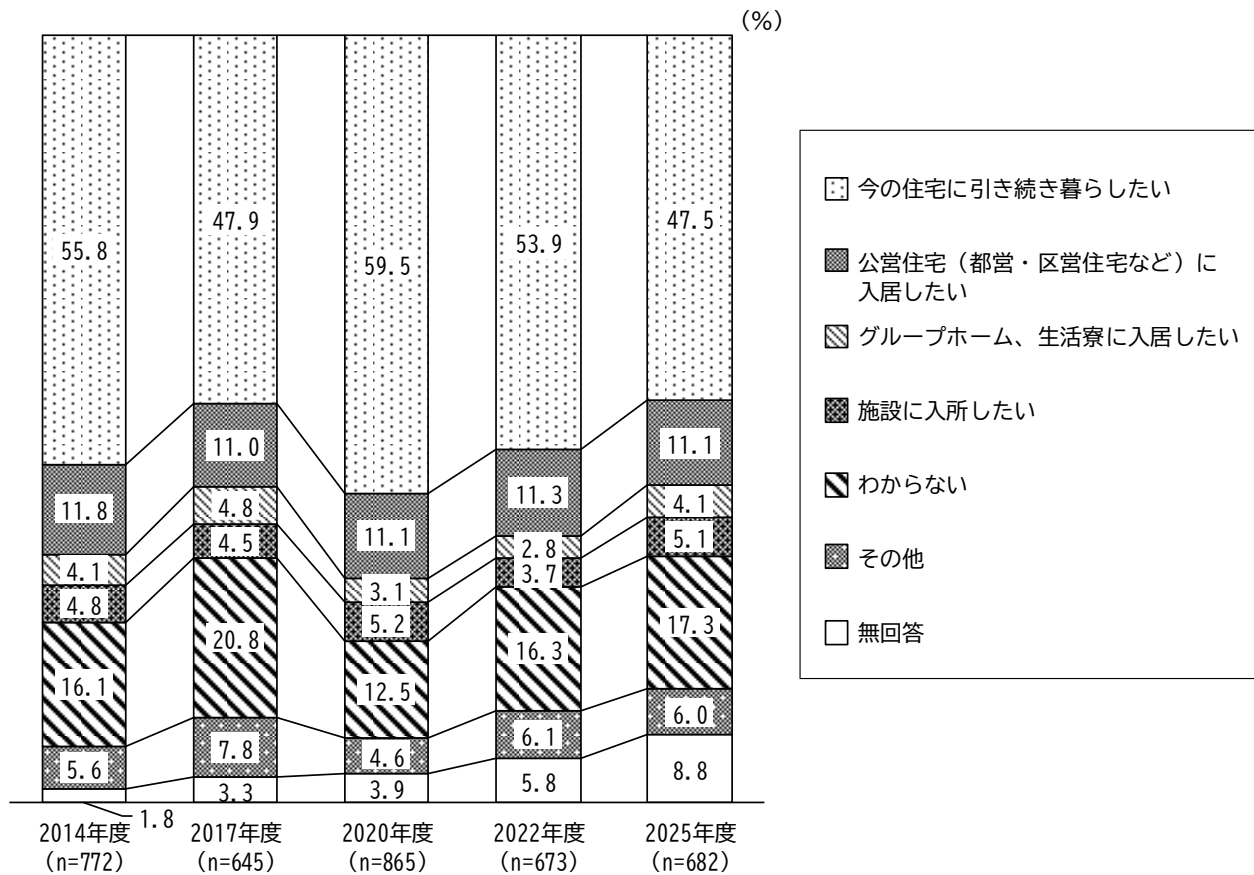
(○は1つ)

図2-8 【所持手帳別】将来、生活したいところ



将来、生活したいところは、いずれの手帳所持者においても「今の住宅に引き続き暮らしたい」が最も高くなっているが、愛の手帳所持者では「グループホーム、生活寮に入居したい」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「公営住宅(都営・区営住宅など)に入居したい」も、他の手帳所持者に比べ高くなっている。

図 2-9 【経年比較】将来、生活したいところ



将来、生活したいところを経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「今の住宅に引き続き暮らしたい」が6.4ポイント減少しており、2020年度から減少傾向にある。

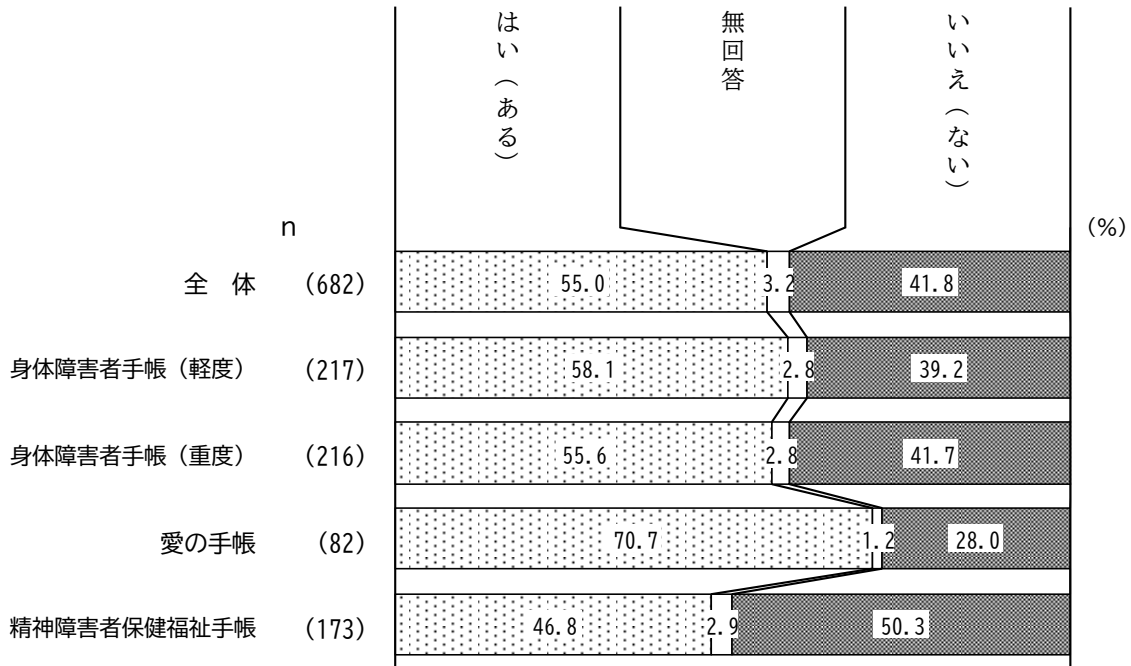
2.4. 災害への不安の有無

◆災害への不安が「ある」方は愛の手帳所持者で約7割

(全員の方に)

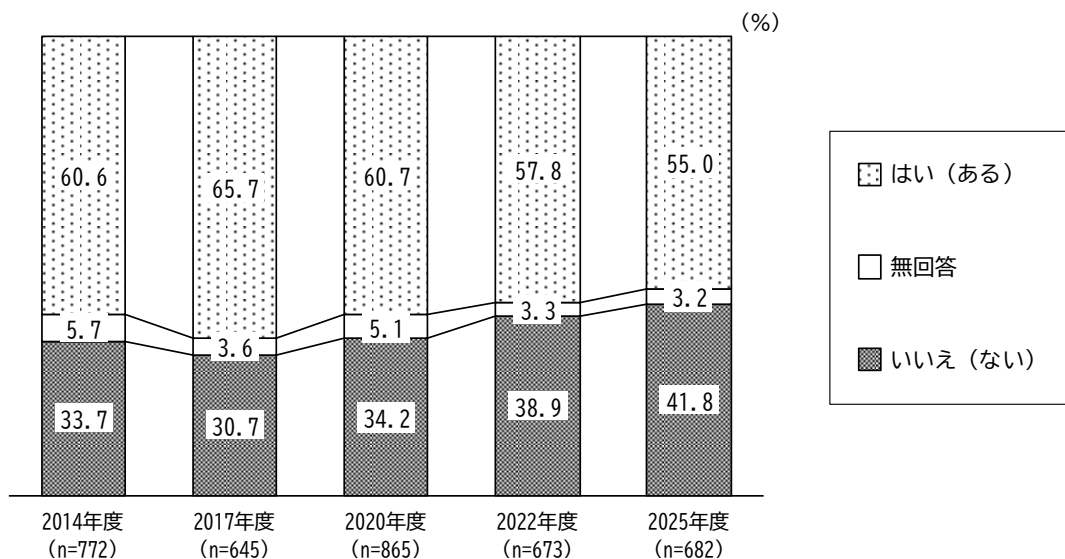
問 10. 火事や地震などの災害に関して、障害があるためにあなた(あて名の方ご本人)が不安を感じていることはありますか。(○は1つ)

図 2-10 【所持手帳別】災害への不安の有無



火事や地震などの災害への不安の有無は、「はい (ある)」が愛の手帳所持者で約7割と他に比べ高くなっている。

図 2-11 【経年比較】災害への不安の有無



災害への不安の有無を経年比較でみると、「はい (ある)」は減少傾向にあるが、依然5割半ばと高くなっている。

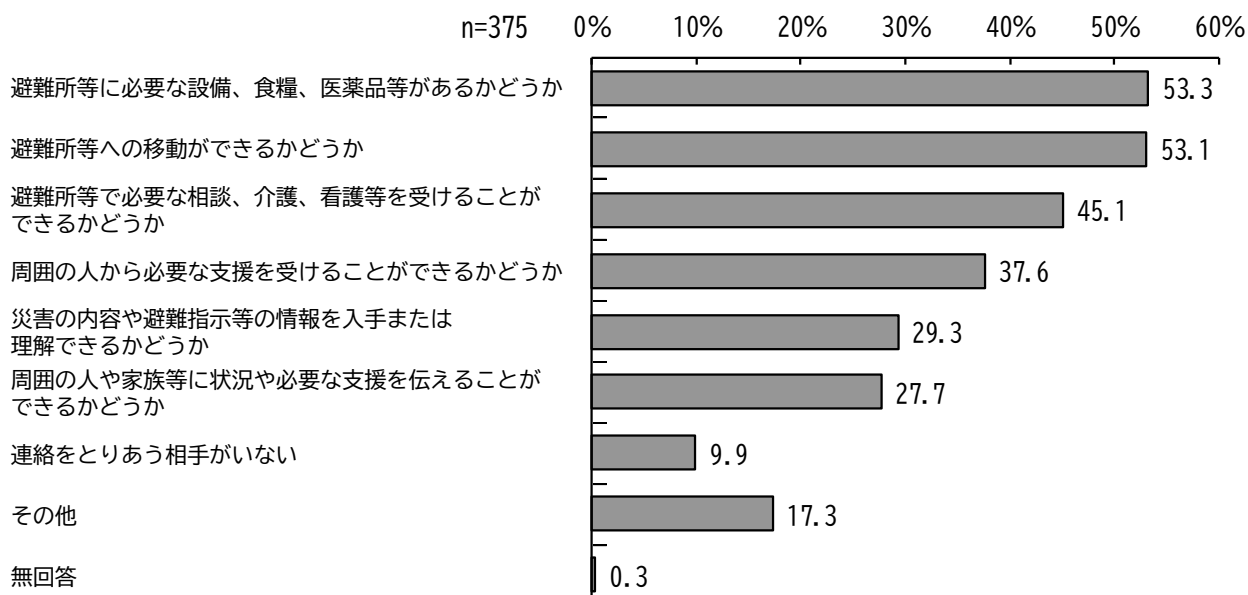
2.4.1. 災害に関して不安を感じていること

◆災害時の不安は「避難所等に必要な設備、食糧、医薬品等があるかどうか」と「避難所等への移動ができるかどうか」が5割前半

(問10で「1. はい」とお答えの方に)

問10-1. 不安を感じていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

図 2-12 災害に関して不安を感じていること



災害への不安があると回答した方に、不安を感じている内容をきいたところ、「避難所等に必要な設備、食糧、医薬品等があるかどうか」が最も高くなっており、次いで「避難所等への移動ができるかどうか」「避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか」となっている。

図 2-13 【所持手帳別】上位 5 項目 災害に関して不安を感じていること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=126	避難所等への移動 ができるかどうか 57.9	避難所等に必要な 設備、食糧、医薬 品等があるかどう か 53.2	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 41.3	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 28.6	災害の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 26.2
身体障害者手帳（重度） n=120	避難所等への移動 ができるかどうか 63.3	避難所等に必要な 設備、食糧、医薬 品等があるかどう か 55.8	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 50.8	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 33.3	災害の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 25.0
愛の手帳 n=58	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 62.1	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 56.9	避難所等への移動 ができるかどうか 50.0	災害の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 48.3	周囲の人や家族等 に状況や必要な支 援を伝えることが できるかどうか 43.1
精神障害者保健福祉手帳 n=81	避難所等に必要な 設備、食糧、医薬 品等があるかどう か 61.7	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 48.1	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 40.7	避難所等への移動 ができるかどうか 38.3	周囲の人や家族等 に状況や必要な支 援を伝えることが できるかどうか 30.9

災害に関して不安を感じていることを所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者では「避難所等への移動ができるかどうか」、愛の手帳所持者では「避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「避難所等に必要な設備、食糧、医薬品等があるかどうか」の割合が最も高くなっている。

図 2-14 【経年比較】上位 5 項目 災害に関して不安を感じていること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=375	避難所等に必要な 設備、食糧、医薬 品等があるかどう か 53.3	避難所等への移動 ができるかどうか 53.1	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 45.1	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 37.6	災害の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 29.3
2022年度 n=389	避難所等への移動 ができるかどうか 54.5	避難所等に必要な 設備、食糧、医薬 品等があるかどう か 50.4	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 40.4	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 35.7	周囲の人や家族等 に状況や必要な支 援を伝えることが できるかどうか 30.3
2020年度 n=525	避難所等への移動 ができるかどうか 56.8	避難所等に必要な 設備、食糧、医薬 品等があるかどう か 50.3	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 46.9	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 34.9	災害の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 33.7
2017年度 n=424	避難所等への移動 ができるかどうか 56.6	避難所等に必要な 設備、食料、医薬 品等があるかどう か 55.4	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 46.9	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 45.3	震災の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 35.8
2014年度 n=468	避難所等への移動 ができるかどうか 62.4	避難所等に必要な 設備、食料、医薬 品等があるかどう か 51.7	避難所等で必要な 相談、介護、看護 等を受けることが できるかどうか 44.2	周囲の人から必要 な支援を受けるこ とができるかどう か 43.6	震災の内容や避難 指示等の情報を入 手または理解でき るかどうか 39.3

災害に関して不安を感じていることを経年比較でみると、2014 年度以降は上位の項目に大きな変化はみられない。

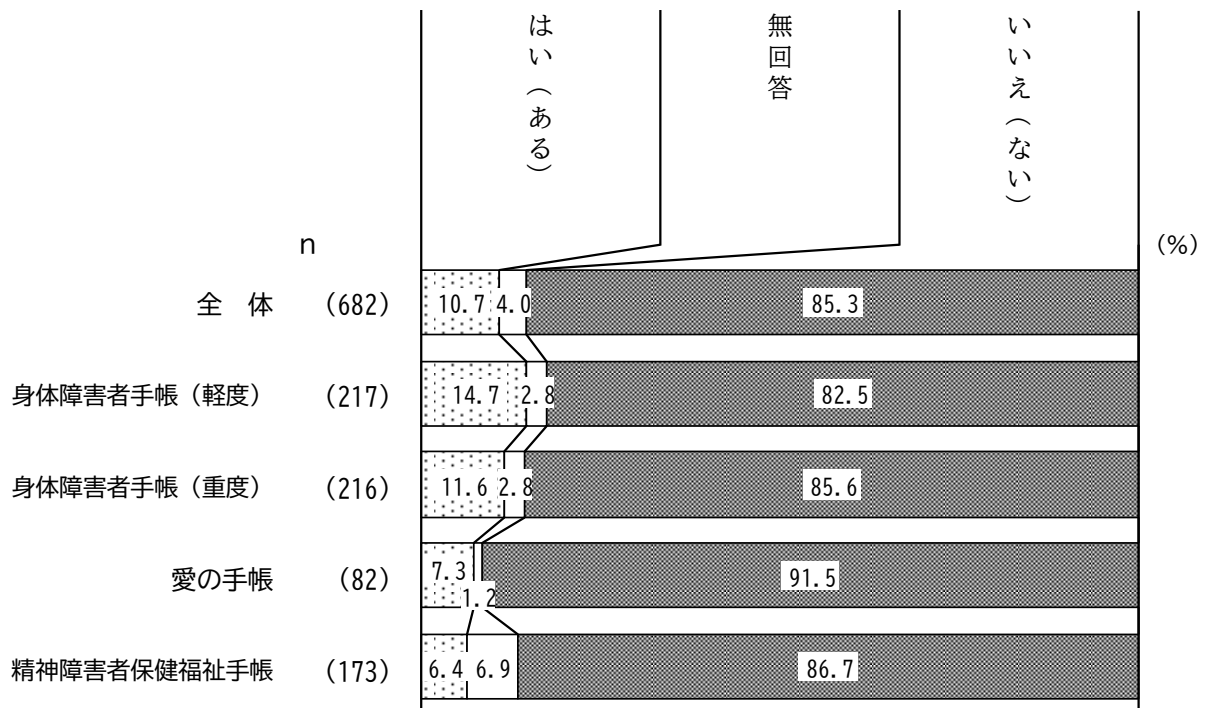
2.5. 防災訓練への参加の有無

◆防災訓練に参加したことが「ある」方は身体障害者手帳所持者で1割台

(全員の方に)

問11. あなた(あて名の方ご本人)は、町会や自治会などの防災訓練に参加したことはありますか。
(○は1つ)

図 2-15 【所持手帳別】防災訓練への参加の有無



町会や自治会などの防災訓練への参加の有無は、「はい (ある)」が身体障害者手帳所持者の軽度・重度ともに1割を超えている。「いいえ (ない)」は、愛の手帳所持者で約9割と他の手帳所持者に比べ高くなっている。

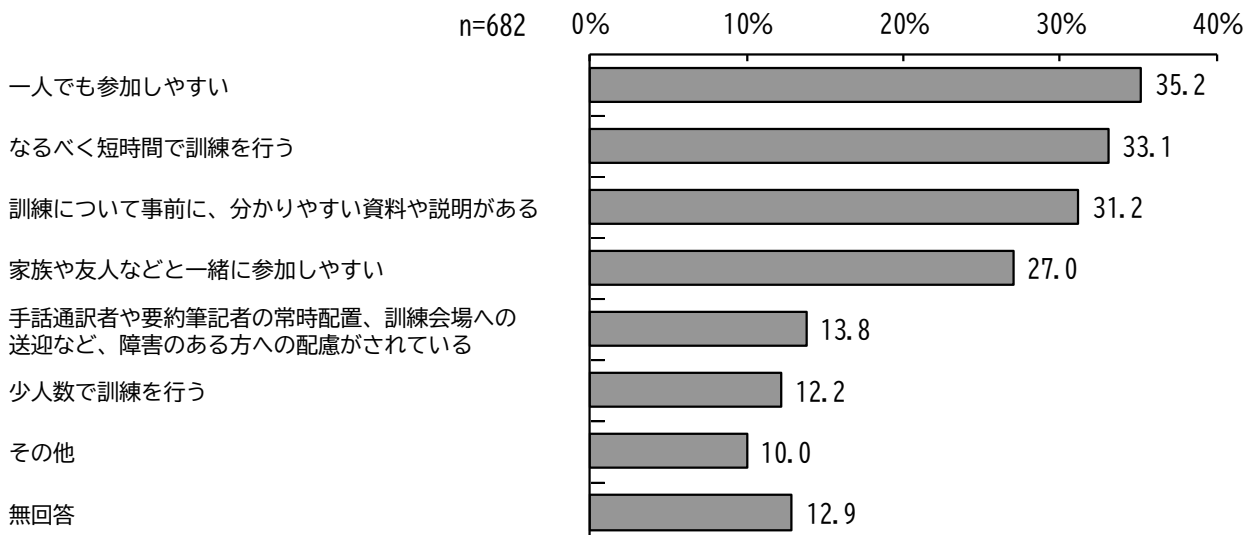
2.6. 参加したい防災訓練

◆参加したい防災訓練は「一人でも参加しやすい」が3割半ば

(全員の方に)

問 12. あなた(あて名の方ご本人)が防災訓練に参加する場合、どのような訓練だったら参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

図 2-16 参加したい防災訓練



防災訓練に参加する場合に、参加したいと思う防災訓練は、「一人でも参加しやすい」が最も高くなっており、次いで「なるべく短時間で訓練を行う」「訓練について事前に、分かりやすい資料や説明がある」となっている。

図 2-17 【所持手帳別】上位 5 項目 参加したい防災訓練

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=217	一人でも参加しやすい 37.8	訓練について事前に、分かりやすい資料や説明がある 34.6	なるべく短時間で訓練を行う 29.5	家族や友人などと一緒に参加しやすい 24.9	手話通訳者や要約筆記者の常時配置、訓練会場への送迎など、障害のある方への配慮がされている 13.4
身体障害者手帳(重度) n=216	一人でも参加しやすい／なるべく短時間で訓練を行う 29.6	訓練について事前に、分かりやすい資料や説明がある 28.7	家族や友人などと一緒に参加しやすい 24.1	手話通訳者や要約筆記者の常時配置、訓練会場への送迎など、障害のある方への配慮がされている 18.5	
愛の手帳 n=82	家族や友人などと一緒に参加しやすい 50.0	なるべく短時間で訓練を行う 34.1	訓練について事前に、分かりやすい資料や説明がある 31.7	手話通訳者や要約筆記者の常時配置、訓練会場への送迎など、障害のある方への配慮がされている 20.7	一人でも参加しやすい 18.3
精神障害者保健福祉手帳 n=173	一人でも参加しやすい 43.9	なるべく短時間で訓練を行う 41.6	訓練について事前に、分かりやすい資料や説明がある 32.4	家族や友人などと一緒に参加しやすい 23.7	少人数で訓練を行う 16.8

参加したいと思う防災訓練を所持手帳別でみると、愛の手帳所持者では「家族や友人などと一緒に参加しやすい」が第1位となっている。

2.7. 災害時個別避難計画書の共有の仕組みの認知状況

◆災害時個別避難計画書の共有の仕組みを「知っていた」方は約4割

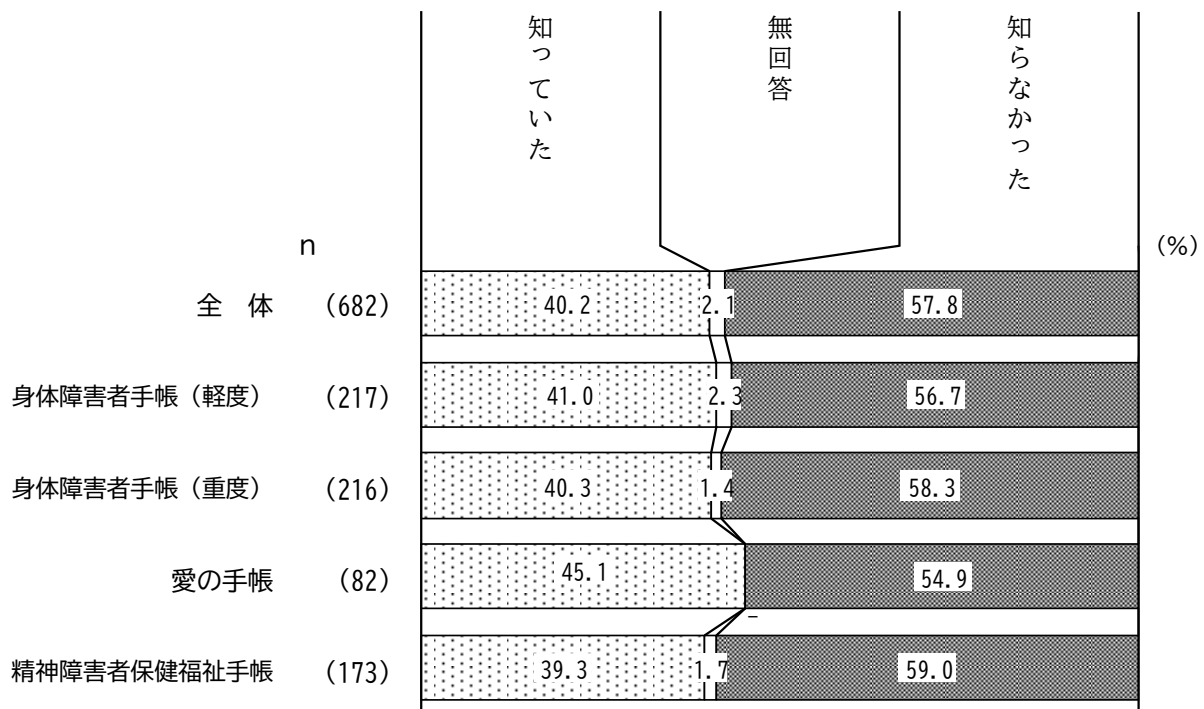
(全員の方に)

問 13. 中野区では、災害時に一人では避難が難しい方の情報を掲載した「災害時避難行動要支援者名簿」をもとに、「災害時個別避難計画書※」を作成し、町会や自治会、民生児童委員などに共有しています。

あなた（あて名の方ご本人）は、この仕組みについて知っていましたか。（○は1つ）

※「災害時個別避難計画書」には、氏名、住所、年齢、性別、避難に必要なもの、支援者の有無が記載されています。

図 2-18 【所持手帳別】災害時個別避難計画書の共有の仕組みの認知状況



「災害時個別避難計画書」を作成し、町会や自治会、民生児童委員などに共有していることを、「知っていた」はいずれの手帳所持者でも4割前後となっており、愛の手帳所持者で4割半ばと他の手帳所持者に比べ高くなっている。

3. 日常生活の介助や支援について

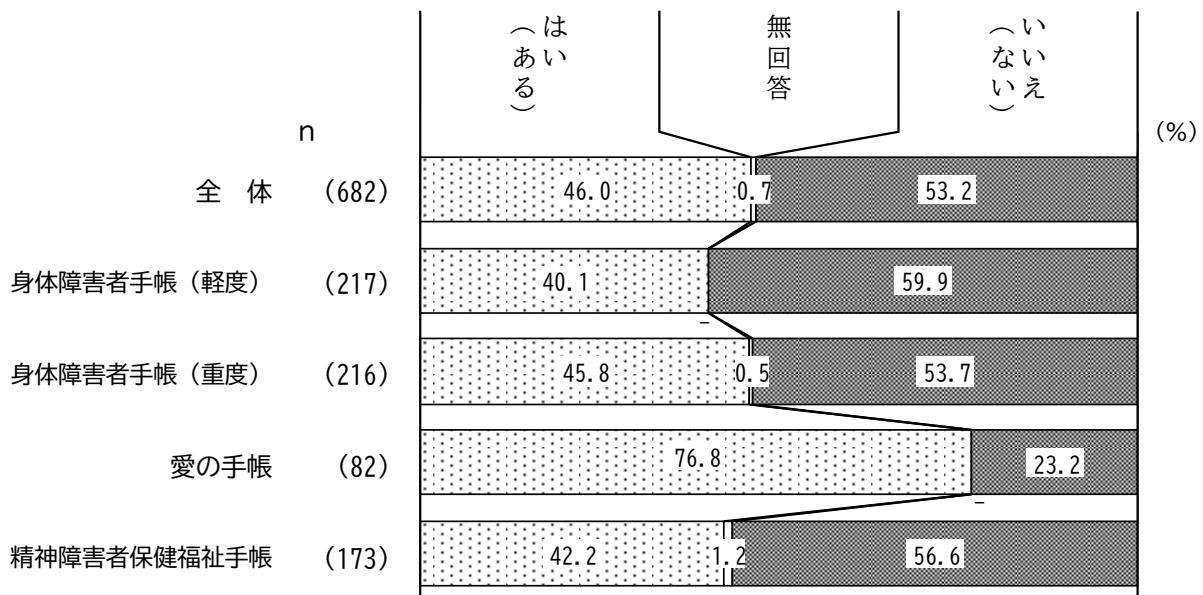
3.1. 日常生活での介助の必要性の有無

◆介助が必要な方は愛の手帳所持者で7割半ば

(全員の方に)

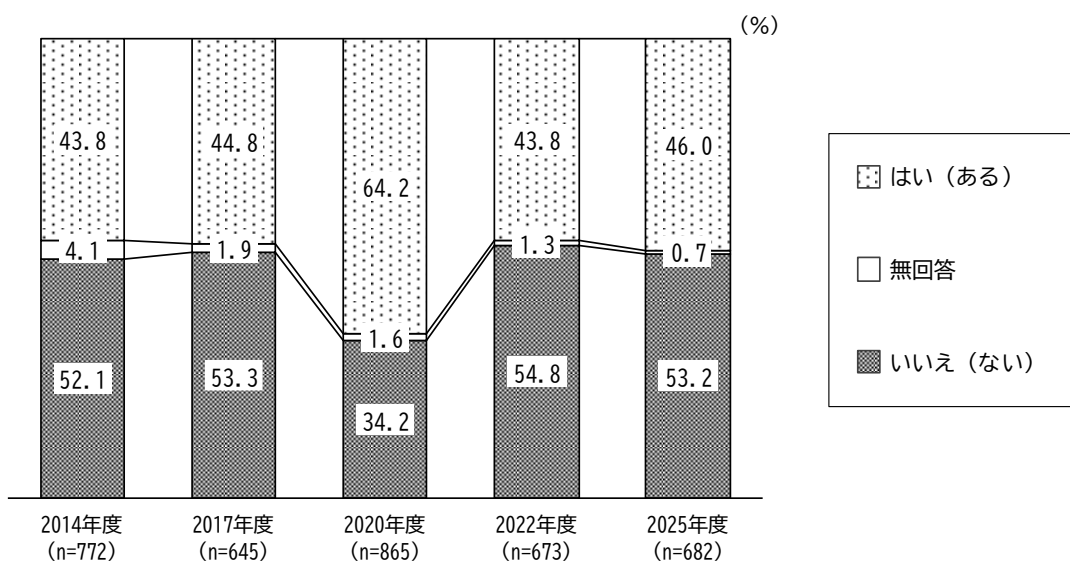
問 14. あなた(あて名の方ご本人)の日常生活で介助を必要とすることはありますか。(○は1つ)

図 3-1 【所持手帳別】日常生活での介助の必要性の有無



日常生活での介助の必要性の有無は、「はい(ある)」が愛の手帳所持者で7割半ばとなっており最も高くなっている。

図 3-2 【経年比較】日常生活での介助の必要性の有無



日常生活での介助の必要性の有無を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ、大きな変化はみられない。

3.1.1. 日常生活で介助を必要とすること

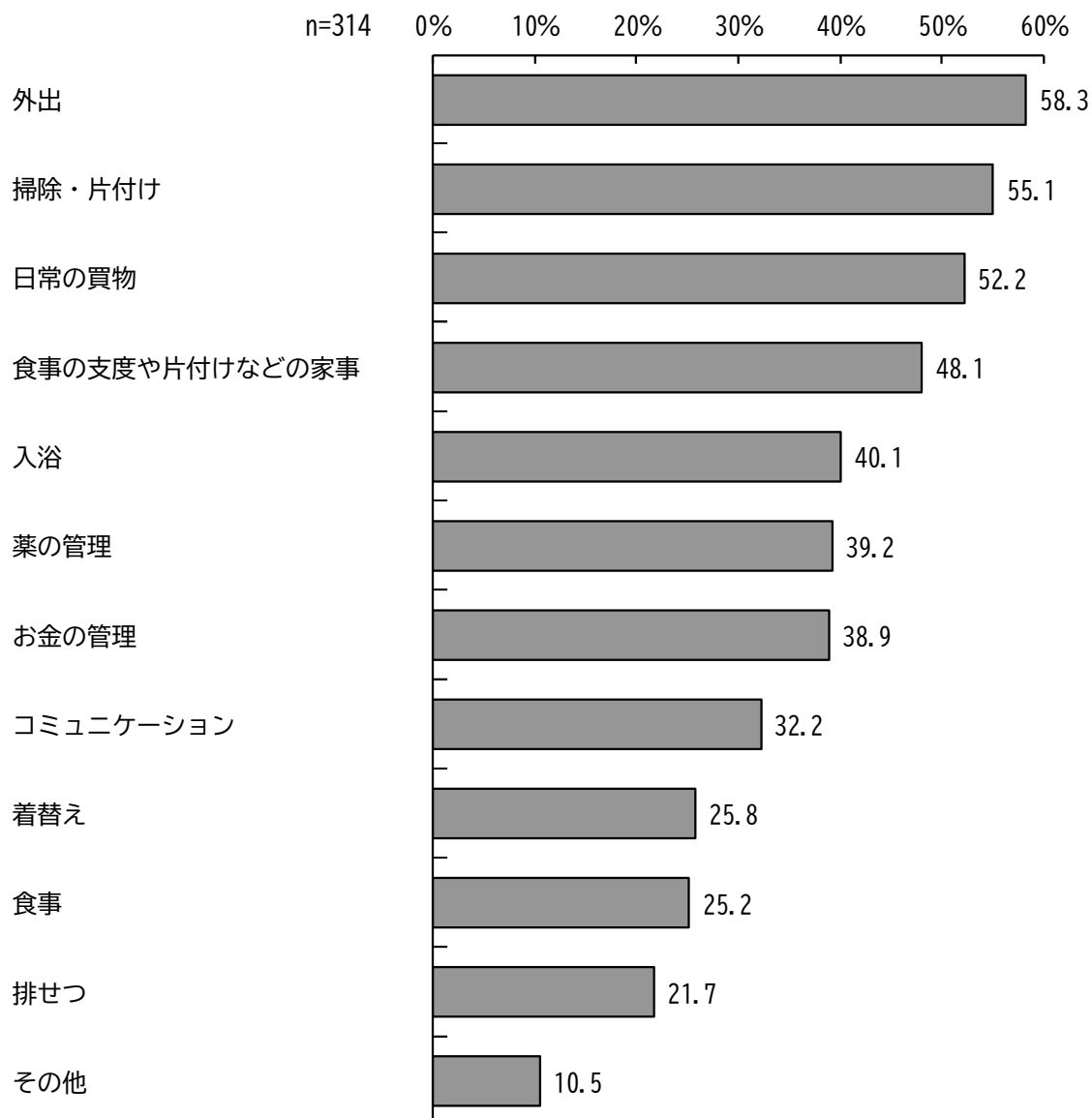
◆日常生活で介助が必要なことは「外出」「掃除・片付け」「日常の買物」が5割を超えている

(問14で「1. はい」とお答えの方に)

問14-1. 日常生活で介助を必要とすることは具体的にどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

図3-3 日常生活で介助を必要とすること



日常生活において介助の必要性があると回答した方に、必要な介助の内容をきいたところ、「外出」が最も高くなっており、次いで「掃除・片付け」「日常の買物」「食事の支度や片付けなどの家事」となっている。

図 3-4 【所持手帳別】上位 5 項目 日常生活で介助を必要とすること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=87	外出 59.8	掃除・片付け 56.3	日常の買物 51.7	入浴 42.5	食事の支度や片付けなどの家事 41.4
身体障害者手帳（重度） n=99	外出 70.7	日常の買物 62.6	掃除・片付け 57.6	入浴 53.5	食事の支度や片付けなどの家事 45.5
愛の手帳 n=63	お金の管理 82.5	外出 73.0	食事の支度や片付けなどの家事 69.8	日常の買物 69.8	コミュニケーション 68.3
精神障害者保健福祉手帳 n=73	掃除・片付け 54.8	食事の支度や片付けなどの家事 43.8	外出 34.2	コミュニケーション 32.9	日常の買物 31.5

日常生活で介助を必要とすることを所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者（軽度・重度）では「外出」が、愛の手帳所持者では「お金の管理」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「掃除・片付け」が最も高くなっている。

図 3-5 【経年比較】上位 5 項目 日常生活で介助を必要とすること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=314	外出 58.3	掃除・片付け 55.1	日常の買物 52.2	食事の支度や片付けなどの家事 48.1	入浴 40.1
2022年度 n=295	掃除・片付け 53.6	外出 52.5	日常の買物 49.2	食事の支度や片付けなどの家事 48.5	薬の管理／お金の管理 36.3
2020年度 n=555	掃除・片付け 43.8	食事の支度や片付け 40.7	日常の買物 40.2	外出 38.0	入浴 30.1
2017年度 n=289	日常の買物 61.9	掃除・片付け／外出 60.9		食事の支度や片付け／お金の管理 59.2	
2014年度 n=338	掃除・片付け 63.6	食事の支度や片付け 56.5	日常の買物 54.7	外出 52.1	お金の管理 48.2

日常生活で介助を必要とすることを経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度以前に比べ「外出」の順位が高くなっている。

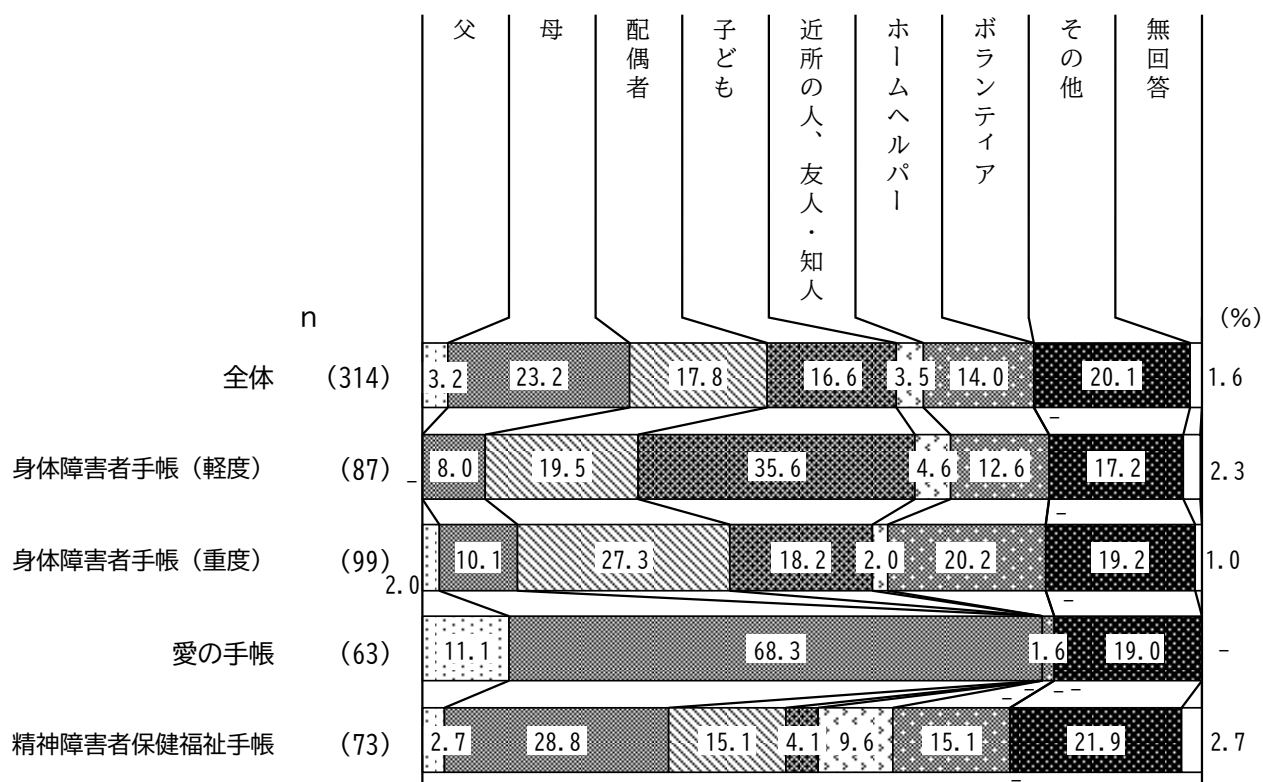
3.1.2. 主な介助者

◆主な介助者は家族（「父」「母」「配偶者」「子ども」）が約6割

（問14で「1. はい」とお答えの方に）

問14-2. あなた（あて名の方ご本人）の主な介助者はどなたですか。（○は1つ）

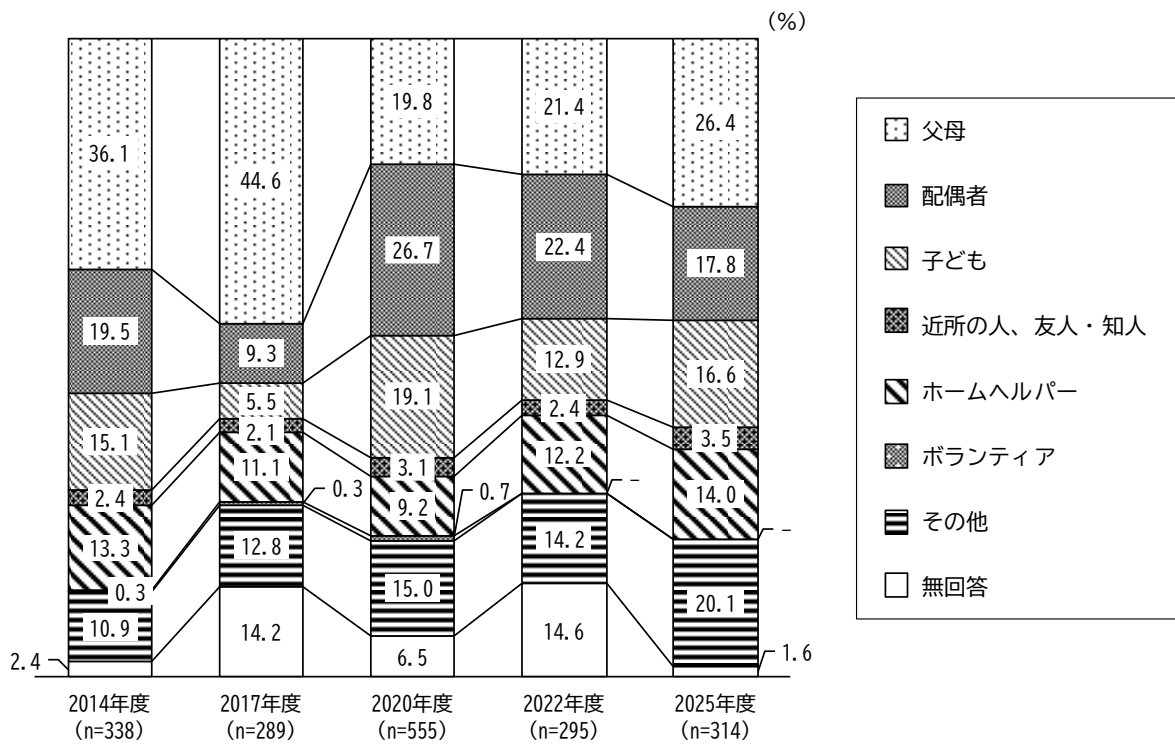
図3-6 【所持手帳別】主な介助者



日常生活において介助の必要性があると回答した方に、主な介助者をきいたところ、全体で「父」「母」「配偶者」「子ども」といった家族が約6割となっている。

所持手帳別では、身体障害者手帳所持者（軽度）では「子ども」が、身体障害者手帳所持者（重度）では「配偶者」が、愛の手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者では「母」が最も高くなっている。特に、愛の手帳所持者では「母」が6割台後半と、他の手帳所持者に比べて高くなっている。

図 3-7 【経年比較】主な介助者



※2014年度は「父母」としてまとめて調査しているため、2017年度以降も「父母」とまとめている。

主な介助者を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「父母」が5ポイント増加し、「配偶者」が4.6ポイント減少している。

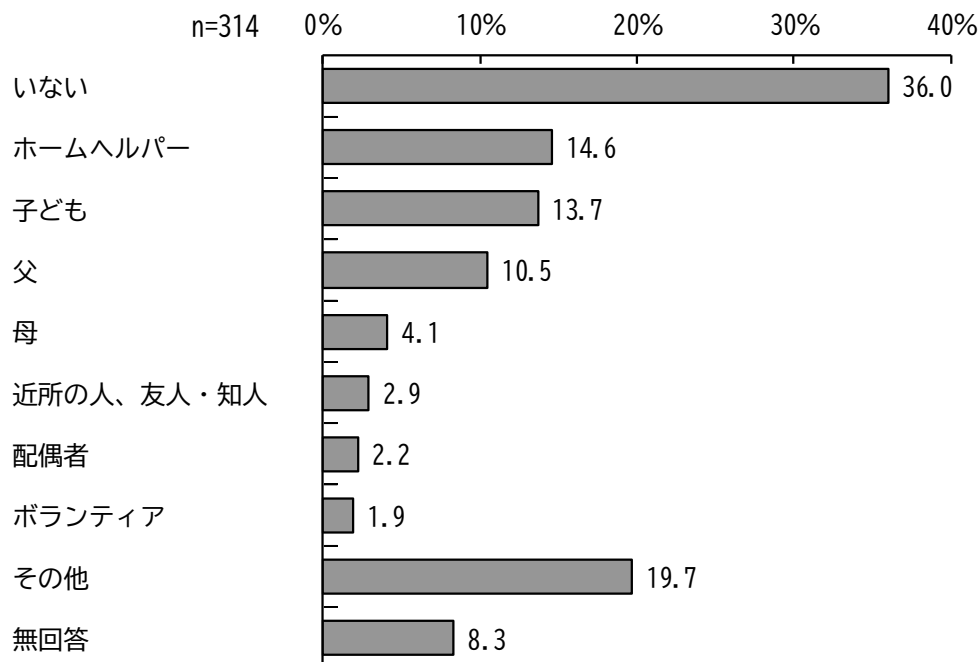
3.1.3. 主な介助者を除く日常的な介助者

◆主な介助者のほかに、日常的に介助できる方は「いない」が3割半ば

(問14で「1. はい」とお答えの方に)

問14-3. 主な介助者のほかに、あなた(あて名の方ご本人)を日常的に介助できる方はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

図3-8 主な介助者のほかに日常的に介助できる方



主な介助者のほかに日常的に介助できる方は、「いない」が3割半ばと最も高くなっており、次いで「ホームヘルパー」「子ども」「父」となっている。

図3-9 【所持手帳別】上位5項目 主な介助者のほかに日常的に介助できる方

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=87	いない 36.8	子ども 24.1	ホームヘルパー 14.9	配偶者 3.4	近所の人、友人・知人／ボランティア 2.3
身体障害者手帳(重度) n=99	いない 38.4	ホームヘルパー 25.3	子ども 17.2	配偶者 3.0	父／近所の人、友人・知人／ボランティア 2.0
愛の手帳 n=63	父 42.9	いない 15.9	母 12.7	ホームヘルパー 9.5	配偶者／近所の人、友人・知人 1.6
精神障害者保健福祉手帳 n=73	いない 47.9	ホームヘルパー 8.2	父／母 6.8		近所の人、友人・知人 5.5

主な介助者のほかに日常的に介助できる方は、愛の手帳所持者では「父」が最も高く、それ以外の手帳所持者では「いない」が最も高い。

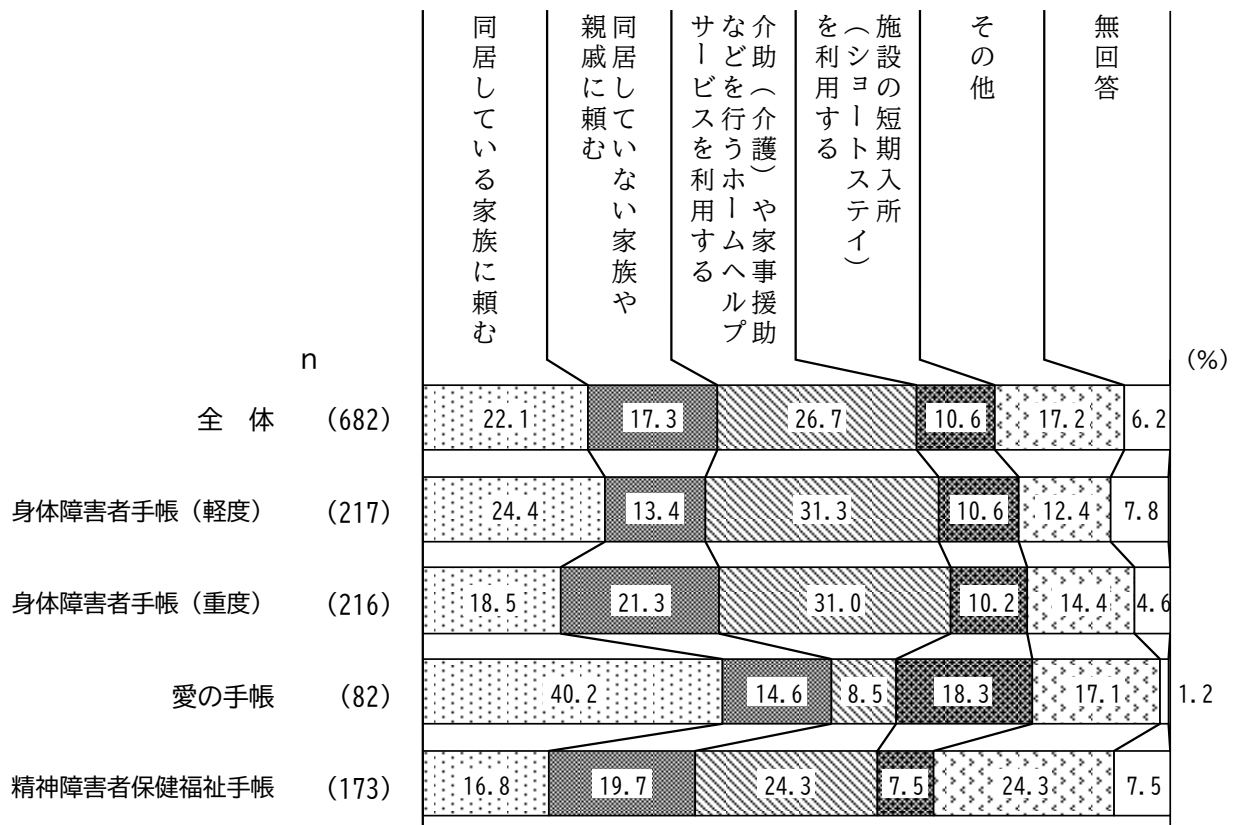
3.2. 主な介助者が介助困難になった場合の対処

◆主な介助者が介助困難になった場合の対処は「介助（介護）や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用する」が2割半ば

（全員の方に）

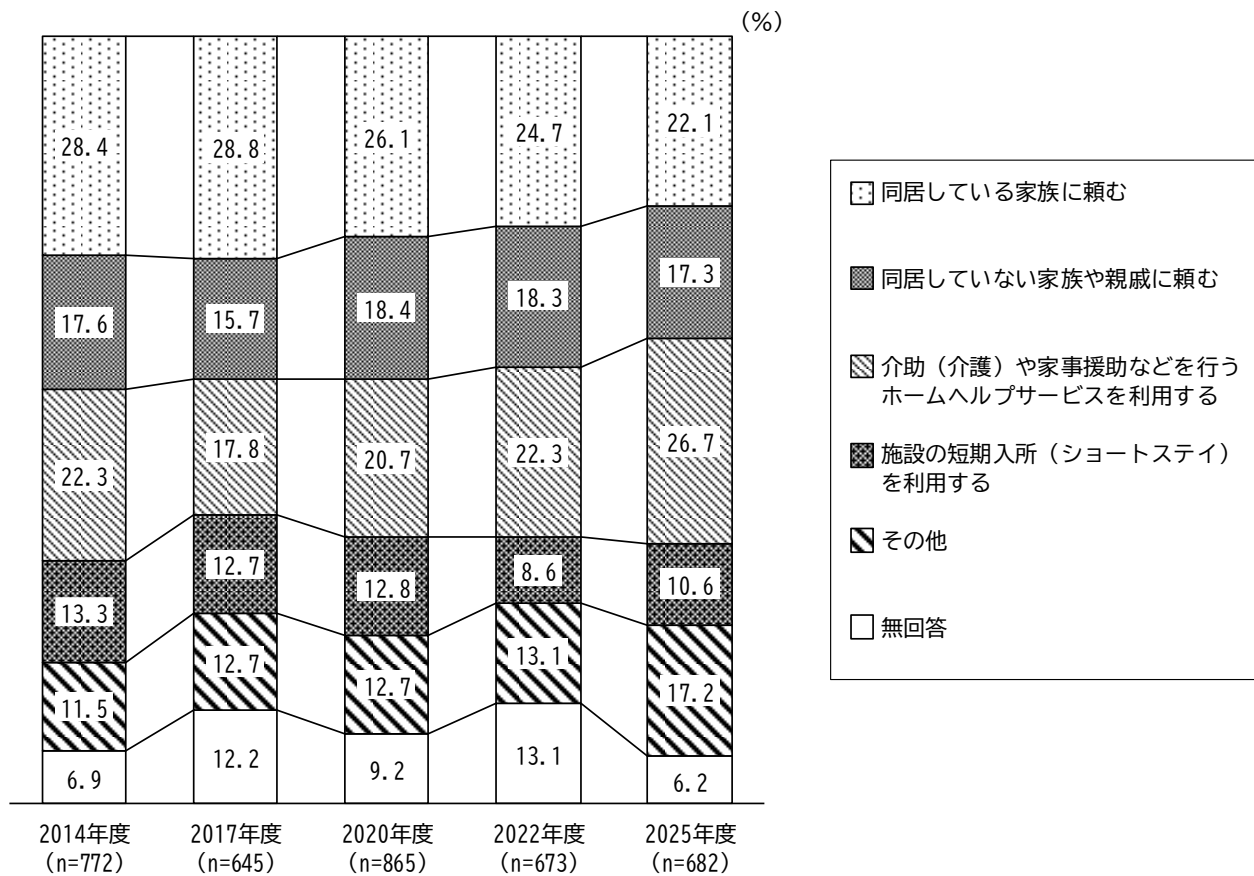
問 15. あなた（あて名の方ご本人）の主な介助者が急病・事故などで介助が困難になった場合、どのようにしたいですか。（○は1つ）

図 3-10 【所持手帳別】主な介助者が介助困難になった場合の対処



主な介助者が介助の継続が困難になった場合の対処としては、愛の手帳所持者では「同居している家族に頼む」が約4割で最も高くなっており、身体障害者手帳所持者（軽度・重度）、精神障害者保健福祉手帳所持者では「介助（介護）や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用する」が最も高くなっている。

図 3-11 【経年比較】主な介助者が介助困難になった場合の対処



主な介助者が介助困難になった場合の対処を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ、「介助（介護）や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用する」が4.4ポイント増加している。

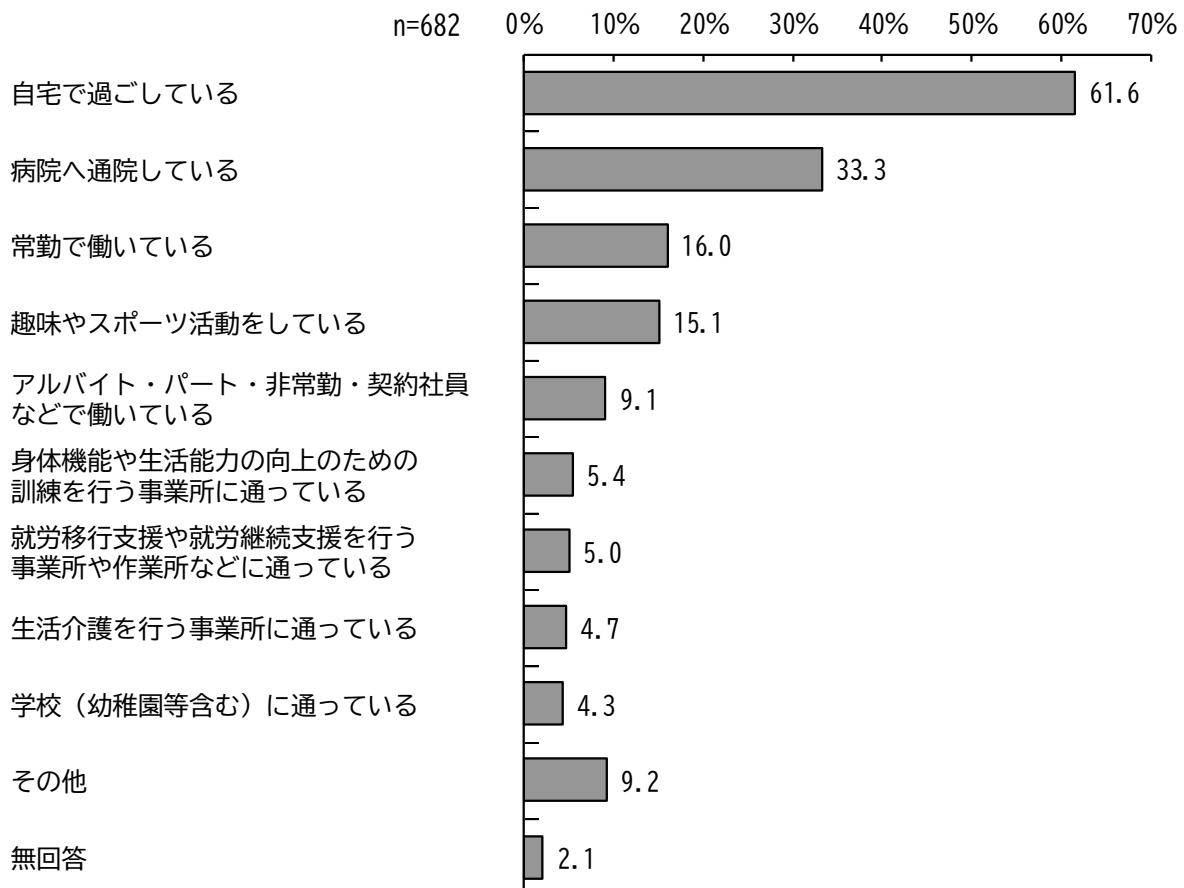
3.3. 平日の日中の過ごし方

◆平日の日中の主な過ごし方は「自宅で過ごしている」が最も高い

(全員の方に)

問 16. あなた(あて名の方ご本人)は、平日の日中は主にどのように過ごしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

図 3-12 平日の日中の過ごし方



平日の日中の主な過ごし方は、「自宅で過ごしている」が約6割と最も高くなっており、次いで「病院へ通院している」「常勤で働いている」「趣味やスポーツ活動をしている」となっている。

図 3-13 【所持手帳別】上位 5 項目 平日の日中の過ごし方

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=217	自宅で過ごしている 66.8	病院へ通院している 33.2	趣味やスポーツ活動をしている 16.1	常勤で働いている 15.7	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 7.4
身体障害者手帳（重度） n=216	自宅で過ごしている 64.8	病院へ通院している 33.3	常勤で働いている 16.7	趣味やスポーツ活動をしている 15.7	身体機能や生活能力の向上のための訓練を行う事業所に通っている 10.2
愛の手帳 n=82	自宅で過ごしている 25.6	学校（幼稚園等含む）に通っている 23.2	生活介護を行う事業所に通っている 19.5	常勤で働いている／就労移行支援や就労継続支援を行う事業所や作業所などに通っている 14.6	
精神障害者保健福祉手帳 n=173	自宅で過ごしている 67.1	病院へ通院している 42.2	常勤で働いている／趣味やスポーツ活動をしている 15.6		アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 14.5

平日の日中の過ごし方を所持手帳別でみると、いずれの手帳所持者も「自宅で過ごしている」が最も高くなっている。

図 3-14 【経年比較】上位 5 項目 平日の日中の過ごし方

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=682	自宅で過ごしている 61.6	病院へ通院している 33.3	常勤で働いている 16.0	趣味やスポーツ活動をしている 15.1	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 9.1
2022年度 n=673	自宅で過ごしている 62.0	病院へ通院している 29.3	常勤で働いている 15.2	趣味やスポーツ活動をしている 13.1	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 9.1
2020年度 n=865	自宅で過ごしている 63.1	病院へ通院している 32.8	常勤で働いている 13.2	趣味やスポーツ活動をしている 12.3	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 9.1
2017年度 n=645	自宅で過ごしている 42.5	病院へ通院している 25.0	常勤で働いている 19.4	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 13.3	趣味やスポーツ活動をしている 11.6
2014年度 n=772	自宅で過ごしている 57.9	病院へ通院している 36.0	趣味やスポーツ活動をしている 15.2	アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている 11.9	常勤で働いている 9.8

平日の日中の過ごし方を経年比較でみると、いずれの年度においても「自宅で過ごしている」が最も高くなっている。

4. 外出状況について

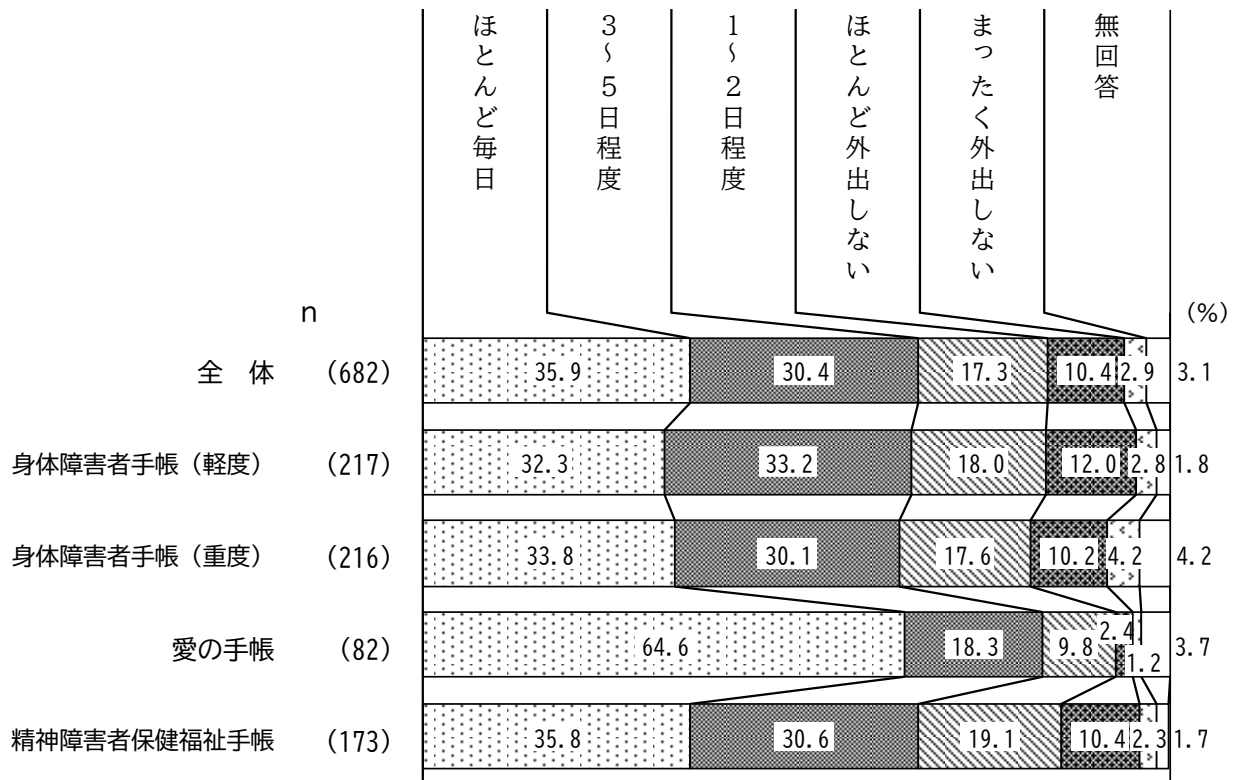
4.1. 外出の頻度

◆外出の頻度は「ほとんど毎日」が愛の手帳所持者で6割半ばと特に高い

(全員の方に)

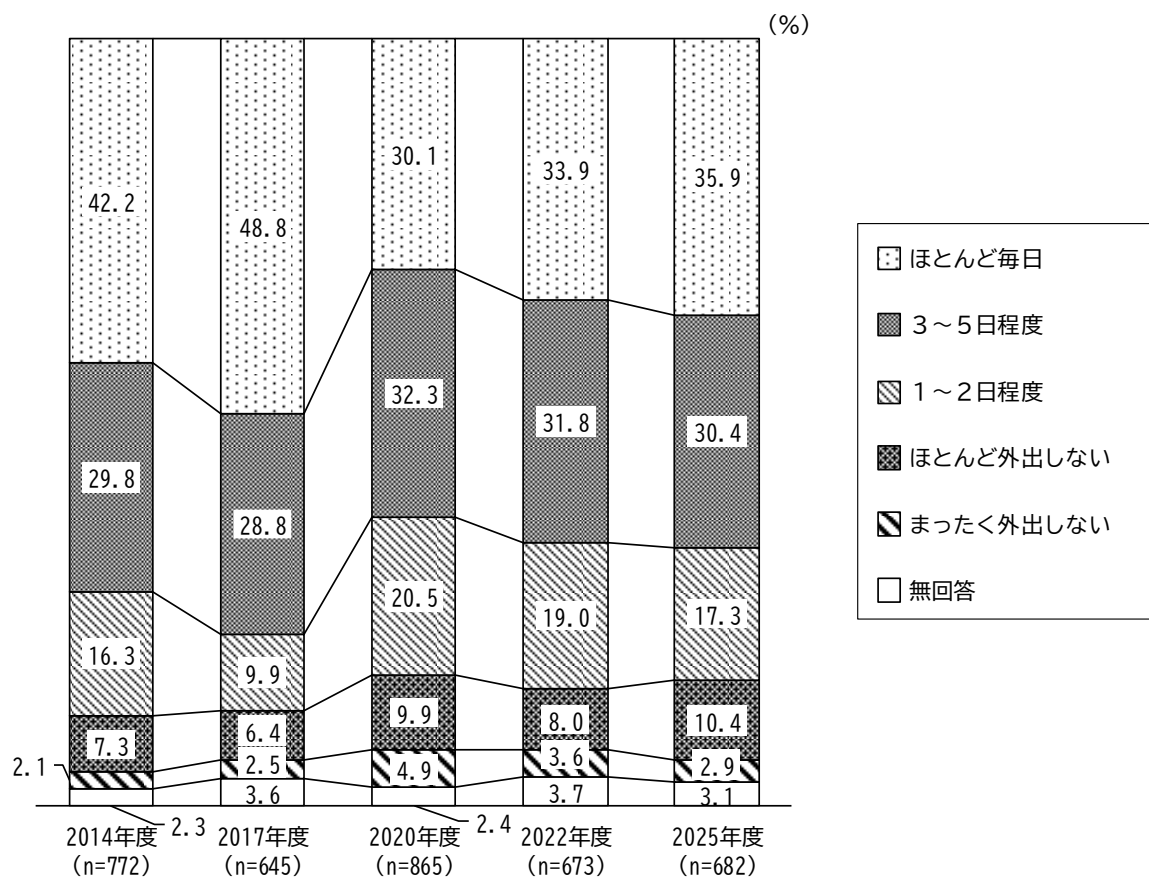
問17. あなた(あて名の方ご本人)は、一週間に、どのくらい外出しますか。(○は1つ)

図4-1 【所持手帳別】外出の頻度



一週間の外出の頻度は、「ほとんど毎日」が愛の手帳所持者では6割半ばと、他の手帳所持者と比べて特に高くなっている。

図 4-2 【経年比較】外出の頻度



一週間の外出の頻度を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ大きな変化はみられない。

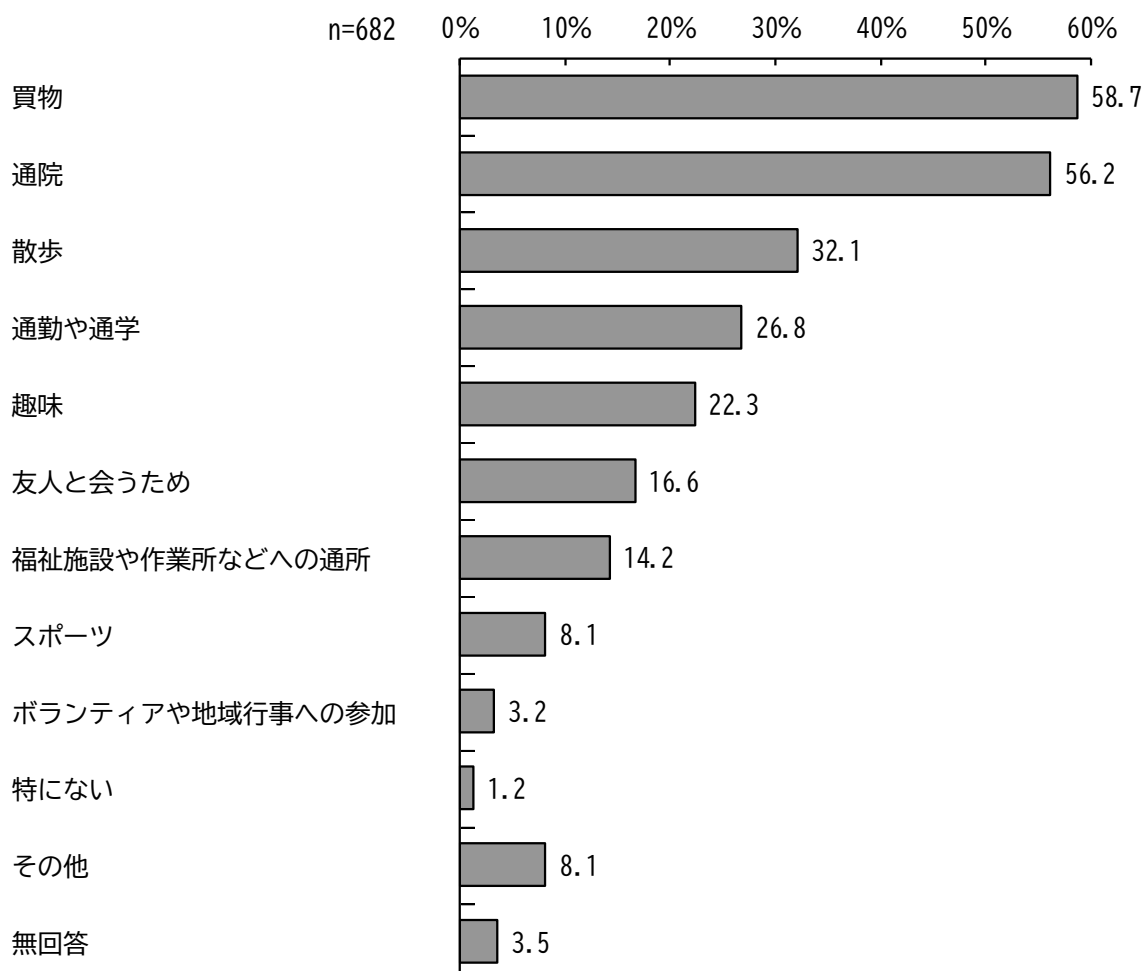
4.2. 外出の主な目的

◆外出の主な目的は「買物」「通院」が5割台

(全員の方に)

問 18. あなた（あて名の方ご本人）の外出の主な目的は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

図 4-3 外出の主な目的



外出の主な目的は、「買物」が最も高く、次いで「通院」「散歩」「通勤や通学」となっている。

図 4-4 【所持手帳別】上位 5 項目 外出の主な目的

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=217	買物 66.8	通院 58.1	散歩 32.3	通勤や通学 22.1	趣味 19.8
身体障害者手帳（重度） n=216	通院 56.9	買物 51.9	散歩 33.3	趣味 24.1	通勤や通学 21.3
愛の手帳 n=82	通勤や通学 48.8	福祉施設や作業 所などへの通所 40.2	買物 39.0	散歩 37.8	通院 29.3
精神障害者保健福祉手帳 n=173	通院 67.6	買物 64.7	通勤や通学 30.6	散歩 28.9	趣味／友人と会 うため 22.0

外出の主な目的を所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者（軽度）では「買物」が、愛の手帳所持者では「通勤や通学」が、身体障害者手帳所持者（重度）と精神障害者保健福祉手帳所持者では「通院」が最も高くなっている。

図 4-5 【経年比較】上位 5 項目 外出の主な目的

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=682	買物 58.7	通院 56.2	散歩 32.1	通勤や通学 26.8	趣味 22.3
2022年度 n=673	買物 63.9	通院 55.3	散歩 39.1	通勤や通学 26.0	趣味 21.1
2020年度 n=865	買物 56.8	通院 54.2	散歩 39.0	通勤や通学 22.4	趣味・スポーツ など 19.7
2017年度 n=645	買物 51.5	通院 46.2	通勤や通学 37.7	散歩 30.9	趣味・スポーツ など 27.1
2014年度 n=772	買物 58.2	通院 56.3	散歩 41.1	趣味・スポーツ など 24.1	通勤や通学 23.1

※2022 年度からは「趣味」と「スポーツ」の選択肢を分けて調査。
(2014～2020 年度の選択肢は「趣味・スポーツなど」)

外出の主な目的を経年比較でみると、いずれの年度においても「買物」が第 1 位、「通院」が第 2 位となっている。

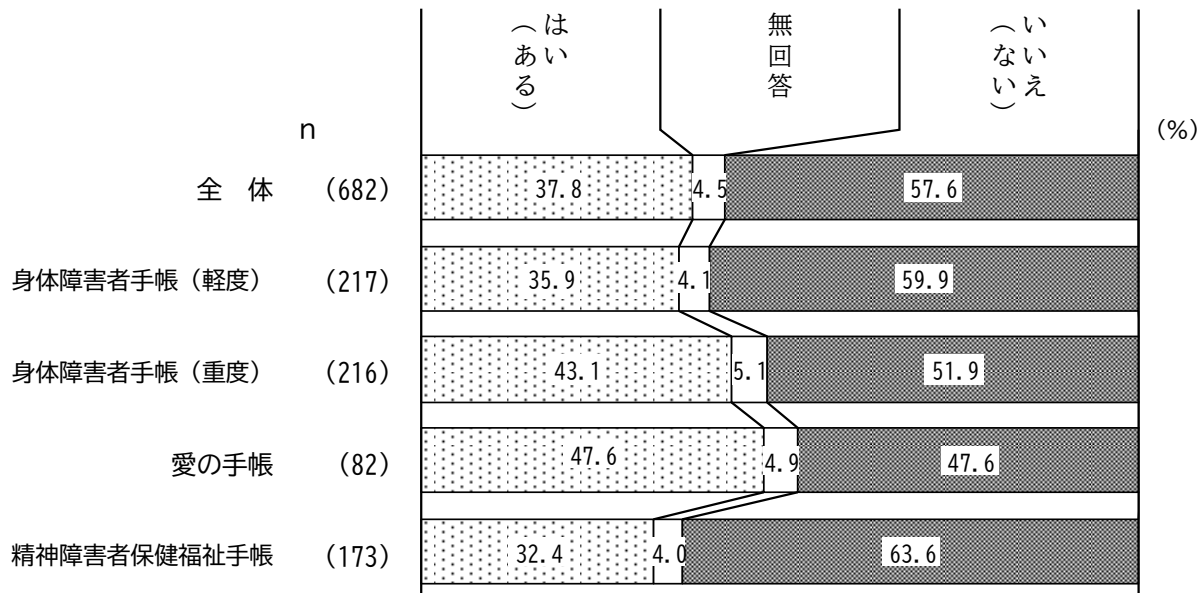
4.3. 外出する上での妨げの有無

◆外出する上での妨げは「ある」が3割台後半

(全員の方に)

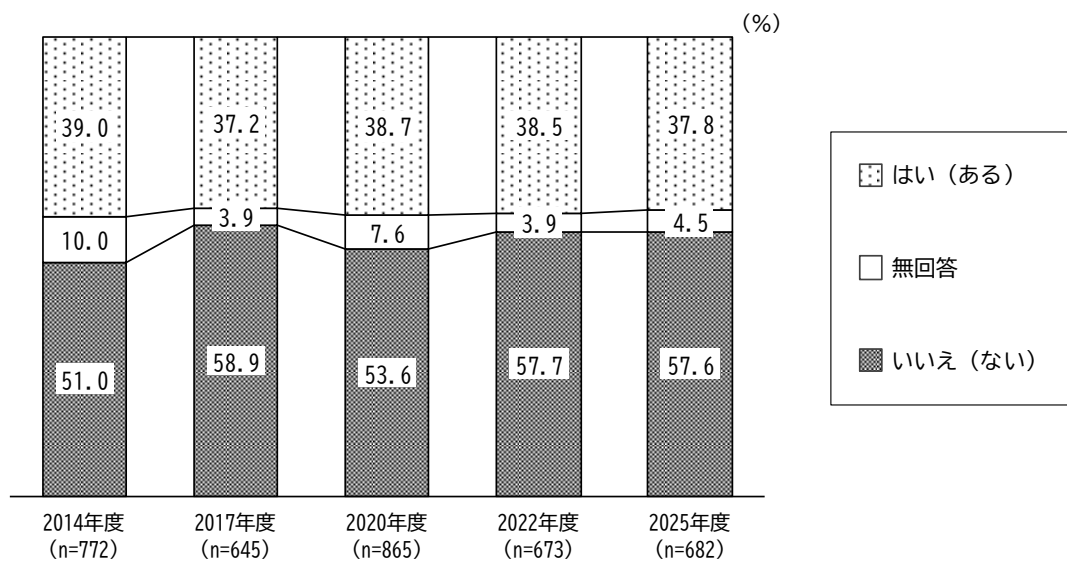
問19. あなた(あて名の方ご本人)が外出する上で妨げになっていることはありますか。(○は1つ)

図4-6 【所持手帳別】外出する上で妨げの有無



外出する上での妨げの有無は、愛の手帳所持者で「はい(ある)」と「いいえ(ない)」が同じ割合となっているが、他の手帳所持者は「いいえ(ない)」が「はい(ある)」を上回っている。

図4-7 【経年比較】外出する上で妨げの有無



外出する上での妨げの有無を経年比較でみると、大きな変化はみられない。

4.3.1. 外出する上で妨げになっていること

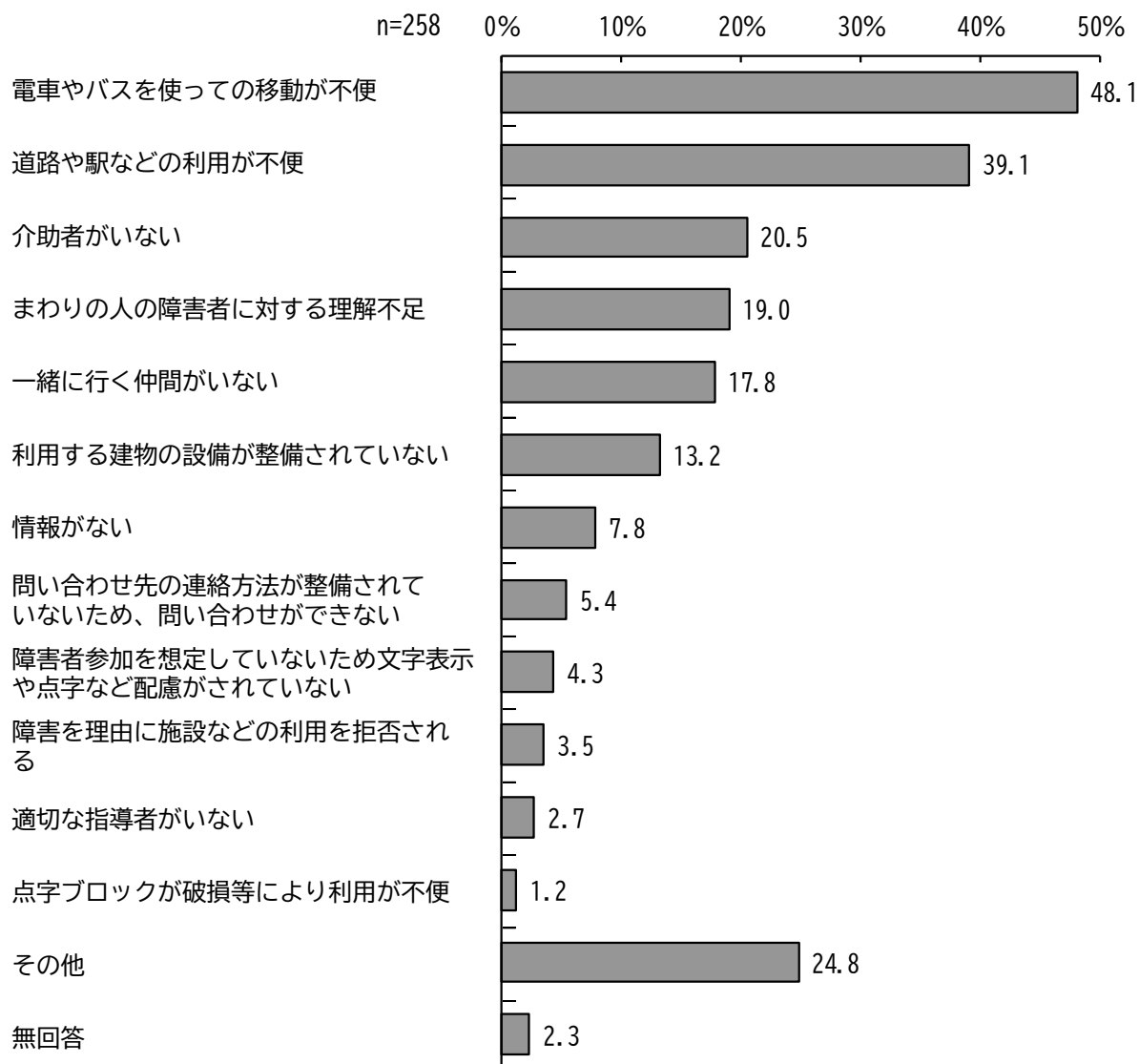
◆外出する上で妨げになっていることは「電車やバスを使っでの移動が不便」が4割台後半、「道路や駅などの利用が不便」が約4割

(問19で「1. はい」とお答えの方に)

問19-1. 外出する上で妨げになっていることは具体的にどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

図4-8 外出する上で妨げになっていること



外出する上での妨げになっていることの内容をきいたところ、「電車やバスを使っでの移動が不便」が最も高くなっており、次いで「道路や駅などの利用が不便」「介助者がいない」「まわりの人の障害者に対する理解不足」となっている。

図 4-9 【所持手帳別】上位 5 項目 外出する上で妨げになっていること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=78	電車やバスを 使った移動が 不便 51.3	道路や駅などの 利用が不便 43.6	介助者がいない 20.5	利用する建物の 設備が整備され ていない 19.2	まわりの人の障害 者に対する理解不 足／一緒に行く仲 間がいらない 16.7
身体障害者手帳（重度） n=93	電車やバスを 使った移動が 不便 51.6	道路や駅などの 利用が不便 47.3	介助者がいない 23.7	まわりの人の障 害者に対する理 解不足 15.1	利用する建物の 設備が整備され ていない 14.0
愛の手帳 n=39	介助者がいない 41.0	電車やバスを 使った移動が 不便 38.5	一緒に行く仲間 がいらない 30.8	道路や駅などの利用が不便／ まわりの人の障害者に対する理解 不足 25.6	
精神障害者保健福祉手帳 n=56	電車やバスを 使った移動が 不便 44.6	道路や駅などの利用が不便／ まわりの人の障害者に対する理解 不足 26.8	一緒に行く仲間 がいらない 17.9	情報がいない 12.5	

外出する上で妨げになっていることを所持手帳別でみると、愛の手帳所持者では「介助者がいない」が最も高く、他の手帳所持者では「電車やバスを使った移動が不便」が最も高くなっている。

図 4-10 【経年比較】上位 5 項目 外出する上で妨げになっていること

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=258	電車やバスを 使った移動が 不便 48.1	道路や駅などの 利用が不便 39.1	介助者がいない 20.5	まわりの人の障 害者に対する理 解不足 19.0	一緒に行く仲間 がいらない 17.8
2022年度 n=259	電車やバスを 使った移動が 不便 42.1	道路や駅などの 利用が不便 34.7	まわりの人の障 害者に対する理 解不足 19.3	介助者がいない 17.4	一緒に行く仲間 がいらない 16.6
2020年度 n=335	電車やバスを 使った移動が 不便 46.3	道路や駅などの 利用が不便 40.0	まわりの人の障 害者に対する理 解不足 21.2	介助者がいない 17.3	一緒に行く仲間 がいらない 15.5
2017年度 n=240	電車やバスを 使った移動が 不便 46.3	道路や駅などの 利用が不便 43.3	まわりの人の障 害者に対する理 解不足 27.5	利用する建物の 設備が整備され ていない 20.8	一緒に行く仲間 がいらない 15.4
2014年度 n=301	電車やバスを 使った移動が 不便 35.9	道路や駅などの 利用が不便 32.6	まわりの人の障 害者に対する理 解不足 28.2	一緒に行く仲間 がいらない 22.3	情報がいない 17.9

外出する上で妨げになっていることを経年比較でみると、いずれの年度においても「電車やバスを使った移動が不便」が第 1 位、「道路や駅などの利用が不便」が第 2 位となっている。

4.4. 外出の際の主な交通手段

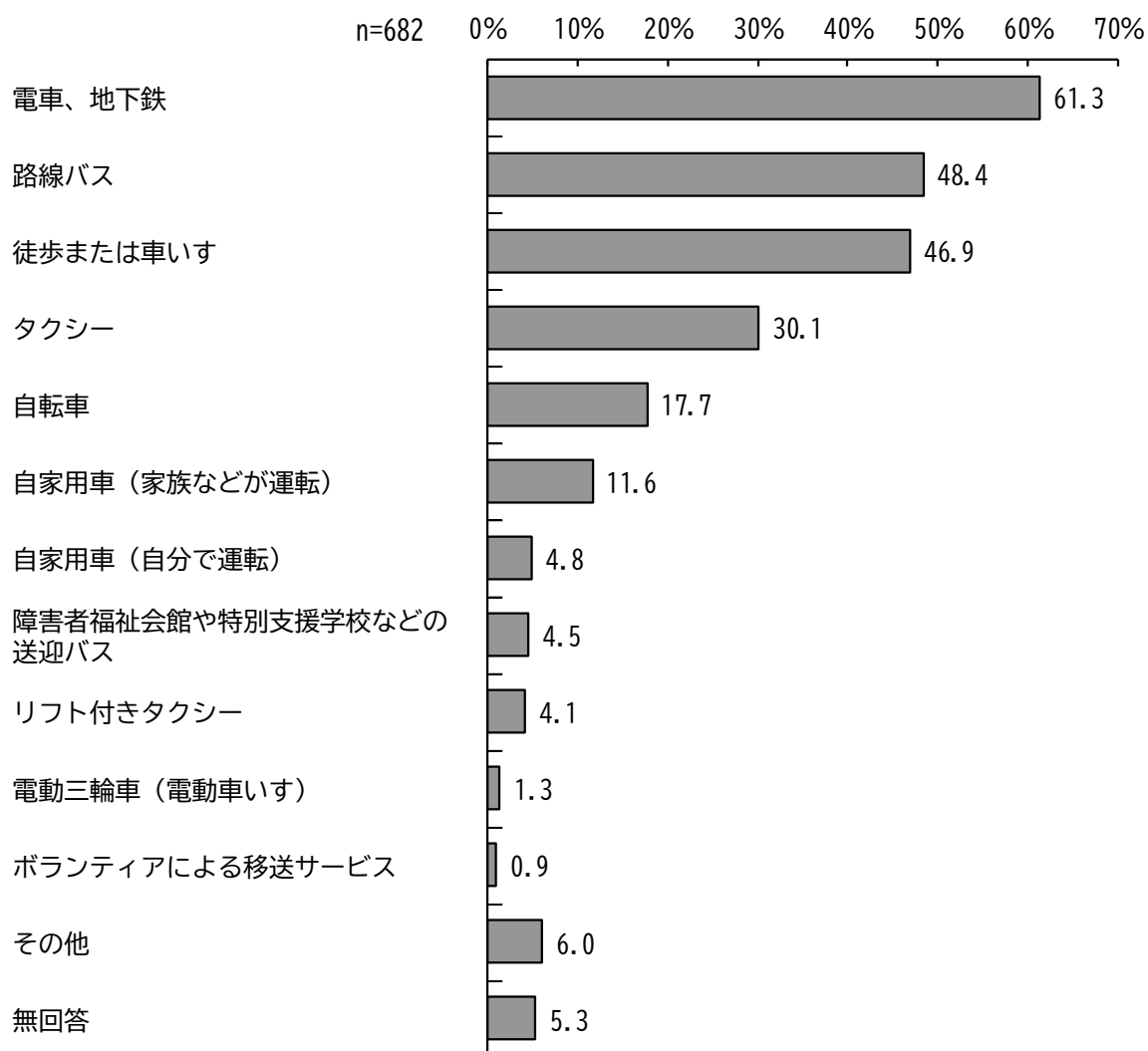
◆外出の際の主な交通手段は「電車・地下鉄」が最も高い

(全員の方に)

問 20. あなた（あて名の方ご本人）が、外出に利用する主な交通手段は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

図 4-11 外出の際の主な交通手段



外出する際の主な交通手段をきいたところ、「電車、地下鉄」が最も高く、次いで「路線バス」「徒歩または車いす」「タクシー」となっている。

図 4-12 【所持手帳別】上位 5 項目 外出の際の主な交通手段

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=217	電車、地下鉄 60.4	路線バス 53.5	徒歩または車いす 38.7	タクシー 32.3	自転車 16.1
身体障害者手帳（重度） n=216	電車、地下鉄 53.2	徒歩または車いす 48.6	タクシー 45.4	路線バス 42.1	自転車 13.0
愛の手帳 n=82	電車、地下鉄 63.4	徒歩または車いす 56.1	路線バス 51.2	自家用車（家族などが運転） 25.6	タクシー 22.0
精神障害者保健福祉手帳 n=173	電車、地下鉄 74.0	路線バス 50.9	徒歩または車いす 49.7	自転車 24.3	タクシー 16.2

外出の際の主な交通手段を所持手帳別でみると、いずれの手帳所持者も「電車、地下鉄」が最も高くなっている。愛の手帳所持者では「自家用車（家族などが運転）」が他の手帳所持者と比べ高くなっている。

図 4-13 【経年比較】上位 5 項目 外出の際の主な交通手段

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=682	電車、地下鉄 61.3	路線バス 48.4	徒歩または車いす 46.9	タクシー 30.1	自転車 17.7
2022年度 n=673	電車、地下鉄 60.6	路線バス 52.5	徒歩または車いす 45.0	タクシー 36.3	自転車 18.7
2020年度 n=865	電車、地下鉄 57.0	路線バス 50.4	徒歩または車いす 40.9	タクシー 35.3	自転車 19.2
2017年度 n=645	電車、地下鉄 73.0	路線バス 51.8	徒歩または車いす 46.0	タクシー 28.2	自転車 22.0
2014年度 n=772	電車、地下鉄 68.1	路線バス 58.5	徒歩または車いす 37.8	タクシー 37.2	自転車 20.5

外出の際の主な交通手段を経年比較でみると、いずれの年度でも上位 5 位は同じ順位となっている。

5. 働くことについて

5.1. 就労による定期的な収入の有無

◆就労による定期的な収入がある方は、生産年齢人口でみると5割半ば

(全員の方に)

問 21. あなた(あて名の方ご本人)は、給料など就労による定期的な収入はありますか。(○は1つ)

図 5-1 【所持手帳別】収入の有無

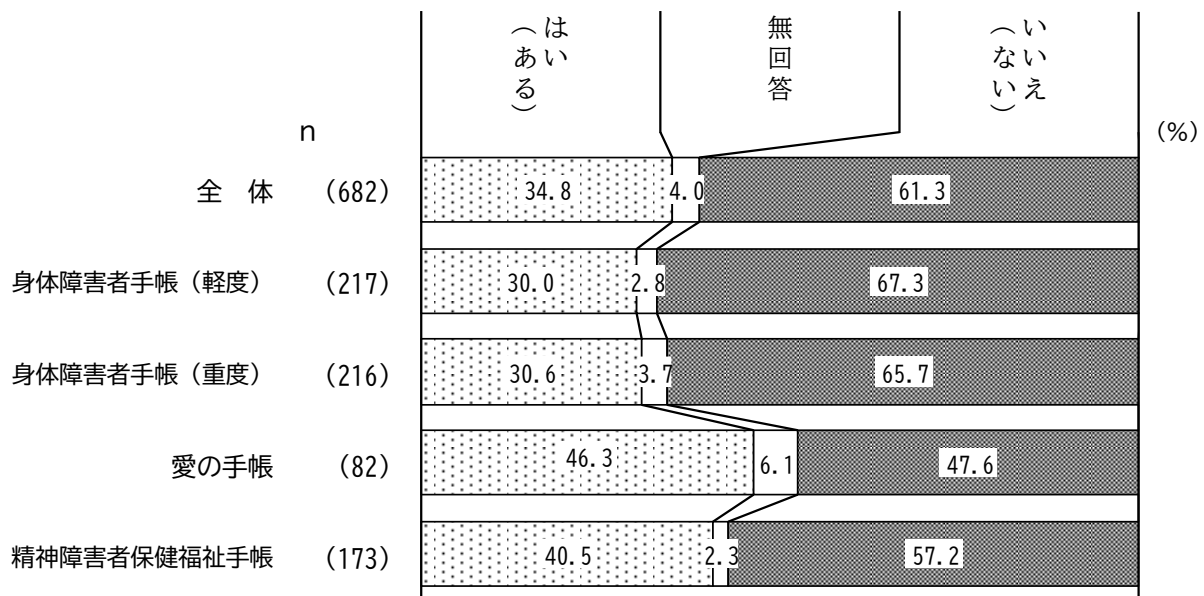
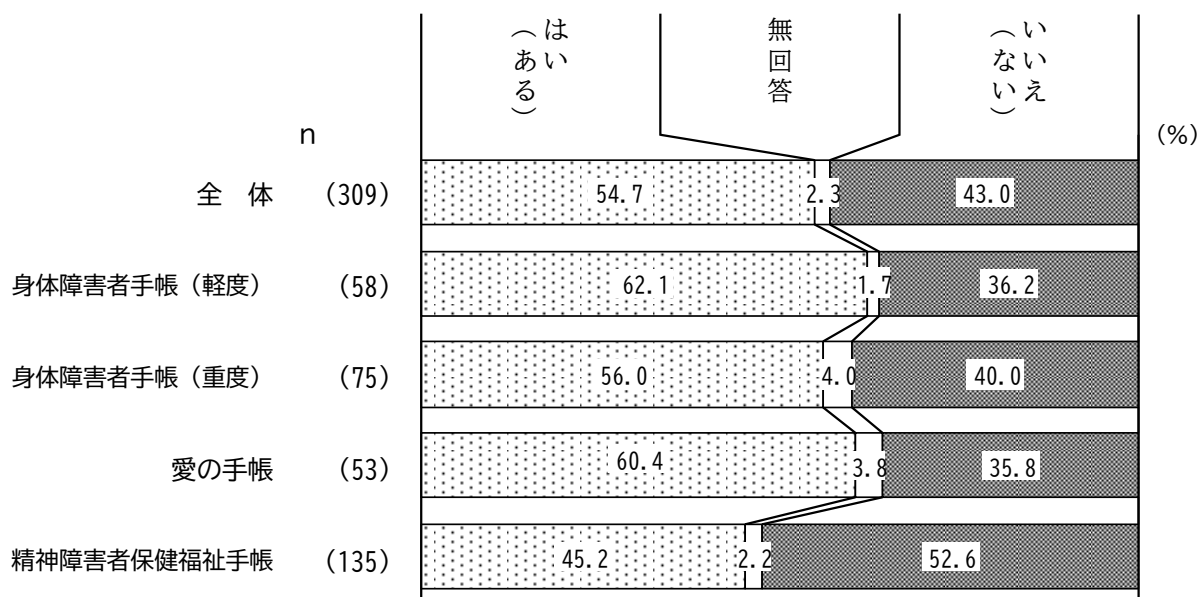
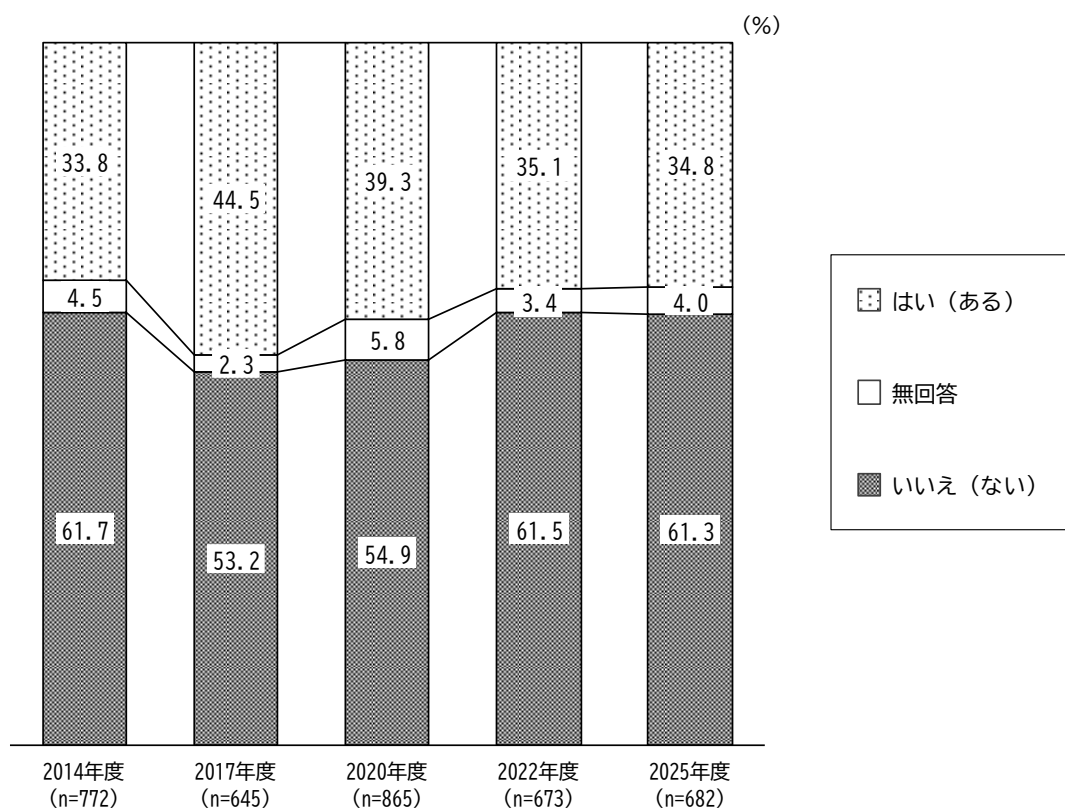


図 5-2 【所持手帳別】生産年齢人口(15歳以上65歳未満)における収入の有無



生産年齢人口(15歳以上65歳未満)における収入の有無は、全体では「はい(ある)」が5割半ばとなっている。精神障害者保健福祉手帳所持者では「いいえ(ない)」が他の手帳所持者に比べて高くなっている。

図 5-3 【経年比較】就労による定期的な収入の有無



就労による定期的な収入の有無を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ大きな変化はみられない。

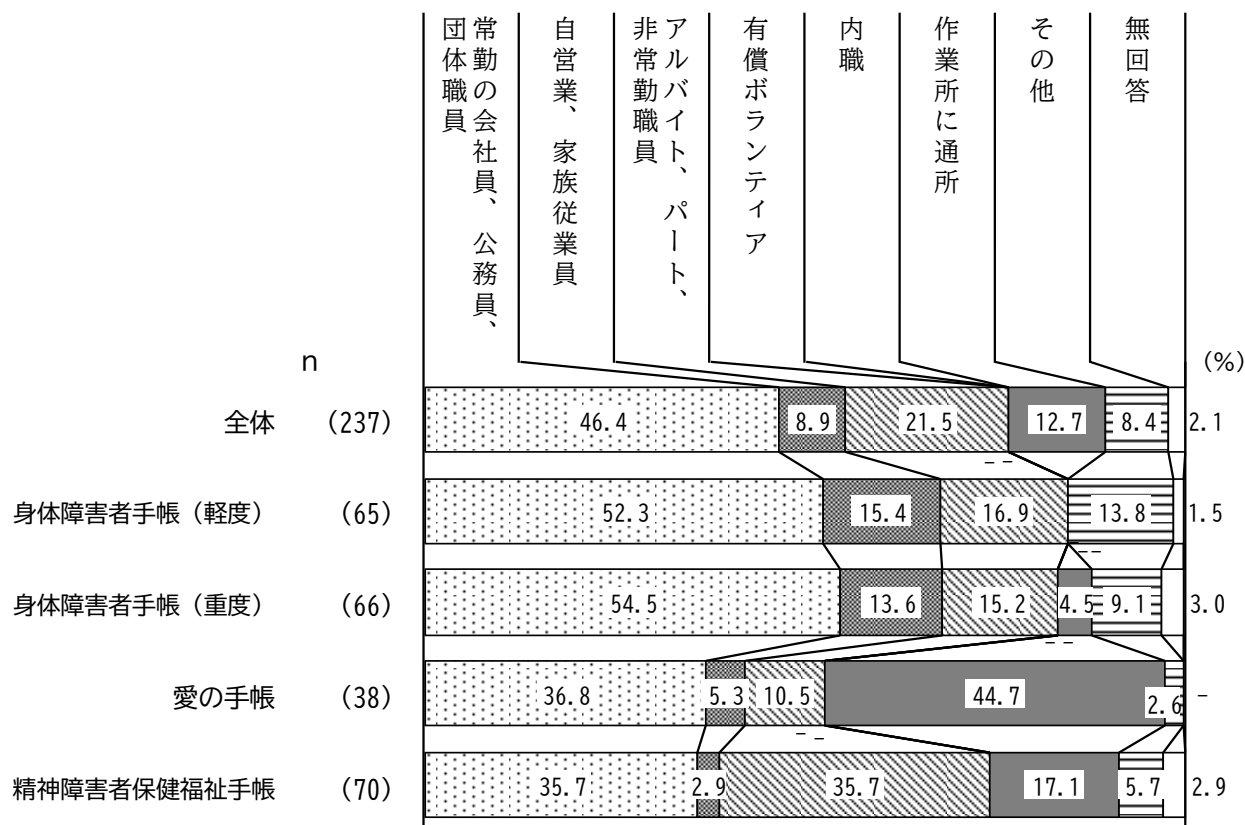
5.1.1. 現在の就労形態

◆就労形態は所持手帳により違いがみられる

(問 21 で「1. はい」とお答えの方に)

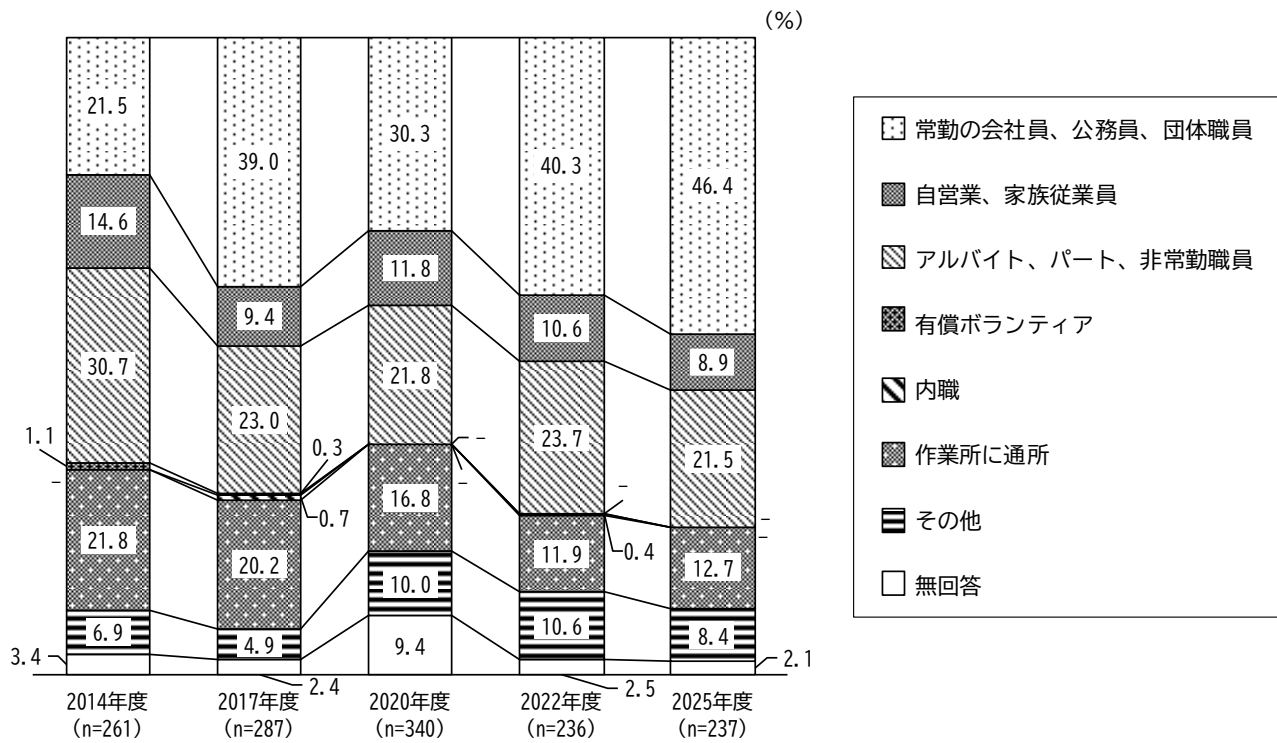
問 21-1. あなた（あて名の方ご本人）の現在の就労形態をお答えください。（○は1つ）

図 5-4 【所持手帳別】現在の就労形態



定期的な収入があると回答された方に、就労形態をきいたところ、身体障害者手帳所持者では「常勤の会社員、公務員、団体職員」が、愛の手帳所持者では「作業所に通所」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「常勤の会社員、公務員、団体職員」と「アルバイト、パート、非常勤職員」が最も高くなっている。

図 5-5 【経年比較】現在の就労形態



現在の就労形態を経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度と比べ「常勤の会社員、公務員、団体職員」が約 6 ポイント増加している。

5.1.2. 仕事を見つけた方法

◆仕事を見つけた方法は愛の手帳所持者では「学校の紹介」が最も高い

(問21で「1. はい」とお答えの方に)

問21-2. あなた(あて名の方ご本人)は、現在の仕事をどのような方法で見つけましたか。

(○は1つ)

図5-6 【所持手帳別】仕事を見つけた方法

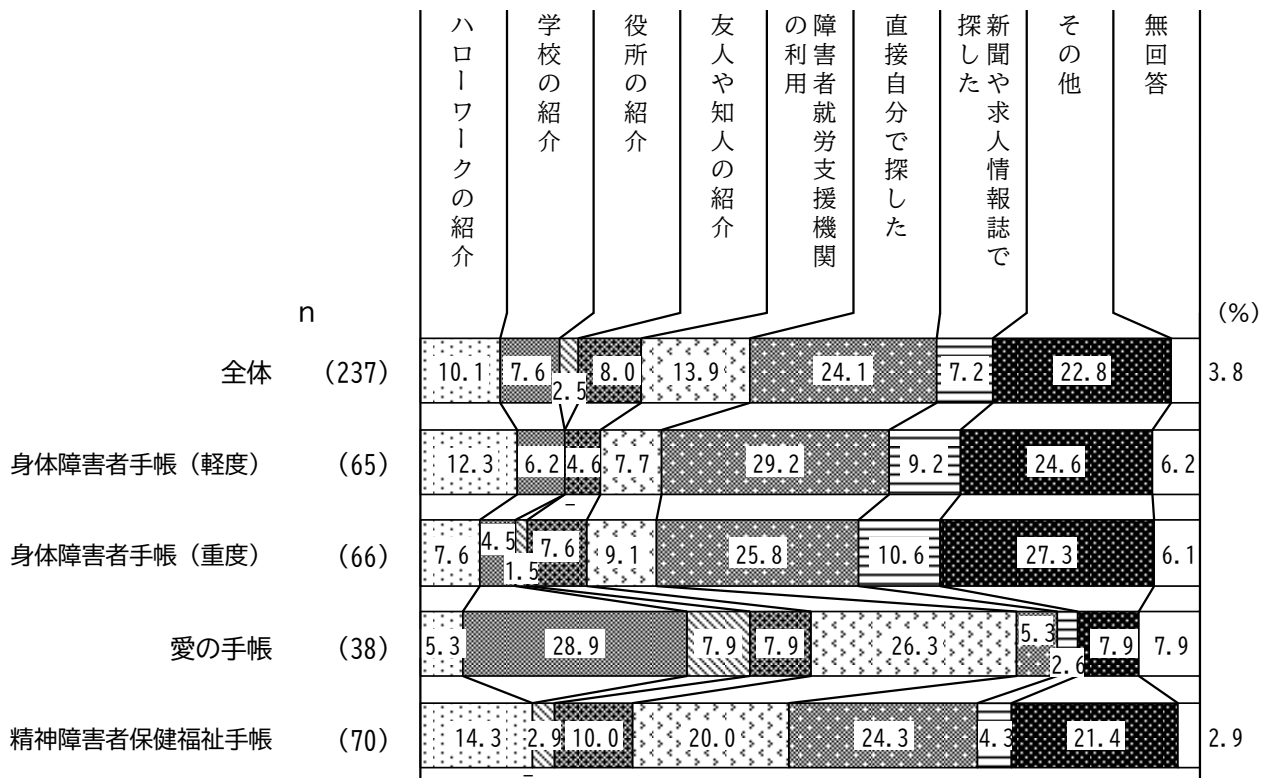


図5-7 【所持手帳別】上位5項目 仕事を見つけた方法

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳(軽度) n=65	直接自分で探した 29.2	ハローワークの紹介 12.3	新聞や求人情報誌で探した 9.2	障害者就労支援機関の利用 7.7	学校の紹介 6.2
身体障害者手帳(重度) n=66	直接自分で探した 25.8	新聞や求人情報誌で探した 10.6	障害者就労支援機関の利用 9.1	ハローワークの紹介／友人や知人の紹介 7.6	
愛の手帳 n=38	学校の紹介 28.9	障害者就労支援機関の利用 26.3	役所の紹介／友人や知人の紹介 7.9	ハローワークの紹介／直接自分で探した 5.3	
精神障害者保健福祉手帳 n=70	直接自分で探した 24.3	障害者就労支援機関の利用 20.0	ハローワークの紹介 14.3	友人や知人の紹介 10.0	新聞や求人情報誌で探した 4.3

現在、就労されている方に仕事を見つけた方法をきいたところ、愛の手帳所持者では「学校の紹介」、他の手帳所持者では「直接自分で探した」が最も高くなっている。

図 5-8 【経年比較】上位 5 項目 仕事を見つけた方法

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=237	直接自分で探した 24.1	障害者就労支援機関の利用 13.9	ハローワークの紹介 10.1	友人や知人の紹介 8.0	学校の紹介 7.6
2022年度 n=236	直接自分で探した 21.2	障害者就労支援機関の利用 15.3	ハローワークの紹介 11.4	学校の紹介 9.7	友人や知人の紹介 5.9
2020年度 n=340	直接自分で探した 18.5	障害者就労支援機関の利用 16.5	学校の紹介 8.8	友人や知人の紹介 7.9	ハローワークの紹介 6.8
2017年度 n=287	直接自分で探した 20.9	障害者就労支援機関の利用 15.7	学校の紹介 13.6	ハローワークの紹介 10.1	友人や知人の紹介 8.7
2014年度 n=261	直接自分で探した 14.2	学校の紹介 13.8	障害者就労支援機関の利用 13.4	ハローワークの紹介 11.5	友人や知人の紹介 7.3

仕事を見つけた方法を経年比較でみると、いずれの年度においても「直接自分で探した」が最も高くなっている。

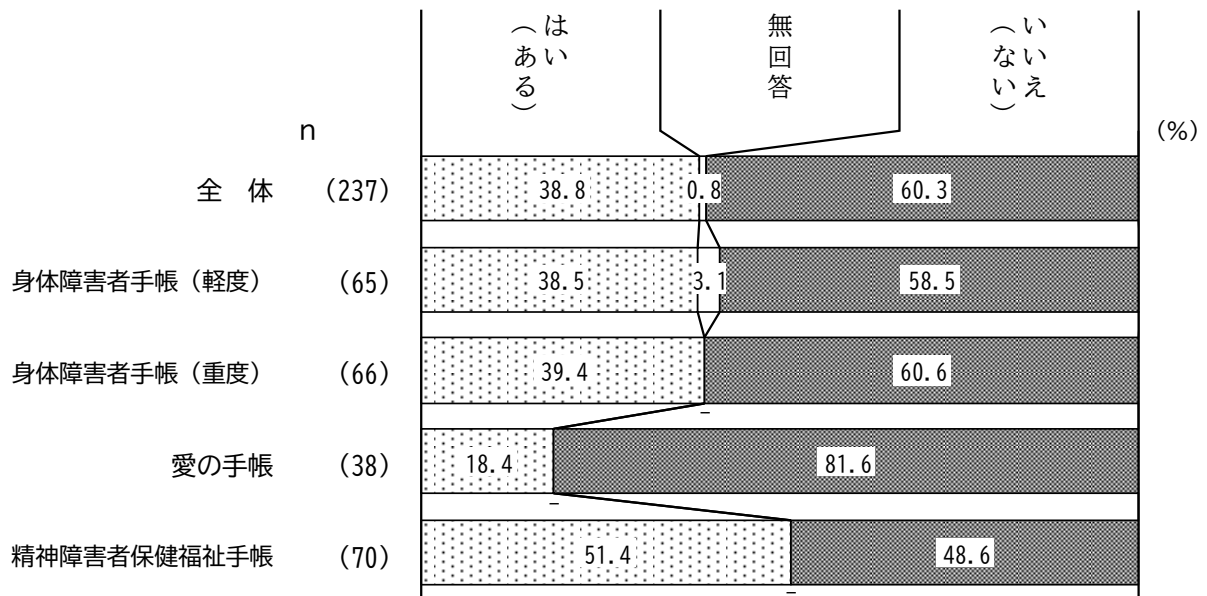
5.1.3. 仕事や職場への不安や不満の有無

◆仕事や職場への不安や不満は「いいえ（ない）」が約6割

（問21で「1. はい」とお答えの方に）

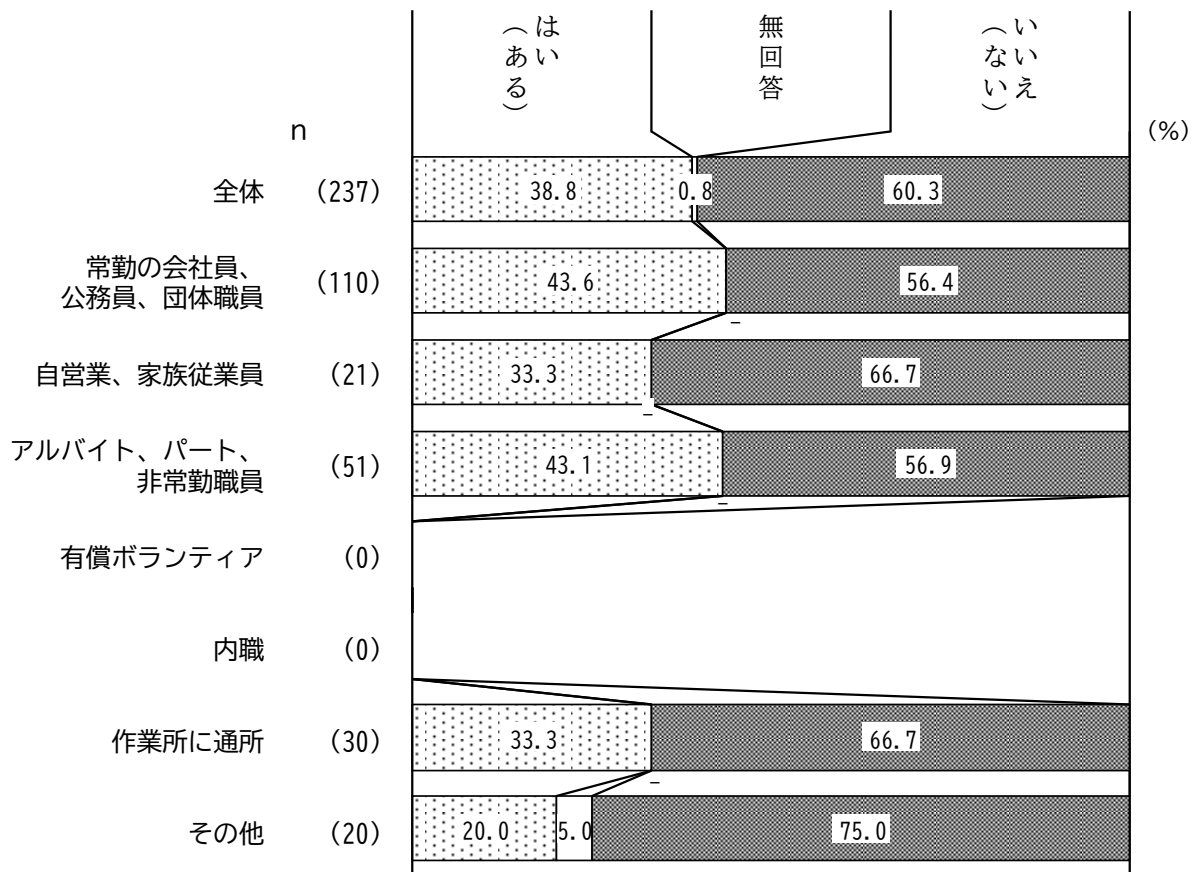
問21-3. あなた（あて名の方ご本人）は、現在の仕事に関して不安や不満はありますか。（○は1つ）

図5-9 【所持手帳別】仕事や職場への不安や不満の有無



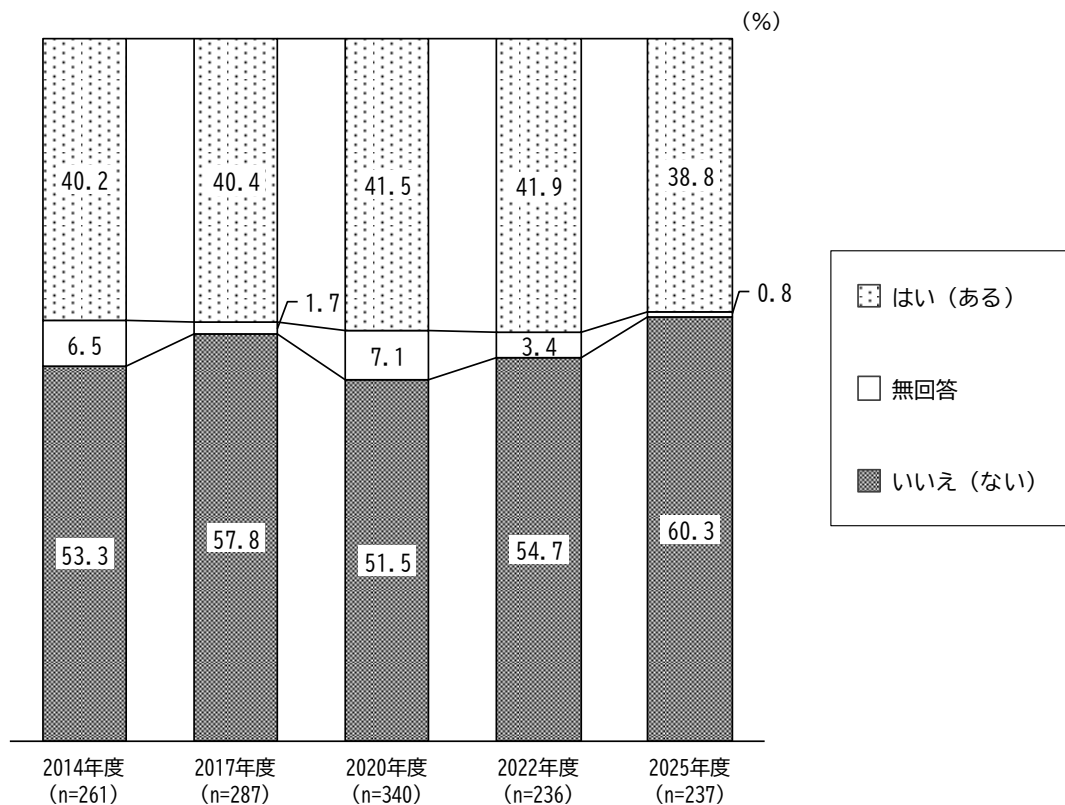
現在、就労されている方に仕事の不安や不満の有無をきいたところ、全体としては「いいえ（ない）」が約6割となっているが、精神障害者保健福祉手帳所持者で「はい（ある）」が約5割と高くなっており、「いいえ（ない）」を上回っている。

図 5-10 【就労形態別】仕事や職場への不安や不満の有無



仕事の不安や不満の有無を就労形態別でみると、「常勤の会社員、公務員、団体職員」と「アルバイト、パート、非常勤職員」で「はい（ある）」が4割台前半となっている。

図 5-11 【経年比較】仕事や職場への不安や不満の有無



仕事や職場への不安や不満の有無を経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度と比べ、「いいえ（ない）」が 5.6 ポイント増加している。

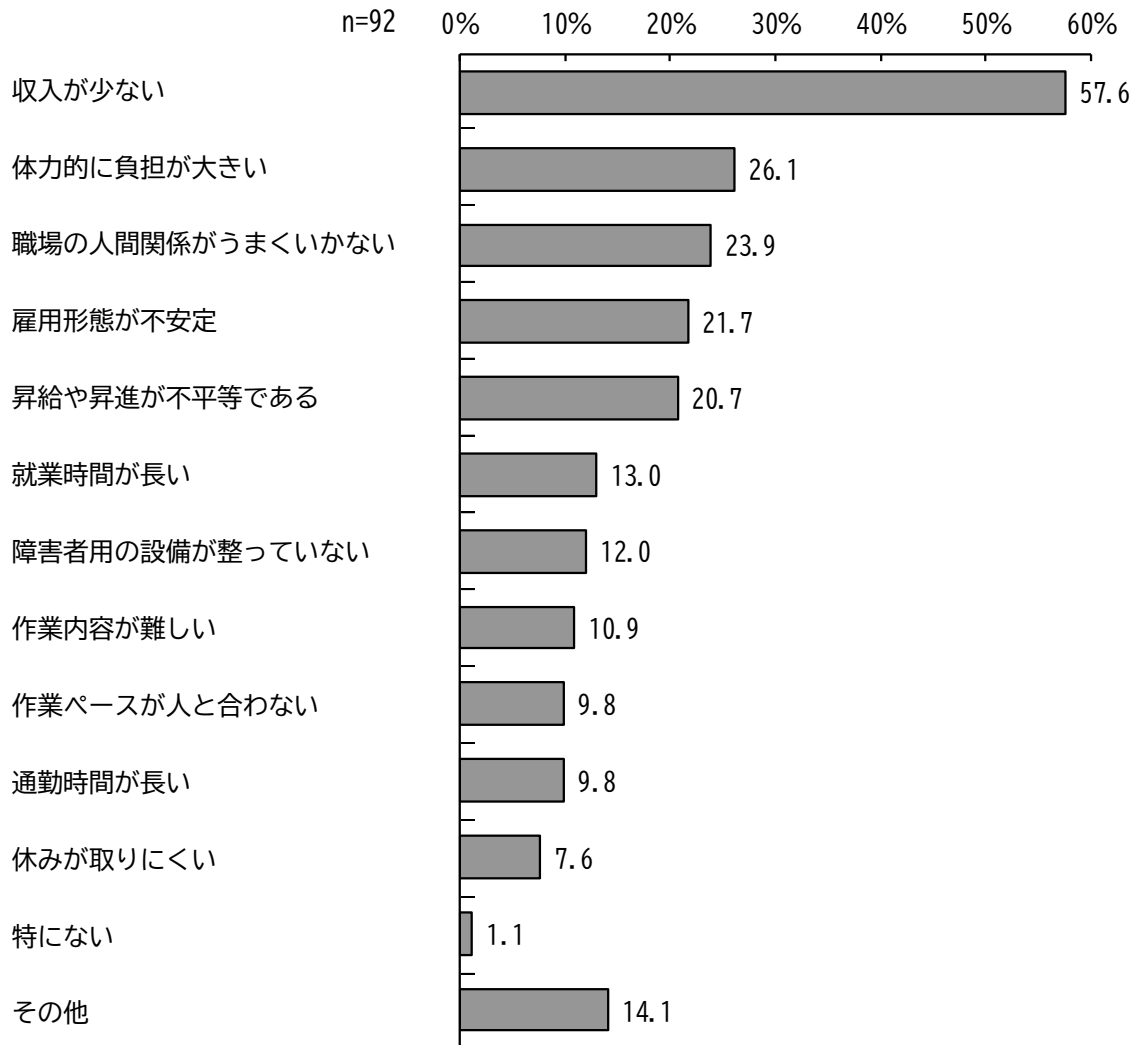
5.1.3.1. 仕事や職場への不安や不満

◆仕事や職場への不安や不満は「収入が少ない」が最も高い

(問 21-3 で「1. はい」とお答えの方に)

問 21-3-1. あなた（あて名の方ご本人）は、現在の仕事に関してどのような不安や不満がありますか。（あてはまるものすべてに○）

図 5-12 仕事や職場への不安や不満



仕事や職場への不安や不満があると回答した方に、その内容をきいたところ、「収入が少ない」が最も高くなっており、次いで「体力的に負担が大きい」「職場の人間関係がうまくいかない」「雇用形態が不安定」となっている。

図 5-13 【所持手帳別】上位 5 項目 仕事や職場への不安や不満

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=25	収入が少ない 56.0	昇給や昇進が不 平等である 28.0	体力的に負担が 大きい 24.0	職場の人間関係がうまくいかない ／障害者用の設備が整っていない	20.0
身体障害者手帳（重度） n=26	収入が少ない 50.0	体力的に負担が大きい／ 昇給や昇進が不平等である 23.1	休みが取りにくい／ 障害者用の設備が整っていない	19.2	
愛の手帳 n=7	収入が少ない 71.4	雇用形態が不安 定 28.6	作業内容が難しい／職場の人間関係がうまくいかない ／障害者用の設備が整っていない	14.3	
精神障害者保健福祉手帳 n=36	収入が少ない 66.7	体力的に負担が 大きい 30.6	職場の人間関係がうまくいかない ／雇用形態が不安定 27.8	作業ペースが人 と合わない 22.2	

仕事や職場への不安や不満の内容を所持手帳別でみると、いずれの手帳所持者も「収入が少ない」の割合が最も高くなっている。

図 5-14 【経年比較】上位 5 項目 仕事や職場への不安や不満

<身体障害者手帳>

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度（軽度） n=25	収入が少ない 56.0	昇給や昇進が不 平等である 28.0	体力的に負担が 大きい 24.0	職場の人間関係がうまくいかない ／障害者用の設備が整っていない	20.0
2025年度（重度） n=26	収入が少ない 50.0	体力的に負担が大きい／ 昇給や昇進が不平等である 23.1	休みが取りにくい／ 障害者用の設備が整っていない	19.2	
2022年度（軽度） n=36	収入が少ない 63.9	体力的に負担が 大きい 30.6	就業時間が長い 25.0	昇給や昇進が不 平等である 19.4	雇用形態が不安 定 16.7
2022年度（重度） n=26	収入が少ない 42.3	職場の人間関係がうまくいかない ／体力的に負担が大きい 23.1	就業時間が長い 19.2	作業内容が難しい ／休みが取りにく い／作業ペースが 人と合わない／昇 給や昇進が不平等 である 11.5	
2020年度（軽度） n=42	収入が少ない 47.6	体力的に負担が 大きい 16.7	休みが取りにく い 14.3	昇給や昇進が不 平等である 11.9	雇用形態が不安 定 9.5
2020年度（重度） n=41	収入が少ない 43.9	体力的に負担が 大きい 26.8	職場の人間関係 がうまくいかな い 14.6	昇給や昇進が不 平等である 12.2	雇用形態が不安 定 9.8
2017年度（軽度） n=48	収入が少ない 43.8	体力的に負担が 大きい 33.3	休みが取りにくい／昇給や昇進が 不平等である 22.9	就業時間が長い 20.8	
2017年度（重度） n=37	収入が少ない 56.8	昇給や昇進が不 平等である 32.4	休みが取りにく い 29.7	雇用形態が不安 定 24.3	体力的に負担が 大きい 21.6
2014年度（軽度） n=29	収入が少ない 69.0	体力的に負担が 大きい 31.0	昇給や昇進が不 平等である 27.6	休みが取りにく い 24.1	就業時間が長い／ 雇用形態が不安定 20.7
2014年度（重度） n=21	収入が少ない 57.1	体力的に負担が大きい／雇用形態 が不安定 14.3	休みが取りにくい／就業時間が長い ／職場の人間関係がうまくいかない ／通勤時間が長い 9.5		

<愛の手帳>

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2025年度 n=7	収入が少ない 71.4	雇用形態が不安定 28.6	作業内容が難しい／職場の人間関係がうまくいかない／障害者用の設備が整っていない 14.3		
2022年度 n=12	収入が少ない 66.7	作業内容が難しい／就業時間が長い 16.7	休みが取りにくい／体力的に負担が大きい／障害者用の設備が整っていない／昇給や昇進が不平等である 8.3		
2020年度 n=26	収入が少ない 46.2	体力的に負担が大きい 11.5	作業内容が難しい／作業ペースが人と合わない／雇用形態が不安定／昇給や昇進が不平等である／通勤時間が長い 7.7		
2017年度 n=18	収入が少ない 55.6	体力的に負担が大きい 22.2	休みが取りにくい／職場の人間関係がうまくいかない 16.7	通勤時間が長い 11.1	
2014年度 n=28	収入が少ない 46.4	職場の人間関係がうまくいかない 32.1	作業ペースが人と合わない／障害者用の設備が整っていない／通勤時間が長い 17.9		

<精神障害者保健福祉手帳>

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2025年度 n=36	収入が少ない 66.7	体力的に負担が大きい 30.6	職場の人間関係がうまくいかない／雇用形態が不安定 27.8		作業ペースが人と合わない 22.2
2022年度 n=33	収入が少ない 54.5	体力的に負担が大きい 39.4	職場の人間関係がうまくいかない 33.3	就業時間が長い 27.3	休みが取りにくい 24.2
2020年度 n=38	収入が少ない 60.5	職場の人間関係がうまくいかない 31.6	体力的に負担が大きい 21.1	雇用形態が不安定／昇給や昇進が不平等である 18.4	
2017年度 n=21	収入が少ない 76.2	体力的に負担が大きい 42.9	休みが取りにくい／職場の人間関係がうまくいかない 38.1	雇用形態が不安定 23.8	
2014年度 n=34	収入が少ない 76.5	雇用形態が不安定 47.1	体力的に負担が大きい 29.4	職場の人間関係がうまくいかない 23.5	休みが取りにくい／就業時間が長い 20.6

仕事や職場への不安や不満の内容を経年比較でみると、すべての手帳所持者においていずれの年度も「収入が少ない」が最も高くなっている。

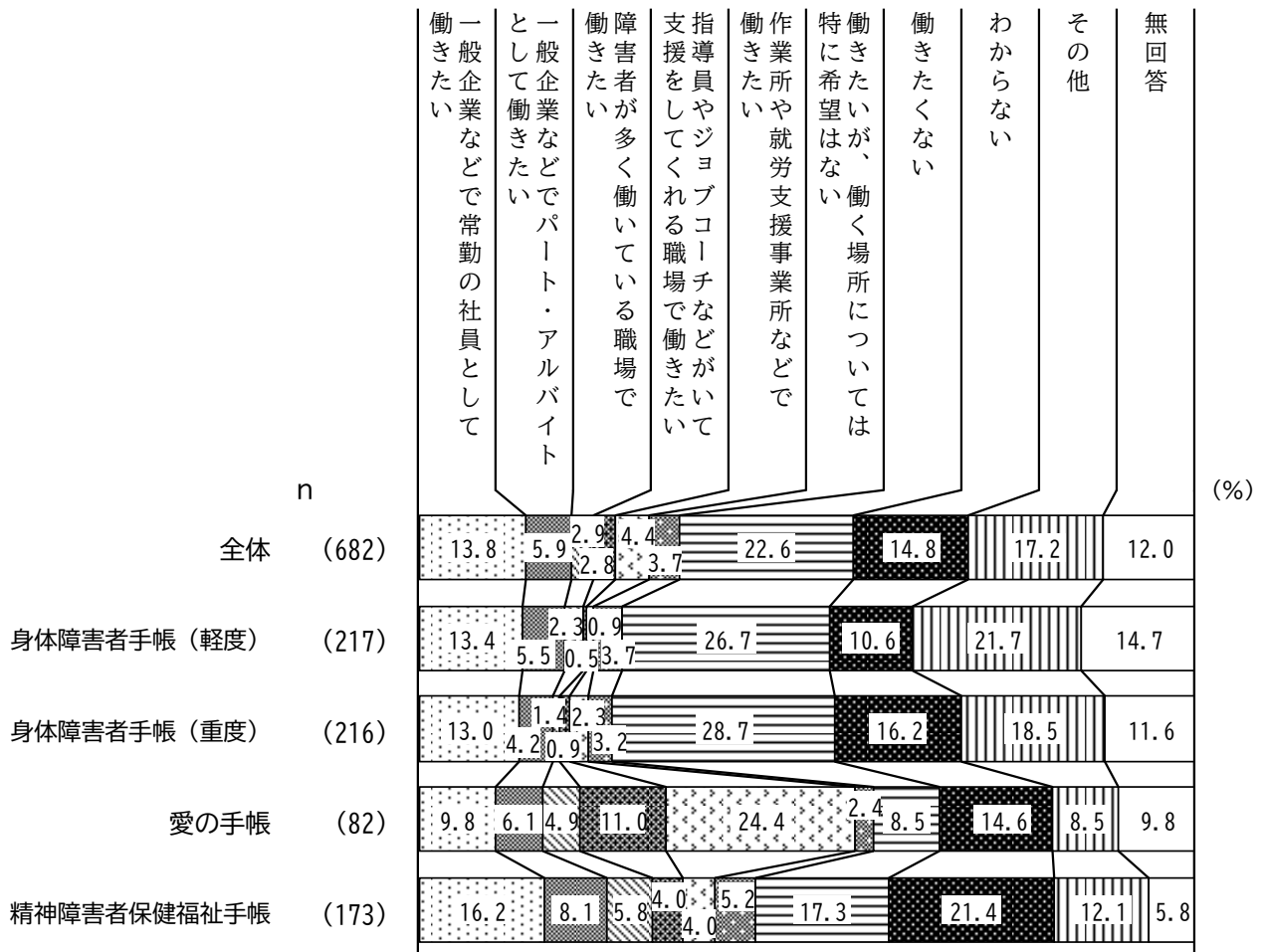
5.2. 希望する働き方

◆希望する働き方は、「一般企業などで常勤の社員として働きたい」が1割台前半

(全員の方に)

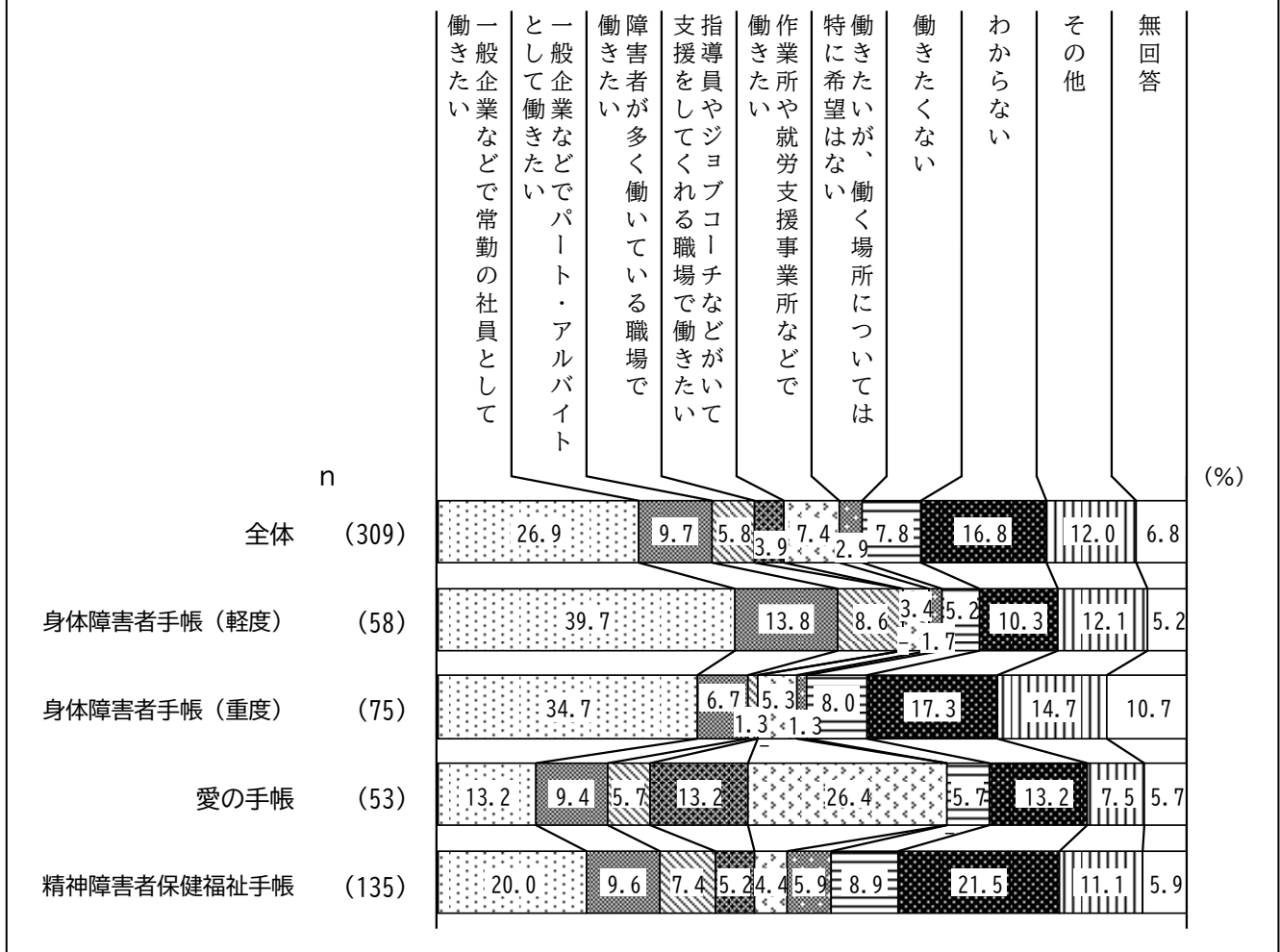
問 22. あなた（あて名の方のご本人）は、今後、どのように働きたいと思いますか。（○は1つ）

図 5-15 【所持手帳別】希望する働き方



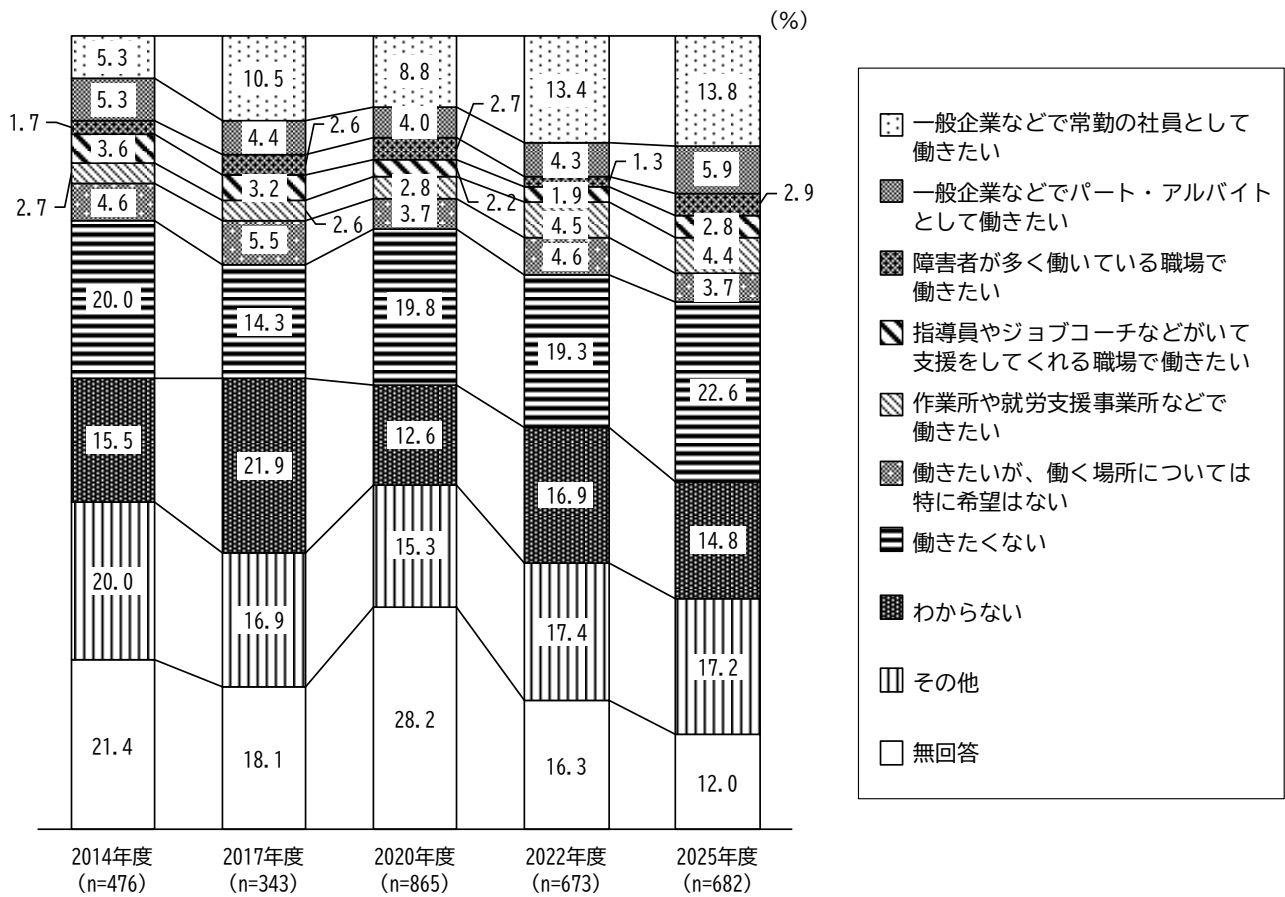
現在、就労されていない方に希望する働き方をきいたところ、全体では「働きたくない」が2割台前半で最も高く、「働きたい」の中では、「一般企業などで常勤の社員として働きたい」が1割台前半と最も高くなっている。所持手帳別では、愛の手帳所持者で「作業所や就労支援事業所などで働きたい」が2割半ばで最も高くなっている。

図 5-16 【所持手帳別】生産年齢人口（15 歳以上 65 歳未満）の希望する働き方



生産年齢人口の希望する働き方をきいたところ、身体障害者手帳所持者（軽度・重度）では「一般企業などで常勤の社員として働きたい」、愛の手帳所持者では「作業所や就労支援事業所などで働きたい」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「わからない」が最も高くなっている。

図 5-17 【経年比較】希望する働き方



希望する働き方を経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度と比べ大きな変化はみられない。

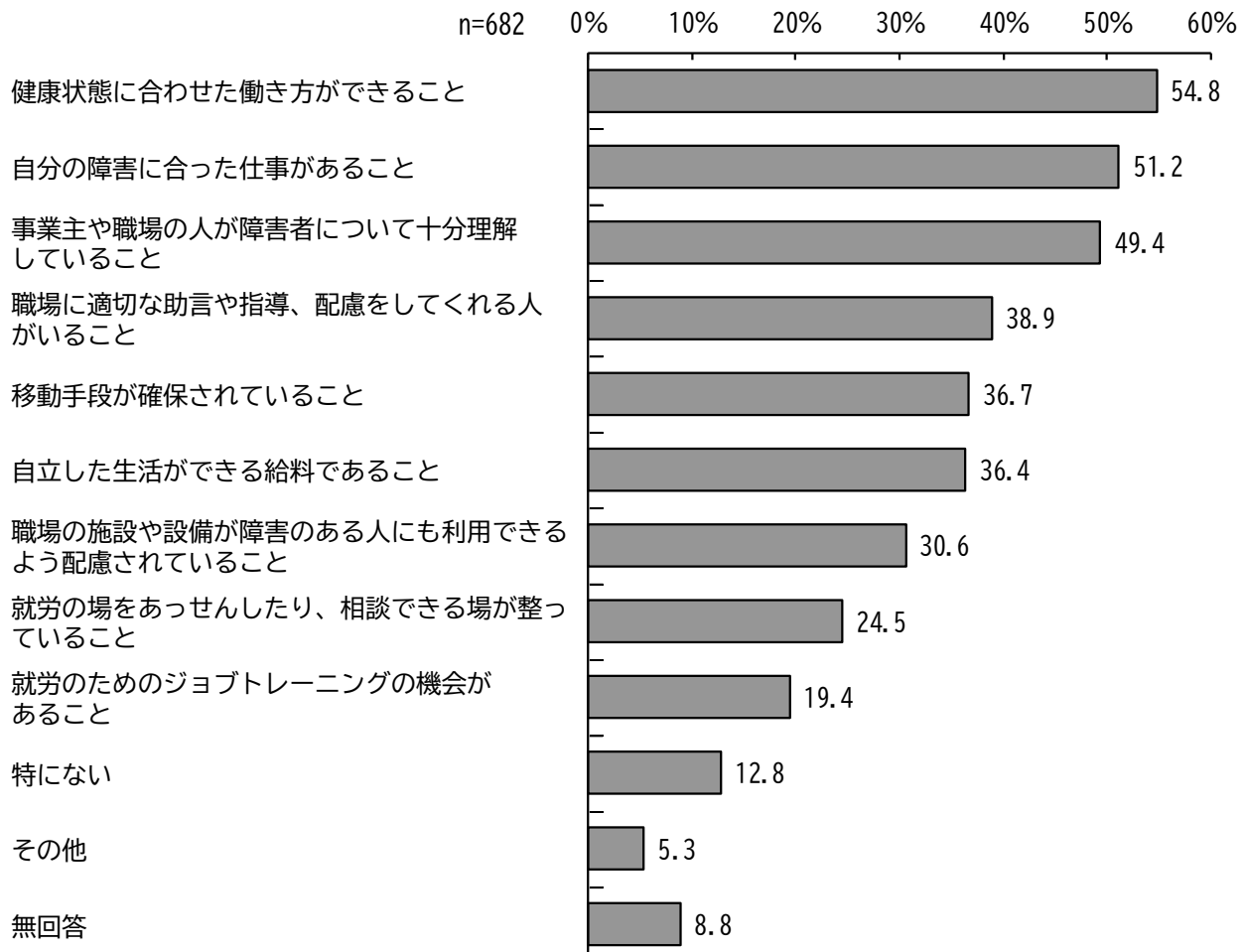
5.3. 障害者が働くための環境整備

◆働く環境として大切なことは「健康状態に合わせた働き方ができること」が最も高い

(全員の方に)

問 23. あなた（あて名の方ご本人）は、障害者が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

図 5-18 障害者が働くための環境整備



障害者が働くために大切な環境整備は、「健康状態に合わせた働き方ができること」が最も高くなっており、次いで「自分の障害に合った仕事があること」「事業主や職場の人が障害者について十分理解していること」「職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること」となっている。

図 5-19 【所持手帳別】上位 5 項目 障害者が働くための環境整備

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=217	健康状態に合わせた働き方ができること 54.8	自分の障害に合った仕事があること 47.5	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 43.8	移動手段が確保されていること 38.2	自立した生活ができる給料であること 34.6
身体障害者手帳（重度） n=216	健康状態に合わせた働き方ができること 48.6	自分の障害に合った仕事があること 44.4	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 43.5	移動手段が確保されていること 39.4	職場の施設や設備が障害のある人にも利用できるような配慮されていること 30.1
愛の手帳 n=82	自分の障害に合った仕事があること 64.6	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 63.4	職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること 57.3	健康状態に合わせた働き方ができること 46.3	移動手段が確保されていること 45.1
精神障害者保健福祉手帳 n=173	健康状態に合わせた働き方ができること 70.5	自分の障害に合った仕事があること 63.0	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 58.4	職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること 53.8	自立した生活ができる給料であること 53.2

障害者が働くための環境整備を所持手帳別に見ると、身体障害者手帳所持者や精神障害者保健福祉手帳所持者では「健康状態に合わせた働き方ができること」が、愛の手帳所持者では「自分の障害に合った仕事があること」が最も高くなっている。

図 5-20 【経年比較】上位 5 項目 障害者が働くための環境整備

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=682	健康状態に合わせた働き方ができること 54.8	自分の障害に合った仕事があること 51.2	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 49.4	職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること 38.9	移動手段が確保されていること 36.7
2022年度 n=673	健康状態に合わせた働き方ができること 50.7	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 48.7	自分の障害に合った仕事があること 44.6	自立した生活ができる給料であること 37.7	移動手段が確保されていること 34.5
2020年度 n=865	健康状態に合わせた働き方ができること 50.2	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 48.2	自分の障害に合った仕事があること 44.6	職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること 36.1	自立した生活ができる給料であること 34.7
2017年度 n=645	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 58.0	健康状態に合わせた働き方ができること 55.3	自分の障害に合った仕事があること 50.7	職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること 43.4	自立した生活ができる給料であること 41.6
2014年度 n=772	事業主や職場の人が障害者について十分理解していること 51.0	健康状態に合わせた働き方ができること 48.3	自分の障害に合った仕事があること 47.8	職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること 40.2	自立した生活ができる給料であること 37.7

障害者が働くための環境整備を経年比較で見ると、いずれの年度においても、「健康状態に合わせた働き方ができること」「事業主や職場の人が障害者について十分理解していること」「自分の障害に合った仕事があること」が上位 3 位にあげられている。

6. 健康福祉サービスについて

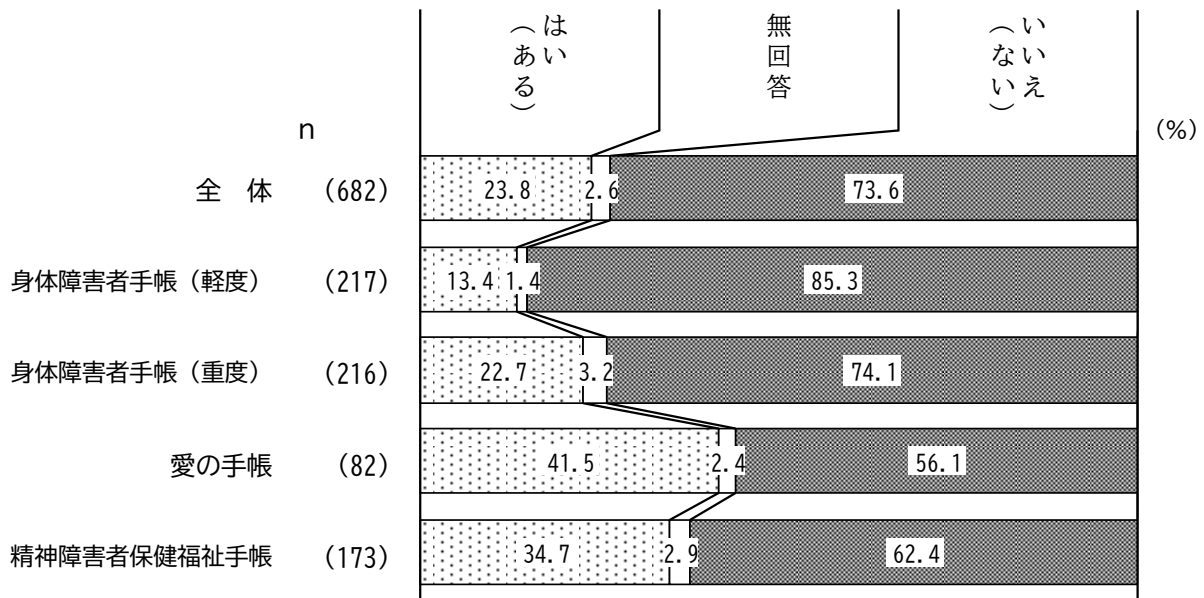
6.1. 相談サービスの利用有無

◆相談サービスの利用は愛の手帳所持者では「ある」が約4割

(全員の方に)

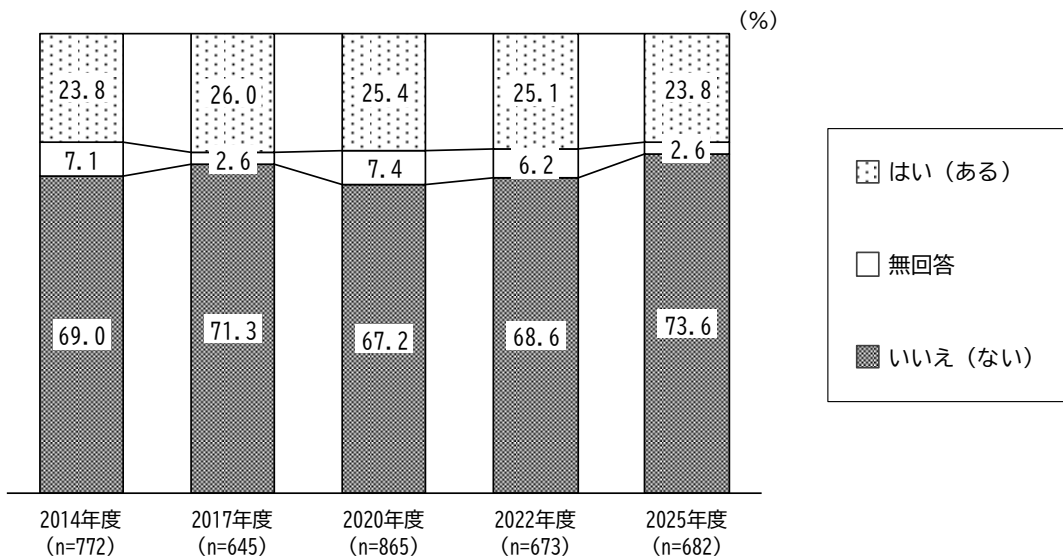
問 24. あなた(あて名の方ご本人)は、過去1年の間に、相談サービスを利用したことがありますか。
(○は1つ)

図 6-1 【所持手帳別】相談サービスの利用有無



過去1年間の相談サービスの利用の有無は、「はい(ある)」が愛の手帳所持者で約4割となっている。

図 6-2 【経年比較】相談サービスの利用有無



過去1年間の相談サービスの利用の有無を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「いいえ(ない)」が5ポイント増加している。

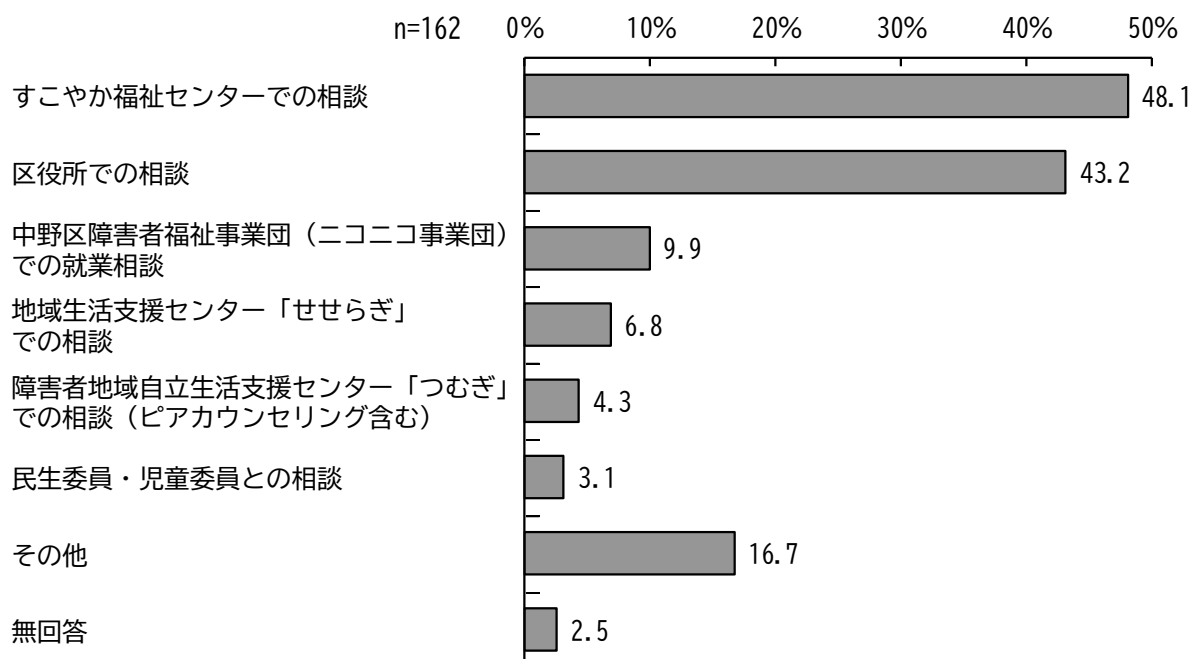
6.1.1. 利用した相談サービス

◆利用した相談サービスは「すこやか福祉センターでの相談」が4割台後半

(問 24 で「1. はい」とお答えの方に)

問 24-1. 利用した相談サービスをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図 6-3 利用した相談サービス



相談サービスを利用したと回答した方に、利用したサービスをきいたところ、「すこやか福祉センターでの相談」と「区役所での相談」が4割台で高くなっており、次いで「中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談」「地域生活支援センター『せせらぎ』での相談」となっている。

図 6-4 【所持手帳別】上位 5 項目 利用した相談サービス

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=29	区役所での相談 72.4	すこやか福祉センターでの相談 34.5	民生委員・児童委員との相談 6.9	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談／中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 3.4	
身体障害者手帳（重度） n=49	区役所での相談 46.9	すこやか福祉センターでの相談 44.9	中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 10.2	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む）／地域生活支援センター「せせらぎ」での相談／民生委員・児童委員との相談 4.1	
愛の手帳 n=34	すこやか福祉センターでの相談 61.8	区役所での相談 20.6	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む）／中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 5.9	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談／民生委員・児童委員との相談 2.9	
精神障害者保健福祉手帳 n=60	すこやか福祉センターでの相談 46.7	区役所での相談 38.3	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談／中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 15.0	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む） 3.3	

利用した相談サービスを所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者では「区役所での相談」が、他の手帳所持者では「すこやか福祉センターでの相談」が最も高くなっている。

図 6-5 【経年比較】上位 5 項目 利用した相談サービス

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=162	すこやか福祉センターでの相談 48.1	区役所での相談 43.2	中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 9.9	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 6.8	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む） 4.3
2022年度 n=169	すこやか福祉センターでの相談 53.3	区役所での相談 44.4	中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 10.1	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 9.5	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む） 3.0
2020年度 n=220	すこやか福祉センターでの相談 52.7	区役所での相談 38.2	中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 11.4	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 8.6	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む） 2.7
2017年度 n=168	区役所での相談 51.8	すこやか福祉センターでの相談 48.8	中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 13.7	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 7.7	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む） 4.8
2014年度 n=184	区役所での相談 49.5	すこやか福祉センターでの相談 39.7	中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）での就業相談 17.9	地域生活支援センター「せせらぎ」での相談 11.4	障害者地域自立生活支援センター「つむぎ」での相談（ピアカウンセリング含む） 3.8

利用した相談サービスを経年比較でみると、上位 5 位のサービスに変化はないが、2020 年度以降は「すこやか福祉センターでの相談」が第 1 位となっている。

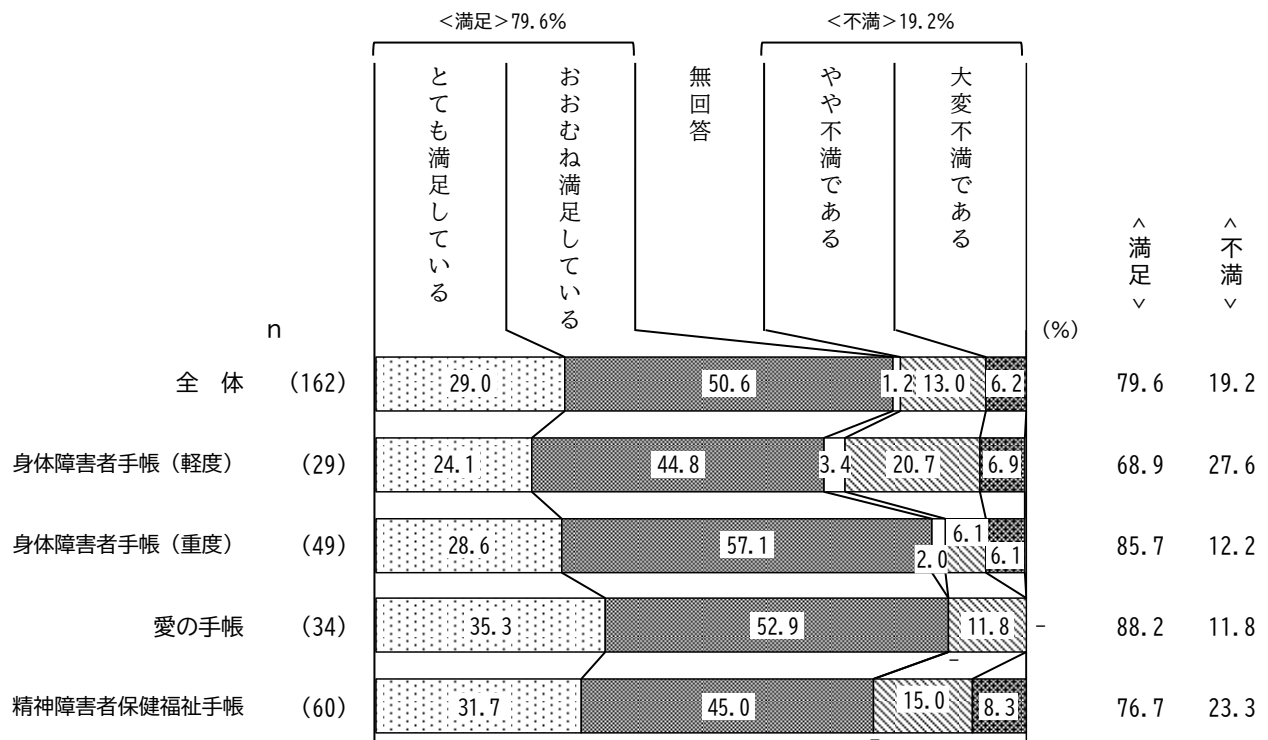
6.1.2. 相談サービスの満足度

◆利用した相談サービスの満足度は＜満足＞が約8割

(問 24 で「1. はい」とお答えの方に)

問 24-2. 利用した相談サービスについて満足していますか。(○は1つ)

図 6-6 【所持手帳別】相談サービスの満足度



利用した相談サービスの満足度は、＜満足＞が約8割で、特に愛の手帳所持者では8割台後半と高くなっている。

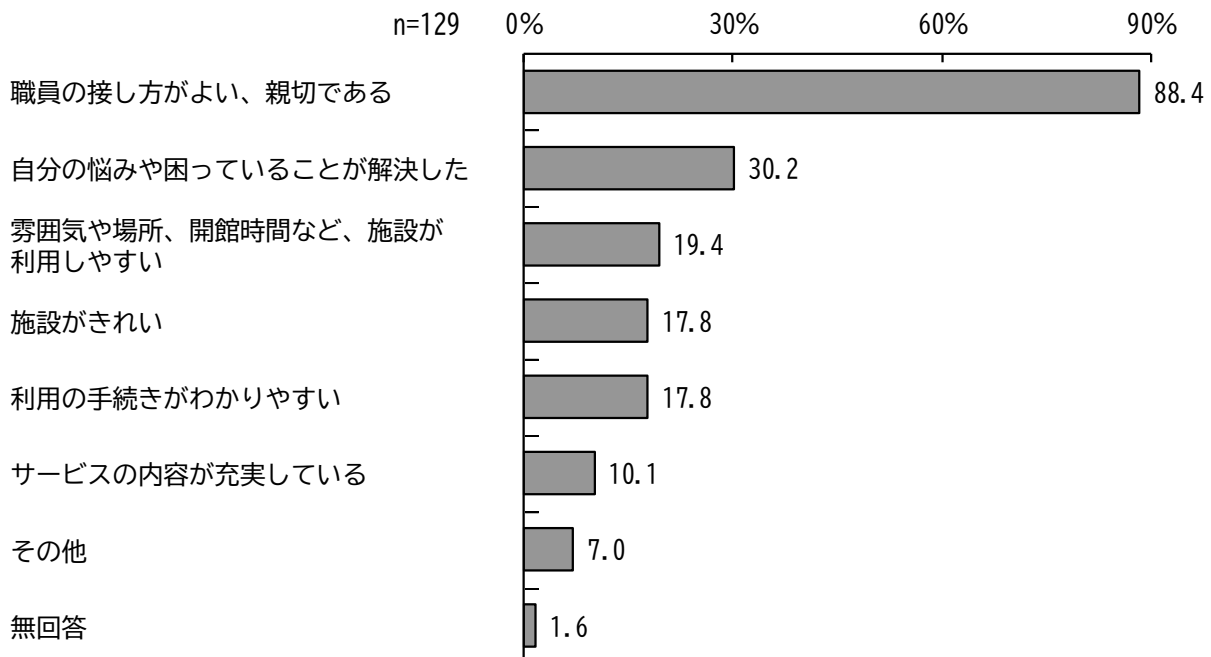
6.1.2.1. 相談サービスの満足の理由

◆相談サービスの満足の理由は「職員の接し方がよい、親切である」が8割台後半

(問 24-2 で「1. とても満足している」または「2. おおむね満足している」とお答えの方に)
問 24-2-1. 理由としてあてはまるものを、次の中から選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

図 6-7 相談サービスの満足の理由



相談サービスに＜満足＞と回答した方に、その理由をきいたところ、「職員の接し方がよい、親切である」が8割台後半と最も高くなっており、次いで「自分の悩みや困っていることが解決した」「雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しやすい」「施設がきれい」となっている。

図 6-8 【所持手帳別】上位 5 項目 相談サービスの満足の理由

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=20	職員の接し方が よい、親切である 100.0	自分の悩みや 困っていること が解決した 35.0	雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しやすい ／施設がきれい／利用の手続きがわかりやすい 20.0		
身体障害者手帳（重度） n=42	職員の接し方が よい、親切である 90.5	自分の悩みや 困っていること が解決した 31.0	施設がきれい 14.3	利用の手続きが わかりやすい 11.9	雰囲気や場所、 開館時間など、 施設が利用しや すい 7.1
愛の手帳 n=30	職員の接し方が よい、親切である 80.0	雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しやすい／自分の悩みや困っていることが解決した 20.0	利用の手続きが わかりやすい 16.7	施設がきれい／ サービスの内容 が充実している 13.3	
精神障害者保健福祉手帳 n=46	職員の接し方が よい、親切である 87.0	自分の悩みや 困っていること が解決した 34.8	雰囲気や場所、 開館時間など、 施設が利用しや すい 26.1	施設がきれい／ 利用の手続きがわかりやすい 21.7	

利用した相談サービスの満足の理由を所持手帳別でみると、いずれの手帳所持者でも「職員の接し方がよい、親切である」が最も高くなっている。

6.1.2.2. 相談サービスの不満の理由

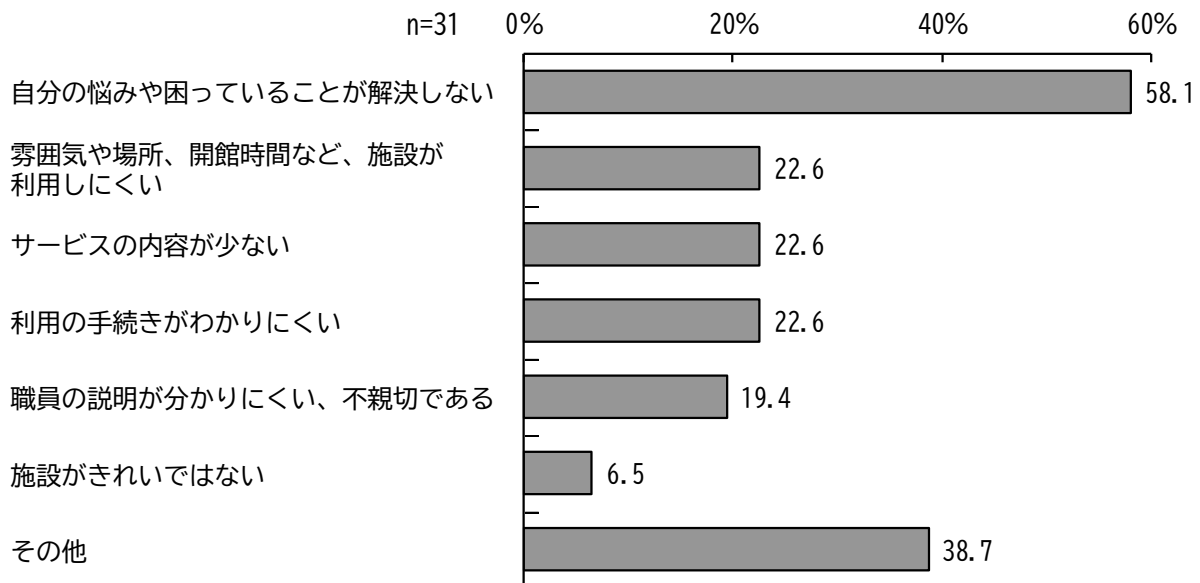
◆相談サービスの不満の理由は「自分の悩みや困っていることが解決しない」が5割台後半

(問 24-2 で「3. やや不満である」または「4. 大変不満である」とお答えの方に)

問 24-2-2. 理由としてあてはまるものを、次の中から選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

図 6-9 相談サービスの不満の理由



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

図 6-10 【所持手帳別】上位 5 項目 相談サービスの不満の理由

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳（軽度） n=8	自分の悩みや困っていることが解決しない 37.5	雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しにくい／利用の手続きがわかりにくい	サービスの内容が少ない 25.0	職員の説明が分かりにくい、不親切である／施設がきれいではない	—
身体障害者手帳（重度） n=6	自分の悩みや困っていることが解決しない／利用の手続きがわかりにくい 50.0	サービスの内容が少ない 33.3	職員の説明が分かりにくい、不親切である／雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しにくい	16.7	—
愛の手帳 n=4	自分の悩みや困っていることが解決しない 75.0	サービスの内容が少ない／利用の手続きがわかりにくい 25.0	職員の説明が分かりにくい、不親切である／雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しにくい／施設がきれいではない	—	—
精神障害者保健福祉手帳 n=14	自分の悩みや困っていることが解決しない 64.3	職員の説明が分かりにくい、不親切である 35.7	雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しにくい／利用の手続きがわかりにくい 21.4	サービスの内容が少ない 14.3	—

基数が少ないため、図は参考として掲載する。

6.2. 障害福祉サービス

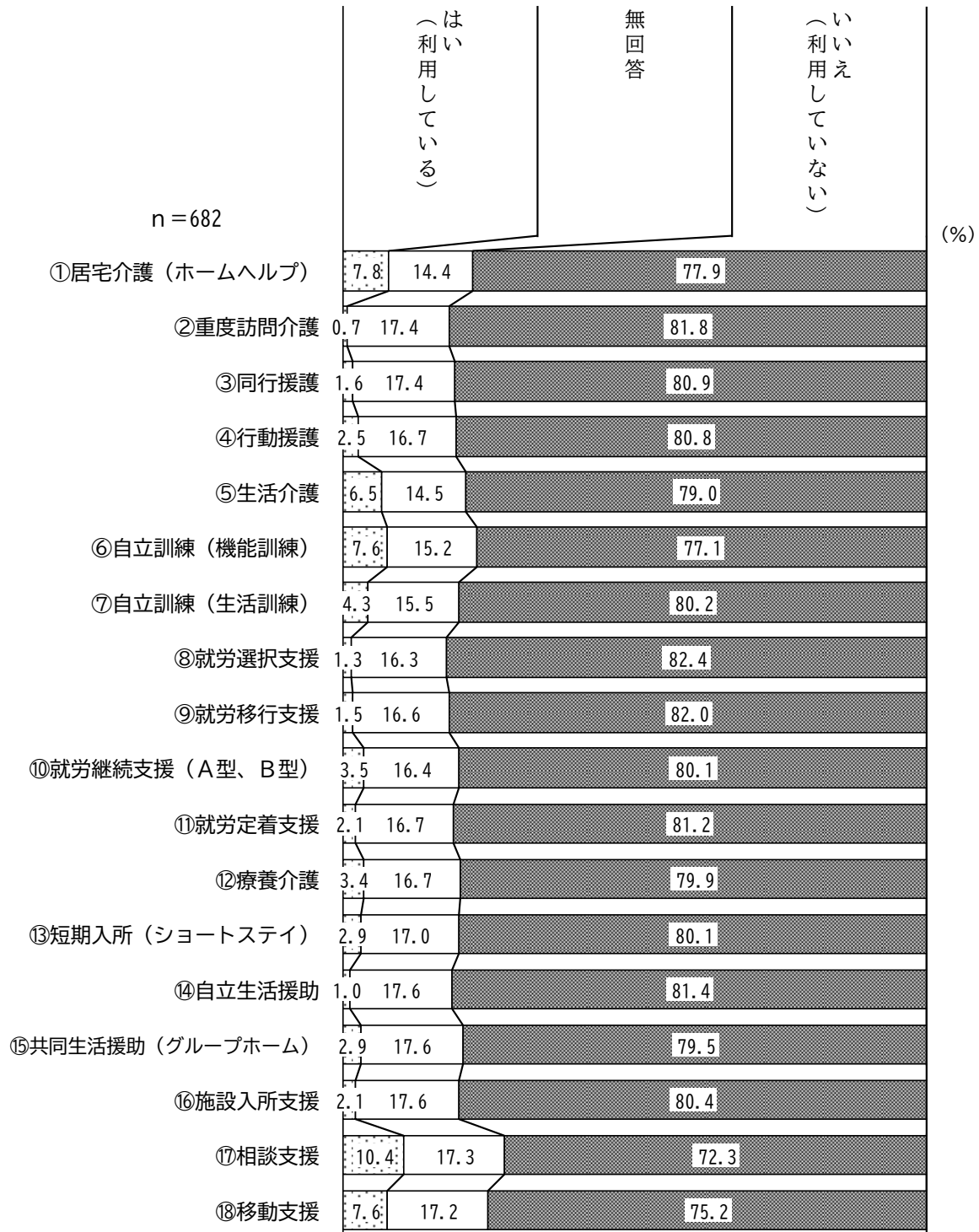
6.2.1. 障害福祉サービスの利用状況

◆障害福祉サービスの利用は「相談支援」が多い

(全員の方に)

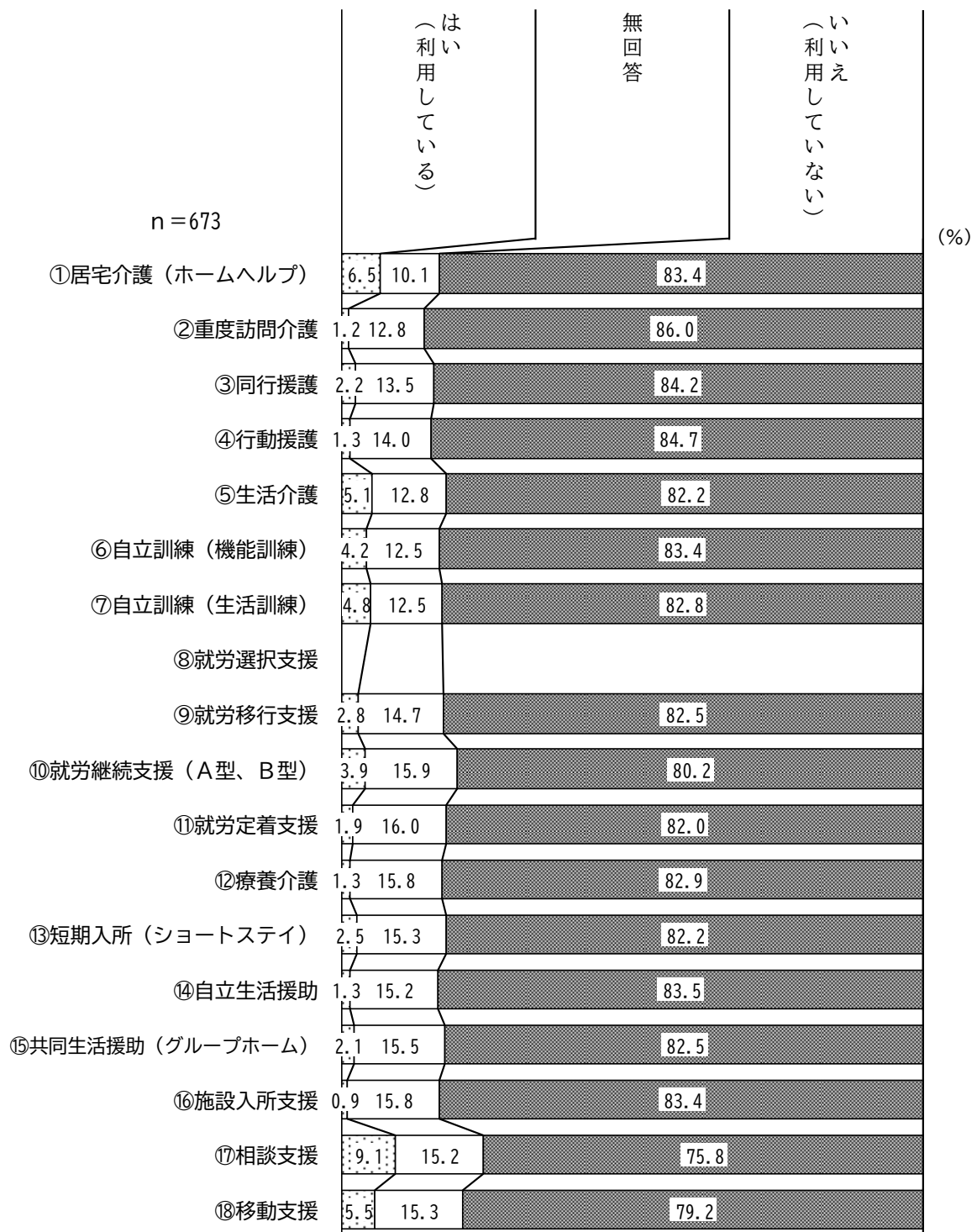
問 25. あなた(あて名の方ご本人)は、次のサービスを利用していますか。(それぞれ○は1つ)

図 6-11 障害福祉サービスの利用状況 (2025 年度)



障害福祉サービスの利用状況は、全体として利用は少ないが、多いものから「相談支援」「居宅介護 (ホームヘルプ)」「自立訓練 (機能訓練)」「移動支援」の順となっている。

図 6-12 障害福祉サービスの利用状況（2022 年度）



※⑧就労選択支援は 2025 年度から追加

障害福祉サービスの利用状況は、2025 年度は 2022 年度と比べてサービスごとに増減はあるが、大きな変化はみられない。

6.2.2. 障害福祉サービスの利用意向

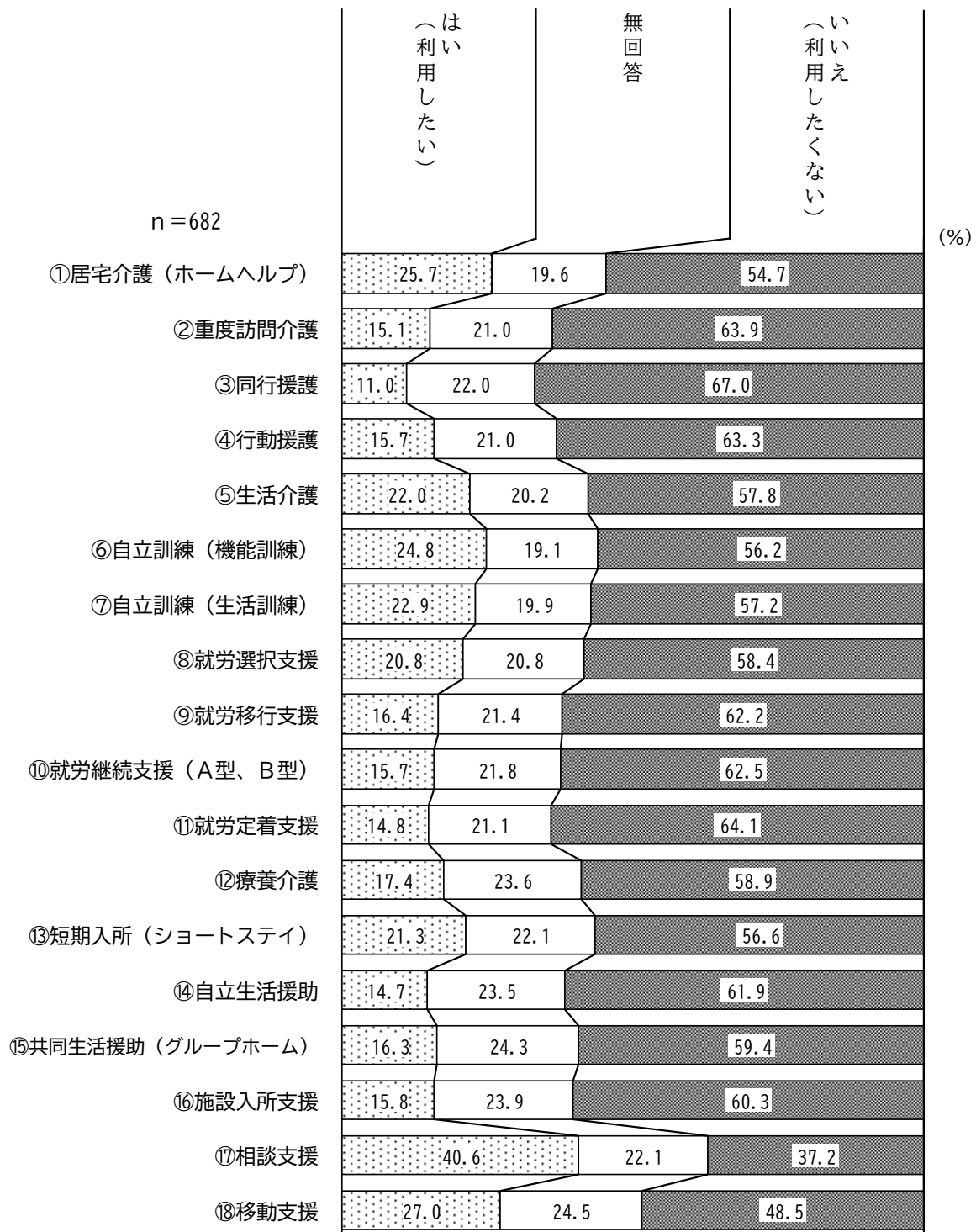
◆今後利用したい障害福祉サービスは「相談支援」が約4割

(全員の方に)

問 25. あなた(あて名の方ご本人)は、次のサービスを今後利用したいと考えますか。

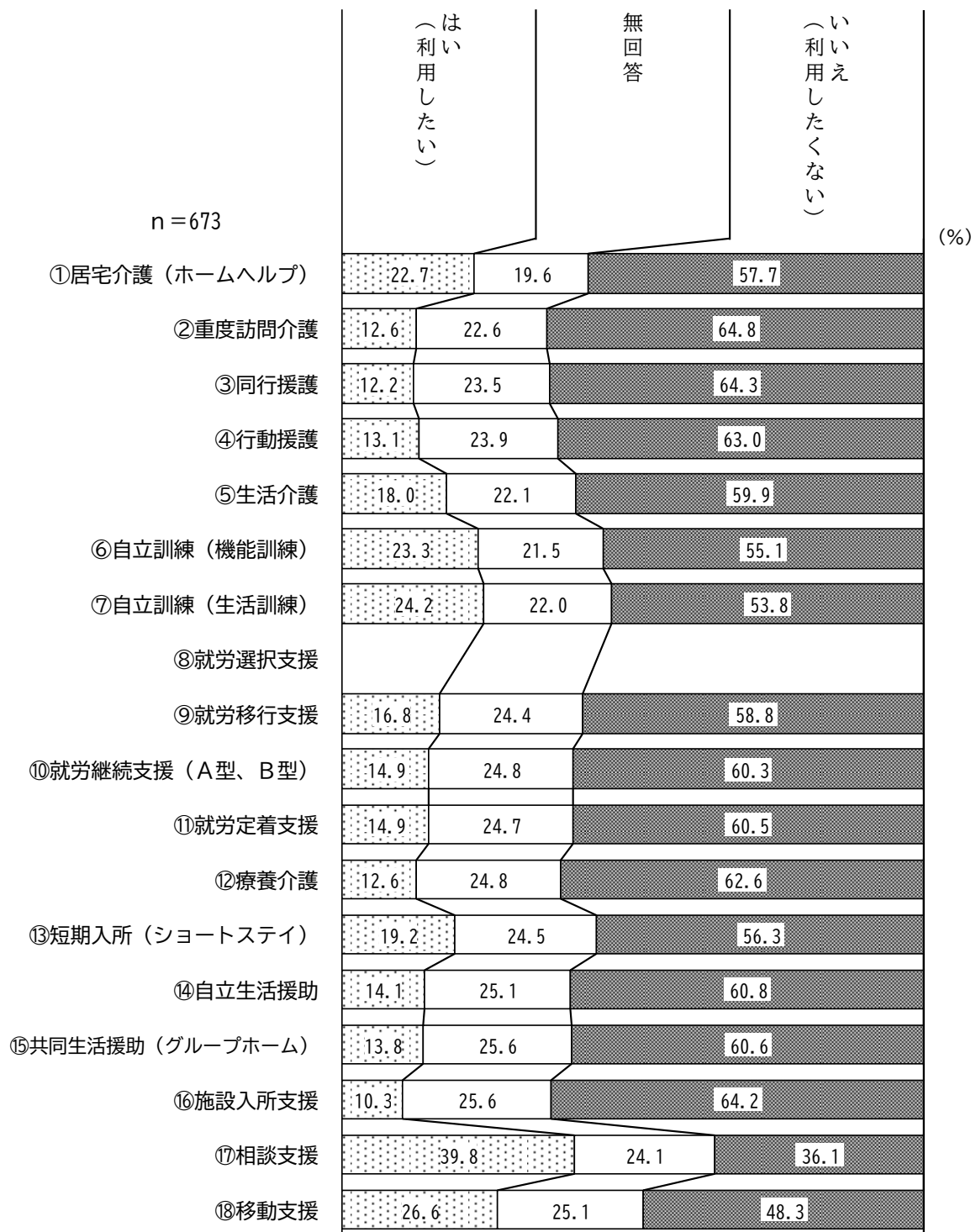
(それぞれ○は1つ)

図 6-13 障害福祉サービスの利用意向 (2025 年度)



今後利用したいサービスとしては、「相談支援」が約4割と最も高くなっている。

図 6-14 障害福祉サービスの利用意向（2022 年度）



※⑧就労選択支援は 2025 年度から追加

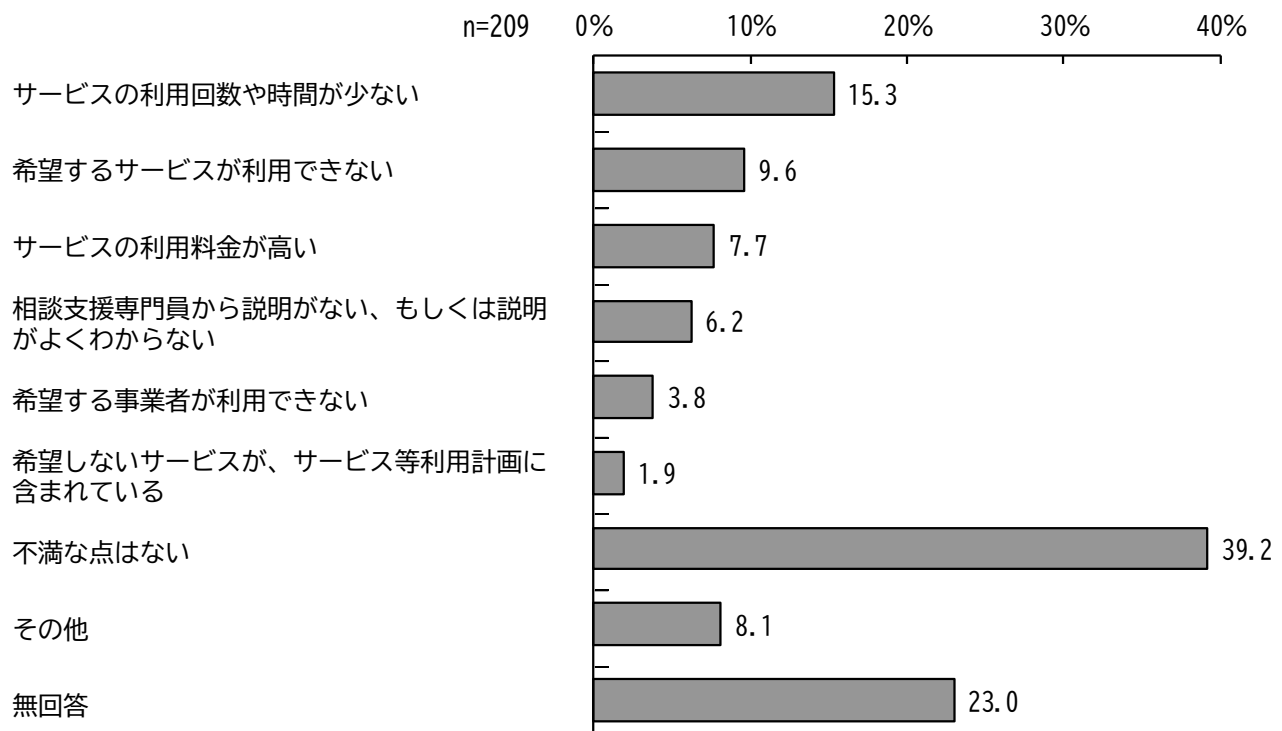
今後利用したいサービスは、2025 年度は 2022 年度に比べ、「施設入所支援」が 5.5 ポイント、「療養介護」が約 5 ポイント、「生活介護」が 4 ポイントの増加となっている。

6.2.3. サービス等利用計画について不満に思うこと

◆サービス等利用計画について、不満に思うことは「サービスの利用回数や時間が少ない」が1割半ば

（問25の「現在利用していますか」の設問で、1つ以上「1. はい」とお答えの方に）
 問25-1. あなた（あて名の方ご本人）がサービス等利用計画について、不満に思うことを次の中から選んでください。（あてはまるものすべてに○）

図 6-15 サービス等利用計画について不満に思うこと



サービス等利用計画については「不満な点はない」が最も高いが、不満に思う点の中では、「サービスの利用回数や時間が少ない」が1割半ばとなっており、次いで「希望するサービスが利用できない」「サービスの利用料金が低い」となっている。

図 6-16 【所持手帳別】上位 5 項目 サービス等利用計画について不満に思うこと (%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳（軽度） n=44	不満な点はない 20.5	サービスの利用回数や時間が少ない／サービスの利用料金が低い 18.2		希望するサービスが利用できない 11.4	相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない 6.8
身体障害者手帳（重度） n=78	不満な点はない 41.0	サービスの利用回数や時間が少ない 19.2	サービスの利用料金が低い 9.0	希望するサービスが利用できない 7.7	相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない 3.8
愛の手帳 n=46	不満な点はない 32.6	サービスの利用回数や時間が少ない 23.9	希望するサービスが利用できない 19.6	希望する事業者が利用できない 10.9	相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない 4.3
精神障害者保健福祉手帳 n=49	不満な点はない 53.1	相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない 16.3	サービスの利用回数や時間が少ない 8.2	希望するサービスが利用できない 4.1	希望する事業者が利用できない 2.0

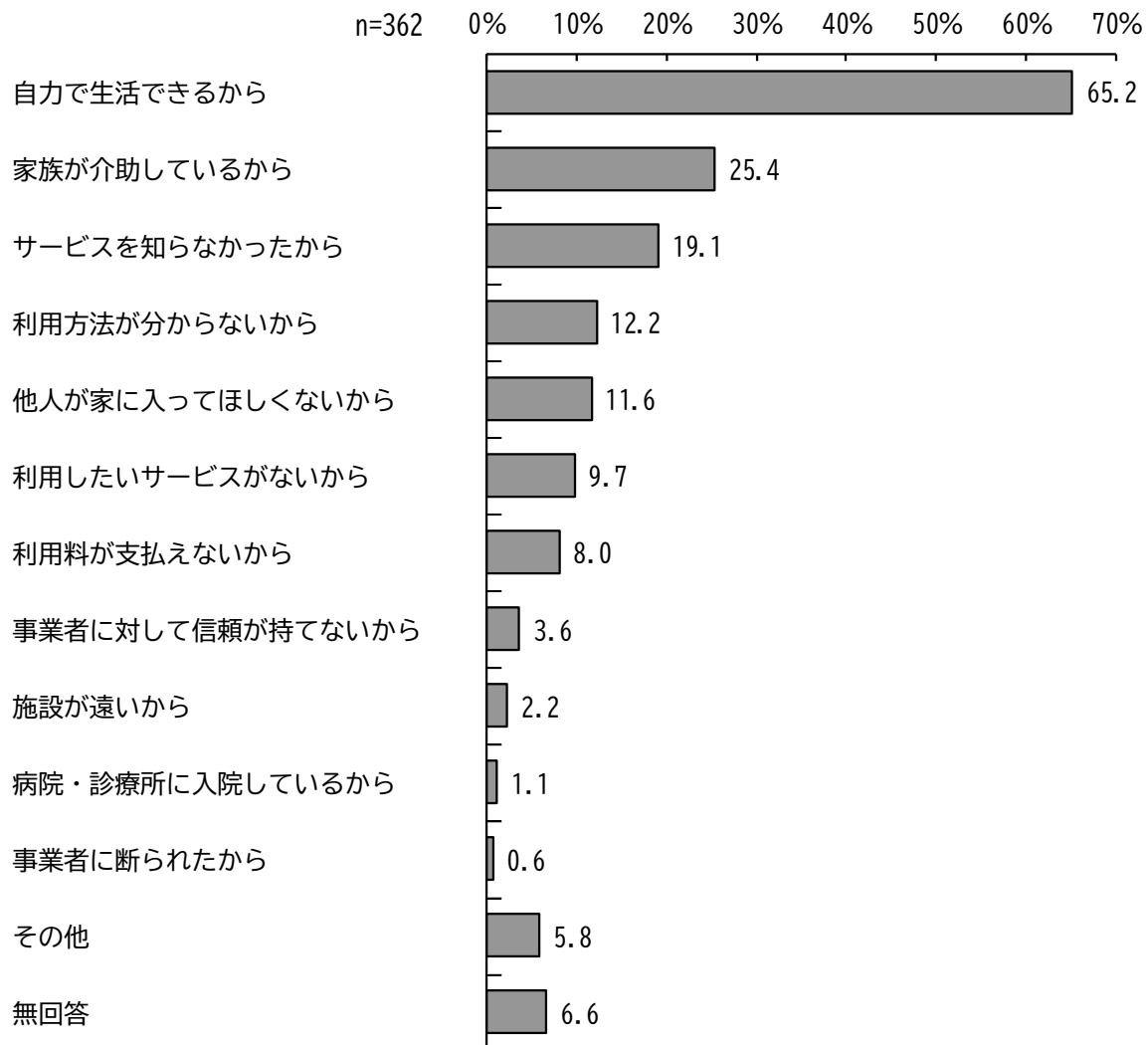
サービス等利用計画について不満に思うことを所持手帳別でみると、いずれの手帳所持者も「不満な点はない」が最も高いが、不満に思うことの中では、身体障害者手帳所持者（軽度）では「サービスの利用回数や時間が少ない／サービスの利用料金が低い」、身体障害者手帳所持者（重度）や愛の手帳所持者では「サービスの利用回数や時間が少ない」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよくわからない」が最も高くなっている。

6.2.4. 障害福祉サービスを利用していない理由

◆障害福祉サービスを利用していない理由は、「自力で生活できるから」が最も高い

(問 25 の「現在利用していますか」の設問で、全てに「2. いいえ」とお答えの方に)
問 25-2. 障害福祉サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図 6-17 障害福祉サービスを利用していない理由



障害福祉サービスを利用していない理由は、「自力で生活できるから」が6割半ばと最も高くなっている。

図 6-18 【所持手帳別】上位 5 項目 障害福祉サービスを利用していない理由

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=132	自力で生活できるから 75.0	家族が介助しているから／サービスを知らなかったから 16.7		利用方法が分からないから 11.4	他人が家に入っ てほしくないか ら 9.1
身体障害者手帳（重度） n=106	自力で生活できるから 73.6	家族が介助して いるから 31.1	サービスを知ら なかったから 9.4	利用したいサー ビスがないから 8.5	他人が家に入っ てほしくないか ら 7.5
愛の手帳 n=25	家族が介助して いるから 68.0	自力で生活でき るから 32.0	利用方法が分か らないから 8.0	他人が家に入っ てほしくないか ら／ 利用したいサー ビスがないから ／ 利用料が支払え ないから／サー ビスを 知らなかったか ら 4.0	
精神障害者保健福祉手帳 n=101	自力で生活できるから 49.5	サービスを知ら なかったから 38.6	家族が介助しているから／ 利用方法が分からないから 22.8		他人が家に入っ てほしくないか ら 20.8

障害福祉サービスを利用していない理由を所持手帳別でみると、愛の手帳所持者では「家族が介助しているから」が最も高く、他の手帳所持者で「自力で生活できるから」が最も高くなっている。

図 6-19 【経年比較】上位 5 項目 障害福祉サービスを利用していない理由

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=362	自力で生活できるから 65.2	家族が介助して いるから 25.4	サービスを知ら なかったから 19.1	利用方法が分か らないから 12.2	他人が家に入っ てほしくないから 11.6
2022年度 n=416	自力で生活できるから 61.5	家族が介助して いるから 25.5	サービスを知ら なかったから 16.8	利用方法が分か らないから 13.9	他人が家に入っ てほしくないから 9.9
2020年度 n=408	自力で生活できるから 65.7	家族が介助して いるから 26.7	利用方法が分か らないから 11.3	利用したいサー ビスがないから 10.3	サービスを知ら なかったから 9.8
2017年度 n=354	自力で生活できるから 58.8	家族が介助して いるから 25.7	サービスを知ら なかったから 14.7	利用したいサー ビスがないから 11.9	利用方法が分か らないから 11.3
2014年度 n=627	自力で生活できるから 37.5	家族が介助して いるから 27.6	利用方法が分か らないから 9.7	他人が家に入っ てほしくないから 9.3	サービスを知ら なかったから 8.8

障害福祉サービスを利用していない理由を経年比較でみると、いずれの年度においても「自力で生活できるから」が第 1 位、「家族が介助しているから」が第 2 位となっている。

6.3. 障害福祉に関する情報入手元

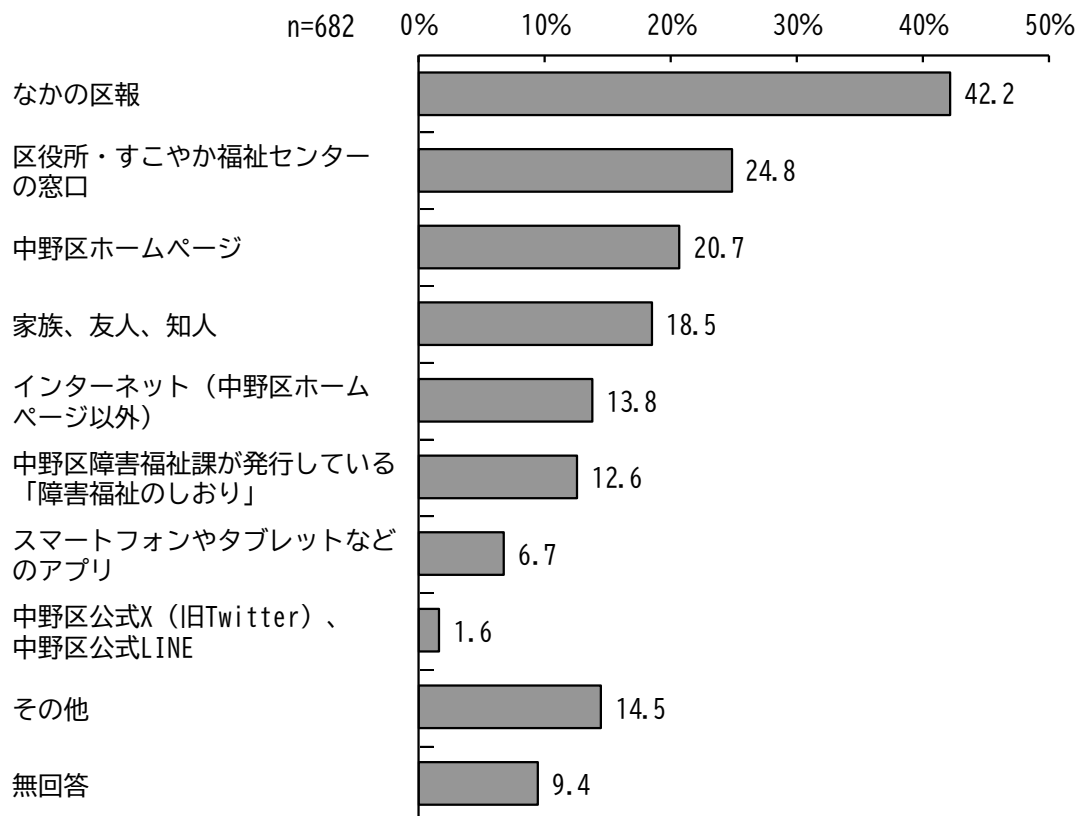
◆障害福祉に関する情報入手元は「なかの区報」が最も高い

(全員の方に)

問 26. あなた（あて名の方ご本人）は、障害福祉に関する情報をどこで知りますか。

(あてはまるものすべてに○)

図 6-20 障害福祉に関する情報入手元



障害福祉に関する情報入手元をきいたところ、「なかの区報」が最も高く、次いで「区役所・すこやか福祉センターの窓口」「中野区ホームページ」「家族、友人、知人」となっている。

図 6-21 【所持手帳別】上位 5 項目 障害福祉に関する情報入手元

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=217	なかの区報 57.1	中野区ホーム ページ 22.1	区役所・すこ やか福祉セン ターの窓口 17.1	中野区障害福祉 課が発行してい る「障害福祉の しおり」 14.3	家族、友人、 知人 12.9
身体障害者手帳（重度） n=216	なかの区報 39.8	中野区ホームページ／区役所・す こやか福祉センターの窓口 23.1	家族、友人、 知人 18.5	インターネット （中野区ホーム ページ以外） 13.9	
愛の手帳 n=82	家族、友人、 知人 42.7	区役所・すこ やか福祉セン ターの窓口 32.9	なかの区報 29.3	中野区障害福祉 課が発行してい る「障害福祉の しおり」 20.7	インターネット （中野区ホーム ページ以外） 12.2
精神障害者保健福祉手帳 n=173	区役所・すこ やか福祉セン ターの窓口 38.7	なかの区報 32.9	中野区ホーム ページ 20.2	インターネット（中野区ホーム ページ以外）／家族、友人、 知人 17.3	

障害福祉に関する情報入手元を所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者では「なかの区報」が、愛の手帳所持者では「家族、友人、知人」が、精神障害者保健福祉手帳所持者では「区役所・すこやか福祉センターの窓口」が最も高くなっている。

6.4. 障害者に対する理解

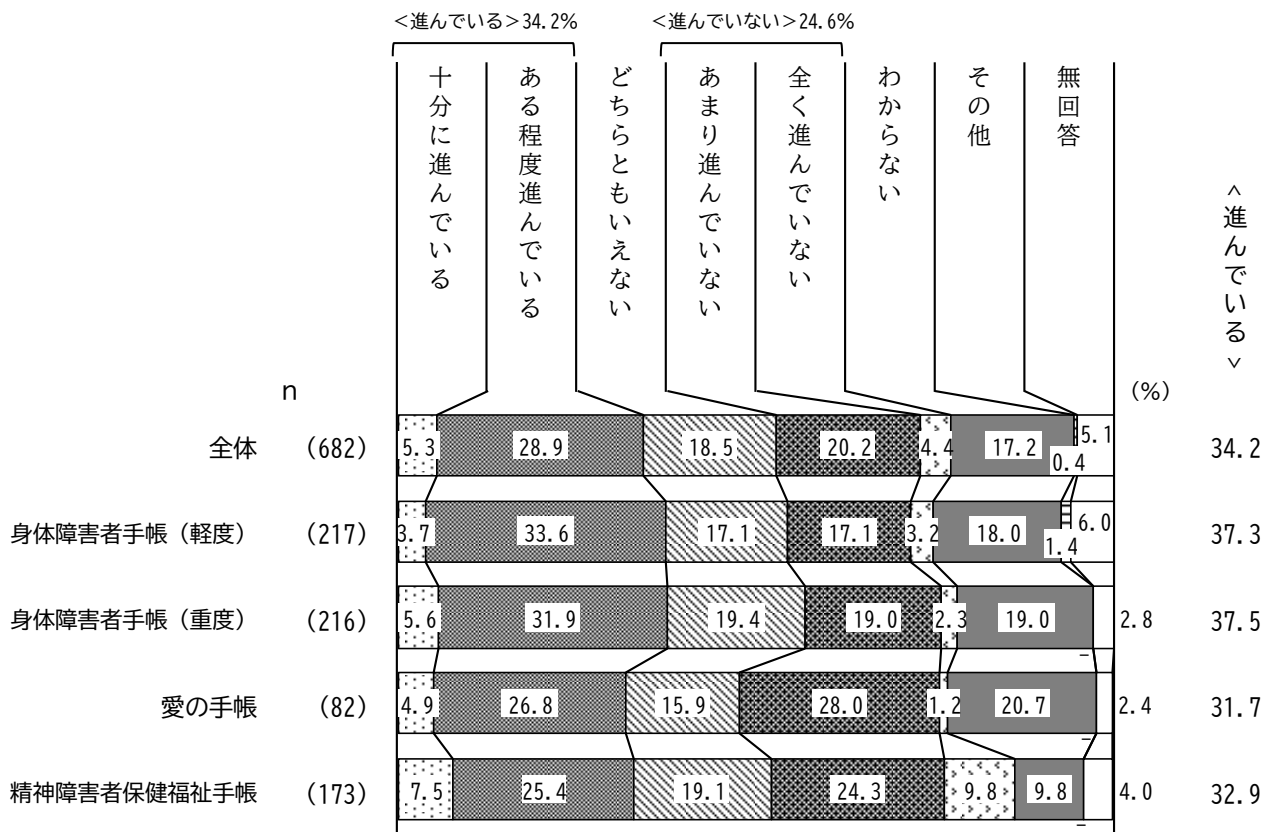
◆障害者に対する理解は<進んでいる>が3割半ば

(全員の方に)

問 27. あなた(あて名の方ご本人)は、障害者に対する理解はどの程度進んでいると思いますか。

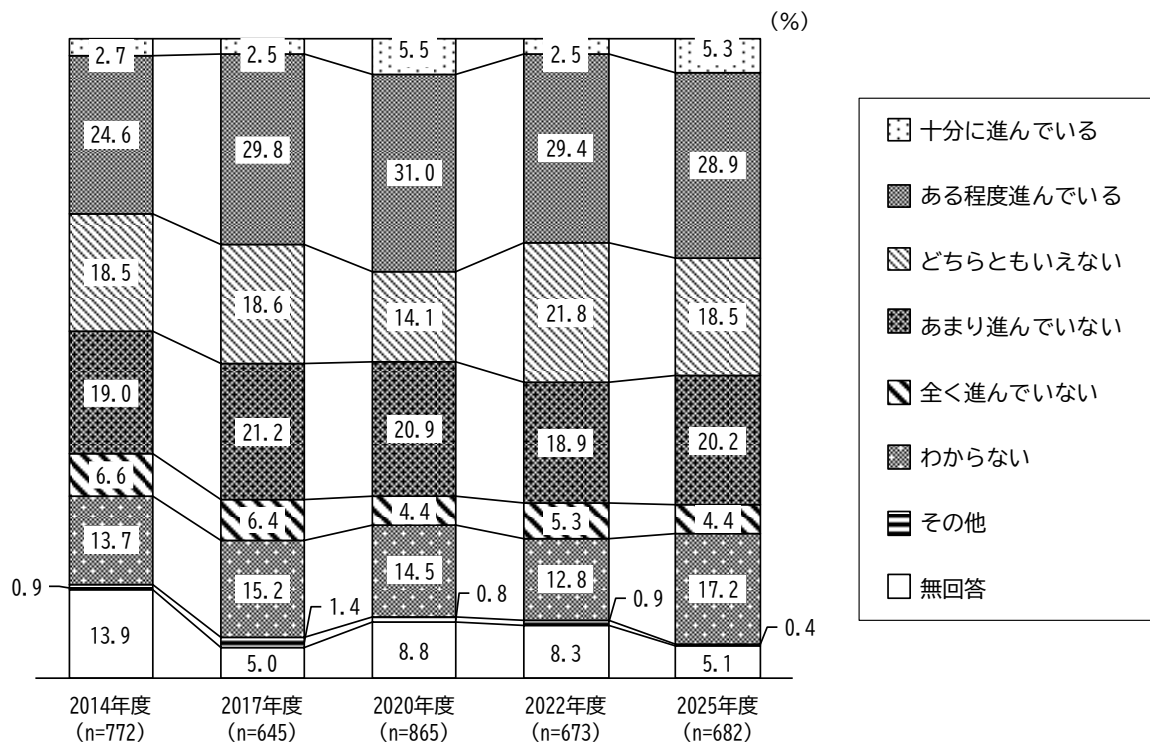
(○は1つ)

図 6-22 【所持手帳別】障害者に対する理解



障害者に対する理解は、「十分に進んでいる」と「ある程度進んでいる」を合わせた<進んでいる>が3割半ばとなっている。

図 6-23 【経年比較】障害者に対する理解



障害者に対する理解を経年比較でみると、2025年度は2022年度に比べ「わからない」が4.4ポイント増加している。

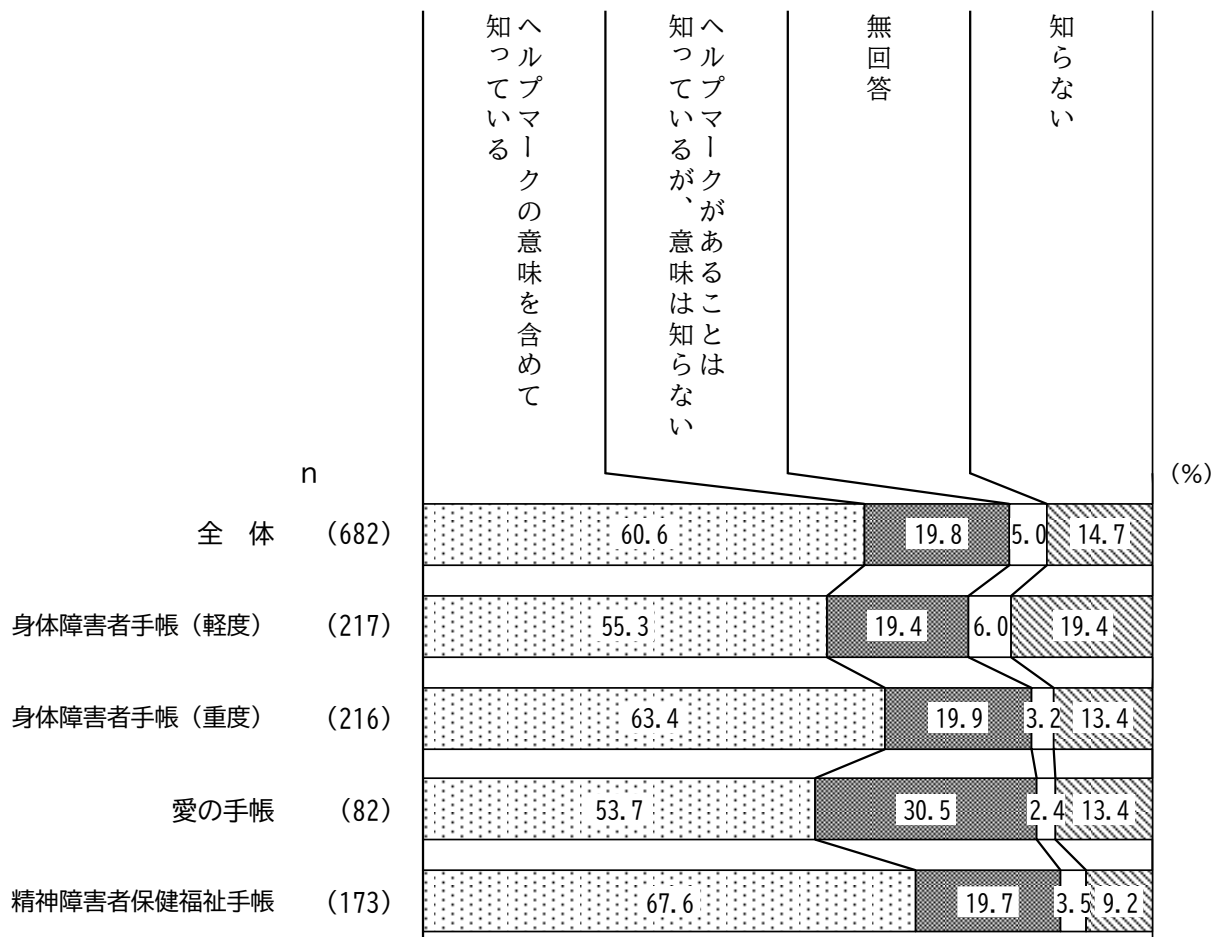
6.5. ヘルプマークの認知度

◆ヘルプマークの意味を含めて知っているのは全体の約6割

(全員の方に)

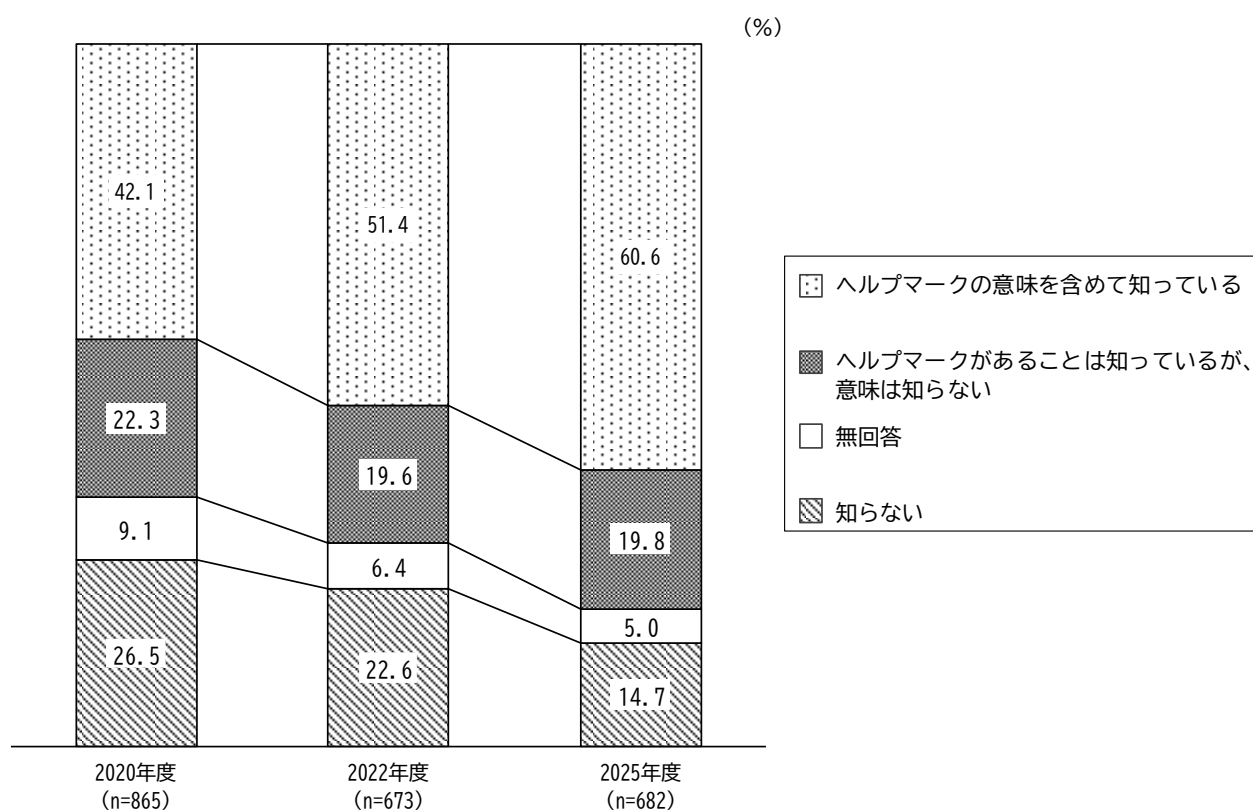
問 28. あなた（あて名の方ご本人）はヘルプマークを知っていますか。（○は1つ）

図 6-24 【所持手帳別】 ヘルプマークの認知度



ヘルプマークの認知度は、「ヘルプマークの意味を含めて知っている」がいずれの手帳所持者でも5割を超えて最も高く、特に精神障害者保健福祉手帳所持者では6割台後半となっている。

図 6-25 【経年比較】ヘルプマークの認知度



ヘルプマークの認知度を経年比較でみると、「ヘルプマークの意味を含めて知っている」は2020年度から2025年度にかけて、調査実施ごとに約9ポイントずつ増加している。

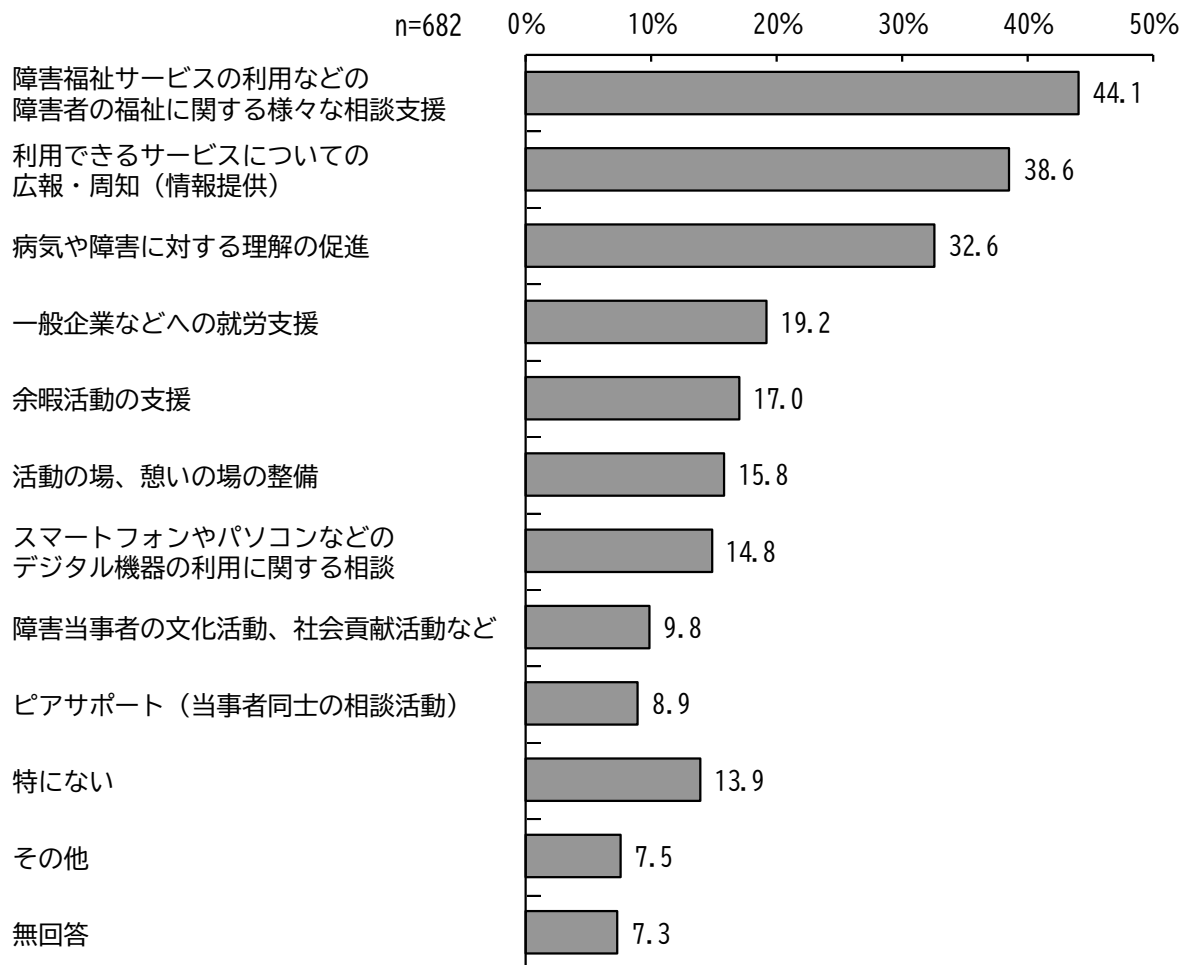
6.6. 充実して欲しい施策

◆充実してほしい施策は「障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援」が4割半ば

（全員の方に）

問29. あなた（あて名の方ご本人）は次の施策のうち、特に充実してほしいと思うものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

図 6-26 充実してほしい施策



充実してほしい施策は、「障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援」が4割半ばと最も高く、次いで「利用できるサービスについての広報・周知（情報提供）」「病気や障害に対する理解の促進」「一般企業などへの就労支援」となっている。

図 6-27 【所持手帳別】上位 5 項目 充実してほしい施策

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
身体障害者手帳（軽度） n=217	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 47.5	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 44.2	病気や障害に対する理解の促進 26.3	スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器の利用に関する相談 17.5	一般企業などへの就労支援 15.2
身体障害者手帳（重度） n=216	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 44.0	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 36.1	病気や障害に対する理解の促進 26.4	余暇活動の支援 15.7	活動の場、憩いの場の整備／スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器の利用に関する相談 12.5
愛の手帳 n=82	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 48.8	余暇活動の支援 43.9	活動の場、憩いの場の整備 32.9	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供）／病気や障害に対する理解の促進 29.3	
精神障害者保健福祉手帳 n=173	病気や障害に対する理解の促進 50.3	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 45.1	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 38.2	一般企業などへの就労支援 32.4	余暇活動の支援 18.5

充実してほしい施策を所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者（軽度）では「利用できるサービスについての広報・周知（情報提供）」が、身体障害者手帳所持者（重度）と愛の手帳所持者では「障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援」が、精神障害者保健福祉手帳所持者では「病気や障害に対する理解の促進」が最も高くなっている。

図 6-28 【経年比較】上位 5 項目 充実してほしい施策

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=682	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 44.1	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 38.6	病気や障害に対する理解の促進 32.6	一般企業などへの就労支援 19.2	余暇活動の支援 17.0
2022年度 n=673	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 40.0	病気や障害に対する理解の促進 36.3	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 34.5	一般企業などへの就労支援 21.2	活動の場、憩いの場の整備 17.4
2020年度 n=865	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 37.5	病気や障害に対する理解の促進 35.3	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 31.1	一般企業などへの就労支援 17.7	活動の場、憩いの場の整備 14.9
2017年度 n=645	病気や障害に対する理解の促進 42.6	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 39.5	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 34.6	一般企業などへの就労支援 24.3	余暇活動の支援 20.6
2014年度 n=772	障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援 40.3	利用できるサービスについての広報・周知（情報提供） 37.3	病気や障害に対する理解の促進 36.1	一般企業などへの就労支援 20.3	活動の場、憩いの場の整備 18.5

充実して欲しい施策を経年比較でみると、いずれの年度でも「障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援」「利用できるサービスについての広報・周知（情報提供）」「病気や障害に対する理解の促進」「一般企業などへの就労支援」が上位 4 位以内に入っている。

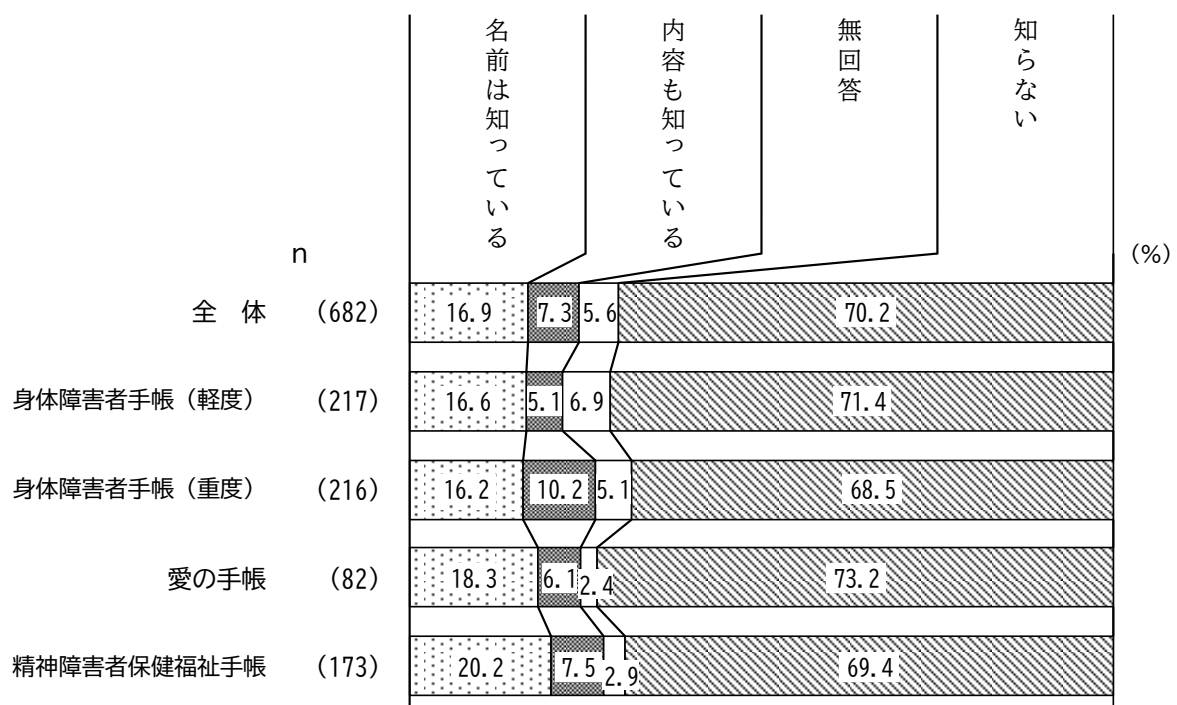
6.7. 障害者差別解消法の認知度

◆障害者差別解消法の認知度は、「知らない」が約7割

(全員の方に)

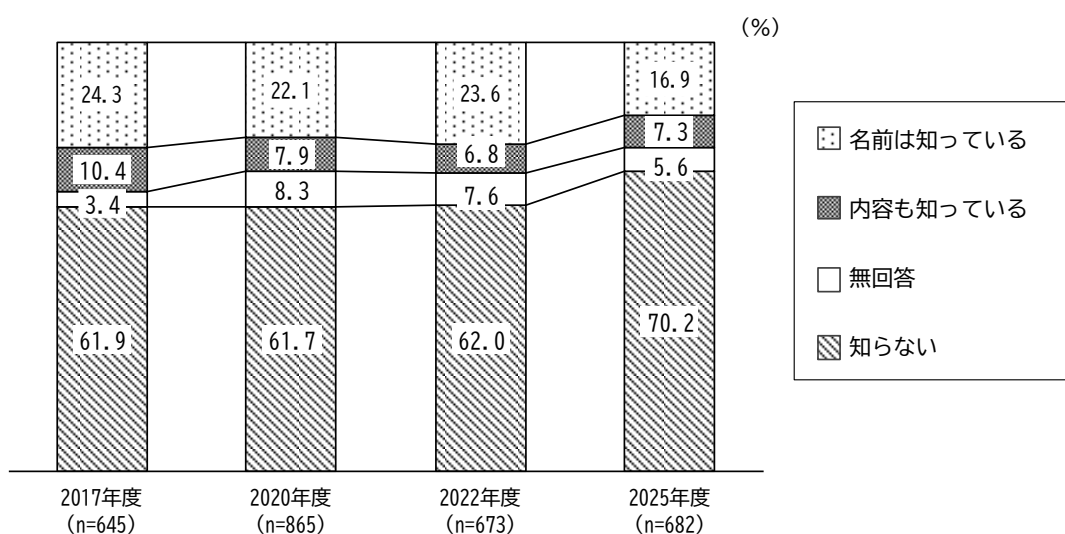
問 30. 障害のある人への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、あなた（あて名の方ご本人）はこのことを知っていますか。
(○は1つ)

図 6-29 障害者差別解消法の認知度



障害者差別解消法の認知度は、全体では「知らない」が約7割となっている。

図 6-30 【経年比較】障害者差別解消法の認知度



障害者差別解消法の認知度を経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度と比べ「名前を知っている」が約7ポイント減少し、「知らない」が約8ポイント増加している。

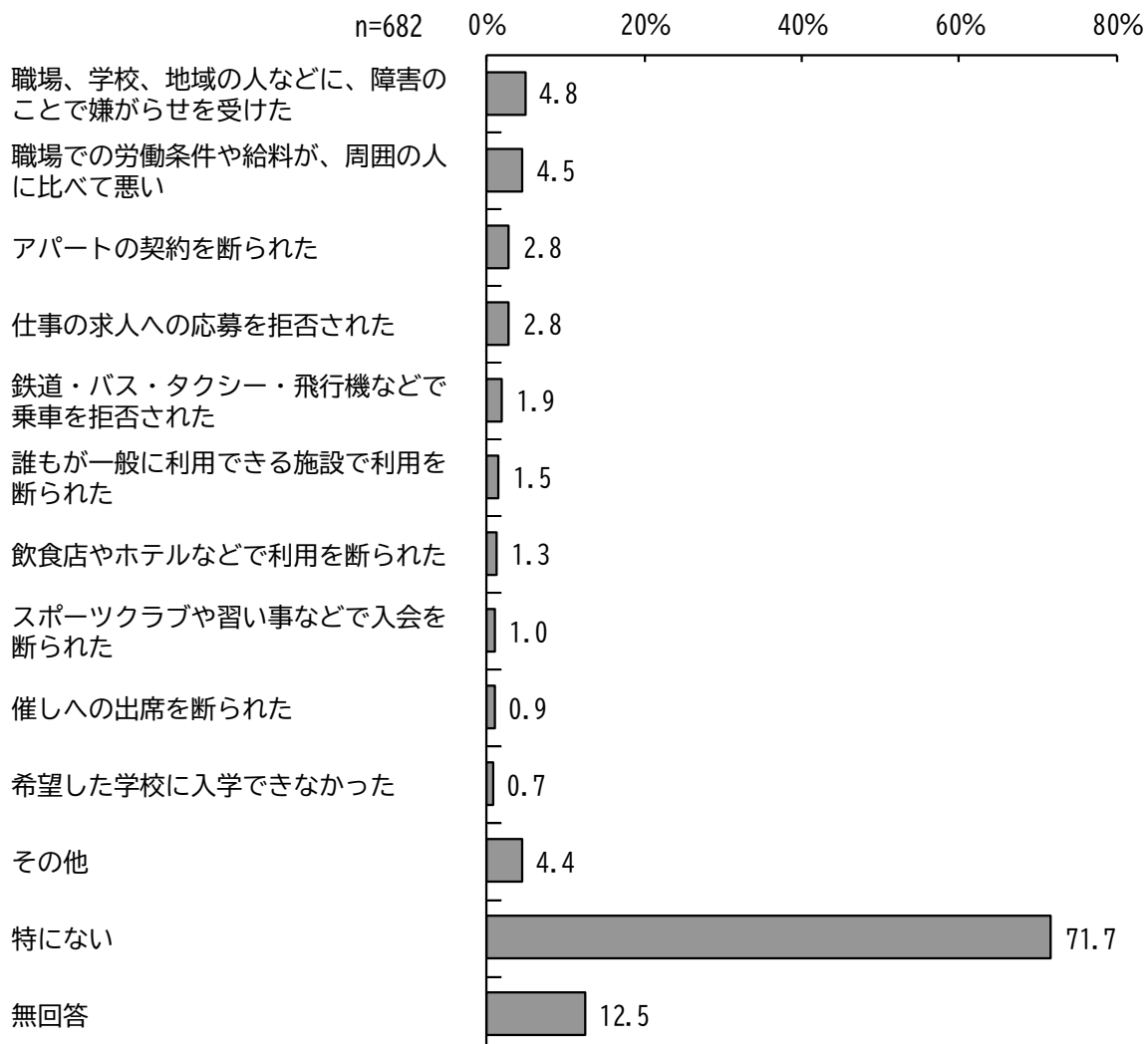
6.8. 障害を理由に、差別的な対応を受けたこと

◆障害を理由に、差別的な対応を受けたことについて「職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた」が最も高い

(全員の方に)

問 31. あなた（あて名の方ご本人）は過去3年間の間に、日常生活の中で、障害を理由に、差別的な対応を受けたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

図 6-31 障害を理由に、差別的な対応を受けたこと



障害を理由に、差別的な対応を受けたことは「特になし」が最も多いが、差別的な対応を受けた点の中では、「職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた」が最も高く、次いで「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い」「アパートの契約を断られた」「仕事の求人への応募を拒否された」となっている。

図 6-32 【所持手帳別】上位5項目 障害を理由に、差別的な対応を受けたこと

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
身体障害者手帳（軽度） n=217	職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い 3.7	職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた 2.8	鉄道・バス・タクシー・飛行機などで乗車を拒否された／仕事の求人への応募を拒否された 1.8		アパートの契約を断られた 1.4
身体障害者手帳（重度） n=216	鉄道・バス・タクシー・飛行機などで乗車を拒否された 3.2	飲食店やホテルなどで利用を断られた 2.8	アパートの契約を断られた／職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い／職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた 2.3		
愛の手帳 n=82	職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた 9.8	誰もが一般に利用できる施設で利用を断られた 6.1	スポーツクラブや習い事などで入会を断られた／職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い 3.7		飲食店やホテルなどで利用を断られた／催しへの出席を断られた 2.4
精神障害者保健福祉手帳 n=173	職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い 9.8	職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた 9.2	アパートの契約を断られた 6.4	仕事の求人への応募を拒否された 5.8	誰もが一般に利用できる施設で利用を断られた 1.7

障害を理由に、差別的な対応を受けたことを所持手帳別でみると、身体障害者手帳所持者（重度）では「鉄道・バス・タクシー・飛行機などで乗車を拒否された」が、身体障害者手帳所持者（軽度）と精神障害者保健福祉手帳所持者では「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い」が、愛の手帳所持者では「職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた」が最も高くなっている。

6.9. 障害への配慮で特に嬉しいと感じたこと

(全員の方に)

問 32. あなた(あて名の方ご本人)が日常生活の中で、周りの方から受けた障害への配慮で特に嬉しいと感じたことがありましたら、ご自由にお書きください。

障害への配慮で特に嬉しいと感じたことを自由に記入していただいたところ、185 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

公共交通について 45 件

- ヘルプマークを見て電車の席をゆずってくれた。(10～14 歳)
- 東京都が都営交通の無料化政策を実施してくださったことに感謝している(25～29 歳)
- 電車に乗ってる時に、若い子(10 代後半から 20 代、見た目はチャライ子)からヘルプマークを見て席を譲ってもらえたこと。1 人ではなく複数人から同じことをされて嬉しかった。同年代の人間よりも若い子の方がしっかりしてると思いました。(40～44 歳)
- 車イス対応のタクシードライバーが増え親切なタクシードライバーが多い。(85～89 歳)
- バスの乗降時にシルバーカーを乗せる手伝いをしてくれた乗客、たまに運転手の方もありがたい。(90 歳以上)

外出時の手助けについて 21 件

- 交通安全週間のときに、横断歩道のところで見守り隊が歩行者と車両の誘導をちゃんとやったり、車椅子で通るときに段差のところでサポートしたりしてくれたのは助かりました。障害があると安全に移動するのもやたら大変なので…。(40～44 歳)
- 歩道を電動車椅子で走行していて、段差が大きくて上がれない時に助けてくれること。(55～59 歳)
- エレベーターに乗るときにボタンを押してくれたり、順番を譲ってくれたり、電車で場所を開けて乗せてくれたりしたことです。(60～64 歳)
- 駅の階段ののぼりおりの時、「なにか手伝うことはありますか」などと聞かれた時。ゴミ出しをかわりにやってくれた時(75～79 歳)
- 杖を落としてしまった時に、私が腰をしゃがめて取りに行く前に、横にいる方がさっと拾ってくれるのが何度もあったこと。(80～84 歳)
- 車椅子に気付いて場所を空けてくれる等の配慮を頂くこと等。(90 歳以上)

コミュニケーションについて 21 件

- 会話が聞き取りづらかった時に何も言わなくても筆談してくれた時。(35～39 歳)
- 根気強く話を聞いてくれること(40～44 歳)
- ゆっくり落ち着いた声で話しかけられたこと。会話を始める前に、「これくらいの声で聞こえますか?」と聞いてくれたこと(55～59 歳)
- 週 2 回入浴介助をお願いして(長女)いますが、コミュニケーション不足を解消の為「ノート」を用意、気がついた点を担当の方がこまめに記載。大変ありがたく、助かっています。(60～64 歳)
- 聞き取れない内容を根気よく伝えようとしてくれた事。(60～64 歳)
- 障害を理解し、やさしい言葉をかけていただいた時は、本人も喜んでいきます。(70～74 歳)

仕事・職場について 10 件

- 自分の病気を理解してくれて、無理せず職務に付けるように配慮していただいているところ。(25～29 歳)
- 勤めている会社でやるべき仕事がマニュアル化され分かりやすく、社内もきちんと構造化されており、動きやすい。上司の声掛けや配慮がうれしい。セキュリティもしっかりしており安心して働ける環境。(30～34 歳)
- 一般の職場にいる同僚が皆と同じ態度で接してくれること。社会の一員としてダメならきちんと注意され、同じ基準で評価を受けること。(40～44 歳)
- 今の職場に入社する際、自分が障がい者であることを隠さなくて結構ですと伝えていたこともあり、職場での仕事の進め方について、私が居るみんなの前で合理的配慮について自分の苦手について周知してくださったのがとてもありがたかった。以降、現在までとても仕事がしやすい。(55～59 歳)
- 仕事をていねいに教えてくれること。(65～69 歳)

店舗について 10 件

- 外食することが困難で、食事は必ず自宅もしくは学校でとっていますが、「食べやすさ配慮食」という取り組みをされているレストランを見つけ、家族で外食することができました。(5～9 歳)
- レジで注文して準備が出来たら品物をカウンターまで取りに行くスタイルのカフェで、品物を席まで届けてくれた。杖について重いトレイを片手で持つのは大変なのでありがたかった。(45～49 歳)
- 耳が不自由である事を敢えて指摘せずにホテルの受付で(ホテルマン)筆談に切り替えていただいた時。(60～64 歳)
- ふだんは杖について外出しているため、スーパーでの買い物時に、レジの係員が台まで買い物かごを運んでくれることがある。(70～74 歳)

友人・知人について 8 件

- 障害を持っていることを忘れてくれること。カミングアウトの前後で全く態度を変えずにいてくれたこと。(20～24 歳)
- ご近所さんで支えてくれる方が沢山いることが嬉しい。(45～49 歳)
- 遊びに行くときは、必ず友人が付き添ってくれることが、有難いです(60～64 歳)
- 友人は、病気にふれないように話をしてくれる。(65～69 歳)

経済的支援について 7 件

- タクシーや、公園などの割引が多くて助かっている。(40～44 歳)
- 新型コロナのワクチンを優先して受けさせてもらった。美術展などの催しを無料で観覧させてもらった。(60～64 歳)
- 行政からのお金の支援。(65～69 歳)

家族について 4件

- 家族からの声かけ。(20～24 歳)
- 家族からの支援 (35～39 歳)

医療機関について 4件

- 病院の看護師さんや薬局の人からの説明が聞こえないので何時も手書きで説明してもらう。とても助かり嬉しく思う。(85～89 歳)

学校について 2件

- 利用している保育園では、本人に状態に合わせて活動などもしてくださり、健常児の子どもとも楽しく過ごすことができている、とてもありがたいです。中野区の就学支援でもいろいろと話を聞いてくださり、丁寧に、対応していただいていると感じました。(5～9 歳)

その他 47件

- 見た目では障害者であることが分かりやすいので、みなさん温かい目を向けてくださいます。(5～9 歳)
- 周りの生徒や保護者は優しく接してくれます。(5～9 歳)
- 病気について過剰に触れないようにしてくれるが、体調に気を遣ってくれる。(35～39 歳)
- 精神障害の具体的な話をするとほとんどの方が理解を示して下さいます。(45～49 歳)
- 障害の種類と程度を相手に伝えたところ、迅速に適切な対応をしてくれたこと。(60～64 歳)
- 両手杖をついて歩いているが親切に声をかけていただいています。ありがたいです。(70～74 歳)
- 職員の方々があらゆる場面で日常生活を援助して下さること。(75～79 歳)
- 在宅介護の充実したサービスが利用できている。(80～84 歳)

7. 自由回答

7.1. 日常生活で困っていること

(全員の方に)

問 33. 日常生活で困っていることがありましたら、ご自由にお書きください。

日常生活で困っていることを自由に記入していただいたところ、211 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

福祉サービスについて 35 件

- 18 歳以降の居場所がない。障害者の居場所としてでなく、社会の中でどう生きていくか、という、視点でかんがえていただきたい。これまで、小、中、高、利用できる施設、娯楽、あらゆる点で分けられてきました。分けて取り扱うのではなく、健常な 18 歳以降の大人が暮らす場所で、どうやったら障害者が一緒に暮らしていけるか、という視点で仕組み、居場所をかんがえていただきたいです。(5～9 歳)
- 日常生活で困っていることはないが、最近の物価高において人工内耳の価格が著しく高騰しており(特に保険)、人工内耳のケアもかなり費用が嵩むため、何か支援していただけると助かります。(20～24 歳)
- 障害福祉サービスを利用しているので、特別に困った事はありませんが、移動支援の時間が足りない事やヘルパーさん不足。職員不足とを感じる事があります。(40～44 歳)
- 移動支援のヘルパー不足で余暇を楽しむ外出の機会が少ない(50～54 歳)
- タクシー補助券が不足してしまう。通院の度に利用するのでできれば増やして頂きたいです。(65～69 歳)

相談について 4 件

- 障害者福祉と高齢者介護と生活困窮と一緒に相談できる場所がどこにもない(50～54 歳)

経済問題について 17 件

- ギリギリ働けている状態ですが、障害年金が降りず生活が苦しいです。(25～29 歳)
- 医療費の負担額が大きく困っている。昨年、障害者手帳と同時期に審査を受けた難病の医療費助成のほうは軽症という部類に入り、受けることができなくなったため、福祉手当でも対象外となり、医療費の負担が増えた。(40～44 歳)

公共交通について 16 件

- 建物がバリアフリーといいつつ、スロープに傾斜があったり、又、中央線のグリーン車に車イスでも使えるようなスペースがあったり、手が挙がらない時は、もう少し低めにタッチする機械があったら良い。(45～49 歳)
- 交通機関の理解度が低い事。杖や車いすは理解度が高いのですがなぜか？ 歩行器(医療用)だと大きいので、いわゆるシルバーカーだと思われています。一般に知られていないのが問題なのかなぁ？と感じます。シルバーカーはおとしよりが使うと言う考えが広まっていると思います。(50～54 歳)

住まいについて 10 件

- なかなか賃貸住居が見つからないこと。年齢で断われたことがある。(55～59 歳)
- 親が障害者（高齢・要介護）であるため、不動産の契約更新時の保証人として認められないため、保証会社を使用しなければならないこと。(75～79 歳)

施設について 5 件

- 施設を申込みましたが 14 ヶ所位出しましたがどこにも返事がありませんでした。困って埼玉をさがしましたがすぐに入居出来ました。この点何とかしてもらえないでしょうか。(90 歳以上)

医療機関について 1 件

- 病院まで遠くてなかなか通院が上手くいかない。(30～34 歳)

障害への理解・配慮について 20 件

- 言葉のコミュニケーションが難しいが、理解してもらえない。見た目は普通の成人男性なので、言葉が出ないことで誤解されることが多々ある。(15～19 歳)
- 通院とか美術館に行ったりして、エレベーターに乗ろうとすると、まず普通の人がどんどん乗り込んだ後、最後に「どうぞ」と言われること。次男の車椅子はストレッチャー並みに大きいので、最後に乗ろうとすると切り返しがうまく行かなくて乗れないのだが、他の人には理解できないらしい。車椅子の人を最初に乗せてほしい。(30～34 歳)
- 精神障害で目に見えるものではないので、周囲からの配慮が全く得られずに困る。(55～59 歳)
- 自分の難聴の状況が周囲になかなか理解されない。後天性の感音性難聴のため周囲の音が過剰に大きく聞こえ肝心の相手の言葉は聞き取れないのだが、発話が普通にできるために聞こえるのだと誤解され、どんどん早口で話しかけられたりするのがつらい。(55～59 歳)
- 重度の失語症は、日常生活のすべての面で欠かせないコミュニケーションに影響するので、何をやるにしても困難がつきまとう。経験で予想できることしかできない。障害が知られておらず、説明もできないので、常にストレスがある。(60～64 歳)
- メンタル的な要因が高く、中々周囲の者（家族を含む）に病気の辛さを理解してもらえない。(65～69 歳)

一人の時や緊急・災害時の対応について 3 件

- 呼吸には人工呼吸器との併用が必要。災害時などの停電対応が心配。(35～39 歳)
- 災害時の避難についての情報がない。(50～54 歳)

障害・病気・年齢・体調について 39 件

- 一見、知的障害がわからないので、公園などで知らない子と遊んだ時に相手が戸惑うシーンがある。(5～9 歳)
- 重度知的障害なので全てに困っている (10～14 歳)。
- 行動時にわくやる気が、別のやりたいことによってなくなってしまうことがある。(20～24 歳)
- 一人暮らしについては、以前から続けていることなので日常生活は可能だが、片手不自由のためどうしてもそれぞれの動作に時間がかかる。常に「どうすれば効率的にできるか」を考えている。(50～54 歳)
- アパートの階段の昇り降りが 年齢と共に辛く成って来ました。(65～69 歳)
- 視覚障害で障害の度合いが進み、日常生活が不自由に成りつつある。(70～74 歳)

交流の機会について 2件

- これからの健康作りのために、ぜひ障害者で楽しめるスポーツサークルのようなものを作ってほしいです。(45～49 歳)

就労について 7件

- 障害者雇用枠が少ないので、仕事がない。あっても給与が低く生活ができない。(45～49 歳)
- ストレスがかかりすぎると、具合が悪くなり仕事に支障が出て来ます。会社では障害の事は隠している為、健常者の皆さんと同じ条件で働いていますが、病気の事を知られたらと思うと不安になります。(45～49 歳)
- 精神障害の症状がいつ起こるのか不確定。就労に対しての不安がある。(55～59 歳)

区内の環境整備について 9件

- 町に休憩用のいす、ベンチが少ない。障害者、高齢者が多くなる中、増やしてほしい。(75～79 歳)
- 車椅子のまま利用できるトイレをもっと増やしてほしい。また、多目的トイレを休憩や寒さ(暑さ)しのぎのために健常者が専有し、利用できないことが多々あるので管理方法を見直してほしい。(75～79 歳)

将来・親(家族)亡き後への不安 8件

- 今は何とか生活が出来ているが、介助者である両親がいなくなった時は、ほぼすべての日常生活で困ることになる。(35～39 歳)
- ひとまず、自立して生活しているが、一年一年出来ないこと、少し無理を強いてやらないといけないうことが増えていて5年後、10 年後の自分の体を想像すると不安は尽きない。どの時点で、いつ、どこで、どんな風に福祉サービスにアプローチしたらよいのかは、よくわからない。頭の働きも気力も年々少しずつ低下していくので、どこかで一度、サービスにつながるきっかけがあると有難いかもしれません。(60～64 歳)

家族への支援について 2件

- 親類が乏しく、高齢の母と二人暮らしのため、私に何かあった時の母の世話。(55～59 歳)

その他 33件

- 家族の面倒と自分の療養の両立ができていないと感じることがある。(35～39 歳)
- 困っていることは多々ありますが、その殆どは自分の努力で解消すべきと心得ているつもりです！なるべく人の世話にならない様頑張ります。(85～89 歳)

7.2. 健康福祉行政全体への意見・要望

(全員の方に)

問 34. 健康福祉行政に関することや今回の調査について、ご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

健康福祉行政に関することや今回の調査について、要望や意見を自由に記入していただいたところ、155 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

福祉サービスについて 43 件

- 18 歳以上になると生活介護に移行するが、どこもいっぱい利用出来ない。また、入浴設備はあるのに動いていない為入浴出来ない。入浴介助だけでも働ける方はいるのにもったいないです。ショートステイを増やして欲しい。(5～9 歳)
- 本人の場合はまだ親のサポート下での生活のため、特段の大きな困りごとは起きていないかと感じています。障害者の申請、更新手続き等、当人だけでなく保護者の負担軽減のためのサポートを今後もっと充実していただけると幸いです。(5～9 歳)
- 一番必要なのは、通学や外出時に一緒に動いてくれる方。今後必要なのは、親(代理回答者)が亡くなったあとの生活確保です。(10～14 歳)
- 就労移行支援については、時代に合った IT リテラシーや DX を学べる環境を整え、精神面・生活面・対人面でも総合的に的確な支援を行う職員の育成に力を入れてほしいです。とはいえ、中野区の相談支援員の男性(サービス等利用計画の担当の方)がはつらつとしていて頼りになる方でした。ハローワーク新宿(障害者支援担当)の女性も、指示やアドバイスが的確な方でお世話になりました。(35～39 歳)
- 使えるサービスが限定的で、使いづらい。もっと使える幅が広いと良い。(70～74 歳)
- バス券はとてめありがたく利用している。(両側ひざ関節術後)(変形性膝関節症)(85～89 歳)

本調査について 42 件

- 年に 1 回は行ってほしいです。(35～39 歳)
- 重度の知的障害者にとって、この調査もそうですが、サービスや制度の内容を理解することが難しいので、親や支援者が代弁していることが多く、本人不在になってしまっている様に感じます。視覚的にも分かり易く工夫や配慮をしていただければと思います。(35～39 歳)
- 中野区は障害福祉に対してまじめに取り組もうとしているのかもしれない。と好印象を受けた。郵送で対応してくれるのも助かる。パソコン持ってないし、スマホ長時間見るのツライから、紙で OK なのが嬉しかった。(40～44 歳)
- この様な調査は素晴らしい試みだと思います。是非ともここで得られたデータ、生の声を、実際の政策や運用の現場に活用して頂きたく、強く御願い申し上げます。データは活用しないと死データです。(50～54 歳)
- 調査結果の分析、対策、具体的な実施方法・時期等を明確にフィードバックして欲しい。アンケート取りっぱなしで終り、仕事しおわったと思ってもらおうとやはり区政への不満につながると思う。(70～74 歳)

情報提供について 9件

- いろいろなサービスをいろいろな人に聞かないとわからないことが多いと感じています。ホームページ等で調べてもよくわからないことも多いなと思うことが多々あり、結局、電話でお問合せさせていただいています。しかし、電話の受付も平日でしかできないこともあるため、チャットなどで気軽に簡単な内容であれば問い合わせできたらありがたいと思います。(5～9歳)
- 手帳や障害年金の事を、病院の先生は何も教えてくれなかった。医師からも、これらの情報を提供するように行政から指導してほしい。(55～59歳)
- 障害者手帳の更新のタイミングを知らせてほしい。(55～59歳)

障害への理解・配慮について 8件

- 学校教育で、障害を扱うべきだと思う。特に発達障害。学校にいと、たまに「お前 ADHD やん」とか、悪口的な意味での ADHD が聞こえてきます。これは、明らかに発達障害に対する理解度が低いからであると思っている。学校教育でもなんでも、発達障害について周知させるべきだと考える。(10～14歳)
- もっと障害のある人達への理解を深めて欲しい(25～29歳)
- 行政に個々の困りごとを伝えても、まったく配慮をしていただけない、本当に障害理解をしていていないと感じる。他区とくらべても、配慮対処を考えてくれていない。(25～29歳)
- 障害者といってもそれぞれ個性、多様性があるのでそのあたりを理解してほしい。(75～79歳)

施設について 7件

- すこやか窓口（北部）を普段利用しているが、自宅から近く、区役所より混むことはなく、職員の方々も皆さん親切、ていねいに対応して下さるので、いつも感謝している。区役所に行かずに済むので（区役所は混むとの話なので）助かっている。(50～54歳)

今後の不安について 5件

- 先々のことが心配です。まっしろキャンパスさんに相談はしていますが、10年、20年先の親亡きあとのことも考えていけないといけないので不安です。(10～14歳)
- 身体障害者になったばかりで、今後どのような状況になるかわかりません。1年後の病状について不安です。但し年齢と病状を考えると仕事をしようとは思っていません。(70～74歳)

相談について 4件

- 全て「決まり」にてらして「できない」とするのではなく、特殊なケースに個別に対応して実行力や発言力のある第三の非定形事例対応のための相談窓口が欲しい。(40～44歳)

その他 37件

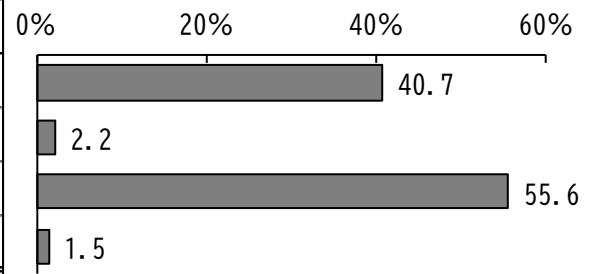
- 障害者への「差別」に注目するのではなく「障害者」を雇いたい、手伝いたいと周りが思ってくれるような社会を作してほしい。その方が社会として明るいと思います。(35～39歳)
- 私は、すでに高齢で、十分お世話になっていますが、若い方、働き盛りの方など、思いがけないWEBでの攻撃や差別があるようです。行政の寄り添いがとても必要だと思います。(85～89歳)

施設入所者調査

1. 調査回答者の属性

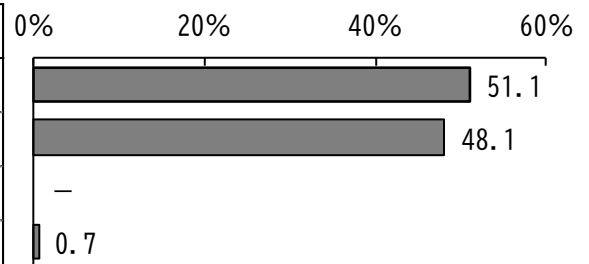
1.1. アンケートの回答者

	基数	構成比 (%)
本人（代筆を含む）	55	40.7
家族	3	2.2
その他の人	75	55.6
無回答	2	1.5
全 体	135	100.0



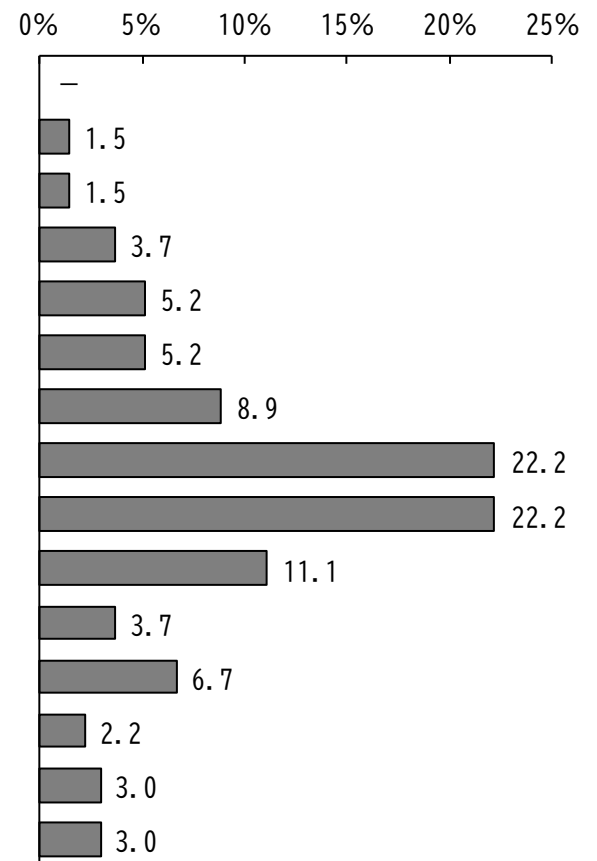
1.2. 性別

	基数	構成比 (%)
男性	69	51.1
女性	65	48.1
その他	—	—
無回答	1	0.7
全 体	135	100.0

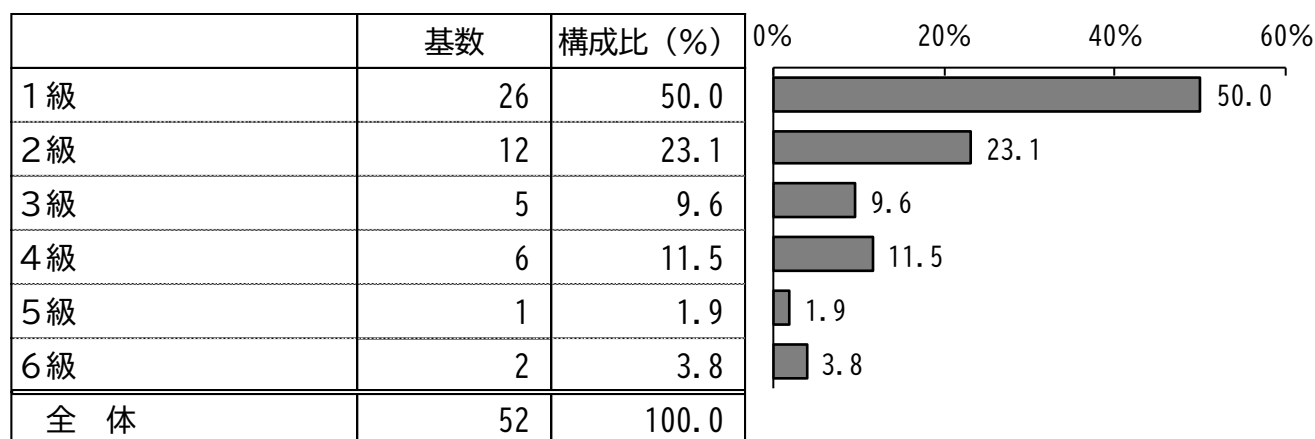


1.3. 年齢

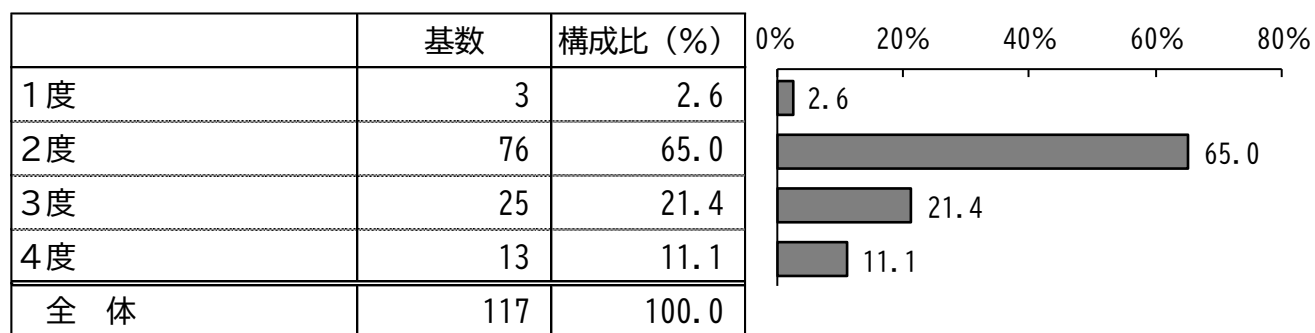
	基数	構成比 (%)
20歳未満	—	—
20～24歳	2	1.5
25～29歳	2	1.5
30～34歳	5	3.7
35～39歳	7	5.2
40～44歳	7	5.2
45～49歳	12	8.9
50～54歳	30	22.2
55～59歳	30	22.2
60～64歳	15	11.1
65～69歳	5	3.7
70～74歳	9	6.7
75～79歳	3	2.2
80歳以上	4	3.0
無回答	4	3.0
全体	135	100.0



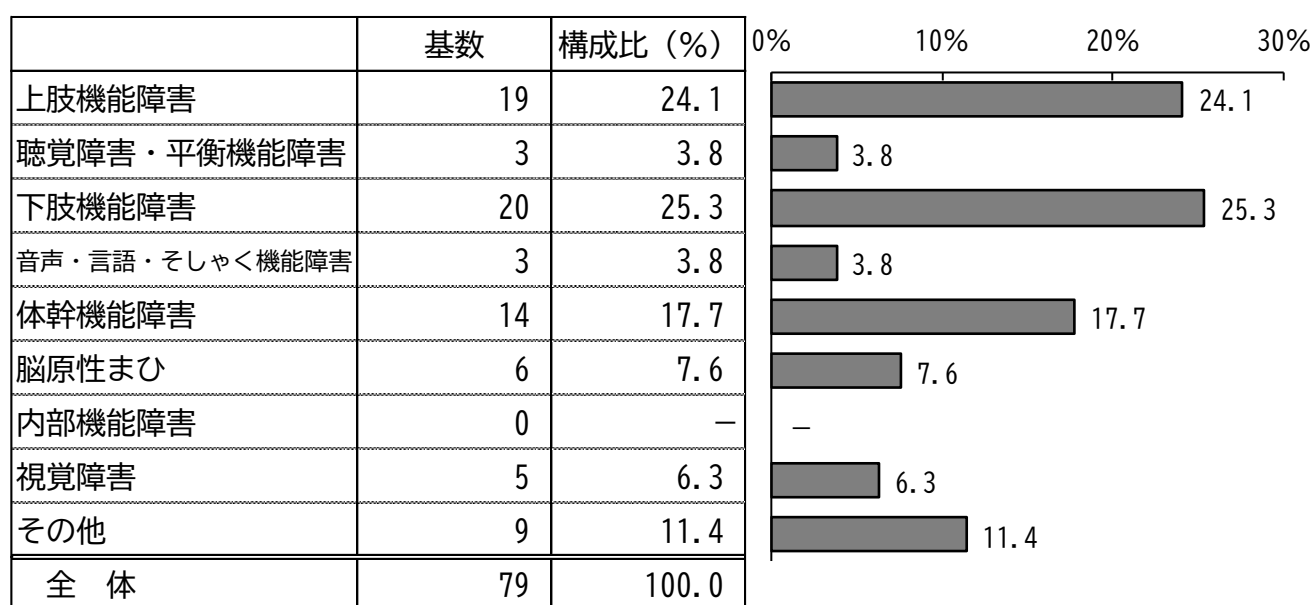
1.4. 身体障害者手帳の等級



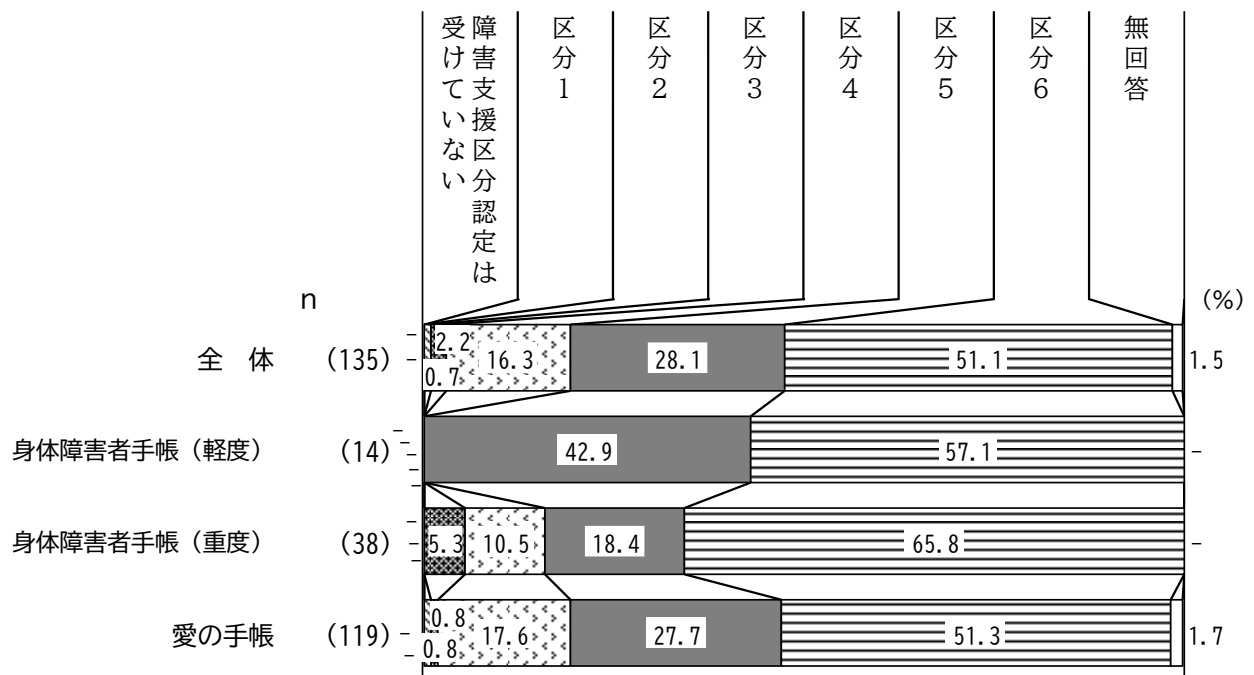
1.5. 愛の手帳の度数



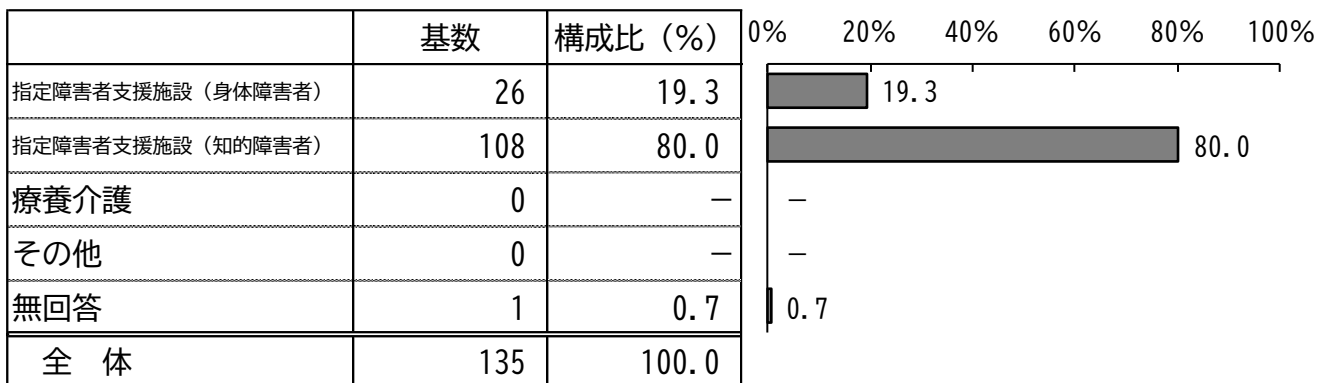
1.6. 身体障害者手帳に記載された障害名（複数回答）



1.7. 障害支援区分



1.8. 入所施設の種類



2. 入所について

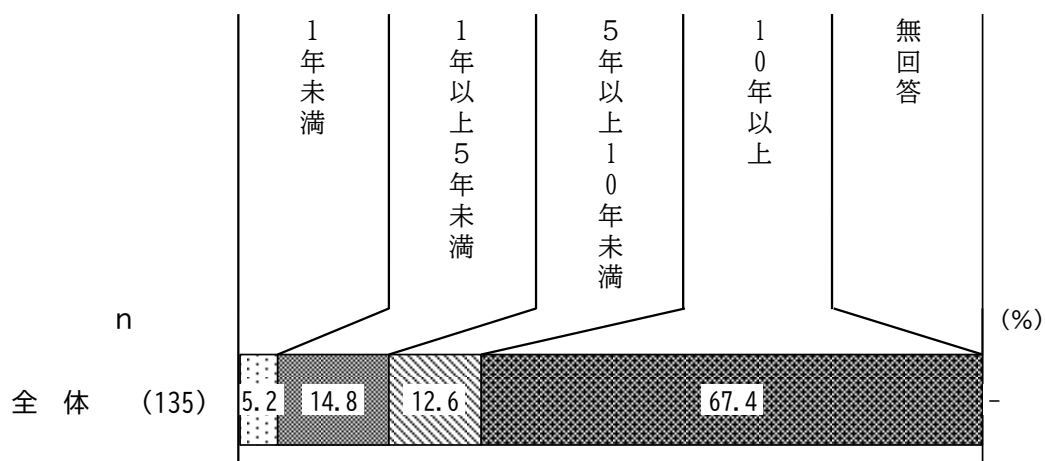
2.1. 入所年数

◆入所年数は「10 年以上」が6割台後半

(全員の方に)

問 6. 現在の施設に入所して何年になりますか。(○は1つ)

図 2-1 入所年数



入所年数は「10 年以上」が6割台後半と最も高くなっている。

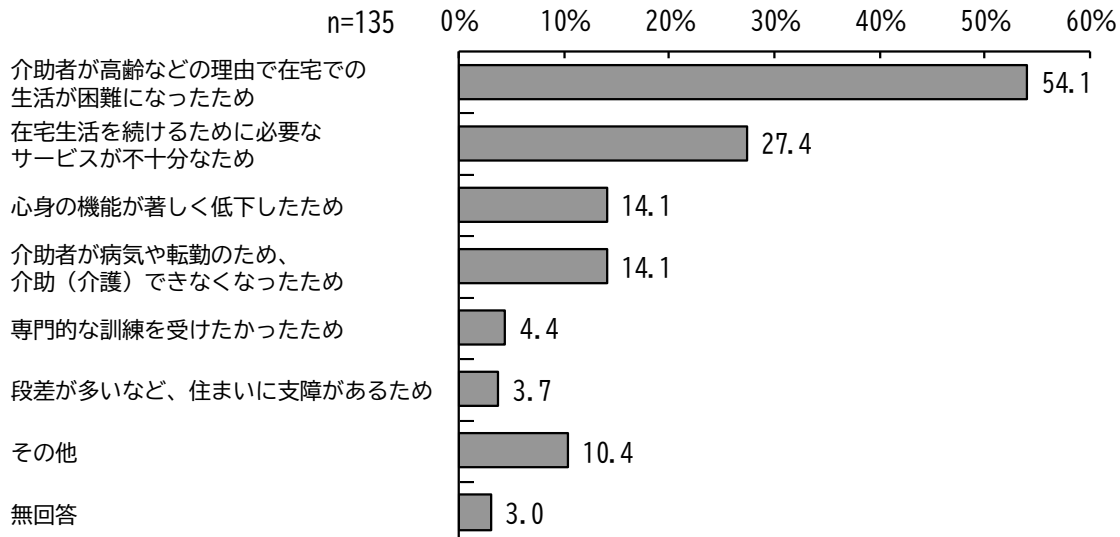
2.2. 入所理由

◆施設への入所理由は「介助者が高齢などの理由で在宅での生活が困難になったため」が5割半ばで最も高い

(全員の方に)

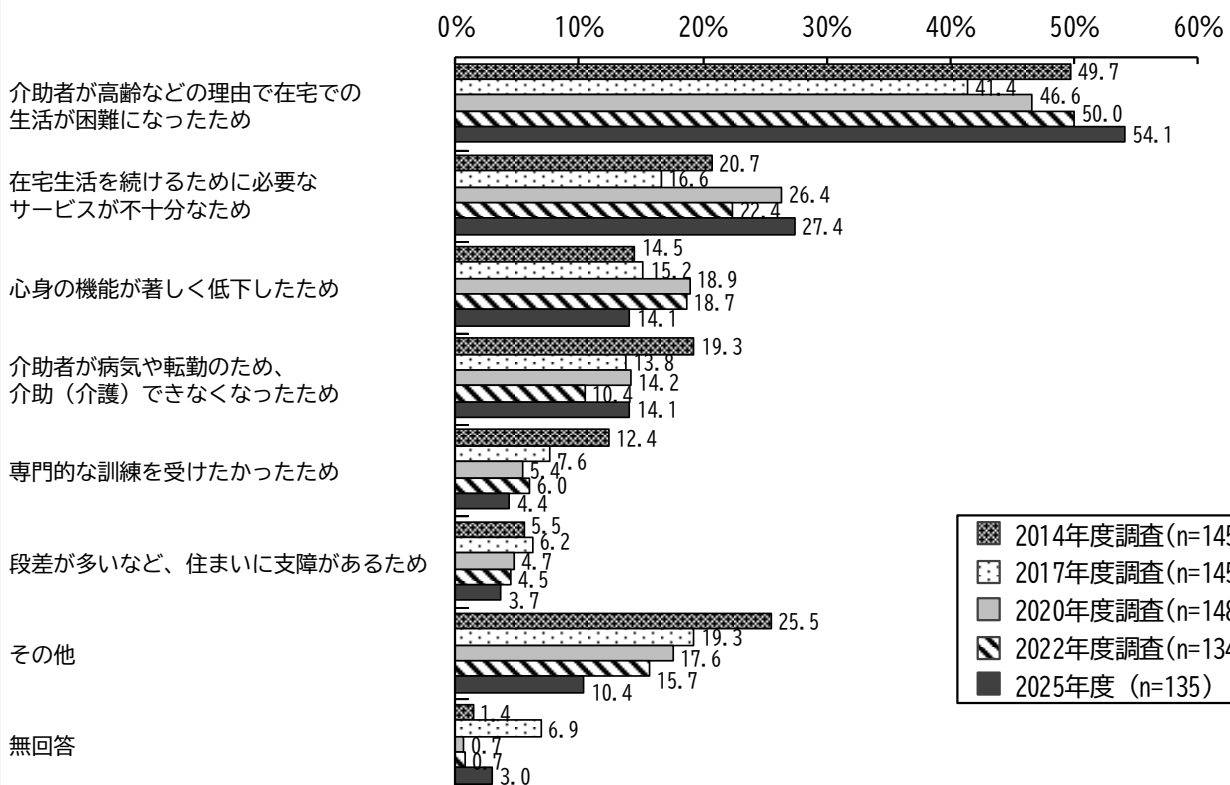
問7. 現在の施設に入所することになった理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

図2-2 入所理由



現在の施設に入所することになった理由は「介助者が高齢などの理由で在宅での生活が困難になったため」が最も高く、次いで「在宅生活を続けるために必要なサービスが不十分なため」「心身の機能が著しく低下したため」「介助者が病気や転勤のため、介助（介護）できなくなったため」となっている。

図2-3 【経年比較】入所理由



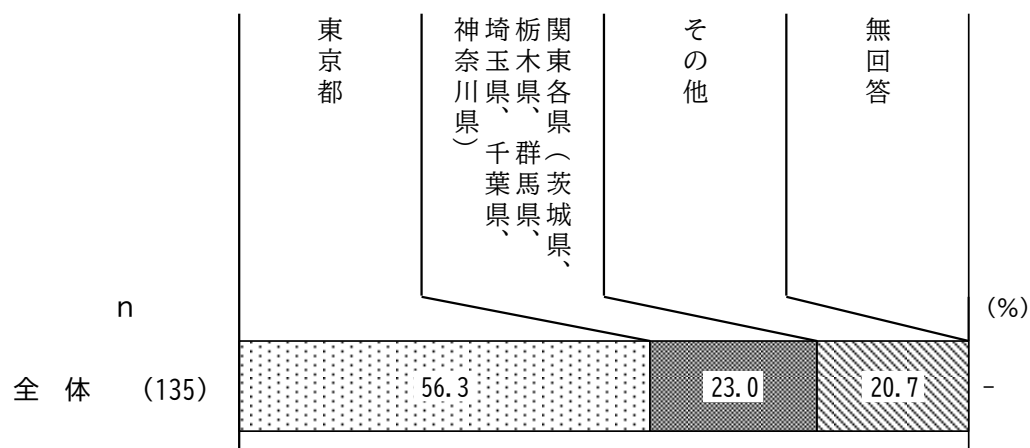
2.3. 施設の場所

◆施設の場所は、「東京都」が最も高い

(全員の方に)

問 8. 施設のある場所は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

図 2-4 施設のある場所



現在の施設の場所は「東京都」が最も高くなっている。

3. 今後の生活について

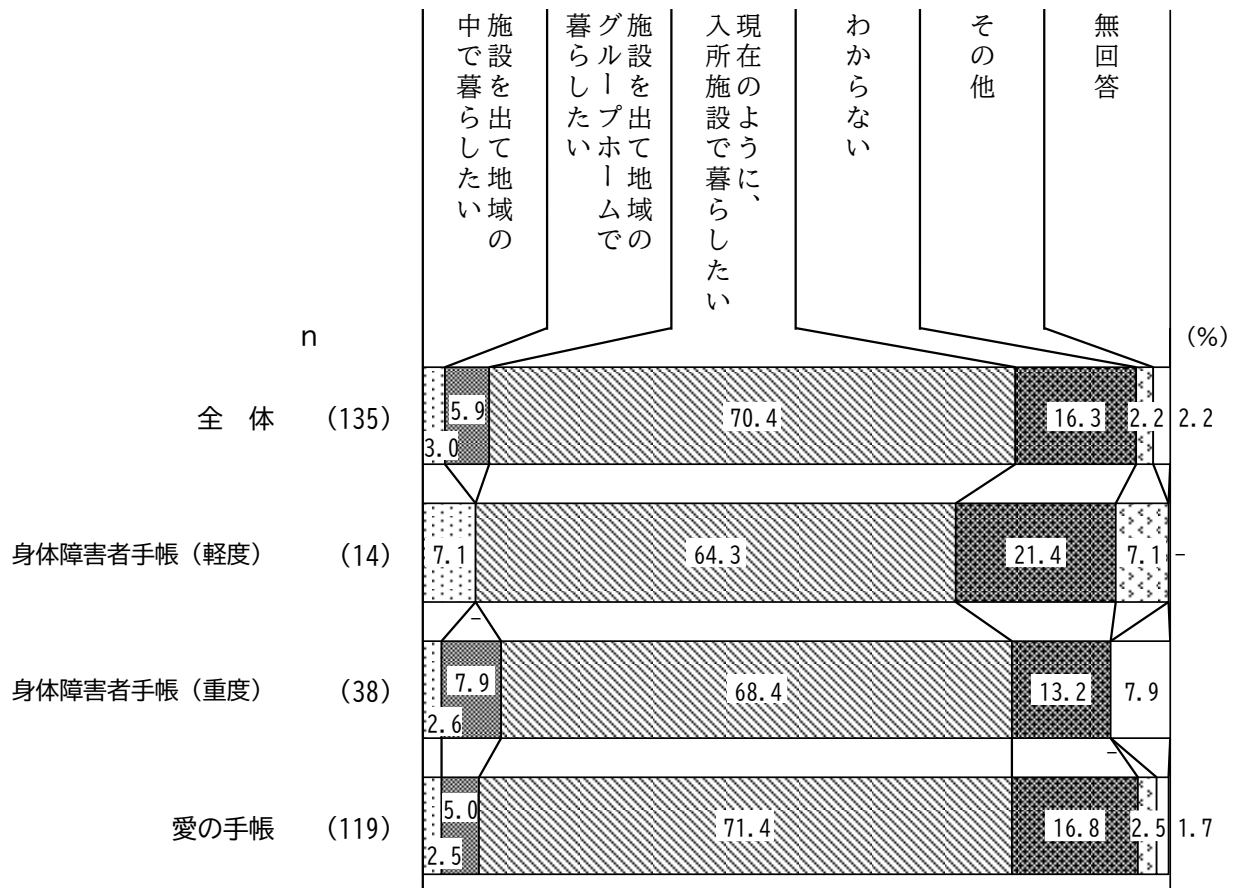
3.1. 生活したい場所

◆今後、生活したい場所は「現在のように、入所施設で暮らしたい」が約7割

(全員の方に)

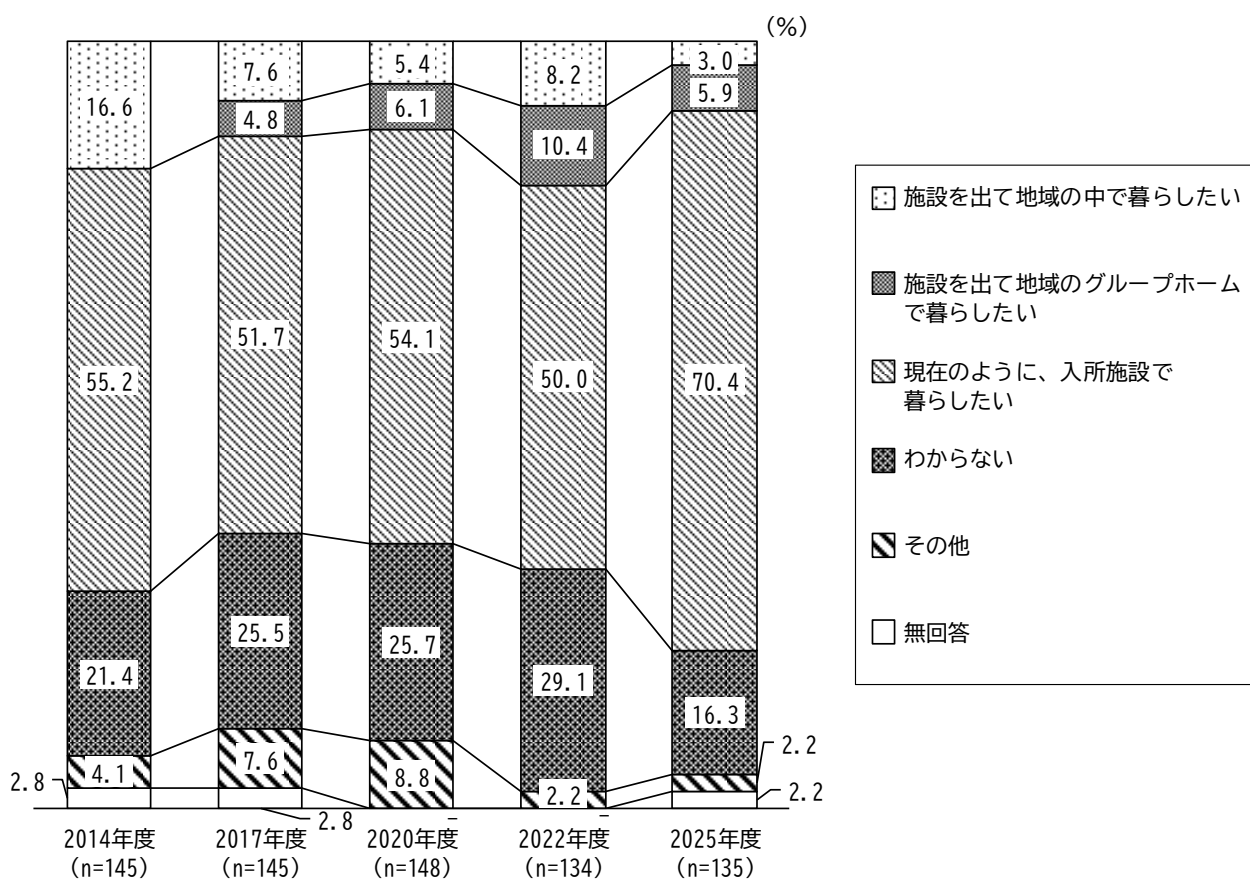
問9. 今後、どこで生活したいですか。(○は1つ)

図3-1 【所持手帳別】生活したい場所



今後、生活したい場所は、「現在のように、入所施設で暮らしたい」が最も高くなっている。

図 3-2 【経年比較】生活したい場所



※2014年度は「施設を出て地域のグループホームで暮らしたい」の選択肢はなし。

今後生活したい場所を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「現在のように、入所施設で暮らしたい」が20.4ポイント増加している。

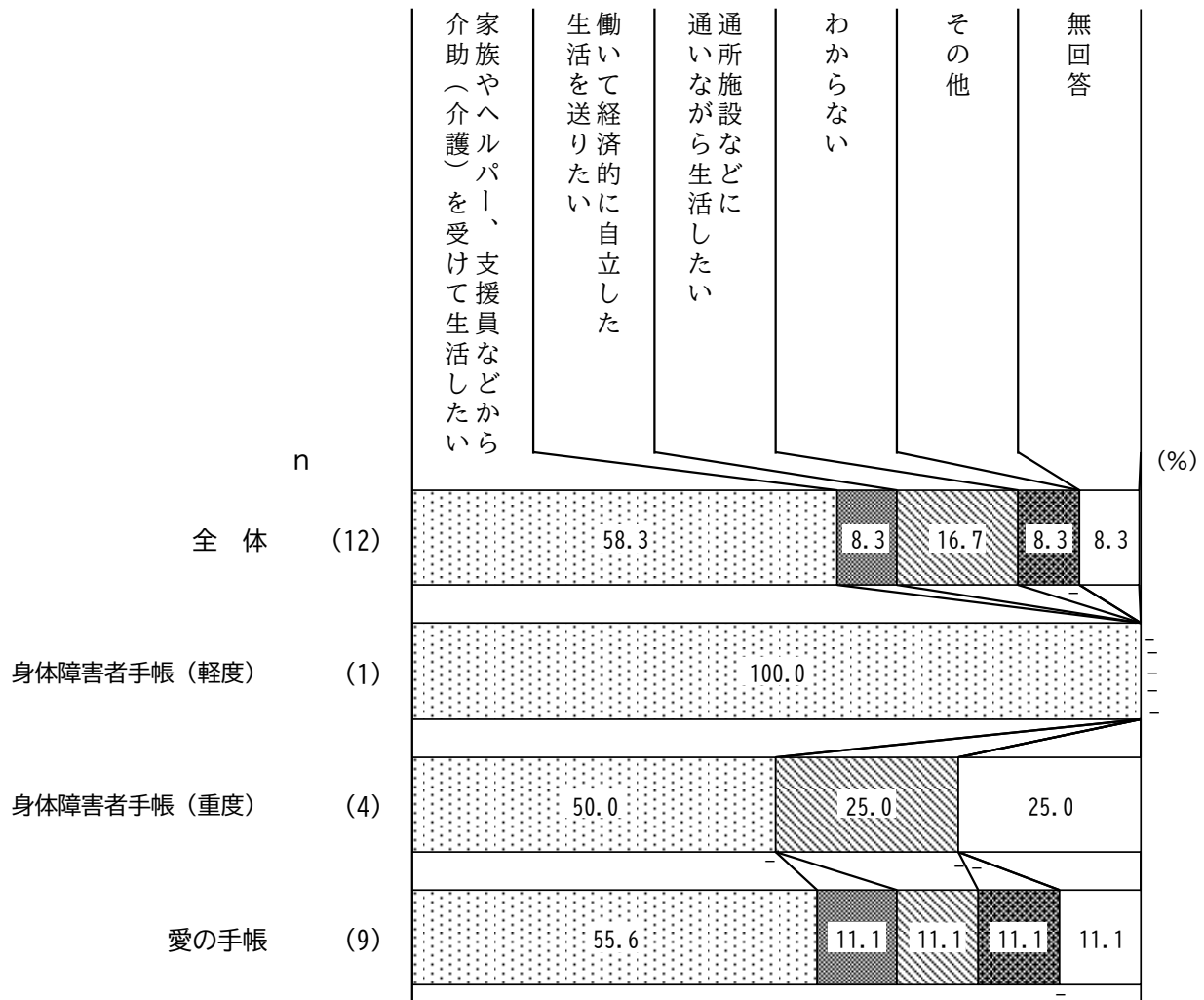
3.1.1. 施設退所後の生活

◆施設退所後の生活は「家族やヘルパー、支援員などから介助（介護）を受けて生活したい」が5割台後半

（問9で「1」または「2」に○をつけた方に）

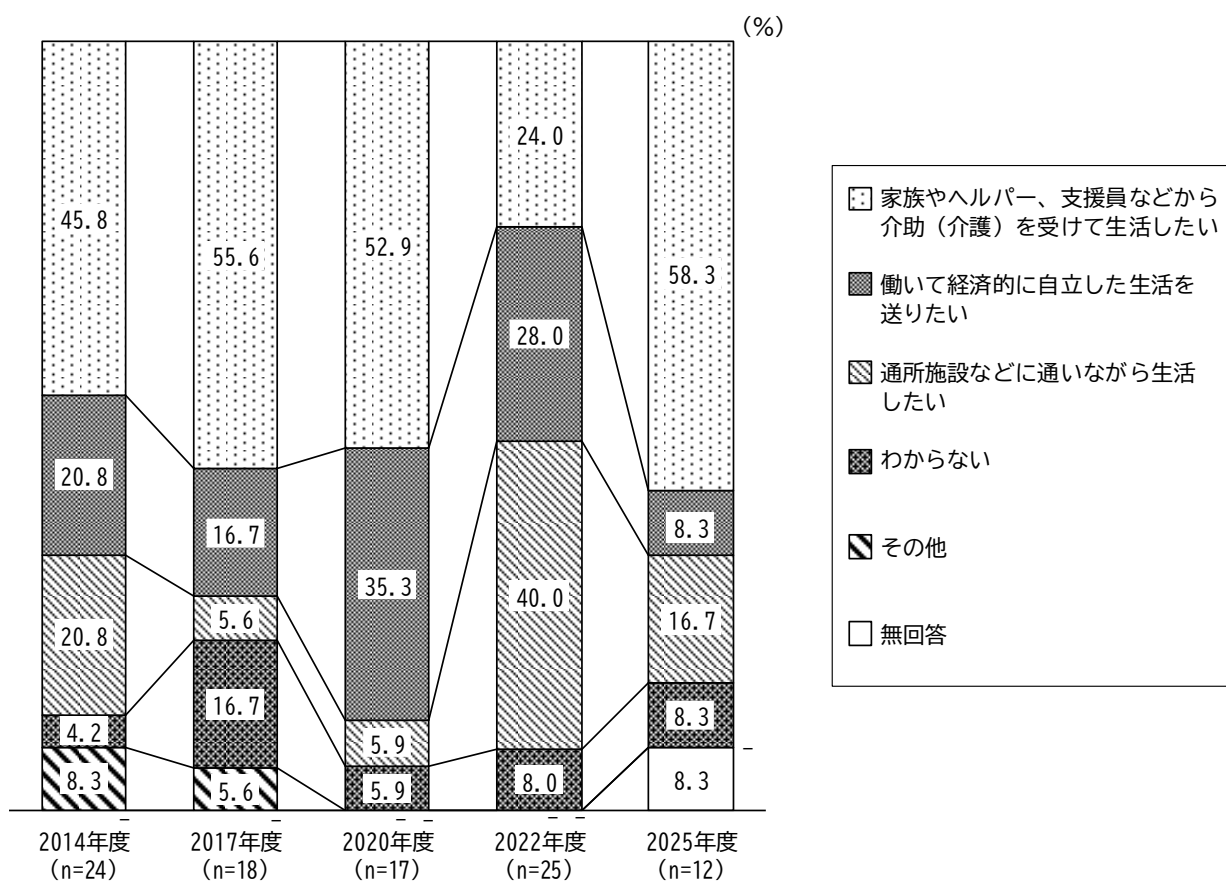
問9-1. 仮に施設を退所するとしたら、どのような生活を送りたいですか。（○は1つ）

図 3-3 【所持手帳別】施設退所後の生活



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

図 3-4 【経年比較】施設退所後の生活



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

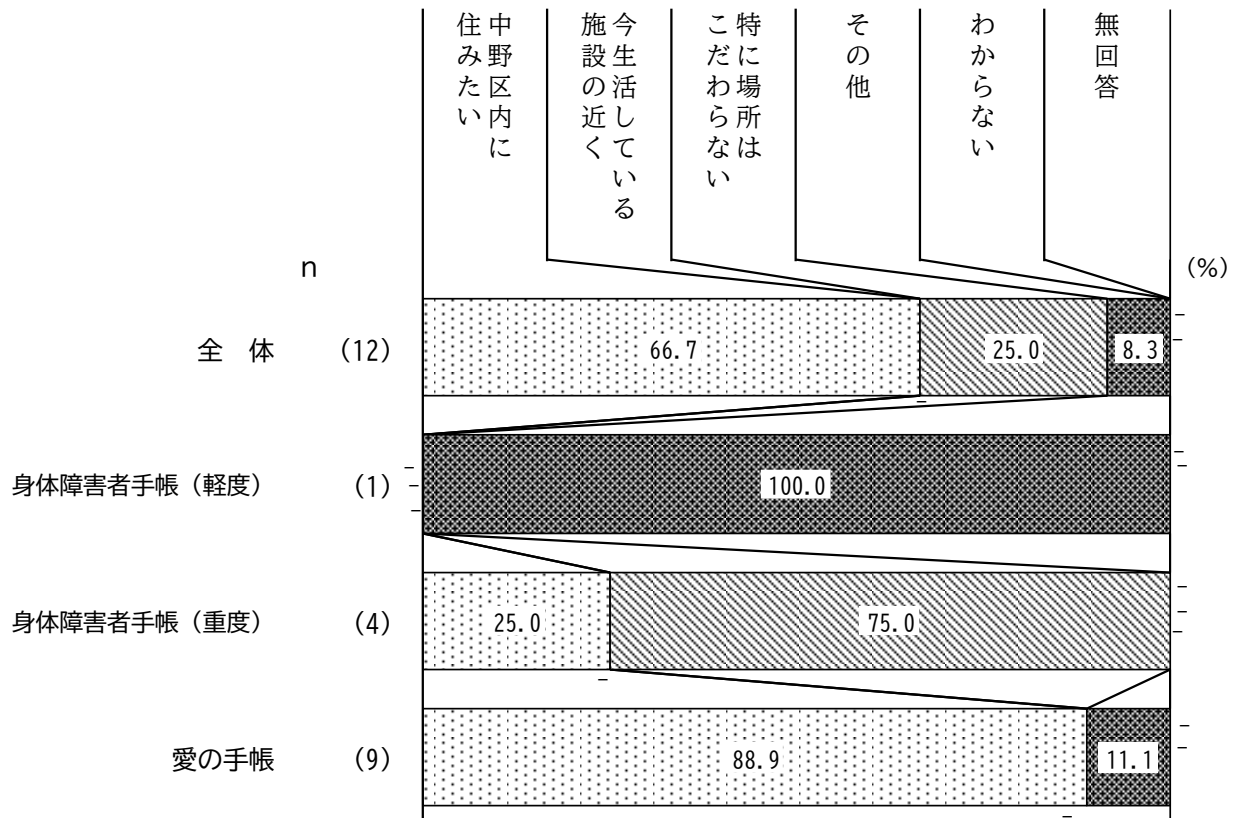
3.1.2. 施設退所後に住みたい場所

◆施設退所後は「中野区内に住みたい」が6割半ば

(問9で「1」または「2」に○をつけた方に)

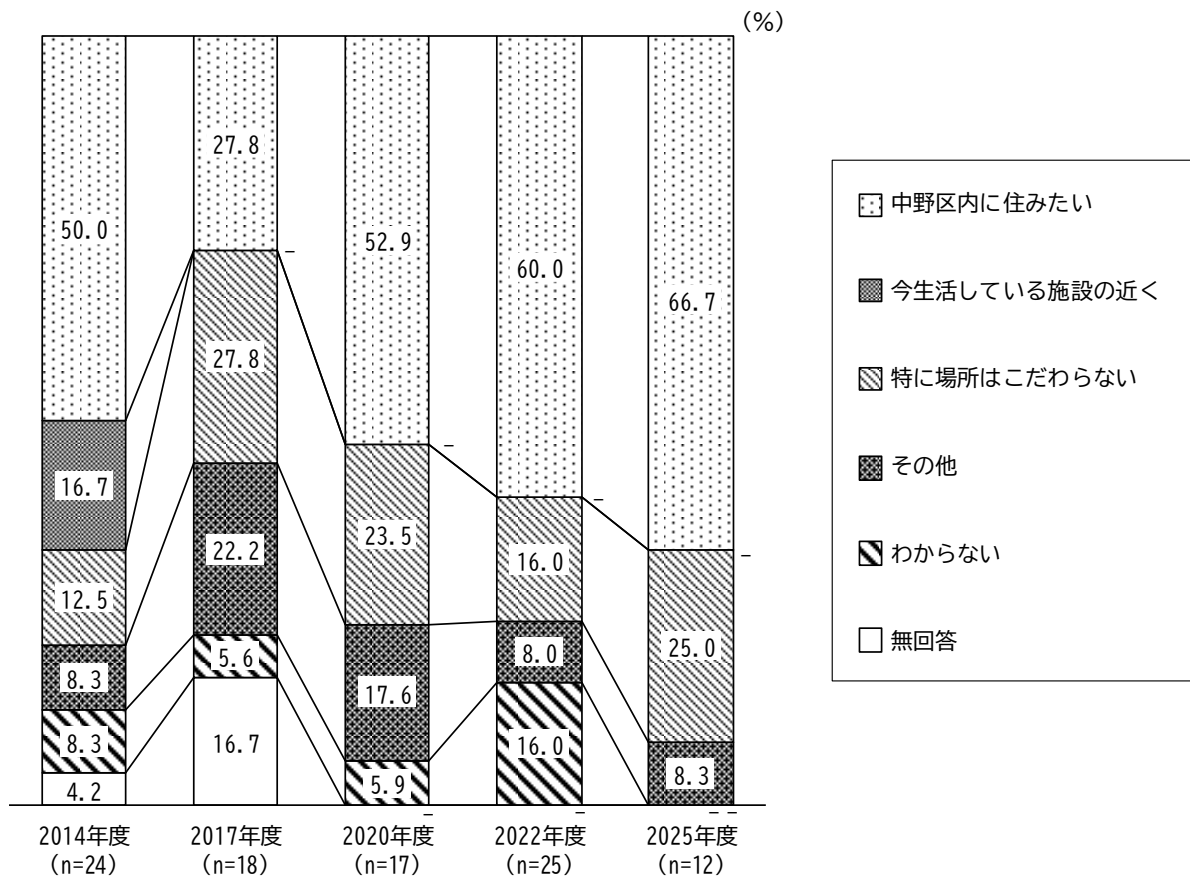
問9-2. 施設を退所したら、どこに住みたいです。(○は1つ)

図 3-5 【所持手帳別】施設退所後にどこに住みたいか



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

図 3-6 【経年比較】施設退所後に住みたい場所



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

4. 自由回答

4.1. 健康福祉行政全体への意見・要望

(全員の方に)

問 10. 健康福祉行政全体や今回の調査について、ご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

健康福祉行政全体や今回の調査について、要望や意見を自由に記入していただいたところ、3人の方から回答があった。ここではその意見を掲載する。

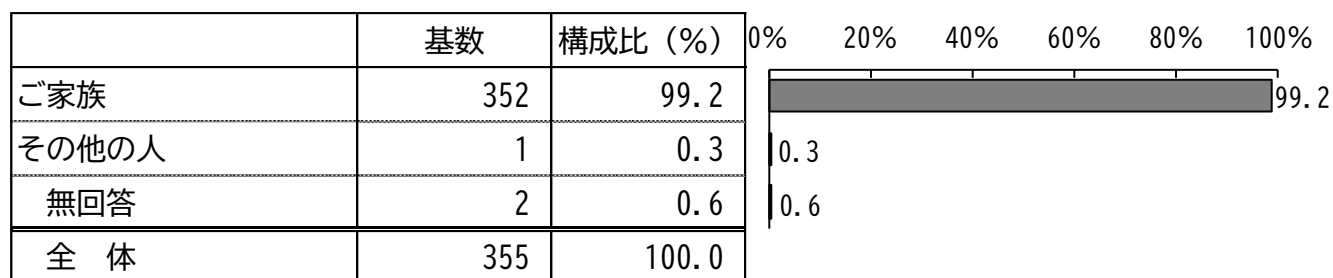
なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

- 日常的（支援、給食、虐待）などの調査を取り入れて欲しい。(25～29 歳)
- 中野区の方、また会いに来て下さい。(55～59 歳)
- 慣れた場所で暮らしたい。(70～74 歳)

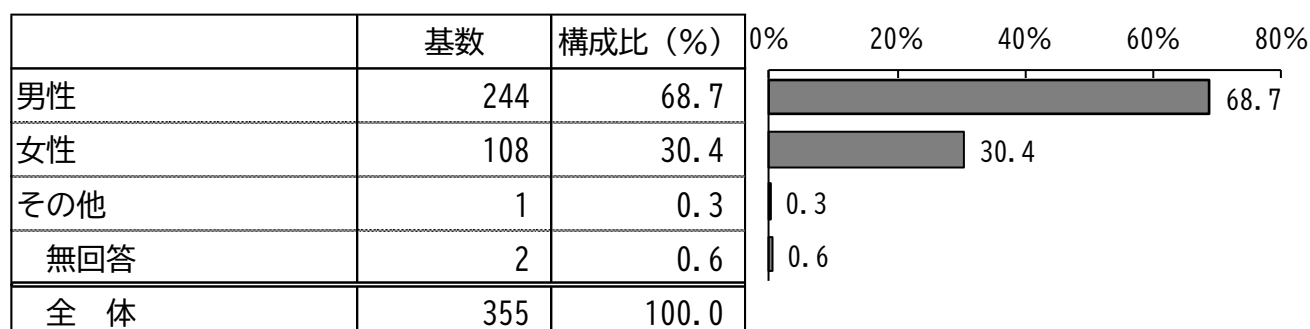
発達支援等調査

1. 調査回答者の属性

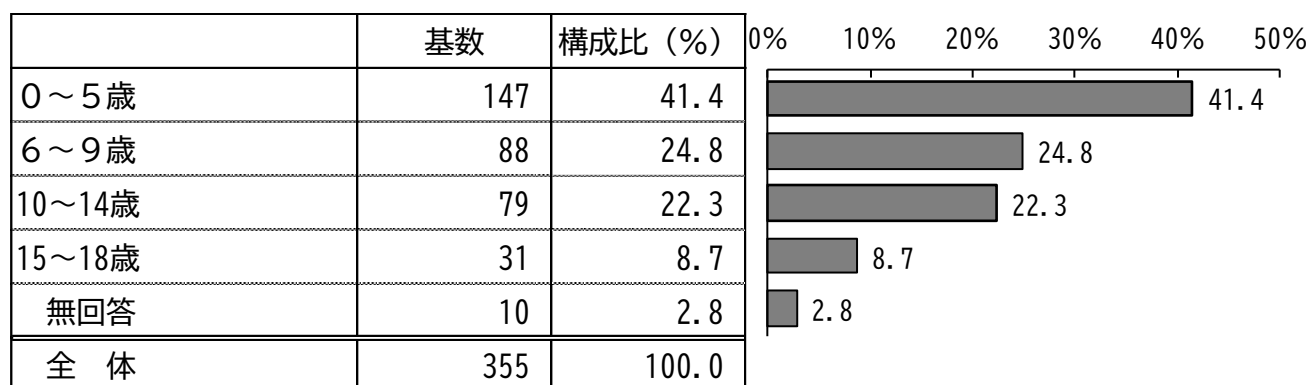
1.1. アンケートの回答者



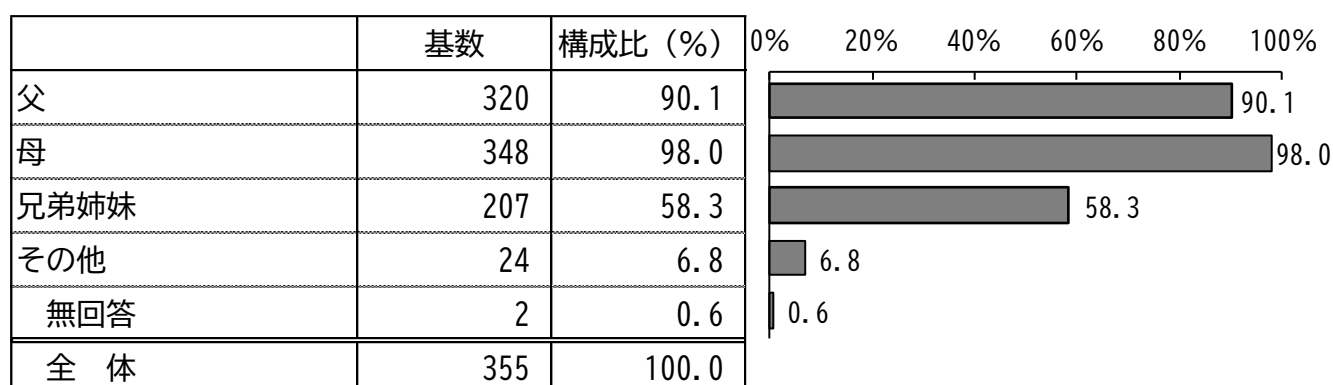
1.2. 性別



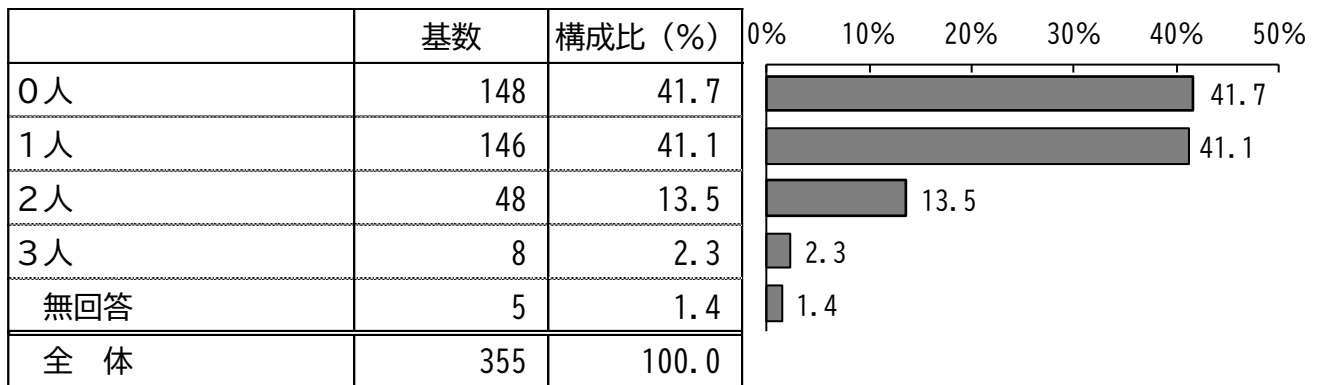
1.3. 年齢



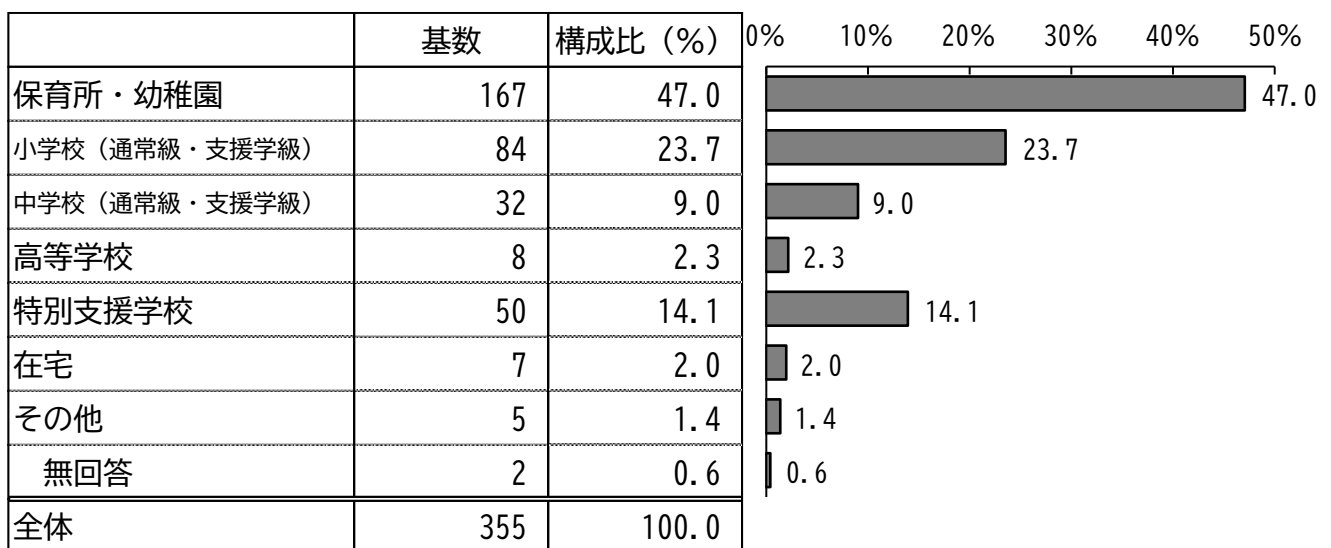
1.4. 家族構成（複数回答）



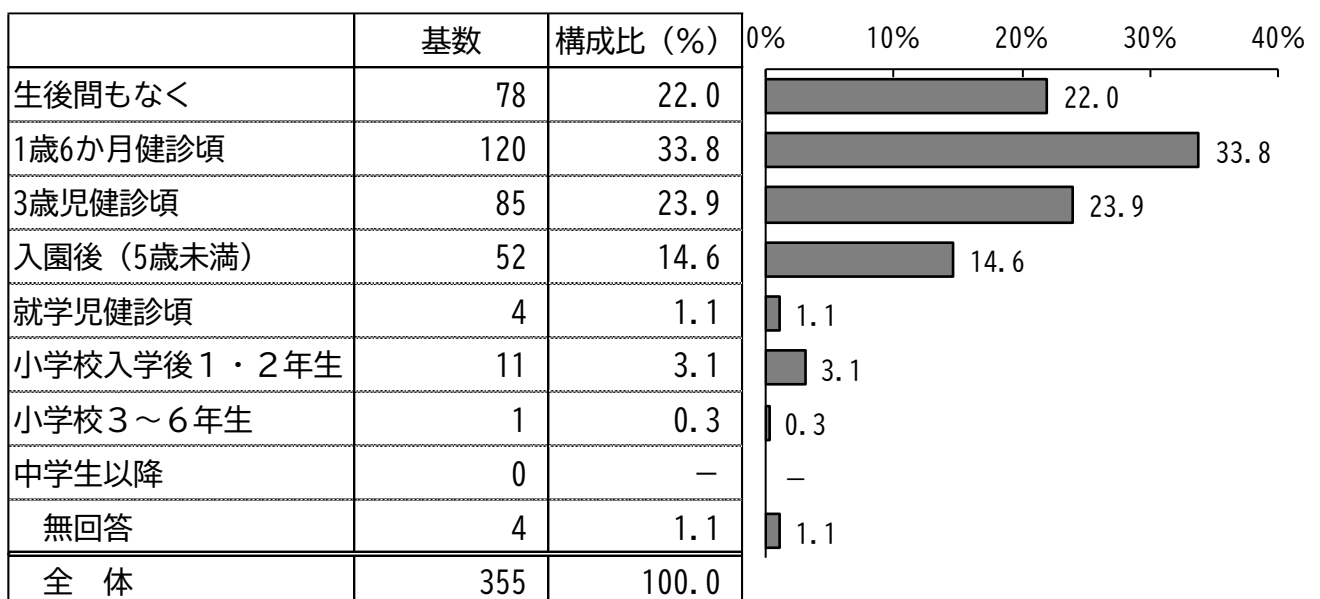
1.5. 兄弟姉妹の人数



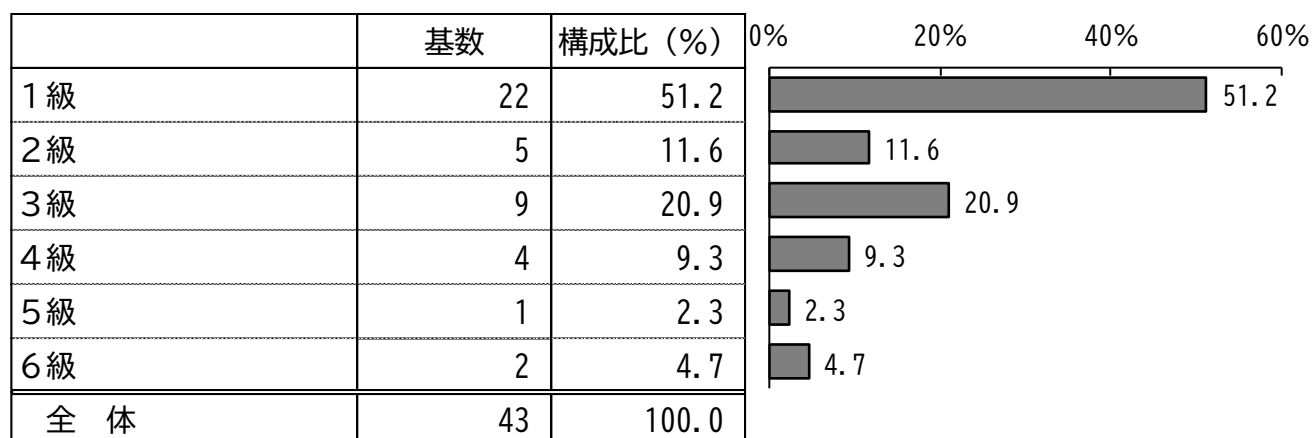
1.6. 子どもの在籍



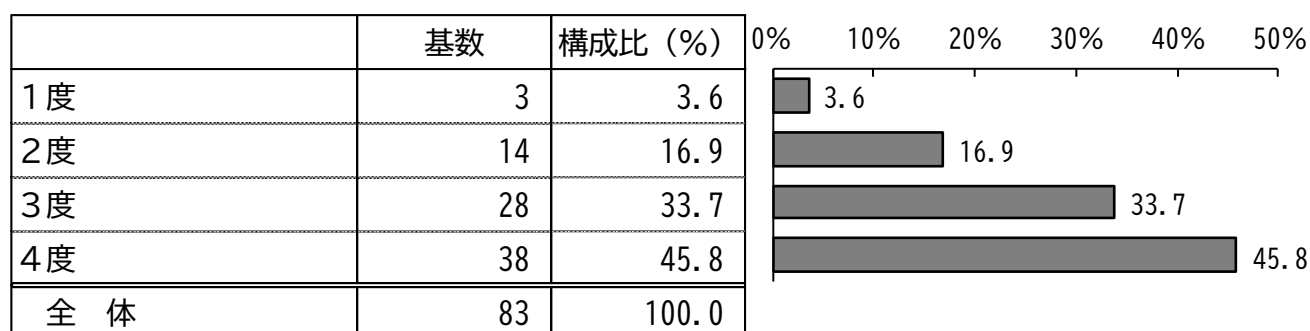
1.7. 子どもの発育や発達が気になった時期



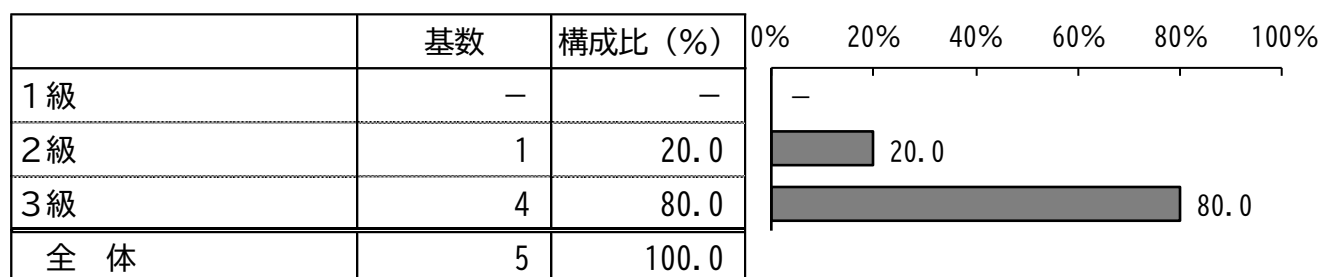
1.8. 身体障害者手帳の等級



1.9. 愛の手帳の度数



1.10. 精神障害者保健福祉手帳の等級



1.11. 所持手帳別年齢

		上段：(人) 下段：(%)				
	全 体	0 ～ 5 歳	6 ～ 9 歳	10 ～ 14 歳	15 ～ 18 歳	無 回 答
全体	355 100.0	147 41.4	88 24.8	79 22.3	31 8.7	10 2.8
手帳未所持者	236 100.0	126 53.4	71 30.1	29 12.3	3 1.3	7 3.0
身体（軽度）	16 100.0	4 25.0	0 0.0	9 56.3	2 12.5	1 6.3
身体（重度）	27 100.0	8 29.6	4 14.8	10 37.0	3 11.1	2 7.4
愛の手帳	83 100.0	11 13.3	12 14.5	36 43.4	24 28.9	0 0.0
精神障害者保健福祉手帳	5 100.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0

2. 療育相談について

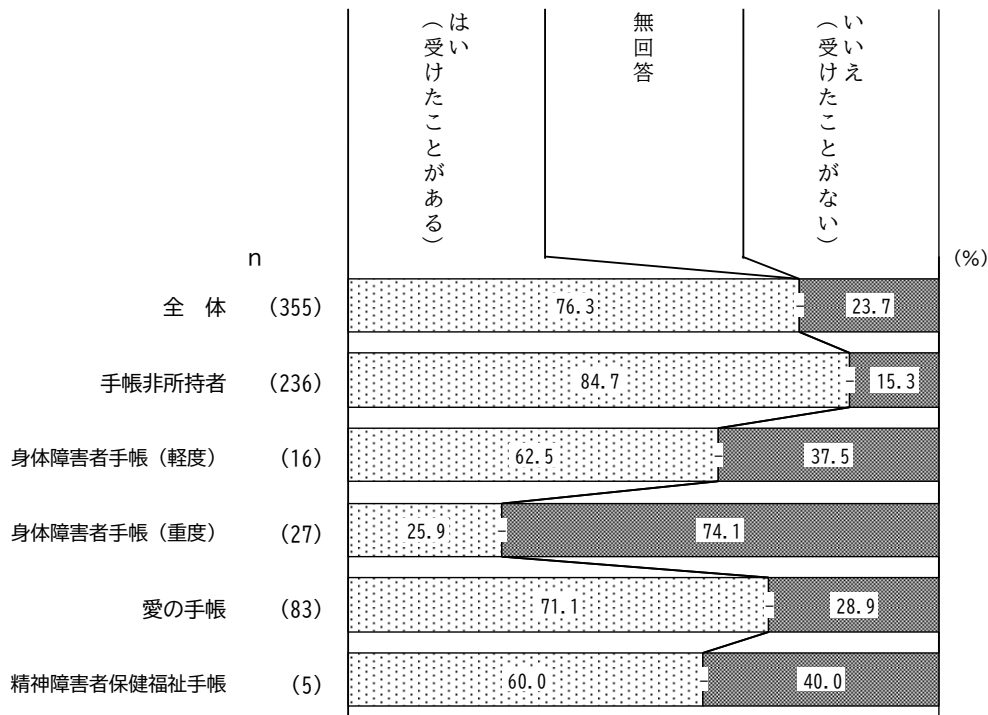
2.1. 療育相談の利用状況

◆療育相談を「受けたことがある」方は7割半ば

(全員の方に)

問6. 療育センターアポロ園又は療育センターゆめなりあで行っている「療育相談」を受けたことはありますか。(○は1つ)

図 2-1 【所持手帳別】療育相談の利用状況



療育相談を受けたことがあるかについて、「はい（受けたことがある）」が7割半ばとなっている。

図 2-2 【年齢別】療育相談の利用状況

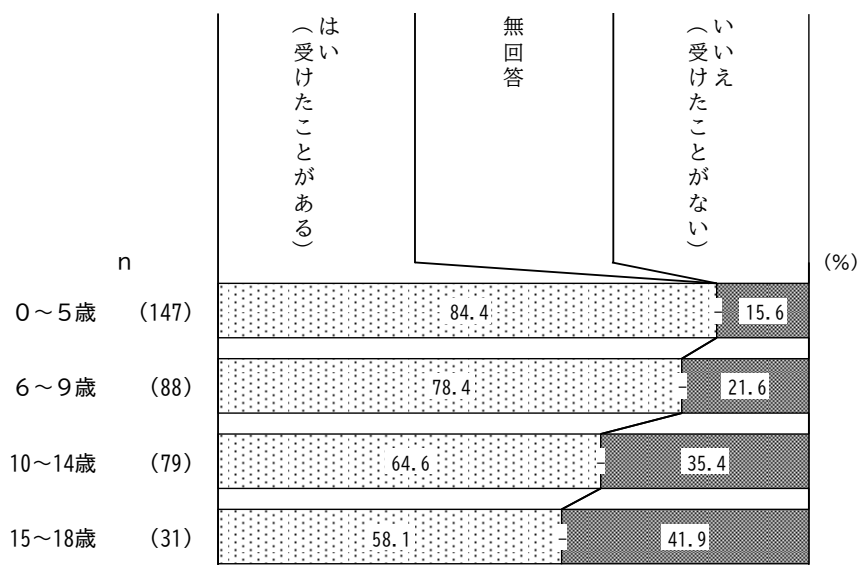


図 2-3 【在籍別】療育相談の利用状況

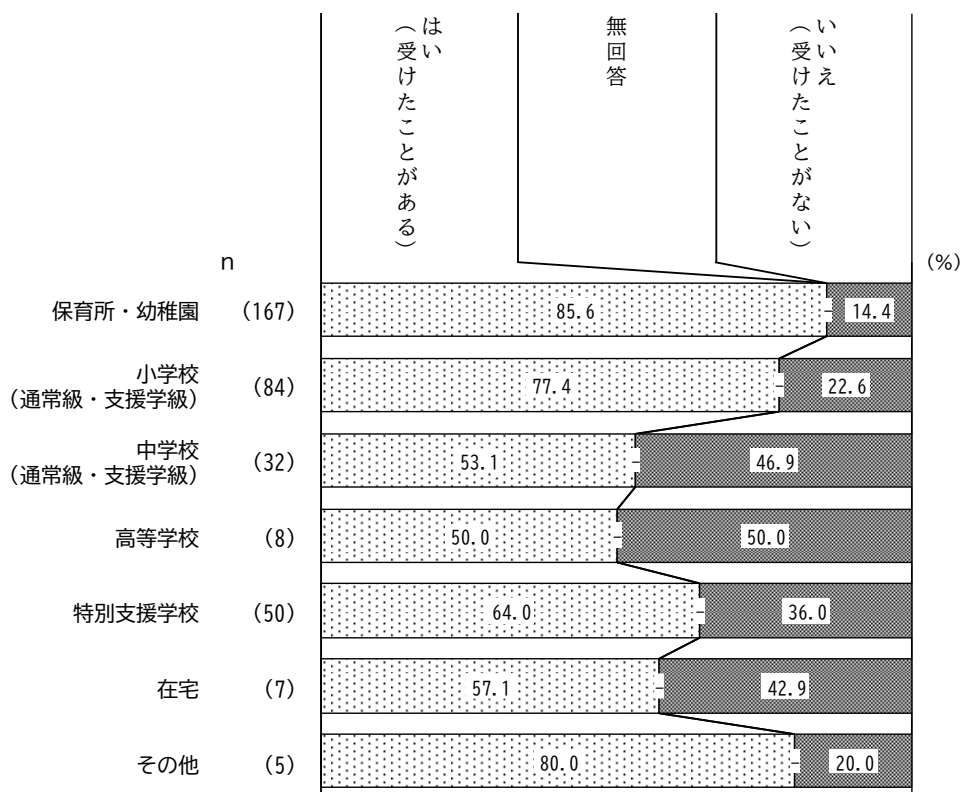
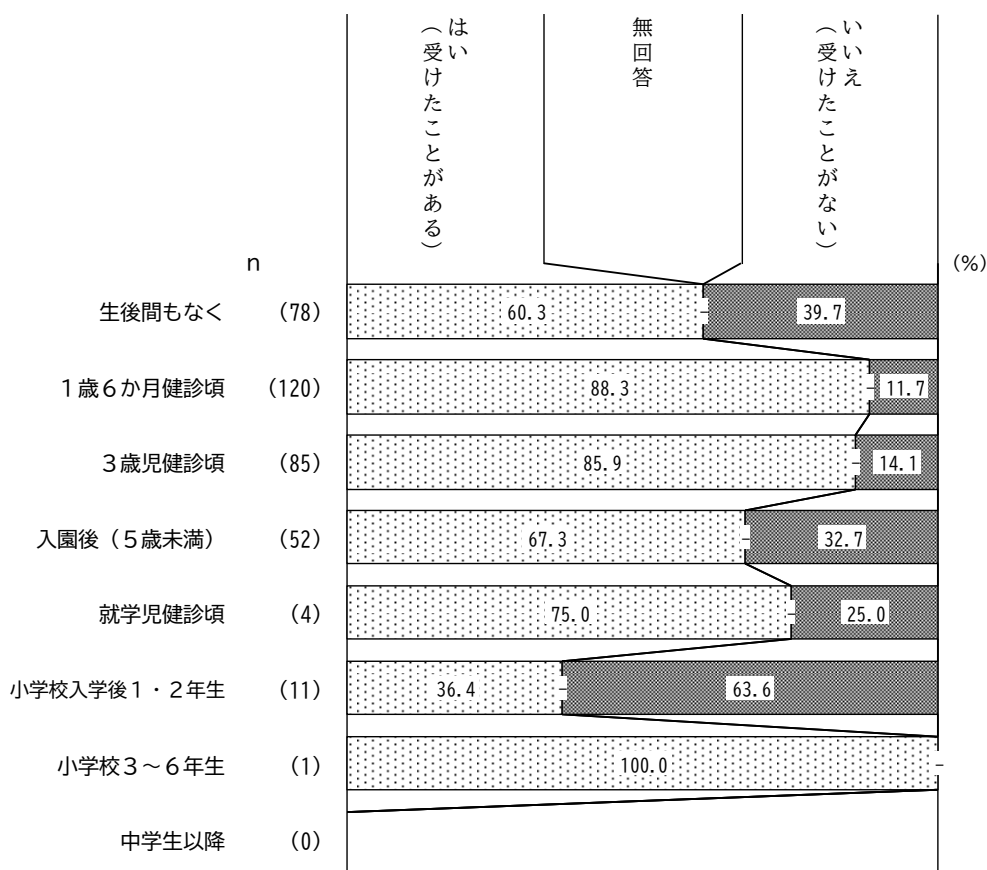


図 2-4 【気になった時期別】療育相談の利用状況



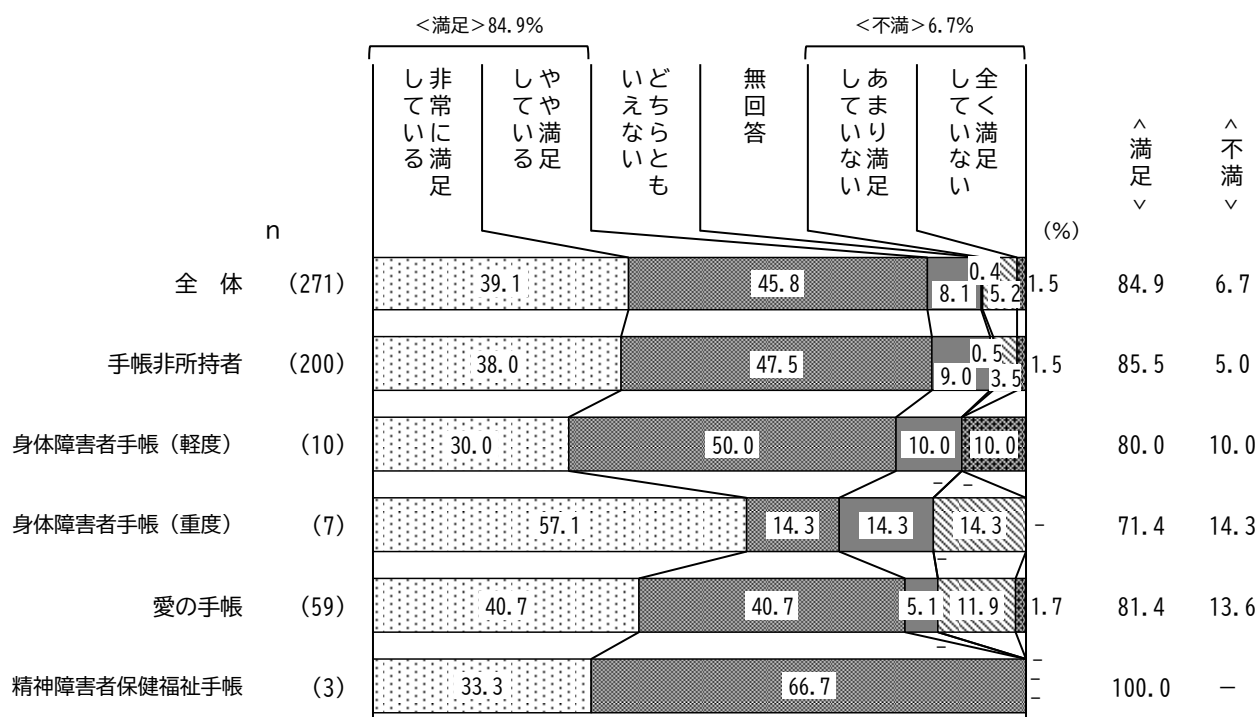
2.1.1.療育相談の満足度

◆療育相談を受けて<満足>は8割半ば

(問6で「1. はい」とお答えの方に)

問6-1. 療育相談について、どの程度満足しましたか。(○は1つ)

図 2-5 【所持手帳別】療育相談の満足度



療育相談の満足度は、<満足>が8割半ばとなっている。

図 2-6 【年齢別】療育相談の満足度

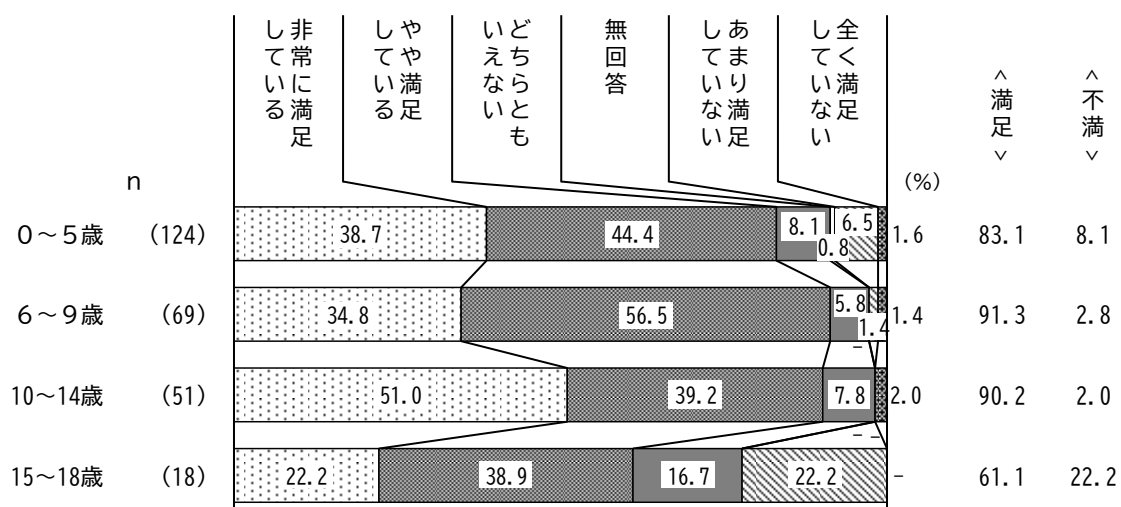
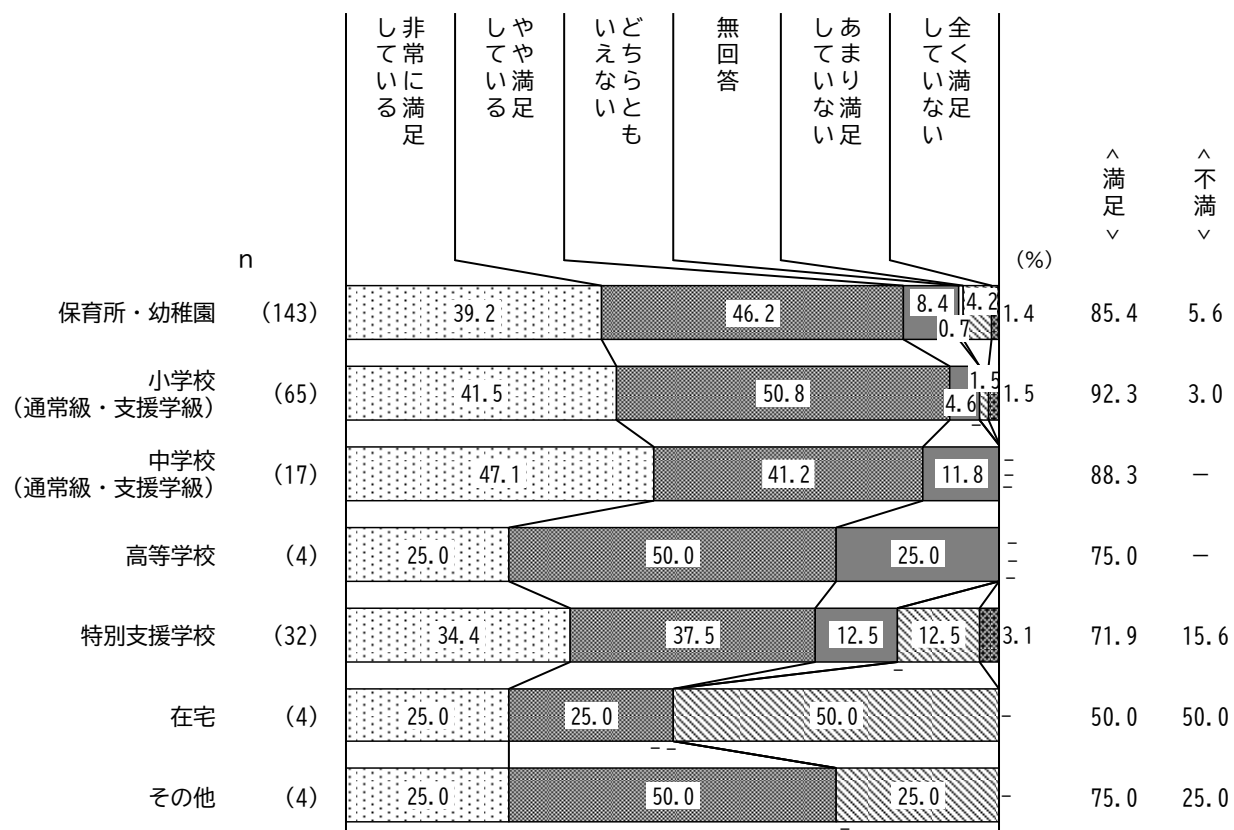


図 2-7 【在籍別】療育相談の満足度

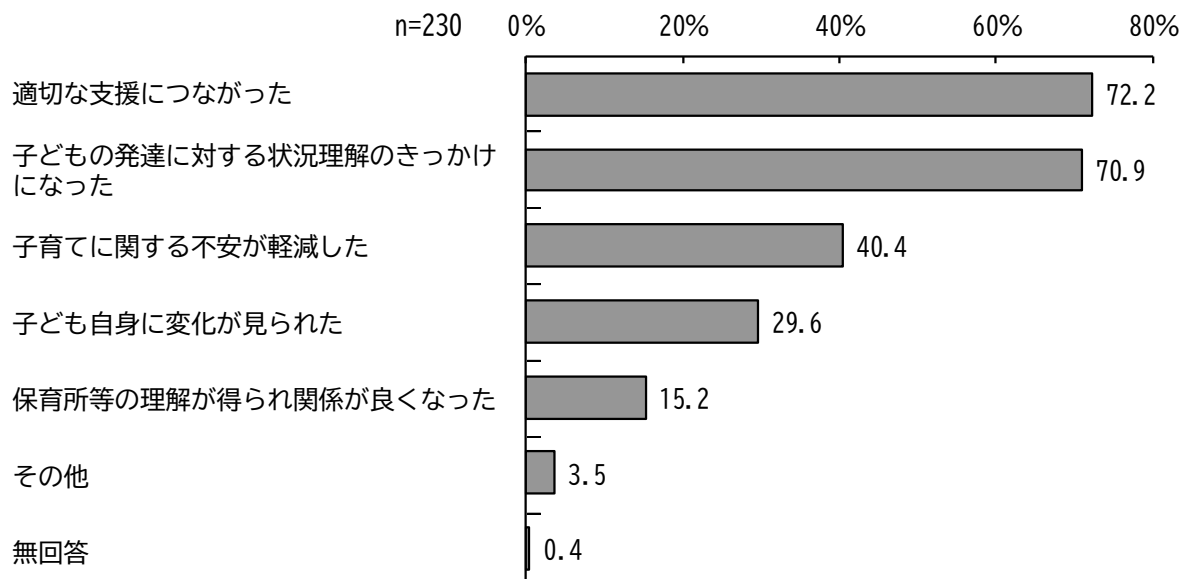


2.1.2. 療育相談に満足した理由

◆療育相談に満足した理由は「適切な支援につながった」「子どもの発達に対する状況理解のきっかけになった」が7割台

(問6-1で「1. 非常に満足している」または「2. やや満足している」とお答えの方に)
問6-1-1. 満足した理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図 2-8 療育相談に満足した理由



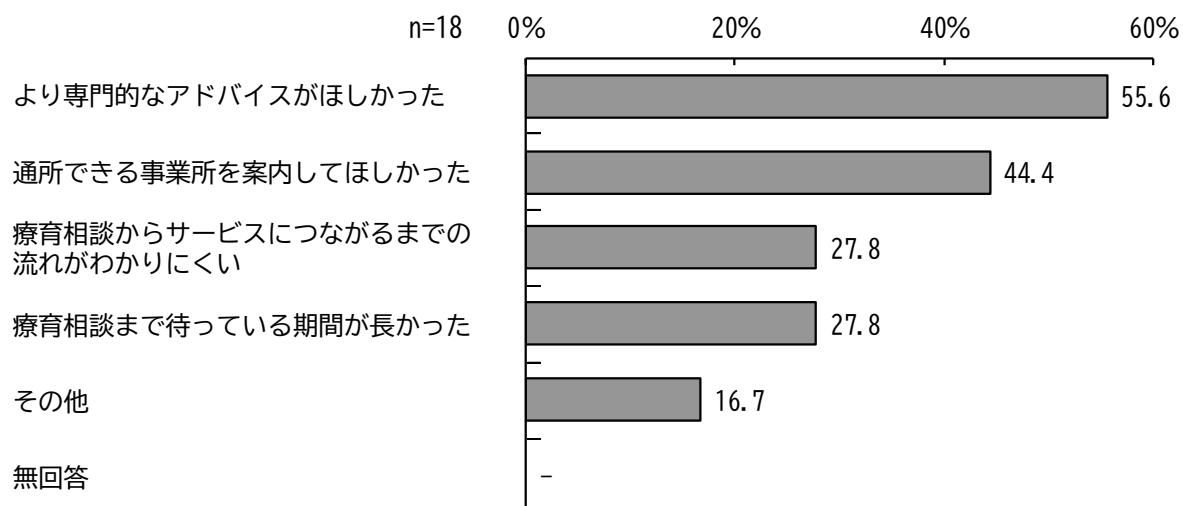
療育相談に＜満足＞と回答した方に、その理由をきいたところ、「適切な支援につながった」が7割台前半、「子どもの発達に対する状況理解のきっかけになった」が約7割で高くなっている。

2.1.3. 療育相談に満足しなかった理由

◆療育相談に満足しなかった理由は「より専門的なアドバイスがほしかった」が最も高い

(問 6-1 で「4. あまり満足していない」または「5. 全く満足していない」とお答えの方に)
問 6-1-2. 満足しなかった理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図 2-9 療育相談に満足しなかった理由



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

3. 福祉サービス等について

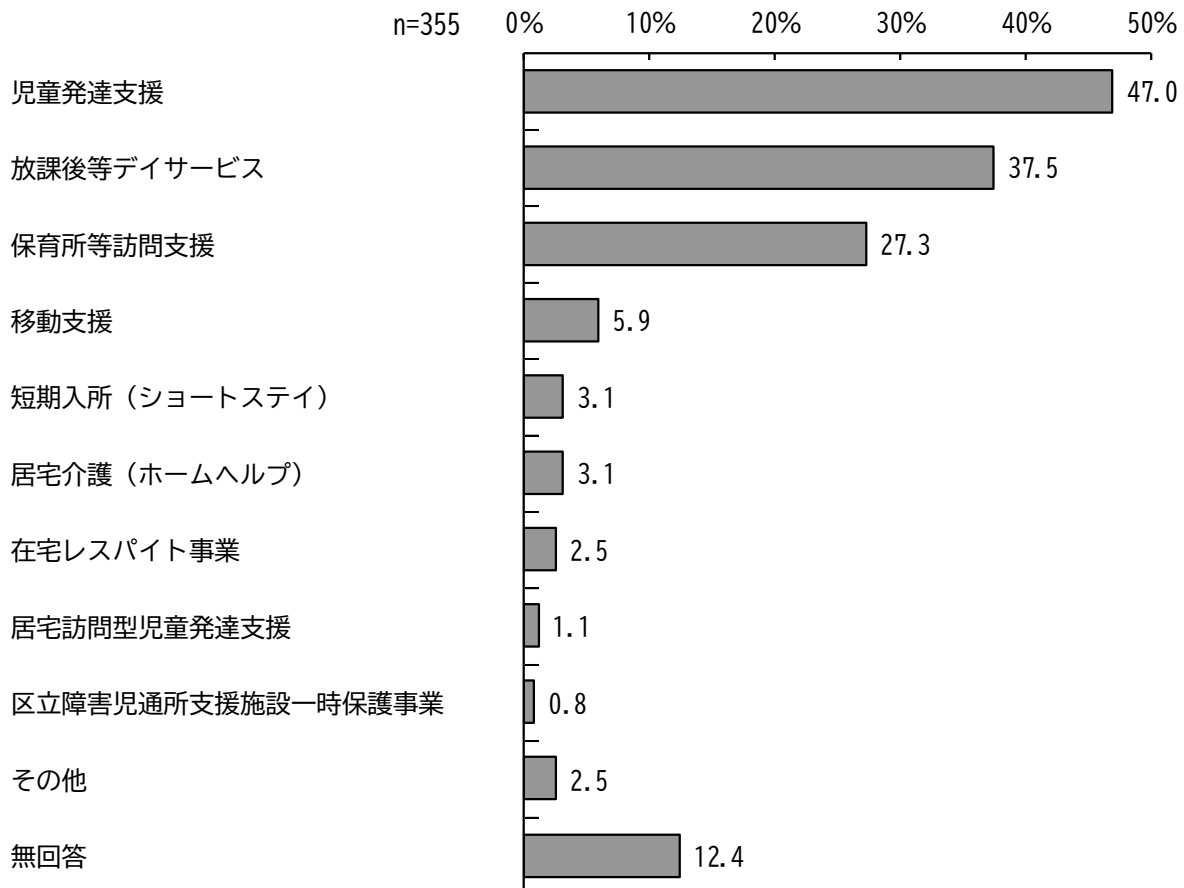
3.1. サービス等の利用状況

◆サービス等の利用状況は「児童発達支援」が4割台後半

(全員の方に)

問7. 次のサービス等を現在、利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

図3-1 サービス等の利用状況



サービス等の利用状況は、「児童発達支援」が最も高く、次いで「放課後等デイサービス」「保育所等訪問支援」となっている。

図 3-2 【経年比較】上位 5 項目 サービス等の利用状況

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2025年度 n=355	児童発達支援 47.0	放課後等デイサービス 37.5	保育所等訪問支援 27.3	移動支援 5.9	短期入所（ショートステイ）／居宅介護（ホームヘルプ） 3.1
2022年度 n=341	児童発達支援 67.4	アポロ園及びゆめなりあの保育所等訪問支援 45.7	放課後等デイサービス 35.5	保育所 24.3	専門医 20.5
2020年度 n=337	放課後等デイサービス 44.2	専門医 28.8	児童発達支援 16.3	相談支援事業所 11.6	アポロ園及びゆめなりあの保育園等巡回訪問支援 11.3
2017年度 n=287	児童発達支援 34.1	専門医 31.4	放課後等デイサービス 30.3	幼稚園 12.9	移動支援 11.1

2022 年度までと選択肢数が異なるため、経年比較は参考として掲載する。

図 3-3 【年齢別】サービス等の利用状況

区分	有効回答数（件）	児童発達支援	放課後等 デイサービス	居宅訪問型 児童発達支援	保育所等訪問支援	施設一時保護事業	区立障害児通所支援 （ショートステイ）	移動支援	居宅介護 （ホームヘルプ）	在宅レスパイト事業	その他	無回答
全体	355	47.0	37.5	1.1	27.3	0.8	3.1	5.9	3.1	2.5	2.5	12.4
0～5歳	147	89.8	—	2.7	48.3	0.7	0.7	—	0.7	2.7	2.0	7.5
6～9歳	88	26.1	59.1	—	23.9	2.3	—	8.0	1.1	2.3	—	10.2
10～14歳	79	2.5	69.6	—	1.3	—	6.3	8.9	5.1	1.3	6.3	22.8
15～18歳	31	9.7	77.4	—	—	—	12.9	19.4	6.5	—	3.2	19.4

図 3-4 【所持手帳別】サービス等の利用状況

区分	有効回答数 (件)	児童発達支援	放課後等 デイサービス	児童発達訪問型 居宅支援	保育所等訪問支援	施設一時保護事業 区立障害児通所支援	短期入所 (シヨートステイ)	移動支援	居宅介護 (ホームヘルプ)	在宅レスパイト事業	その他	無回答
全体	355	47.0	37.5	1.1	27.3	0.8	3.1	5.9	3.1	2.5	2.5	12.4
手帳非所持者	236	61.4	28.0	0.4	36.9	—	—	0.4	—	—	1.7	8.1
身体障害者手帳（軽度）	16	12.5	12.5	—	12.5	6.3	—	6.3	6.3	6.3	6.3	62.5
身体障害者手帳（重度）	27	25.9	44.4	7.4	7.4	7.4	29.6	22.2	37.0	25.9	7.4	22.2
愛の手帳	83	18.1	66.3	2.4	8.4	2.4	6.0	19.3	3.6	2.4	3.6	14.5
精神障害者保健福祉手帳	5	—	80.0	—	20.0	—	20.0	20.0	—	—	—	—

図 3-5 【在籍別】サービス等の利用状況

区分	有効回答数 (件)	児童発達支援	放課後等 デイサービス	児童発達訪問型 居宅支援	保育所等訪問支援	施設一時保護事業 区立障害児通所支援	短期入所 (シヨートステイ)	移動支援	居宅介護 (ホームヘルプ)	在宅レスパイト事業	その他	無回答
全体	355	47.0	37.5	1.1	27.3	0.8	3.1	5.9	3.1	2.5	2.5	12.4
保育所・幼稚園	167	89.2	—	1.2	55.7	—	0.6	—	1.2	1.2	0.6	7.2
小学校 (通常級・支援学級)	84	3.6	79.8	—	1.2	—	—	2.4	—	—	3.6	14.3
中学校 (通常級・支援学級)	32	3.1	62.5	—	—	—	—	6.3	—	—	6.3	31.3
高等学校	8	—	62.5	—	—	—	12.5	12.5	12.5	—	—	25.0
特別支援学校	50	6.0	80.0	—	—	4.0	16.0	30.0	14.0	6.0	2.0	16.0
在宅	7	71.4	—	14.3	—	—	—	—	—	42.9	14.3	—
その他	5	100.0	—	20.0	40.0	20.0	—	—	—	—	20.0	—

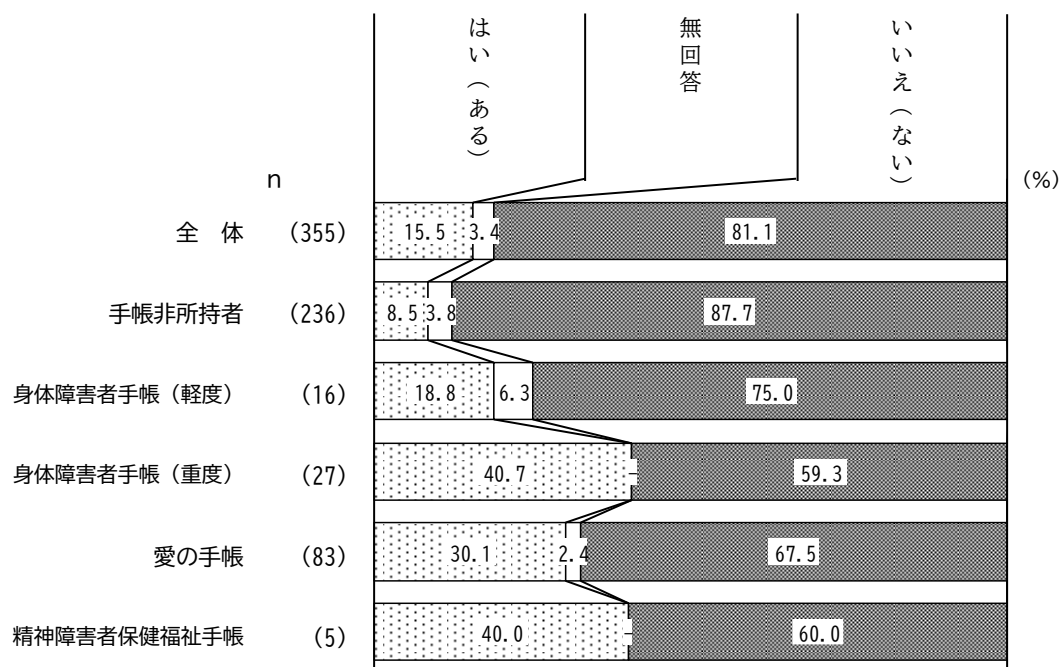
3.1.1. これまで利用できなかったサービス等の有無

◆これまで利用できなかったサービス等は「ない」が約8割

(全員の方に)

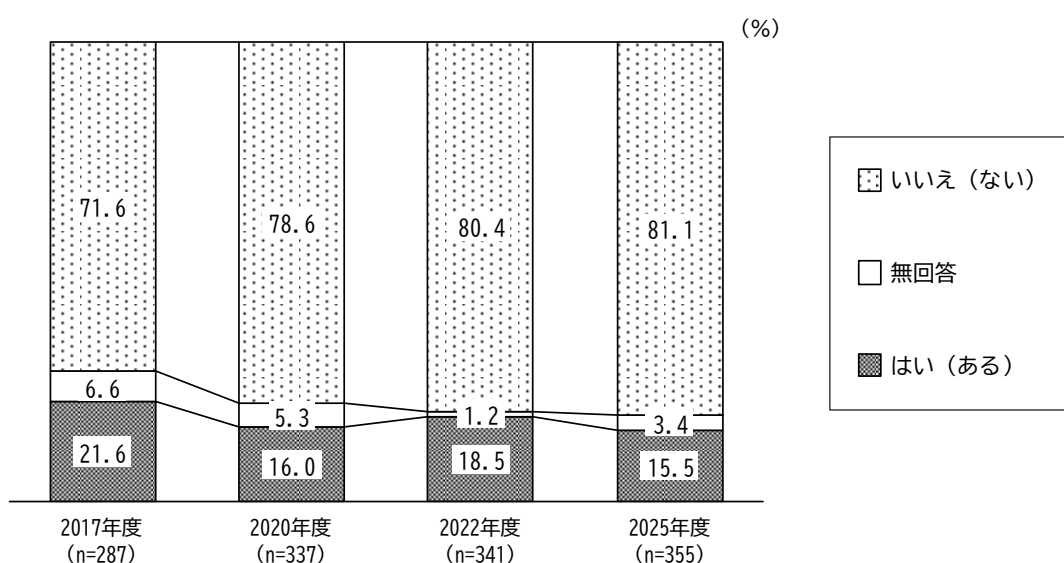
問 7-1. これまで利用できなかったサービス等がありますか。(○は1つ)

図 3-6 【所持手帳別】これまで利用できなかったサービス等の有無



これまで利用できなかったサービス等の有無は、他と比べて身体障害者手帳所持者（重度）と精神障害者保健福祉手帳所持者で「はい（ある）」の割合が高くなっている。

図 3-7 【経年比較】これまで利用できなかったサービス等の有無



これまで利用できなかったサービス等の有無について、2025 年度は 2022 年度と比べ大きな変化はみられない。

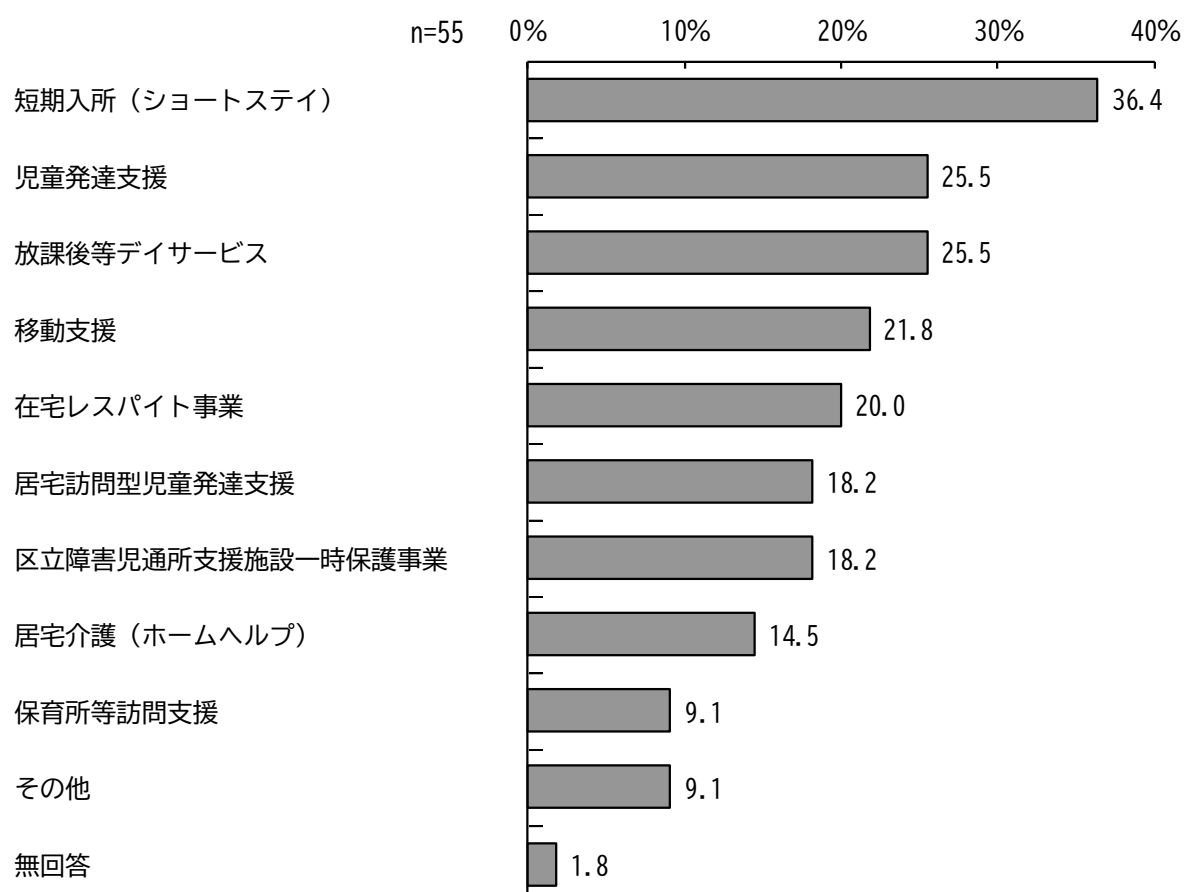
3.1.2. 利用できなかったサービス等

◆サービス等の利用状況は「短期入所（ショートステイ）」が3割半ば

（問7で「1. はい」とお答えの方に）

問7-1-1. 利用できなかったサービス等は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

図 3-8 利用できなかったサービス等



利用できなかったサービス等は、「短期入所（ショートステイ）」が最も高く、次いで「児童発達支援」と「放課後等デイサービス」となっている。

図 3-9 【経年比較】上位 5 項目 利用できなかったサービス等

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=55	短期入所 (ショートステイ) 36.4	児童発達支援／ 放課後等デイサービス 25.5		移動支援 21.8	在宅レスパイト 事業 20.0
2022年度 n=63	保育所 22.2	児童発達支援／ 放課後等デイサービス 12.7		専門医／幼稚園	9.5
2020年度 n=54	短期入所 (ショートステイ) / 幼稚園 18.5	保育所 16.7		放課後等デイサービス/ 学童クラブ 14.8	
2017年度 n=62	幼稚園 25.8	保育所 24.2	児童発達支援 19.4	短期入所 11.3	移動支援 9.7

2022 年度までと選択肢数が異なるため、経年比較は参考として掲載する。

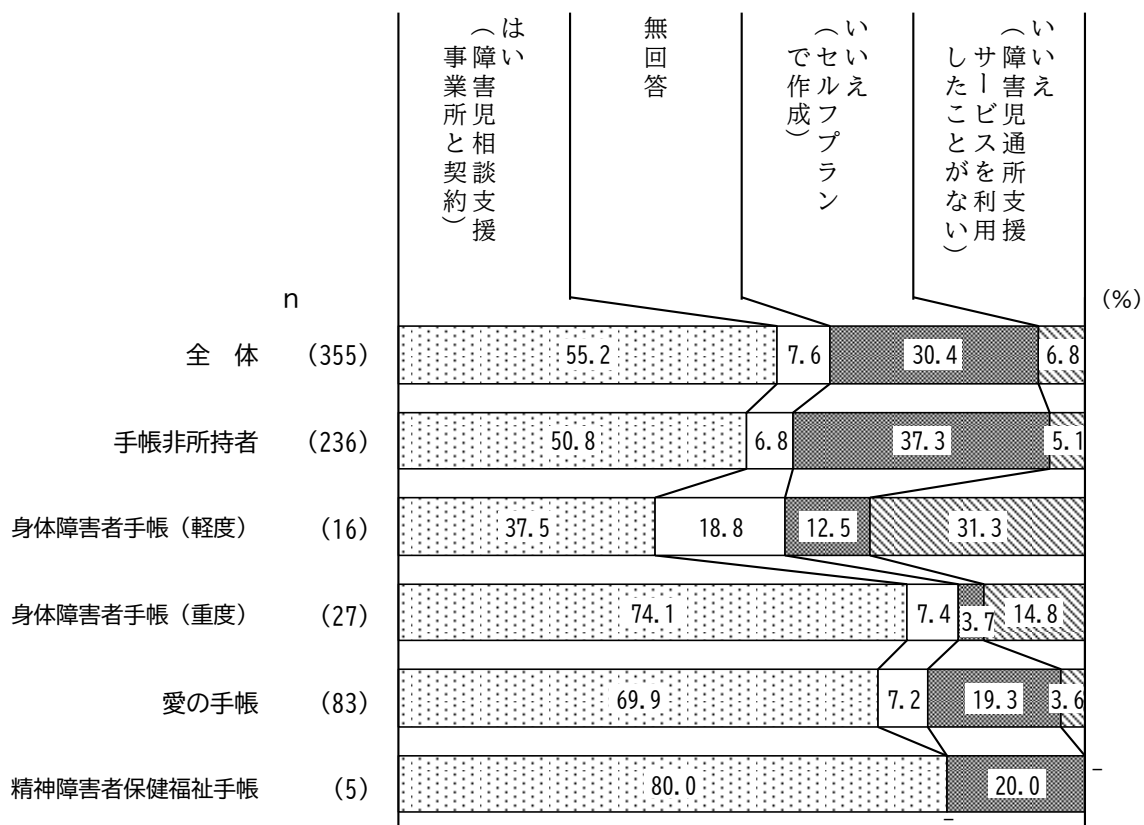
3.2. サービス等利用計画の作成状況

◆サービス等利用計画作成の際に「障害児相談支援事業所と契約」が5割半ば

(全員の方に)

問 8. 障害児通所支援サービスを利用するにあたり、サービス等利用計画の作成について、障害児相談支援事業所と契約をしましたか。(○は1つ)

図 3-10 【所持手帳別】サービス等利用計画の作成状況



サービス等利用計画の作成状況について、「はい (障害児相談支援事業所と契約)」が5割半ば、「いいえ (セルフプランで作成)」が約3割となっている。

図 3-11 【年齢別】サービス等利用計画の作成状況

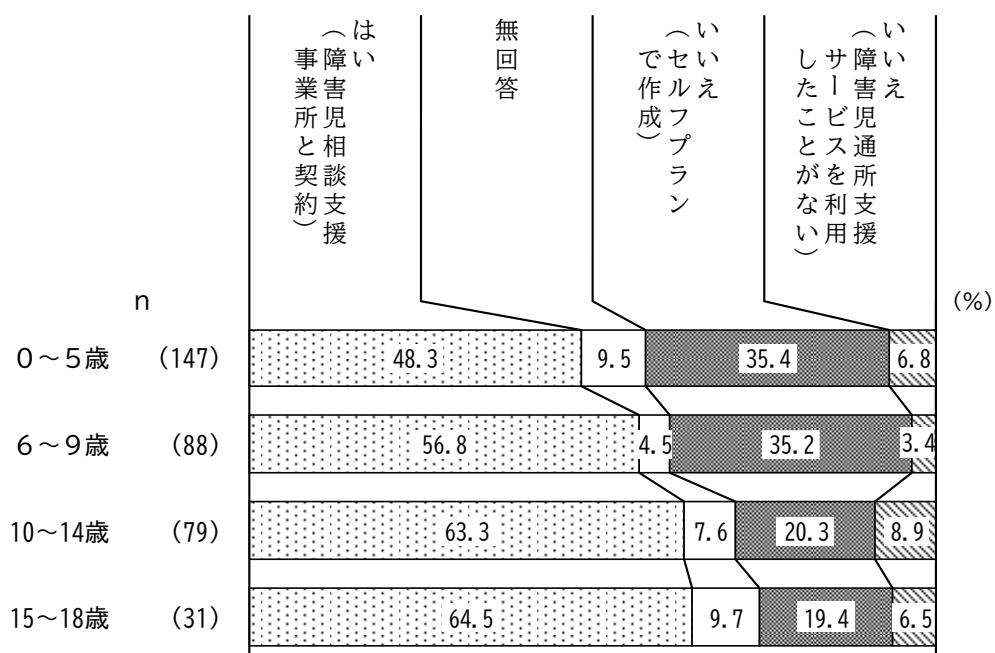
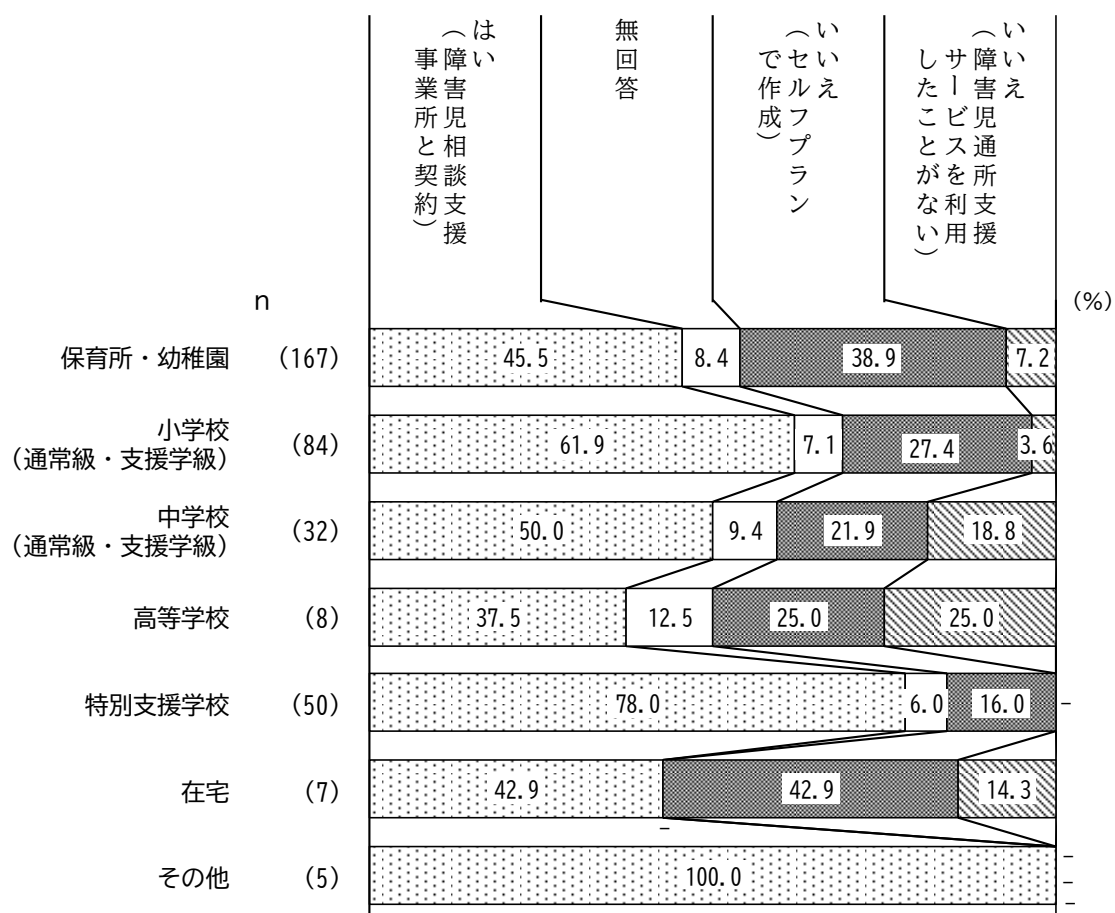


図 3-12 【在籍別】サービス等利用計画の作成状況



3.2.1. サービス等利用計画作成についての意見・要望

(全員の方に)

問 8-1. サービス等利用計画作成についてご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

サービス等利用計画作成について、要望や意見を自由に記入していただいたところ、57 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

制度について 22 件

- サービス利用の流れがよく理解できず、説明されるがまま、相談支援事業所と契約することになった。(空きがあるところが少なく、こちらなら契約できますよ、と教えて頂いた) 実際いろんなサービスを利用していく中で、契約する、しない(セルフプラン)とはどういうことだったのか理解しました。結果契約することができて満足していますが、最初はやる事がたくさんあり、戸惑うことも多く、もっと分かりやすければ…と思います。(0～5 歳)
- セルフプラン利用中です。更新の案内が届いてから提出期限が1ヶ月弱と短いため、もう少し早めにいただけると助かります。また、今後スマホ1つで作成、提出できたら助かります。電子化希望です。(0～5 歳)
- 制度が非常にわかりにくい。(0～5 歳)
- 紙ではなく、データを頂き、それをメールで提出できるようにしてほしい。(6～9 歳)
- 継続利用については、より簡易的な更新にいただけると有難い。(無回答)

事業所の対応について 21 件

- 当初作成方法がわからなかったのですが、事業所の方に話を聞いたり参考になりました。(0～5 歳)
- 障害者相談支援事業所に計画作成の空気がなく、複数の事業所から「面談までに3か月～半年以上かかる」と回答されました。本人を連れて面談に行くため近場が良いという希望もあり、対応できる事業所や職員さんが増えると助かります。(0～5 歳)
- 働きながらだったので問い合わせる先が多く負担に感じた。福祉センターで取りまとめて実施していただけると良いと感じた。また、説明される方によって回答が異なった。(0～5 歳)
- 事業所が混んでおり申し込みに時間がかかったので人手を増やしてほしい(6～9 歳)
- 土曜日でも面談日に設定して下さり助かります。(10～14 歳)
- 子供の今の状態や今後どうしていこうかと相談しながら計画できて満足しています。(10～14 歳)

事業所の対応について 6 件

- セルフプラン作成にあたって記載方法(見本)があると良かった。(0～5 歳)
- セルフプランの作成方法を教えて頂いたので、スムーズに作成することができました。(0～5 歳)
- 福祉センターの方々は忙しく、人手不足を感じるため、セルフプランにしたい所だが、1人で作成するには不安がある。(0～5 歳)

事業所の対応について 8 件

- 作成されたサービス等利用計画が区役所でどのように使用されているのか知りたい。(0～5 歳)

4. 児童福祉法のサービスについて

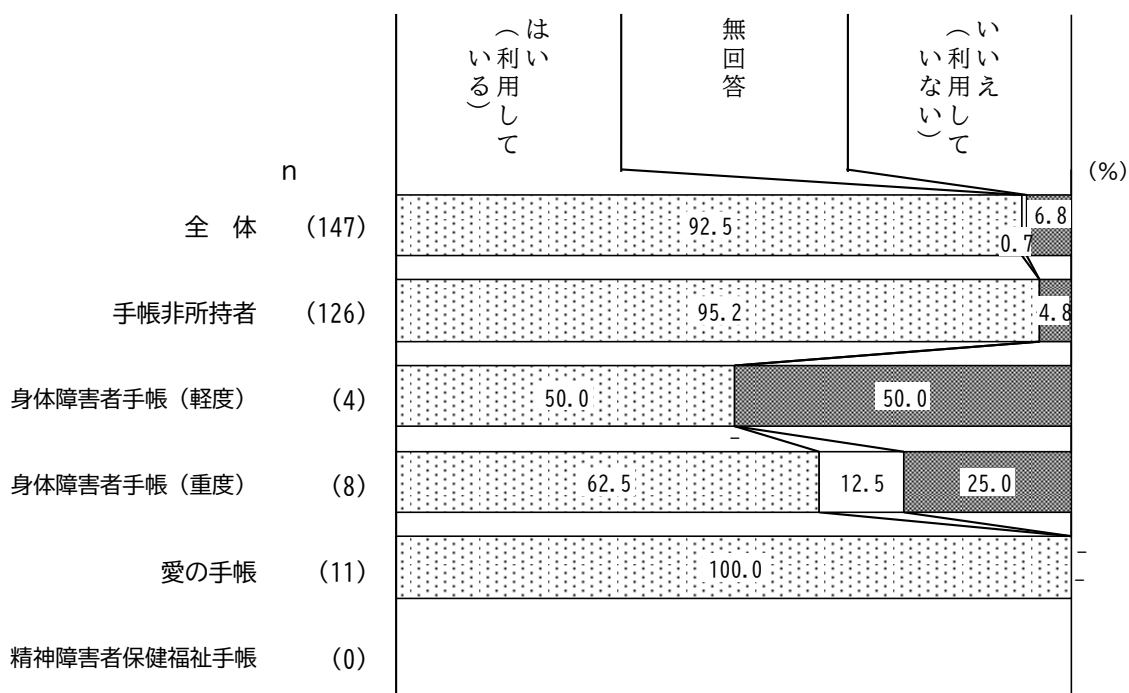
4.1. 児童発達支援の利用状況

◆児童発達支援を「利用している」方は9割台前半

(全員の方に)

問 10. 児童発達支援を現在、利用していますか。(○は1つ)

図 4-1 【所持手帳別】児童発達支援の利用状況 (5歳以下)



児童発達支援の利用状況は、5歳以下の全体で「はい (利用している)」の割合が9割台前半となっている。

図 4-2 【年齢別】児童発達支援の利用状況 (5歳以下)

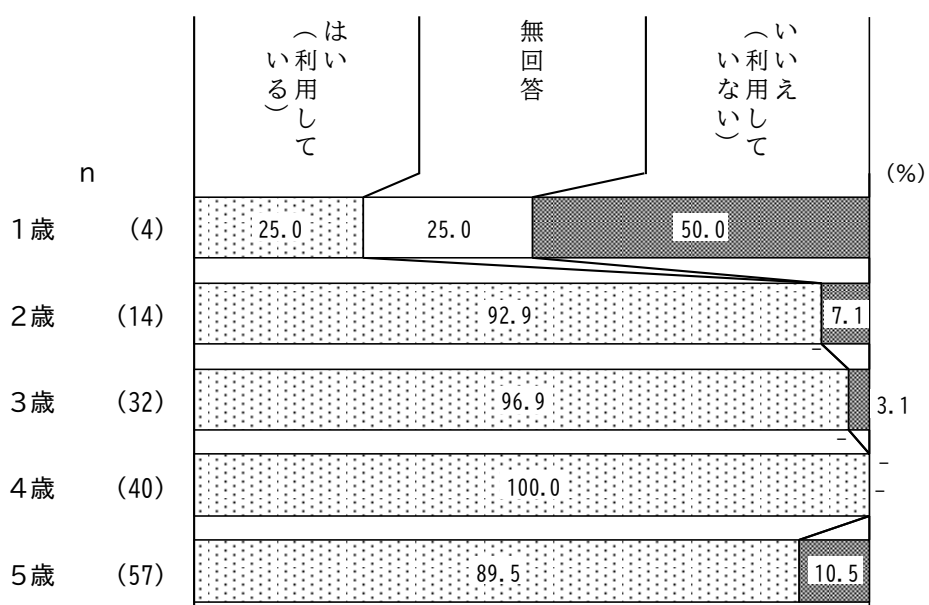


図 4-3 【在籍別】児童発達支援の利用状況（5歳以下）

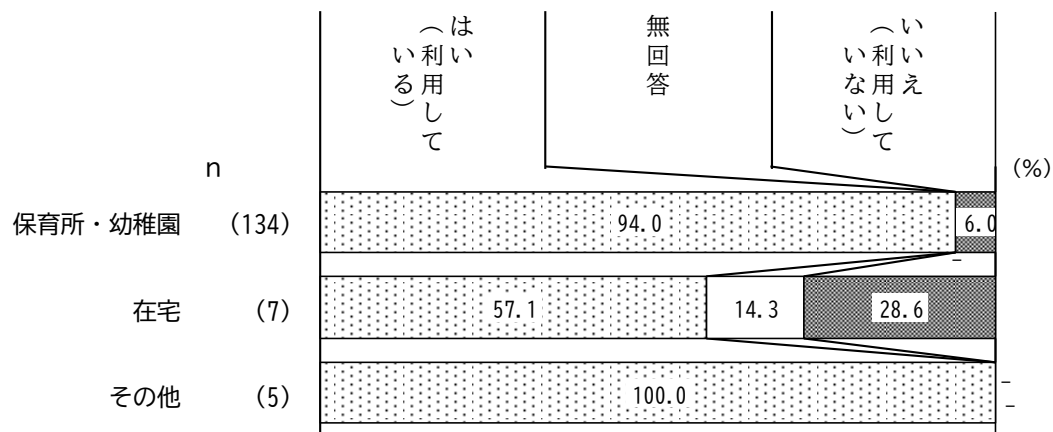
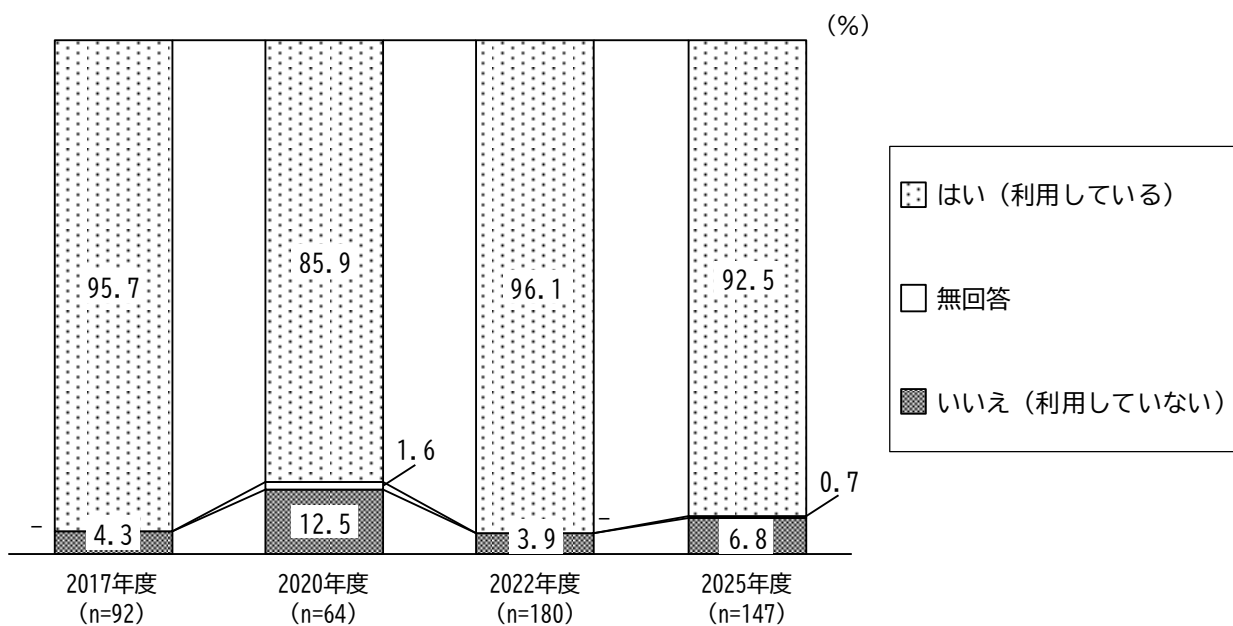


図 4-4 【経年比較】児童発達支援の利用状況（5歳以下）



児童発達支援の利用状況を経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度と比べ大きな変化はみられない。

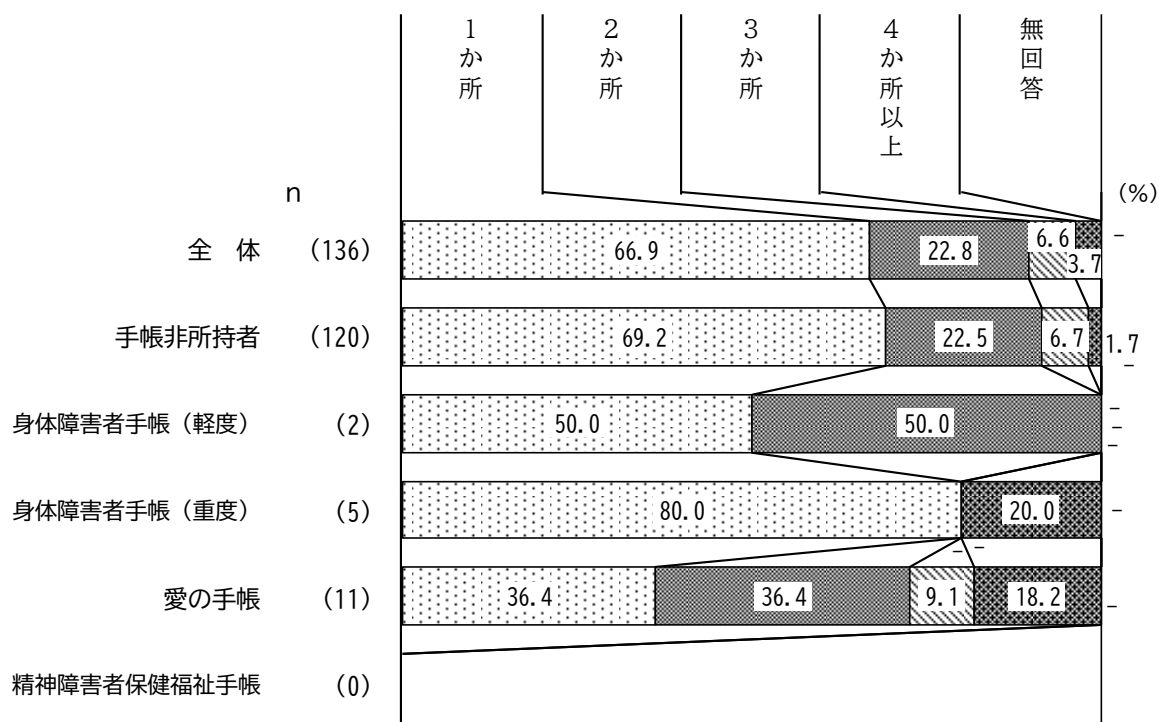
4.1.1. 利用している児童発達支援事業所数

◆利用している児童発達支援事業所は「1か所」の利用が6割半ば

(問10で「1. はい」とお答えの方に)

問10-1. 現在、利用している児童発達支援事業所は何か所ですか。(○は1つ)

図4-5 【所持手帳別】利用している児童発達支援事業所(5歳以下)



現在、利用している児童発達支援事業所は、5歳以下の全体で「1か所」が6割半ば、「2か所」が2割台前半となっている。

図4-6 【年齢別】利用している児童発達支援事業所数(5歳以下)

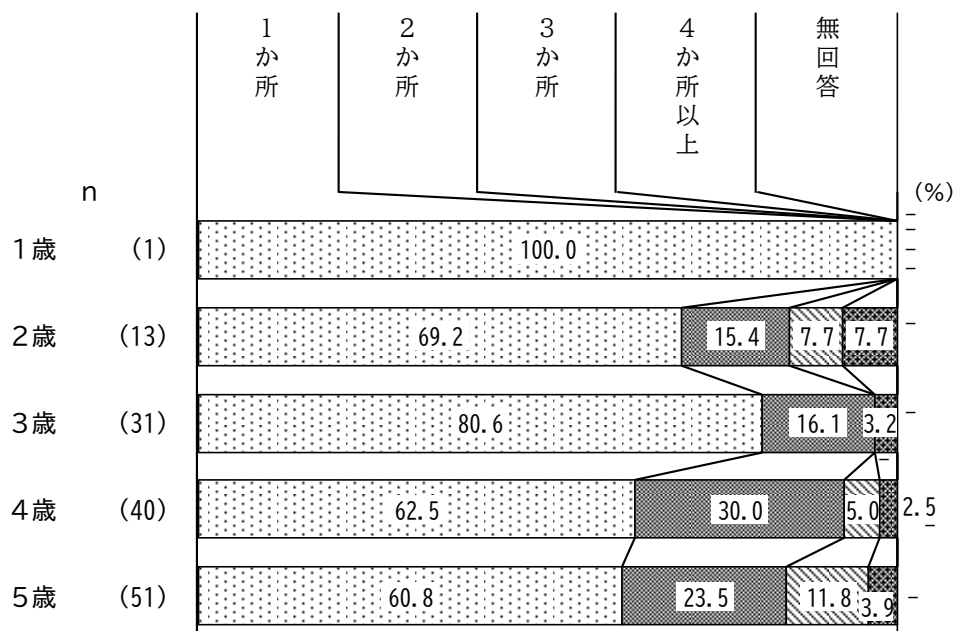


図 4-7 【在籍別】利用している児童発達支援事業所数（5歳以下）

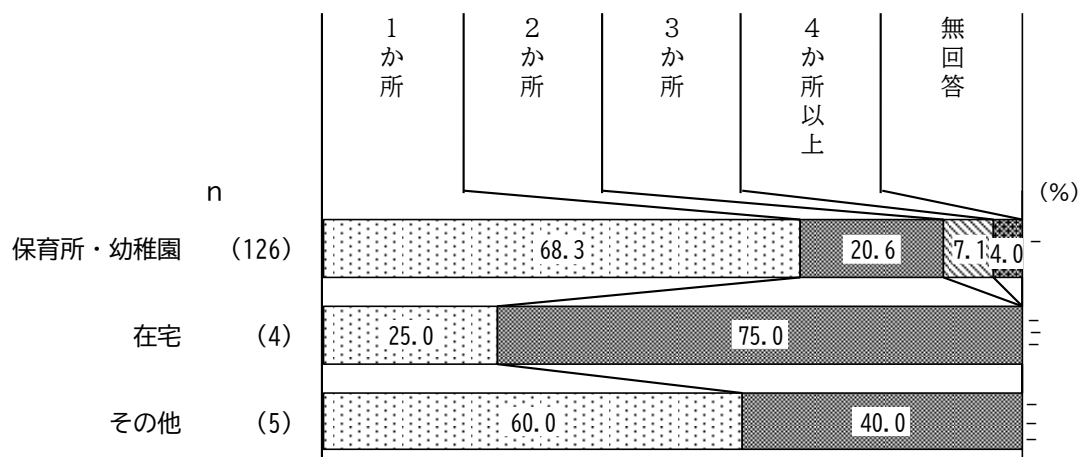
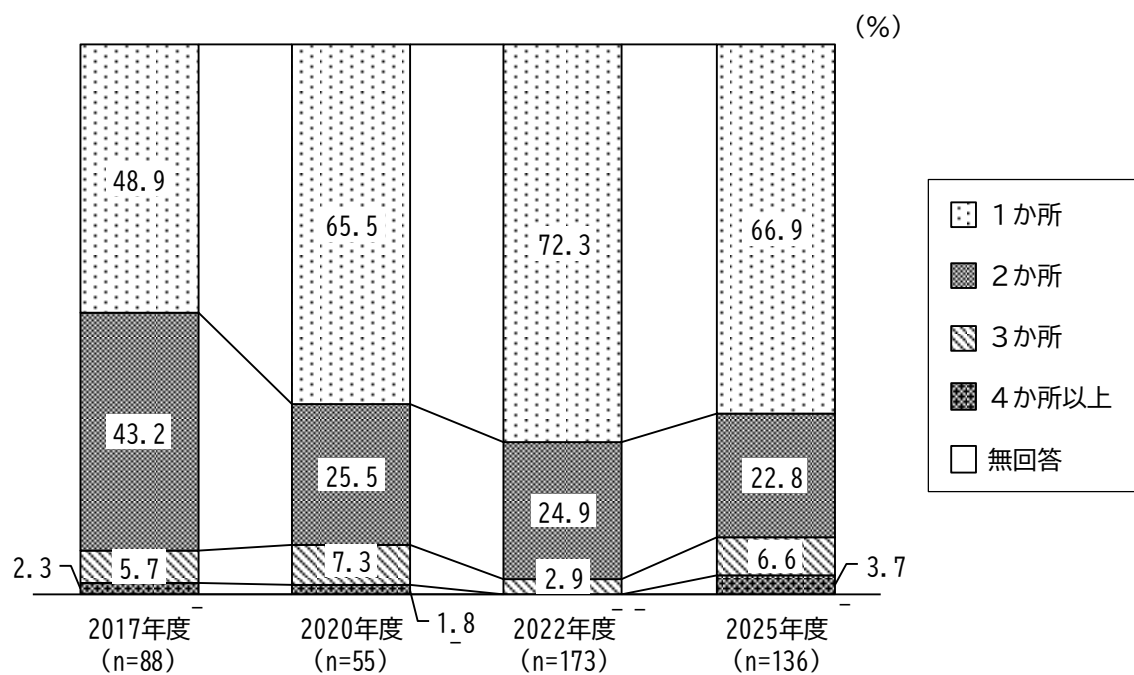


図 4-8 【経年比較】利用している児童発達支援事業所数（5歳以下）



利用している児童発達支援事業所を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「1か所」と「2か所」が減少し、「3か所」と「4か所以上」が増加している。

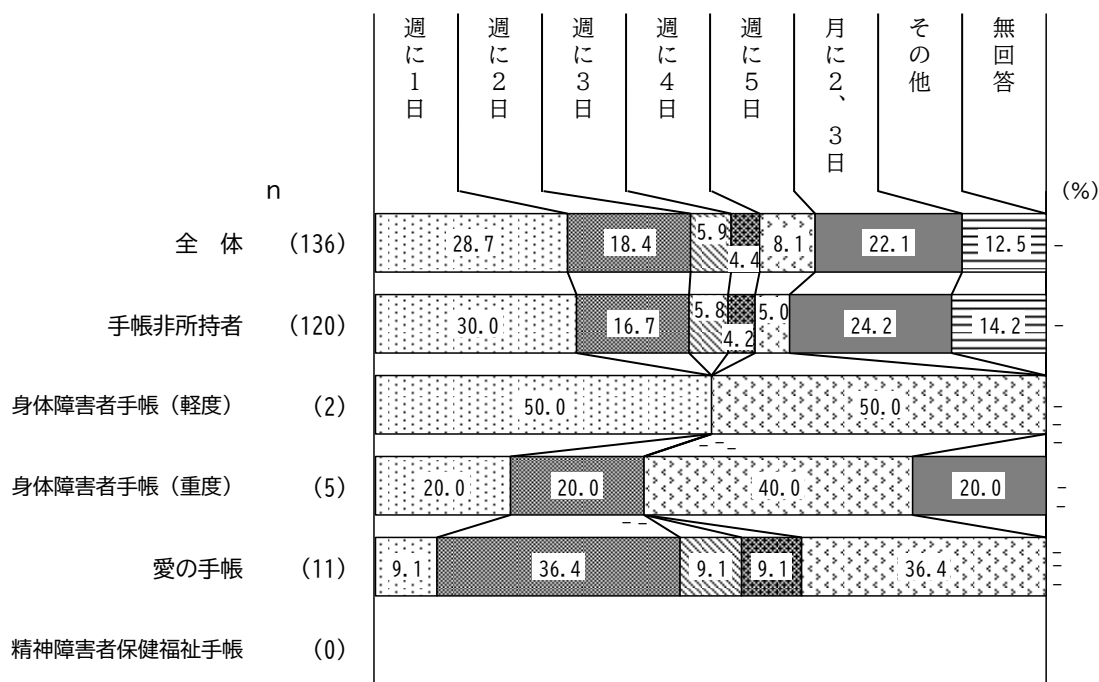
4.1.2. 児童発達支援事業所に通う日数

◆児童発達支援事業所に通う日数は「週1日」が2割台後半

(問10で「1. はい」とお答えの方に)

問10-2. 現在、利用している児童発達支援事業所には、週にどの程度通われていますか。複数か所利用している場合は、全部合わせた日数をお答えください。(○は1つ)

図4-9 【所持手帳別】児童発達支援事業所に通う日数(5歳以下)



現在、利用している児童発達支援事業所に通う日数は、「週に1日」と「月に2、3日」が2割台となっている。

図4-10 【年齢別】児童発達支援事業所に通う日数(5歳以下)

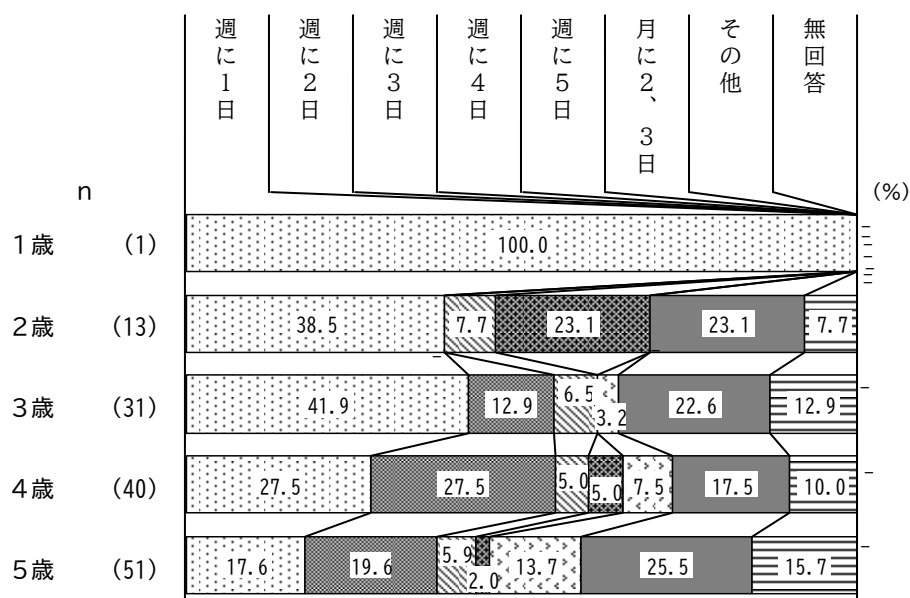
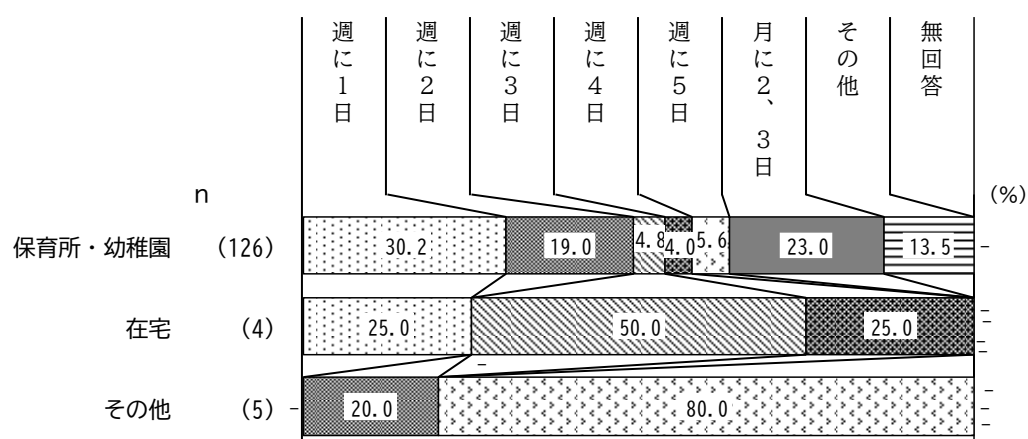


図 4-11 【在籍別】児童発達支援事業所に通う日数（5歳以下）



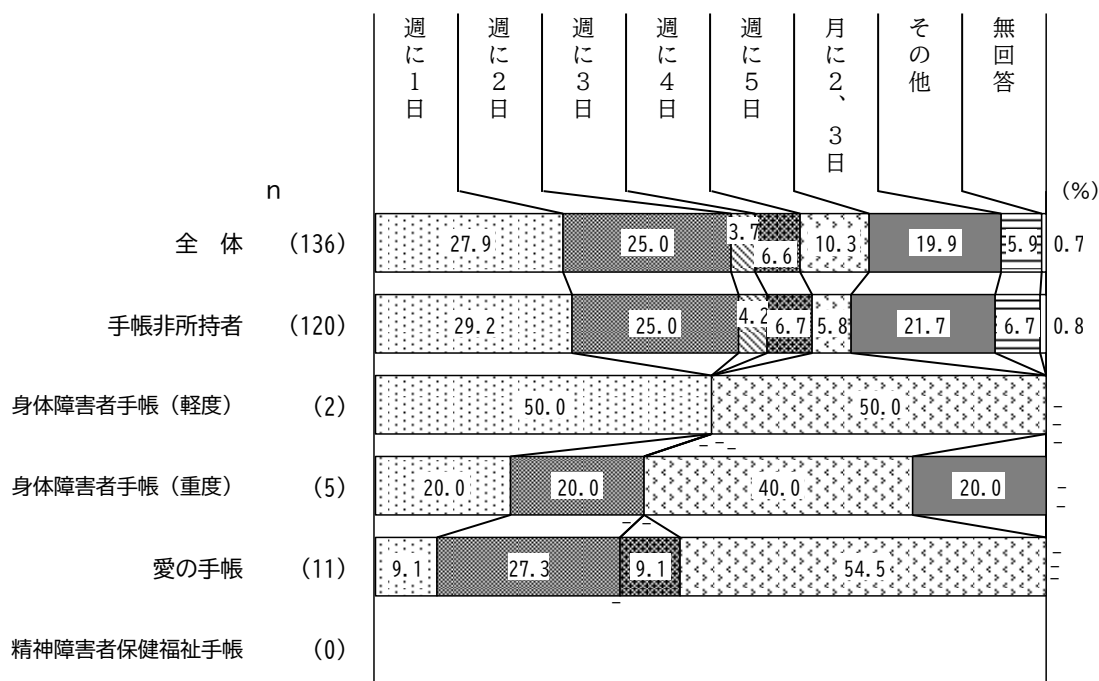
4.1.3. 児童発達支援の希望利用日数

◆児童発達支援を希望する利用日数は「週に1日」が2割台後半

(問10で「1. はい」とお答えの方に)

問10-3. 児童発達支援について、希望する利用日数はどの程度ですか。(○は1つ)

図4-12 【所持手帳別】児童発達支援の希望利用日数(5歳以下)



現在、利用している児童発達支援事業所で希望する利用日数は、「週に1日」と「週に2日」が2割台となっている。

図4-13 【年齢別】児童発達支援の希望利用日数(5歳以下)

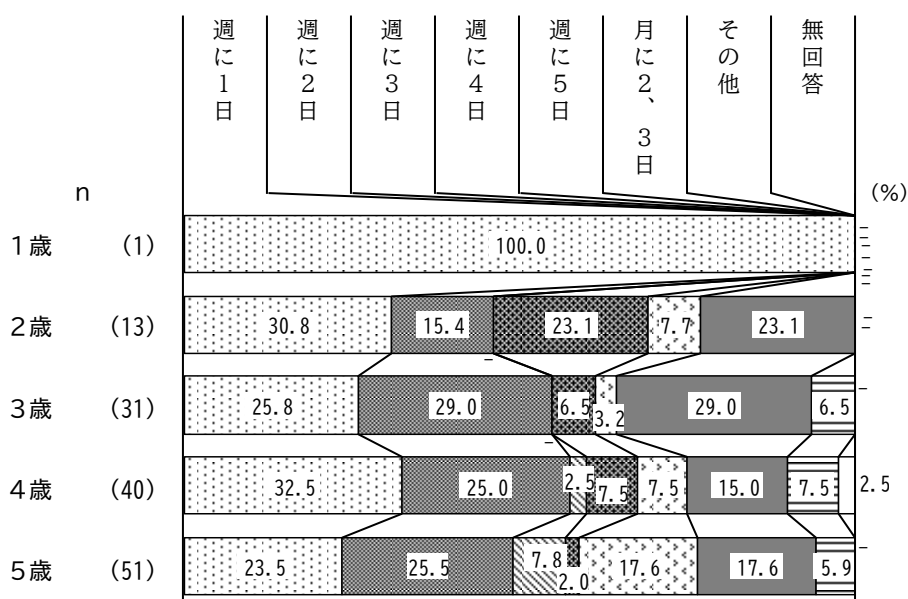
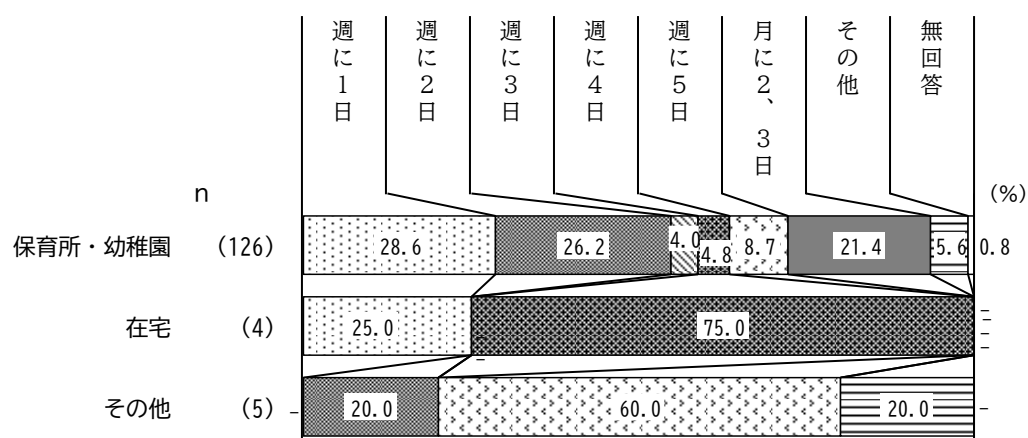


図 4-14 【在籍別】児童発達支援の希望利用日数（5歳以下）



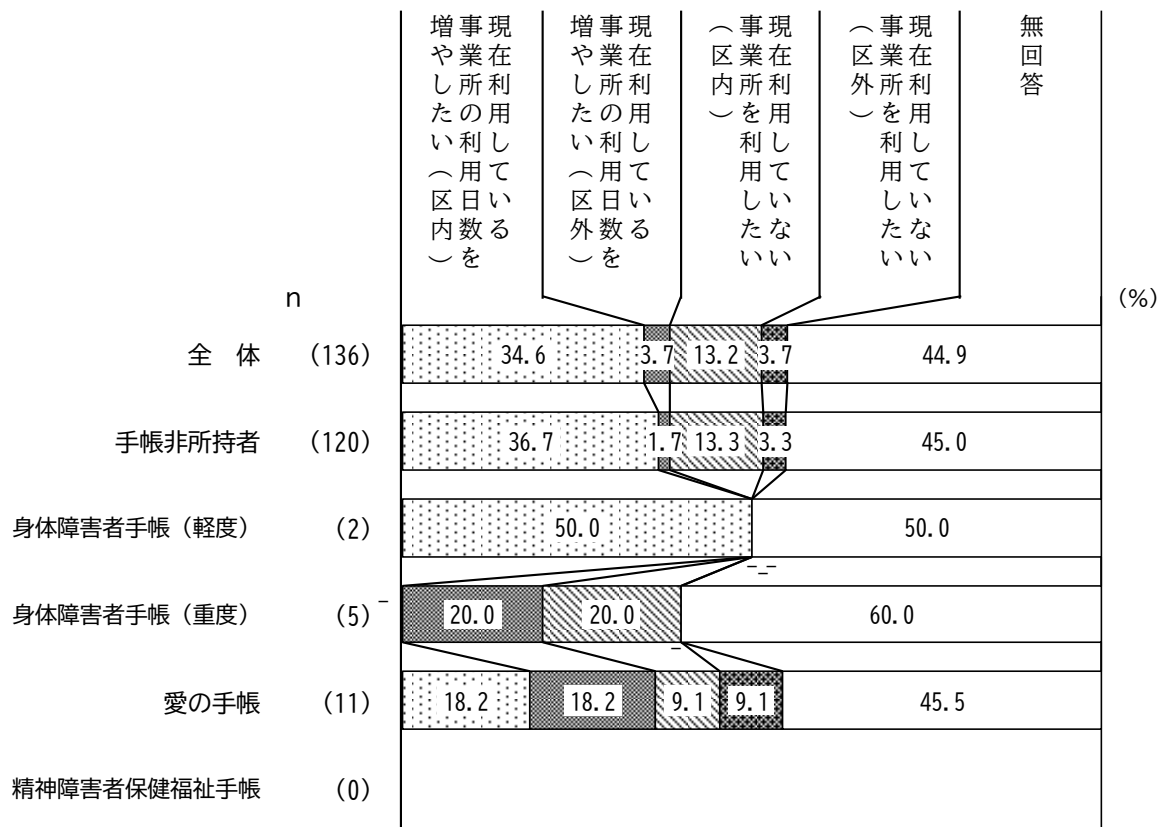
4.1.4. 児童発達支援の利用日数増加希望

◆児童発達支援の希望する利用日数の増加は「現在利用している事業所の利用日数を増やしたい(区内)」が3割半ば

(問10で「1. はい」とお答えの方に)

問10-4. 児童発達支援の利用日数を増やしたい場合、当てはまるものを次から選択してください。
(○は1つ)

図4-15 【所持手帳別】児童発達支援の利用日数増加希望(5歳以下)



児童発達支援の希望する利用日数の増加は、「現在利用している事業所の利用日数を増やしたい(区内)」が3割半ばとなっている。

図 4-16 【年齢別】児童発達支援の利用日数増加希望（５歳以下）

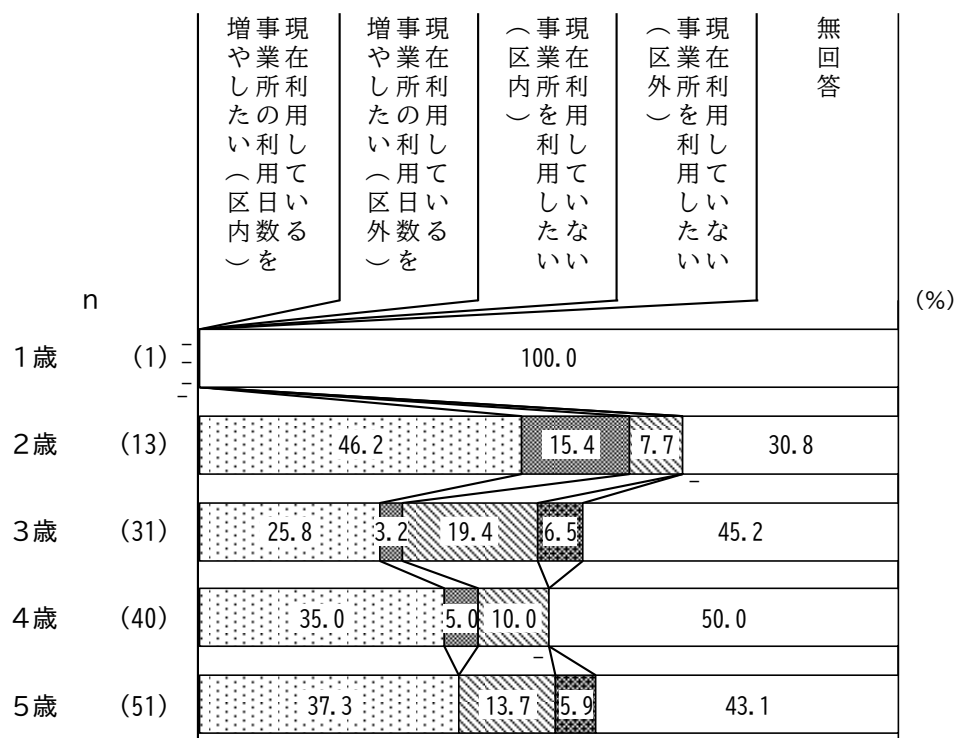
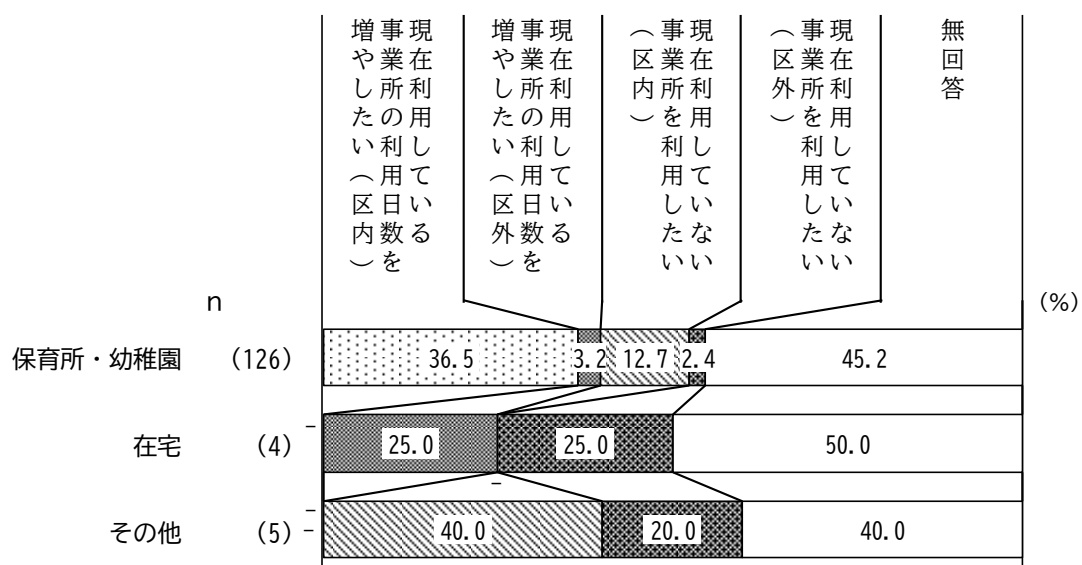


図 4-17 【在籍別】児童発達支援の利用日数増加希望（５歳以下）



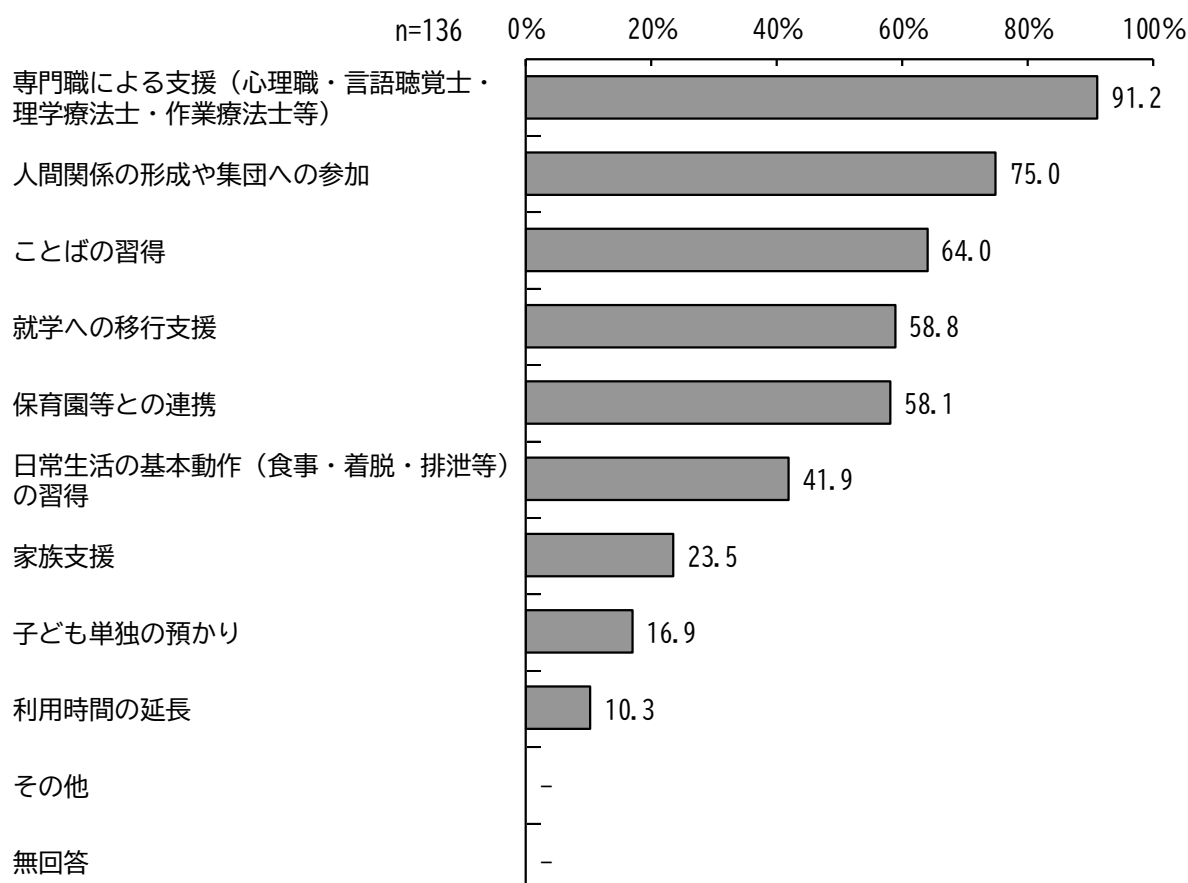
4.1.5. 児童発達支援に求める支援

◆児童発達支援に求める支援は「専門職による支援（心理職・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士等）」が約9割

（問10で「1. はい」とお答えの方に）

問10-5. 児童発達支援にもとめる支援はどのようなことですか。当てはまるものを次から選択してください。（当てはまるものすべてに○）

図4-18 児童発達支援に求める支援（5歳以下）



児童発達支援を利用していると回答した方に、児童発達支援に求める支援をきいたところ、「専門職による支援（心理職・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士等）」が約9割と最も高くなっており、次いで「人間関係の形成や集団への参加」「ことばの習得」「就学への移行支援」となっている。

図 4-19 【所持手帳別】児童発達支援に求める支援（5歳以下）

区分	有効回答数（件）	専門職による支援 （心理職・言語聴覚士・ 理学療法士・作業療法士等）	日常生活の基本動作 の習得 （食事・着脱・排泄等）	ことばの習得	人間関係の形成や 集団への参加	子ども単独の預かり	家族支援	就学への移行支援	保育園等との連携	利用時間の延長	その他	無回答
全体	136	91.2	41.9	64.0	75.0	16.9	23.5	58.8	58.1	10.3	—	—
手帳非所持者	120	91.7	38.3	62.5	74.2	15.0	20.0	57.5	60.0	8.3	—	—
身体障害者手帳（軽度）	2	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	—	—
身体障害者手帳（重度）	5	80.0	40.0	40.0	80.0	20.0	20.0	60.0	40.0	20.0	—	—
愛の手帳	11	90.9	81.8	100.0	90.9	36.4	54.5	81.8	45.5	27.3	—	—
精神障害者保健福祉手帳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

図 4-20 【年齢別】児童発達支援に求める支援（5歳以下）

区分	有効回答数（件）	専門職による支援 （心理職・言語聴覚士・ 理学療法士・作業療法士等）	日常生活の基本動作 の習得 （食事・着脱・排泄等）	ことばの習得	人間関係の形成や 集団への参加	子ども単独の預かり	家族支援	就学への移行支援	保育園等との連携	利用時間の延長	その他	無回答
全体	136	91.2	41.9	64.0	75.0	16.9	23.5	58.8	58.1	10.3	—	—
1歳	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	100.0	100.0	—	—	—
2歳	13	92.3	69.2	92.3	53.8	23.1	7.7	38.5	30.8	—	—	—
3歳	31	87.1	41.9	64.5	77.4	9.7	3.2	38.7	51.6	3.2	—	—
4歳	40	87.5	35.0	65.0	82.5	17.5	30.0	65.0	65.0	12.5	—	—
5歳	51	96.1	39.2	54.9	72.5	19.6	35.3	70.6	62.7	15.7	—	—

図 4-21 【在籍別】児童発達支援に求める支援（5歳以下）

区分	有効回答数（件）	専門職による支援 （心理職・言語聴覚士・ 理学療法士・作業療法士等）	日常生活の基本動作 の習得 （食事・着脱・排泄等）	ことばの習得	人間関係の形成や 集団への参加	子ども単独の預かり	家族支援	就学への移行支援	保育園等との連携	利用時間の延長	その他	無回答
全体	136	91.2	41.9	64.0	75.0	16.9	23.5	58.8	58.1	10.3	—	—
保育所・幼稚園	126	92.1	40.5	62.7	73.8	15.9	22.2	59.5	60.3	8.7	—	—
小学校 （通常級・支援学級）	1	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—
特別支援学校	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
在宅	4	75.0	50.0	75.0	75.0	25.0	25.0	25.0	—	25.0	—	—
その他	5	80.0	80.0	80.0	100.0	40.0	60.0	80.0	40.0	40.0	—	—

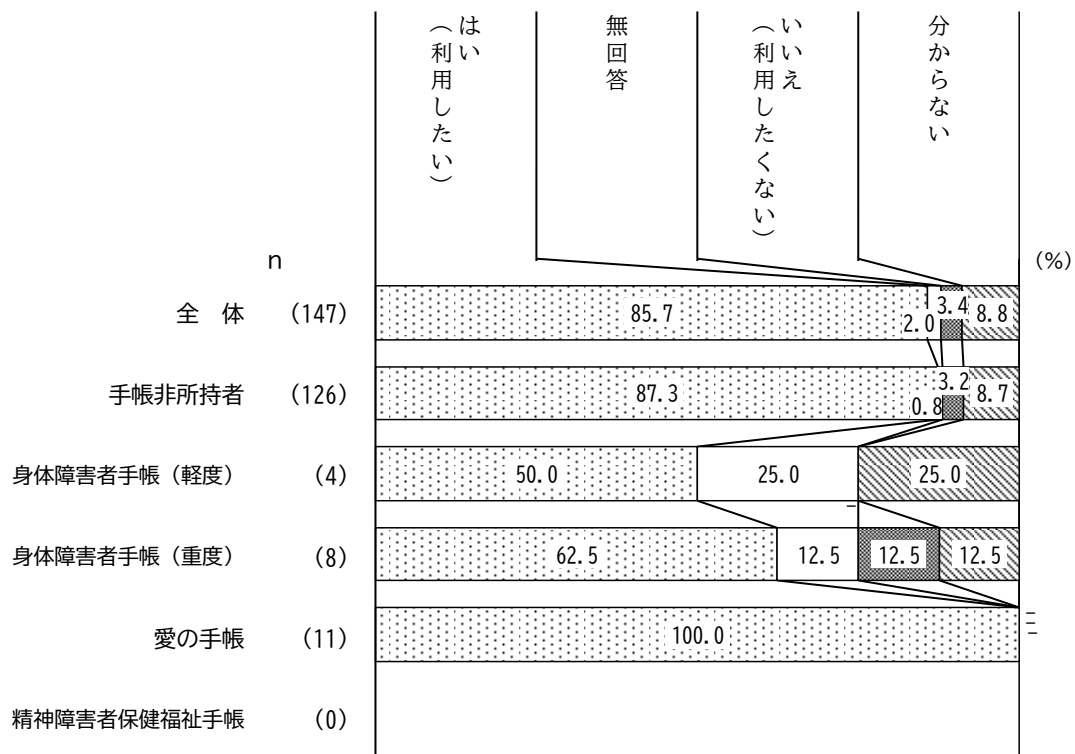
4.1.6. 児童発達支援の利用意向

◆児童発達支援を今後「利用したい」方は8割半ば

(全員の方に)

問 10-6. 児童発達支援を今後、利用したいですか。(○は1つ)

図 4-22 【所持手帳別】児童発達支援の利用意向 (5歳以下)



児童発達支援の利用意向は、5歳以下の全体で「はい (利用したい)」が8割半ばとなっている。

図 4-23 【年齢別】児童発達支援の利用意向 (5歳以下)

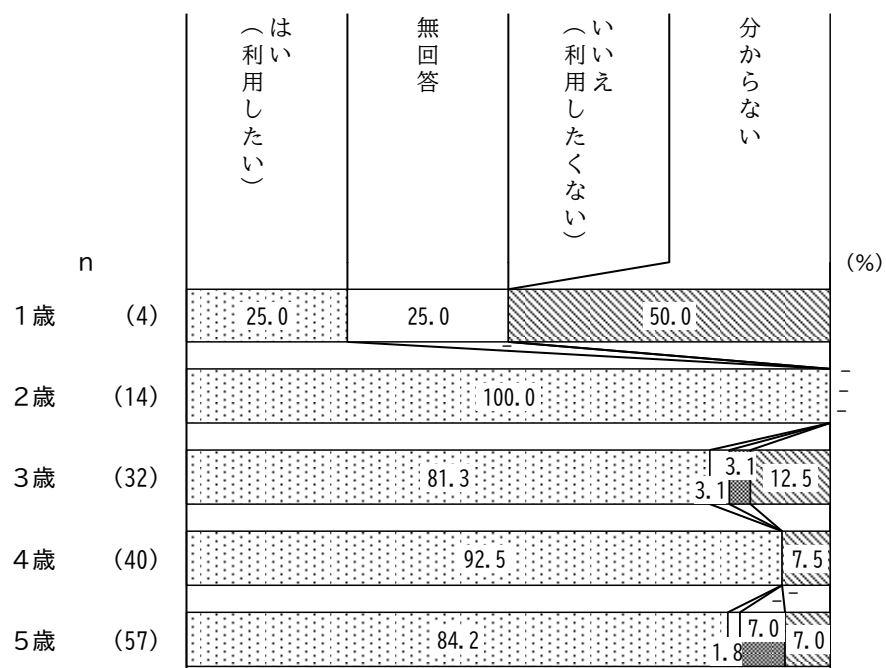


図 4-24 【在籍別】児童発達支援の利用意向（5歳以下）

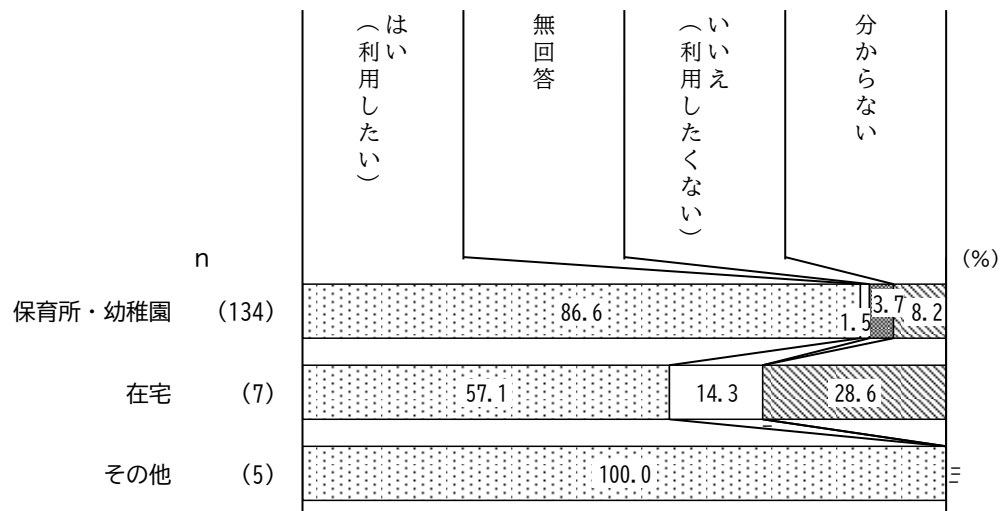
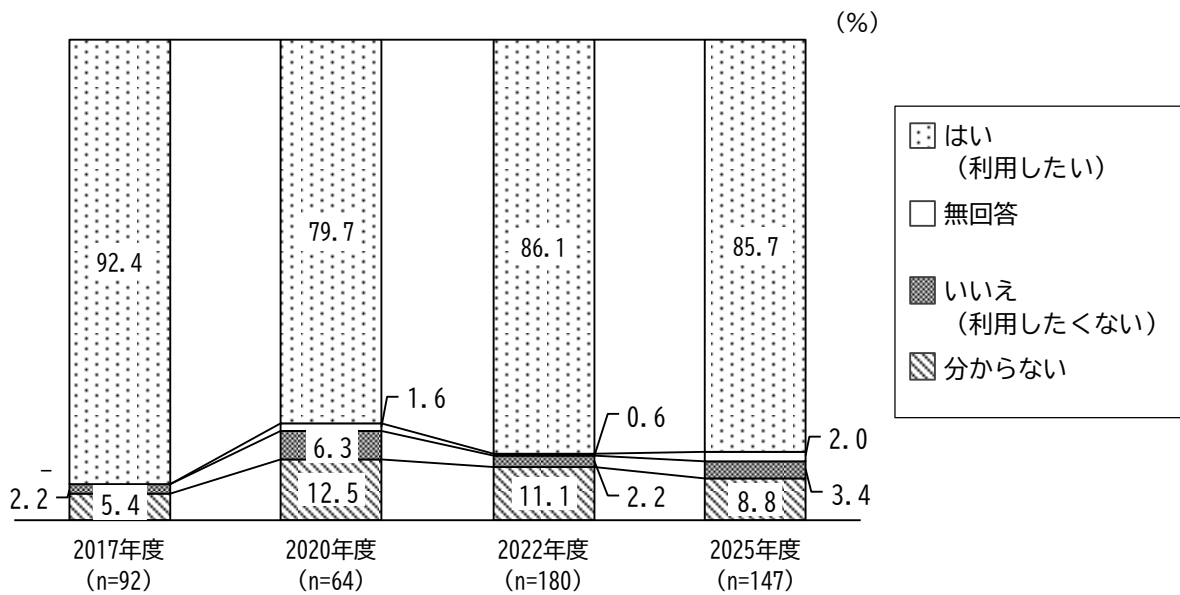


図 4-25 【経年比較】児童発達支援の利用意向（5歳以下）



児童発達支援の利用意向を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ、大きな変化はみられない。

4.1.6.1. 児童発達支援を利用したくない理由

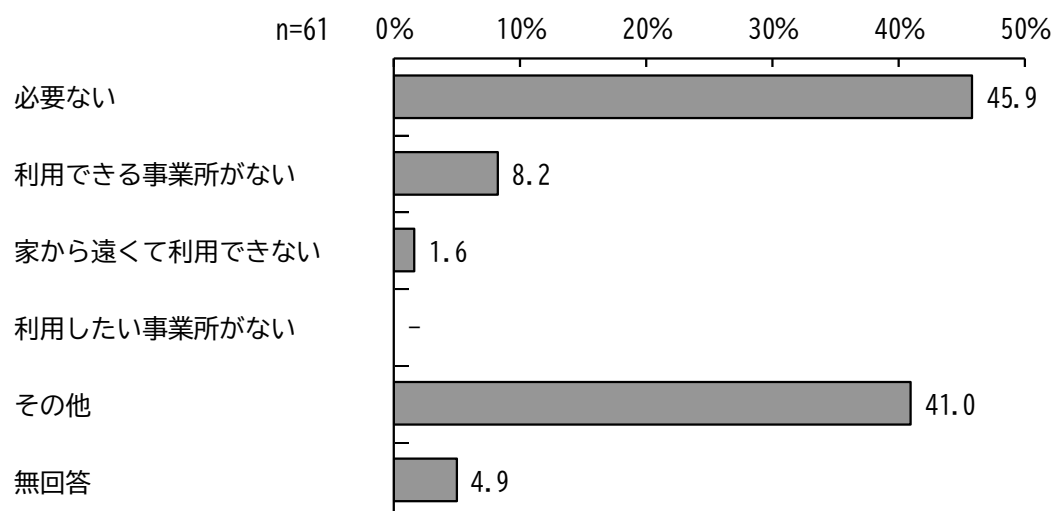
◆児童発達支援を利用したくない理由は「必要ない」が4割半ば

(問 10-6 で「2. いいえ」とお答えの方に)

問 10-6-1. 児童発達支援を利用したくない理由はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

図 4-26 児童発達支援を利用したくない理由（5 歳以下）



児童発達支援を利用したくないと回答した方に、児童発達支援を利用したくない理由をきいたところ、「必要ない」が4割半ばで最も高い。

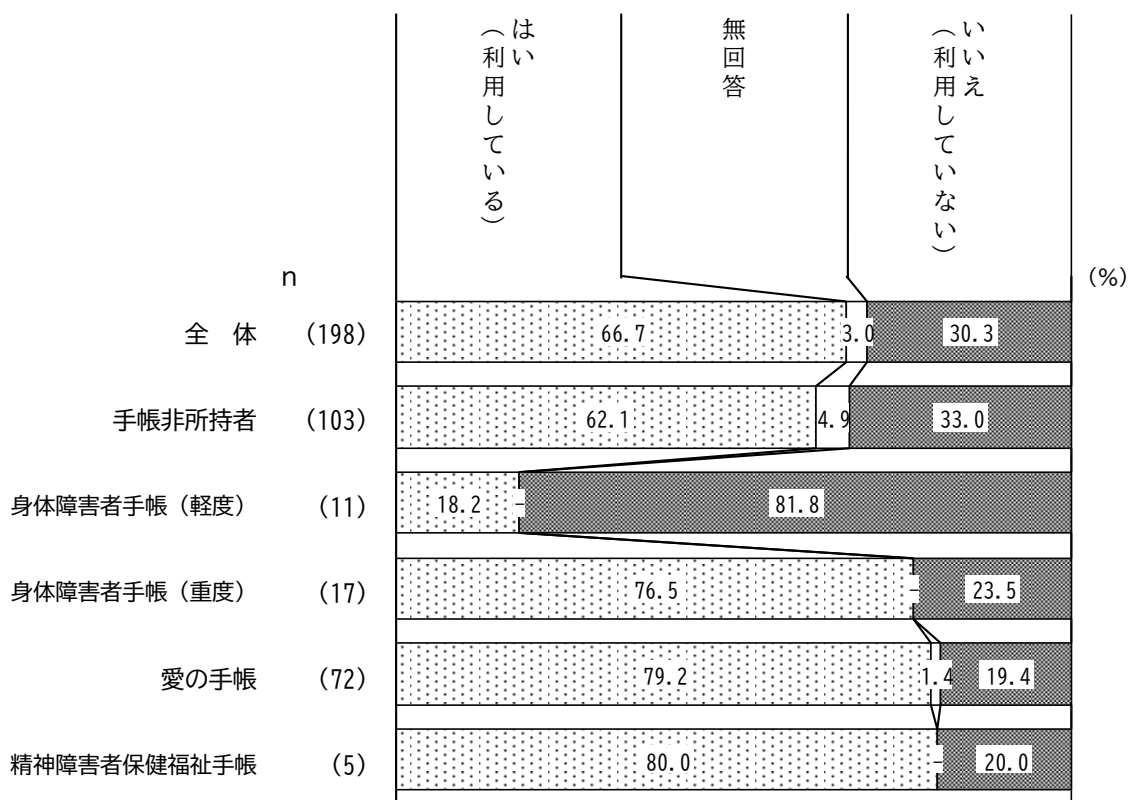
4.2. 放課後等デイサービスの利用状況

◆放課後等デイサービスを「利用している」方は6割半ば

(全員の方に)

問11. 放課後等デイサービスを現在、利用していますか。(○は1つ)

図4-27 【所持手帳別】放課後等デイサービスの利用状況(6歳以上)



放課後等デイサービスの利用状況は、6歳以上の全体で「はい(利用している)」の割合が6割半ばとなっている。

図4-28 【年齢別】放課後等デイサービスの利用状況(6歳以上)

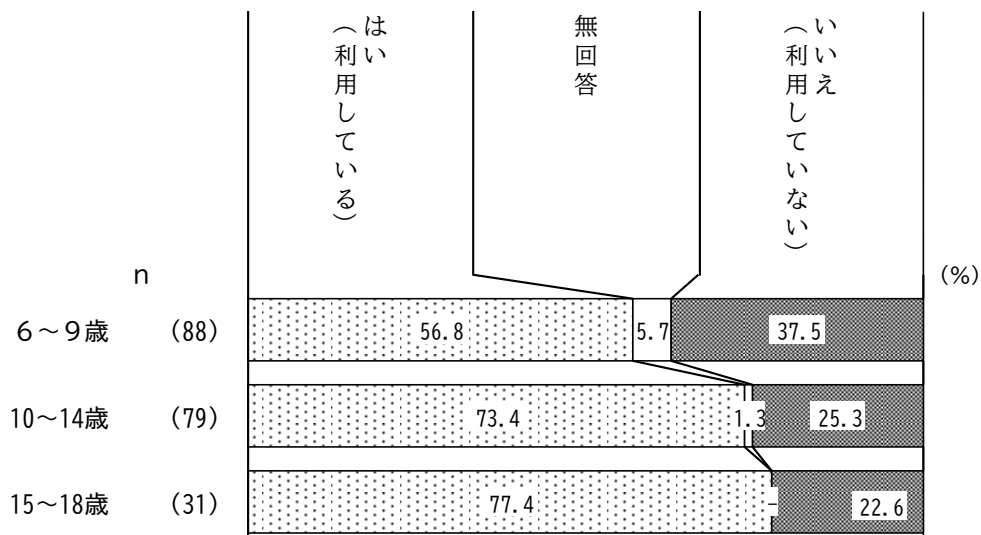
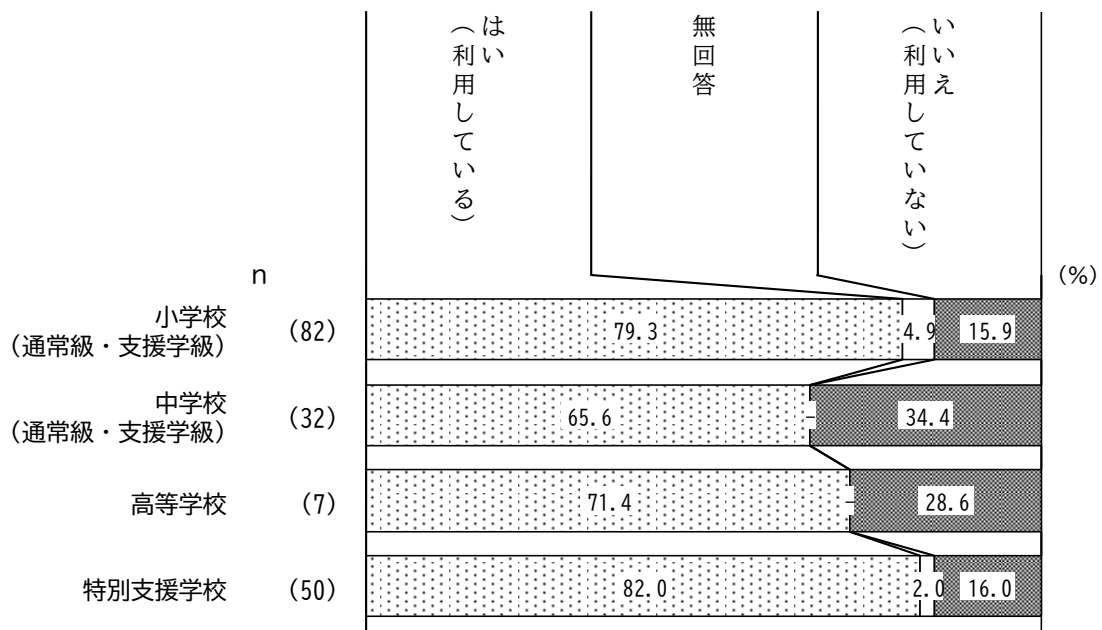
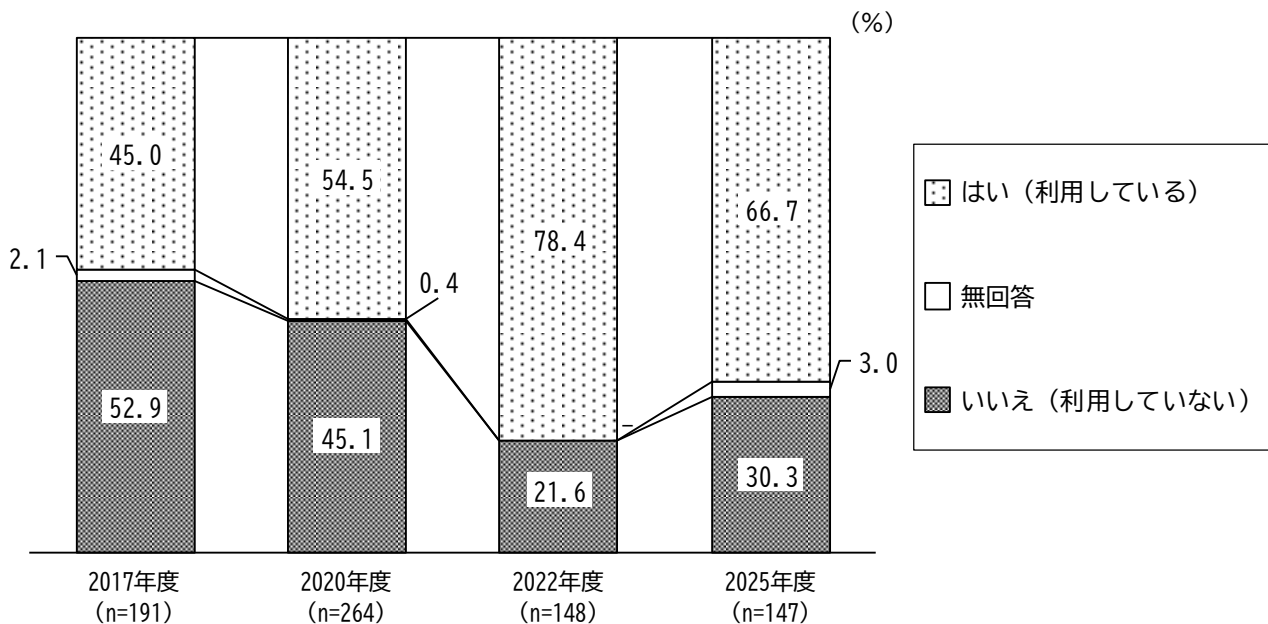


図 4-29 【在籍別】放課後等デイサービスの利用状況（６歳以上）



※「在宅」「その他」の回答はなし

図 4-30 【経年比較】放課後等デイサービスの利用状況（６歳以上）



放課後等デイサービスの利用状況を経年比較でみると、2025 年度は 2022 年度と比べ「はい（利用している）」が約 12 ポイント減少し、「いいえ（利用していない）」が約 9 ポイント増加している。

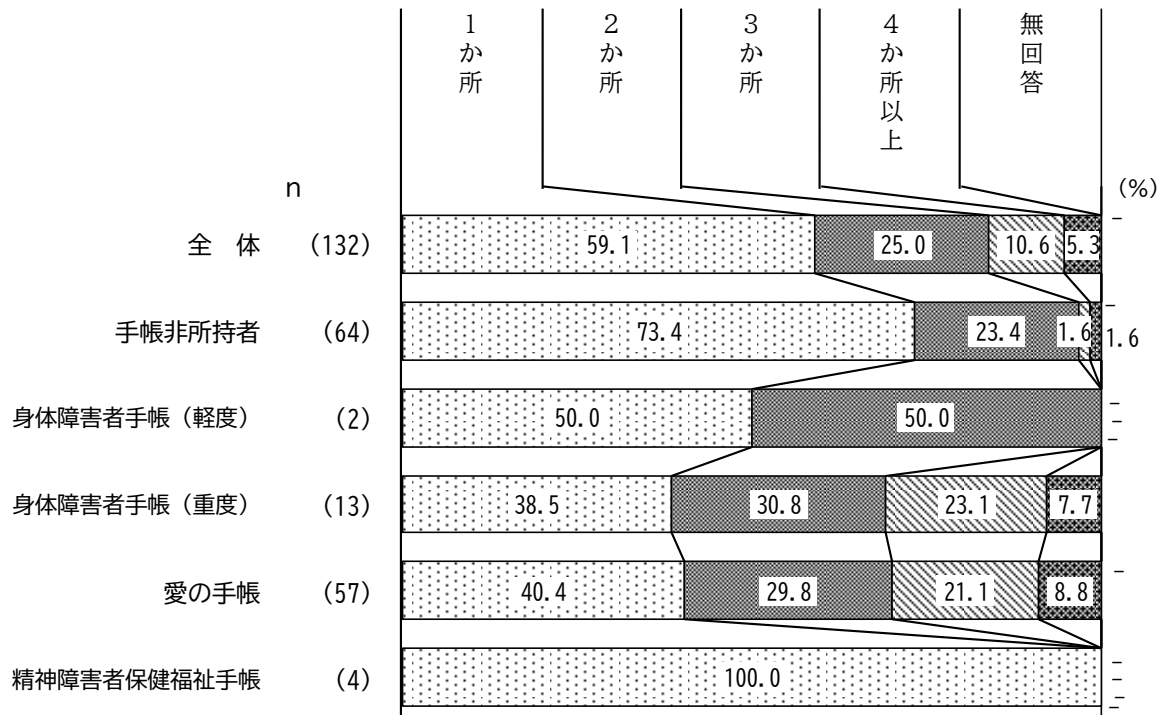
4.2.1. 利用している放課後等デイサービス事業所数

◆利用している放課後等デイサービス事業所は「1か所」の利用が約6割

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-1. 現在、利用している放課後等デイサービス事業所は何か所ですか。(〇は1つ)

図4-31 【所持手帳別】利用している放課後等デイサービス事業所(6歳以上)



現在、利用している放課後等デイサービス事業所は、6歳以上の全体で「1か所」が約6割、「2か所」が2割半ばとなっている。

図4-32 【年齢別】利用している放課後等デイサービス事業所数(6歳以上)

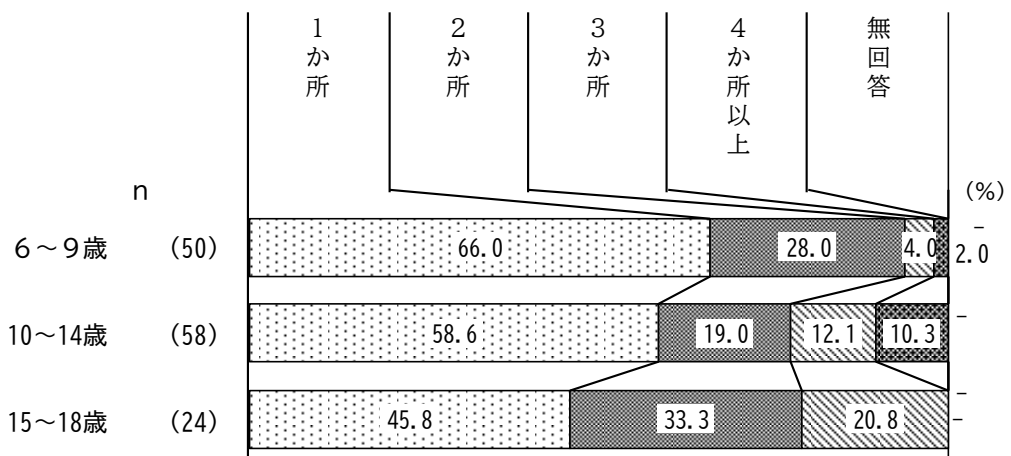
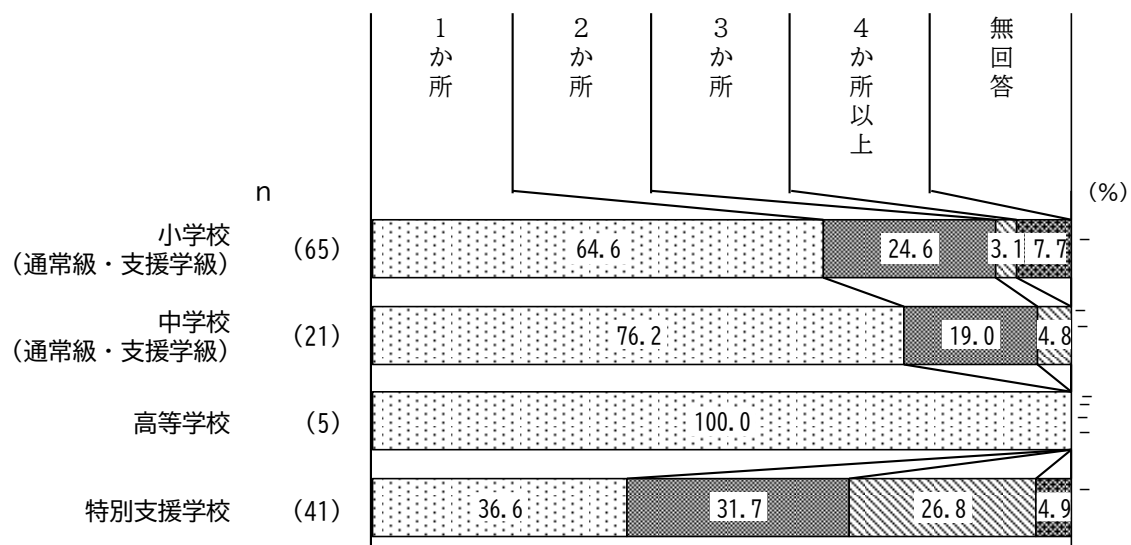
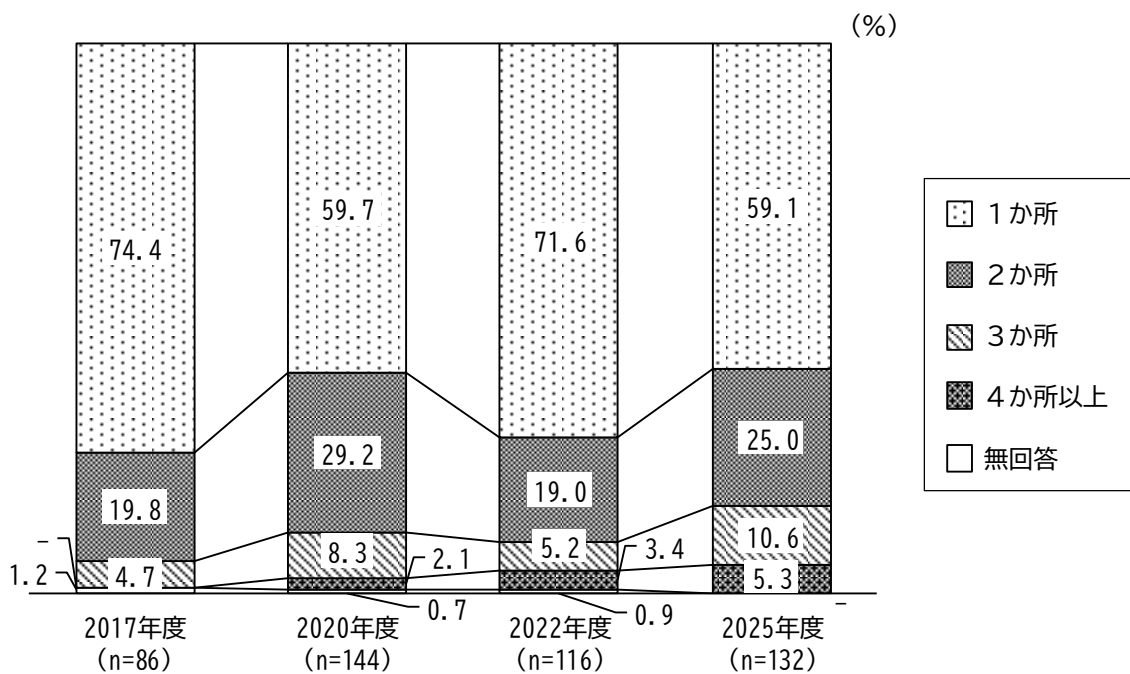


図 4-33 【在籍別】利用している放課後等デイサービス事業所数（6歳以上）



※「在宅」「その他」の回答はなし

図 4-34 【経年比較】利用している放課後等デイサービス事業所数（6歳以上）



利用している放課後等デイサービス事業所を経年比較でみると、2025年度は2025年度と比べ「1か所」が12.5ポイント減少している。

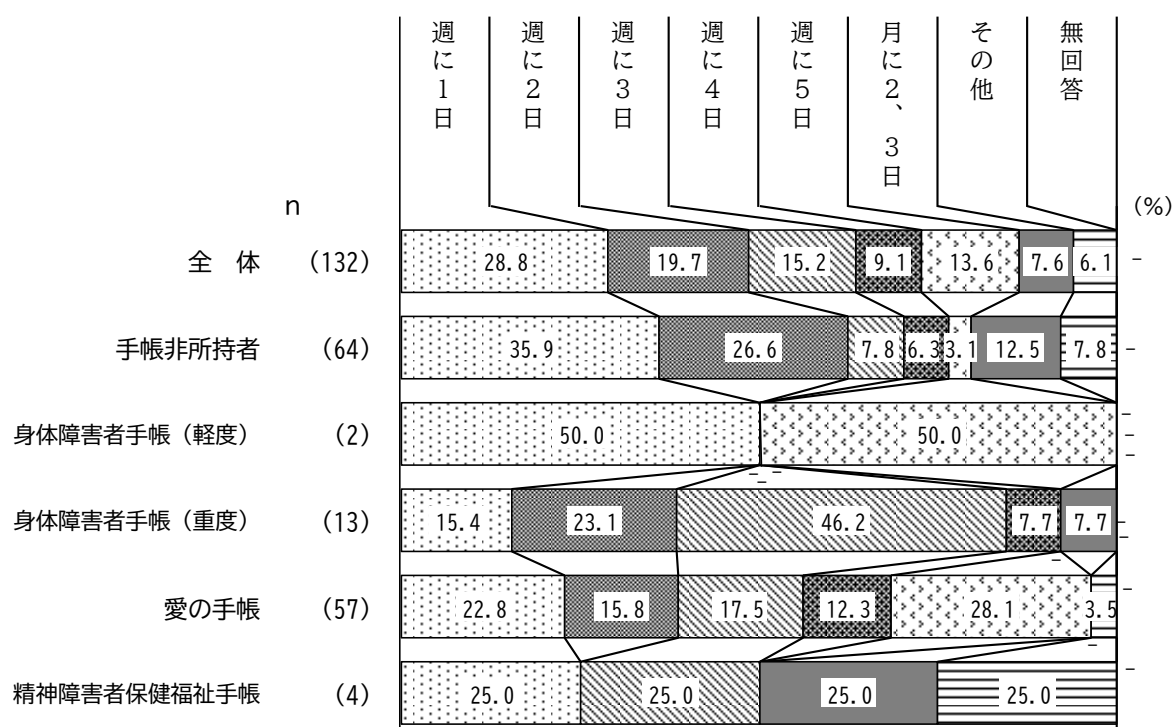
4.2.2. 放課後等デイサービス事業所に通う日数

◆放課後等デイサービス事業所に通う日数は「週に1日」「週に2日」を合わせて4割台後半

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-2. 現在、利用している放課後等デイサービス事業所には、週にどの程度通われていますか。
複数か所利用している場合は、全部合わせた日数をお答えください。(○は1つ)

図4-35 【所持手帳別】放課後等デイサービス事業所に通う日数（6歳以上）



現在、利用している放課後等デイサービス事業所に通う日数は、6歳以上の全体で「週に1日」と「週に2日」を合わせて4割台後半となっている。

図4-36 【年齢別】放課後等デイサービス事業所に通う日数（6歳以上）

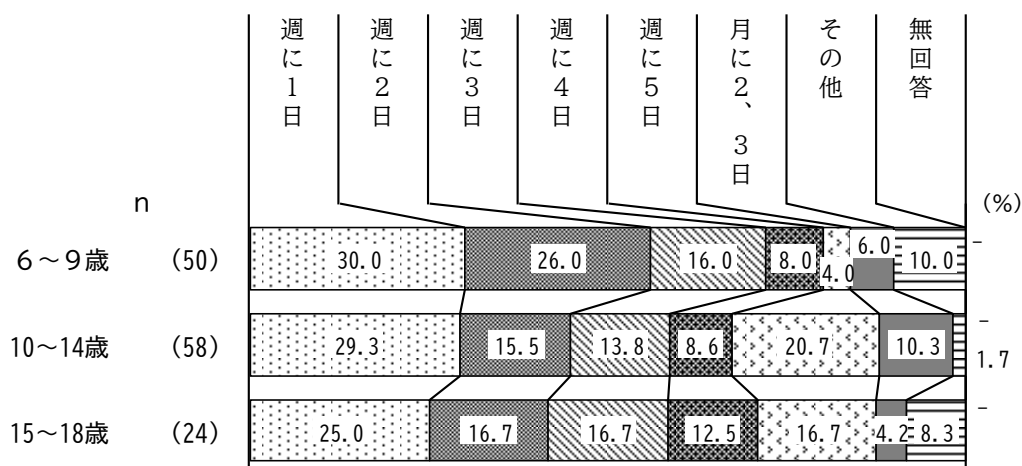
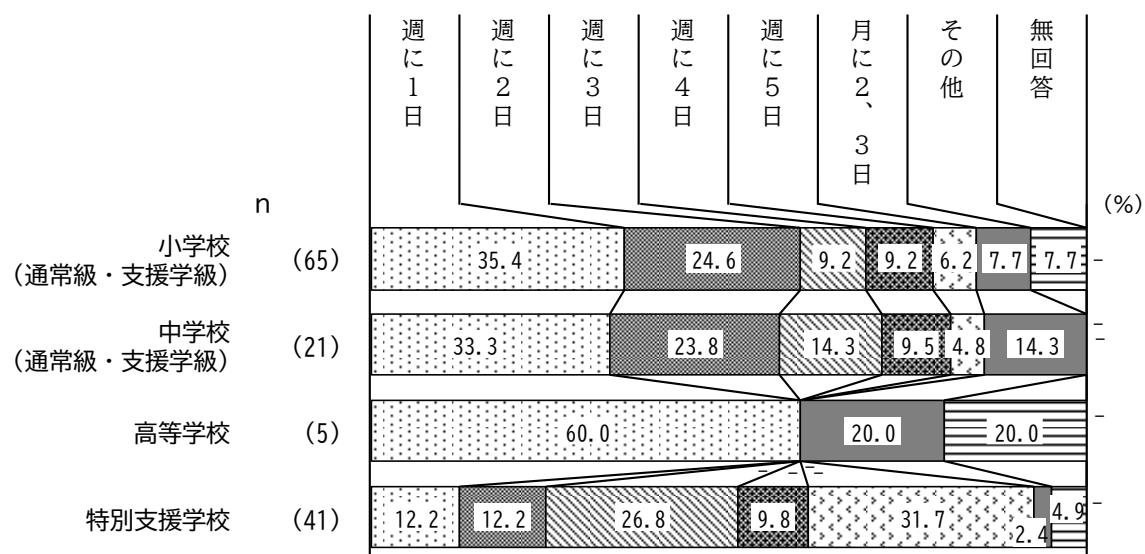
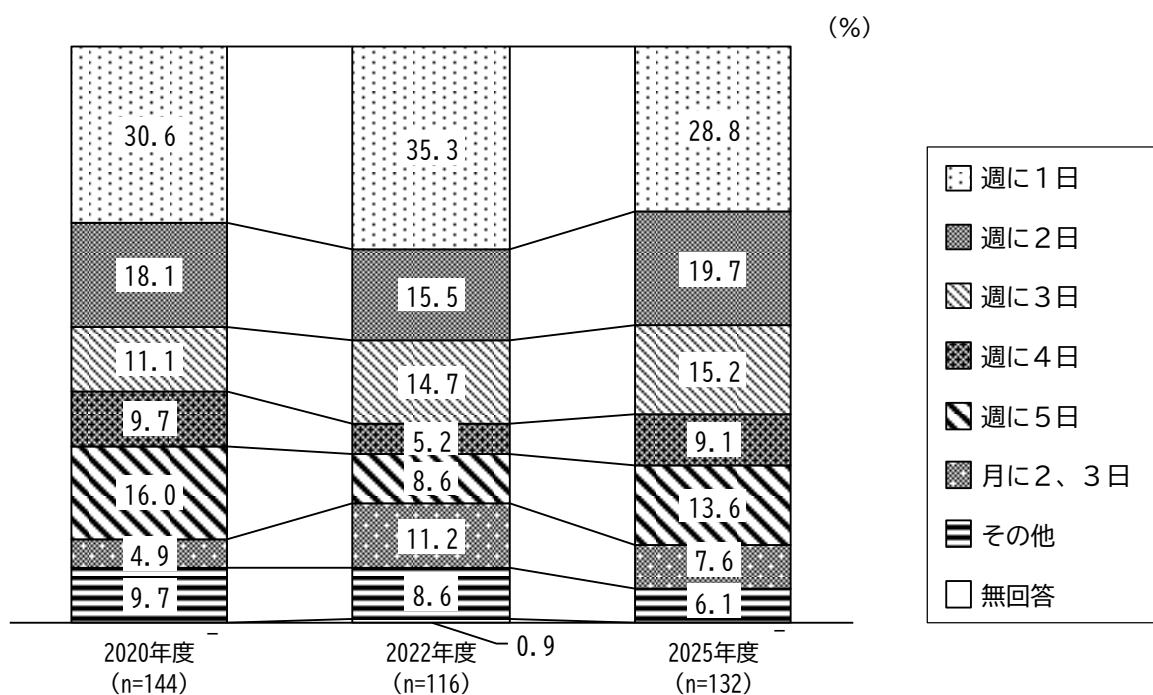


図 4-37 【在籍別】放課後等デイサービス事業所に通う日数（6歳以上）



※「在宅」「その他」の回答はなし

図 4-38 【経年比較】放課後等デイサービス事業所に通う日数（6歳以上）



利用している放課後等デイサービス事業所に通う日数を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「週に1日」が6.6ポイント減少し、「週に2日」が約4ポイント、「週に5日」が5ポイント増加している。

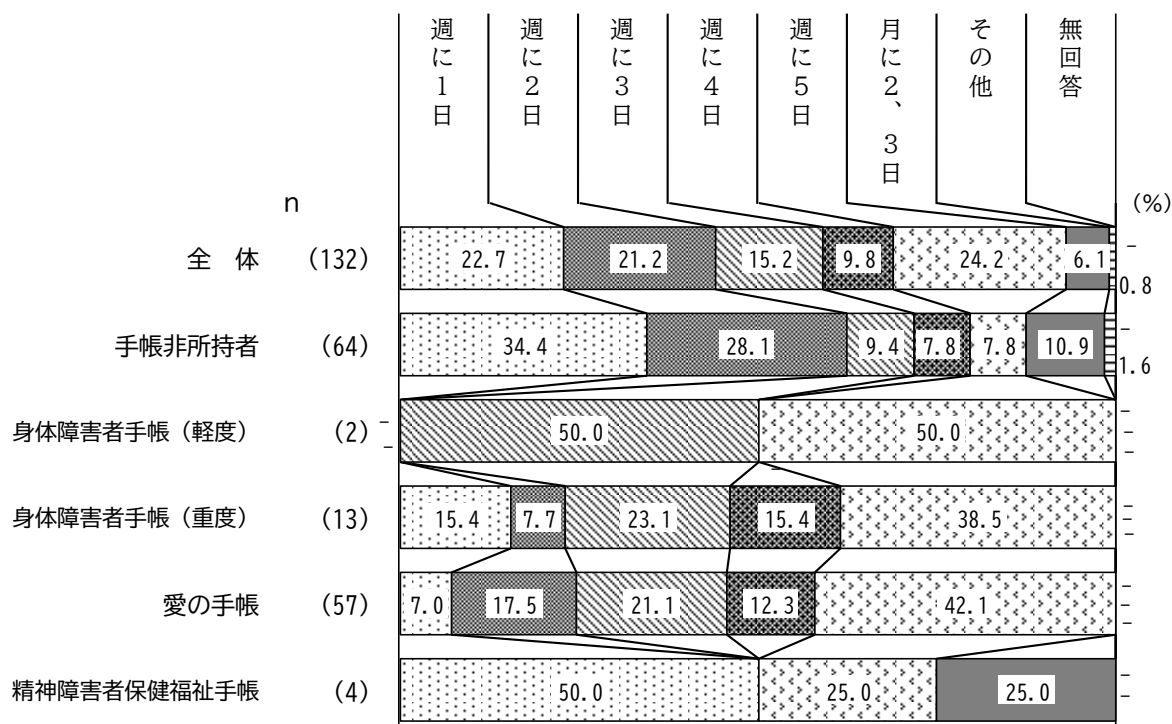
4.2.3. 放課後等デイサービスの希望利用日数

◆放課後等デイサービスを希望する利用日数は「週に1日」と「週に2日」が2割台

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-3. 放課後等デイサービスについて、希望する利用日数はどの程度ですか。(○は1つ)

図4-39 【所持手帳別】放課後等デイサービスの希望利用日数(6歳以上)



現在、放課後等デイサービスで希望する利用日数は、6歳以上の全体で「週に1日」と「週に2日」が2割台となっている。

図4-40 【年齢別】放課後等デイサービスの希望利用日数(6歳以上)

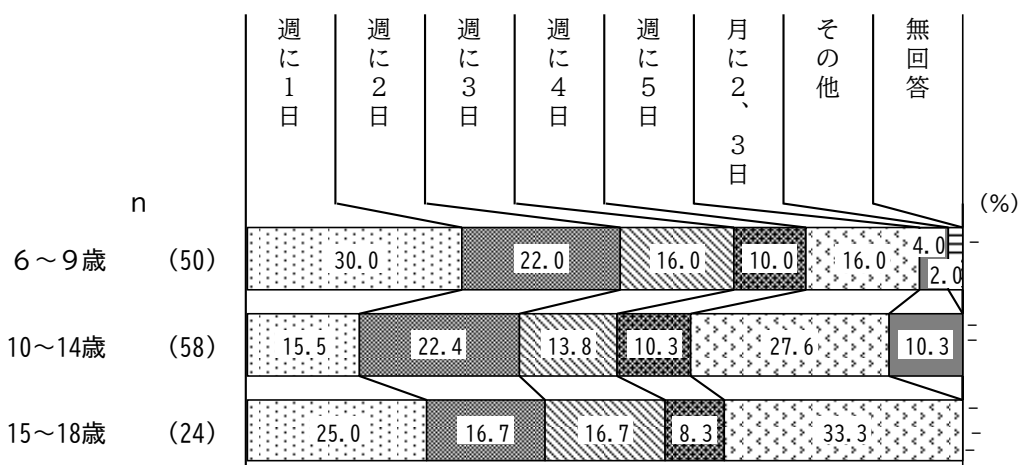
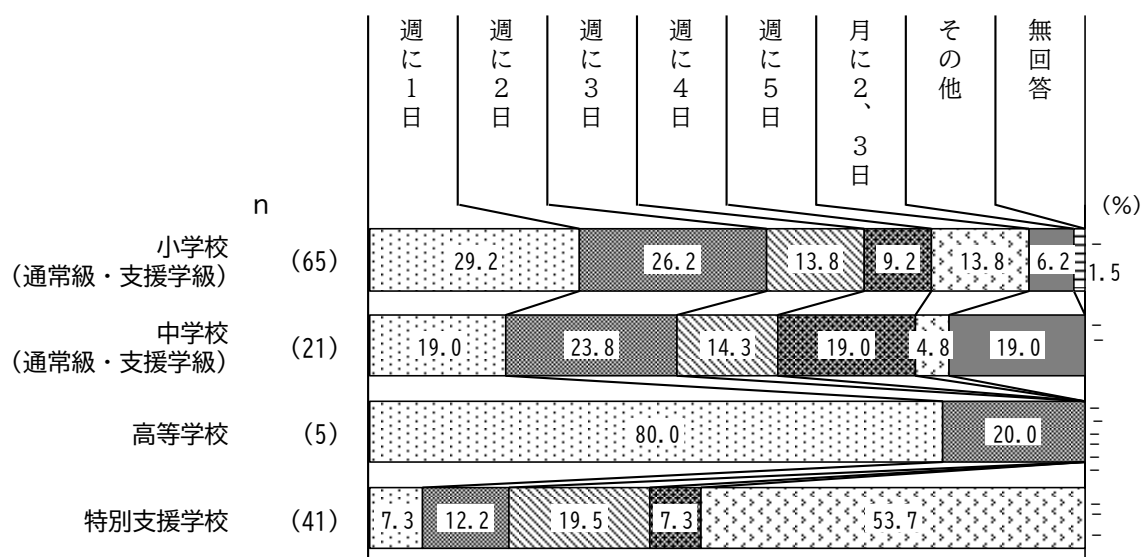
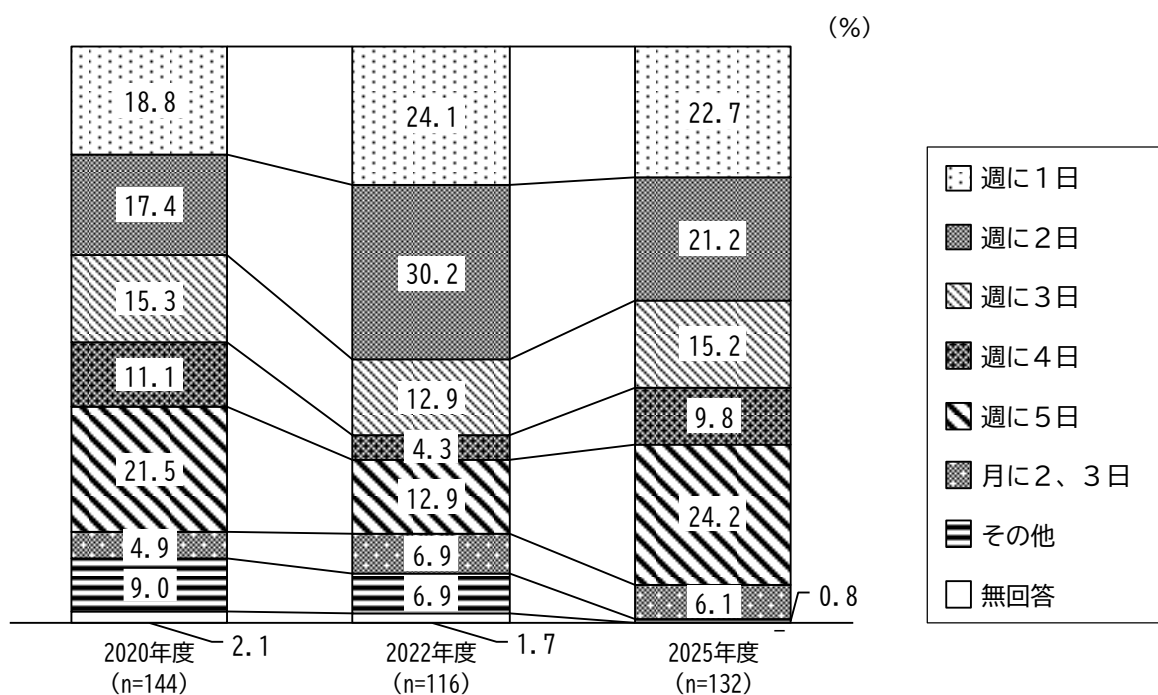


図 4-41 【在籍別】放課後等デイサービスの希望利用日数（6歳以上）



※「在宅」「その他」の回答はなし

図 4-42 【経年比較】放課後等デイサービスの希望利用日数（6歳以上）



利用している放課後等デイサービスで希望する利用日数を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ「週に2日」が9ポイント減少し、「週に4日」が5.5ポイント、「週に5日」が約11ポイント増加している。

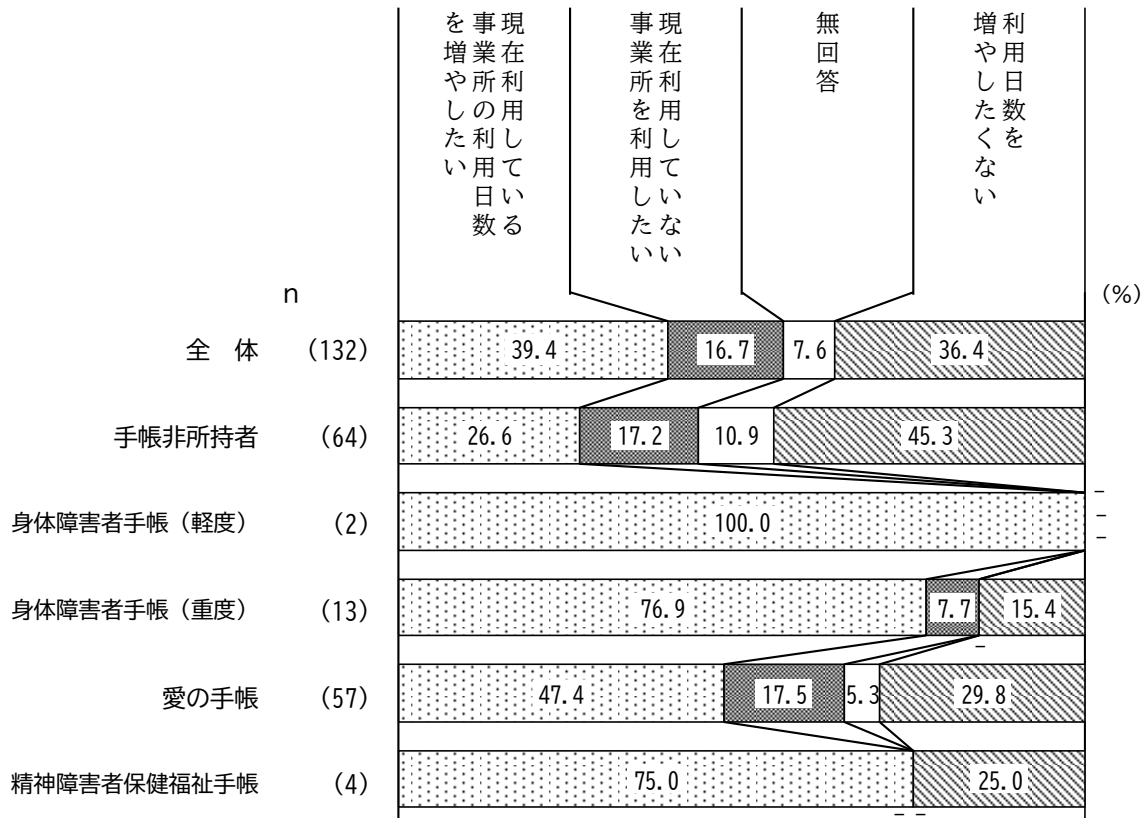
4.2.4. 放課後等デイサービスの利用日数増加希望

◆放課後等デイサービスの希望する利用日数の増加は「現在利用している事業所の利用日数を増やしたい」が約4割

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-4. 放課後等デイサービスの利用日数を増やしたい場合、当てはまるものを次から選択してください。(○は1つ)

図4-43 【所持手帳別】放課後等デイサービスの利用日数増加希望（6歳以上）



放課後等デイサービスの希望する利用日数の増加は、「現在利用している事業所の利用日数を増やしたい」が約4割、「利用日数を増やしたくない」が3割半ばとなっている。

図 4-44 【年齢別】放課後等デイサービスの利用日数増加希望（6歳以上）

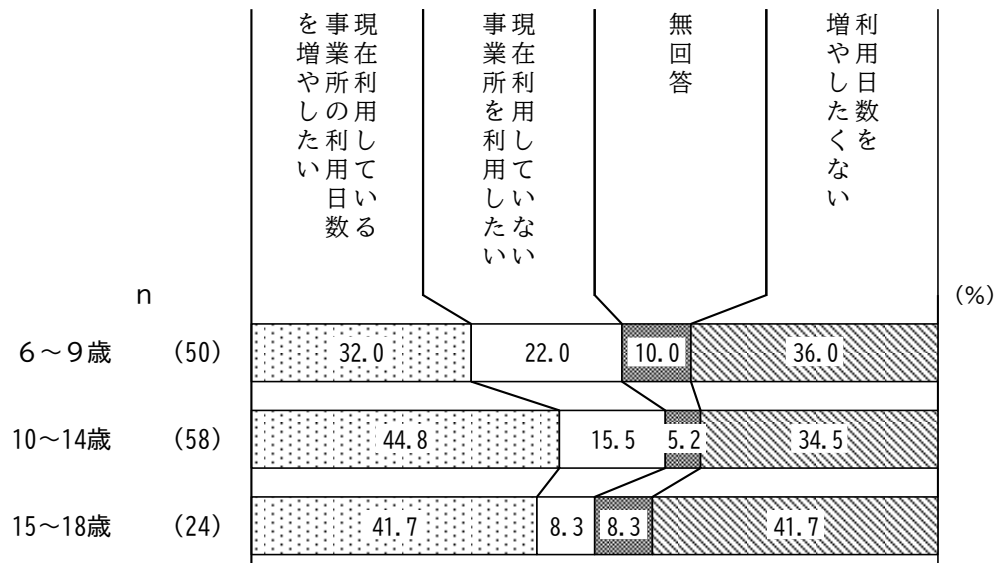
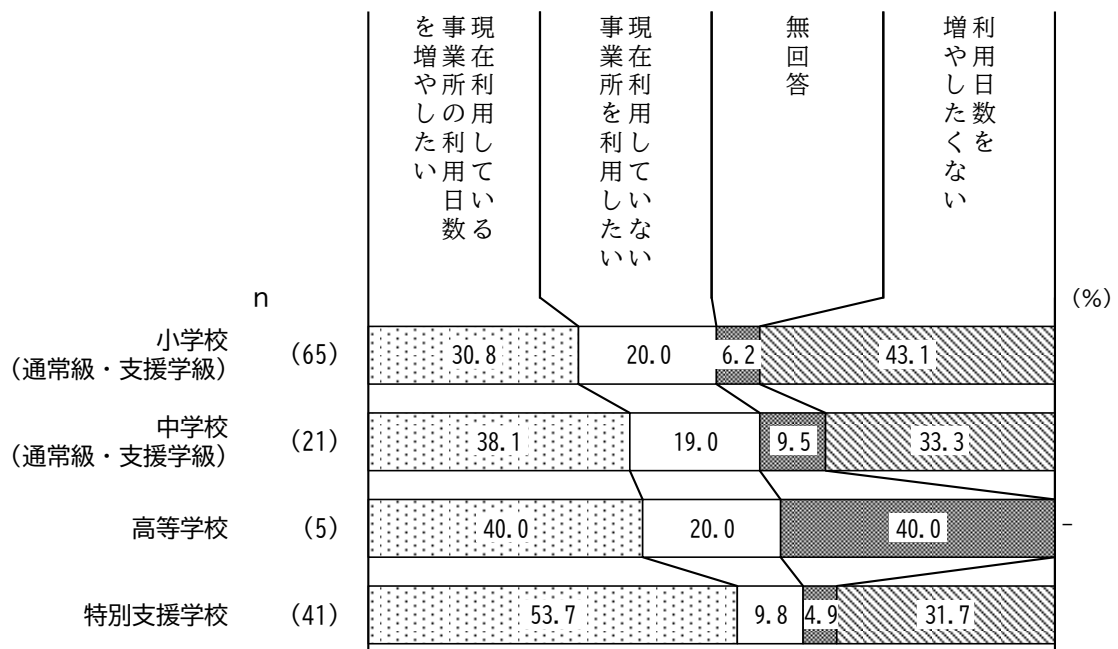


図 4-45 【在籍別】放課後等デイサービスの利用日数増加希望（6歳以上）



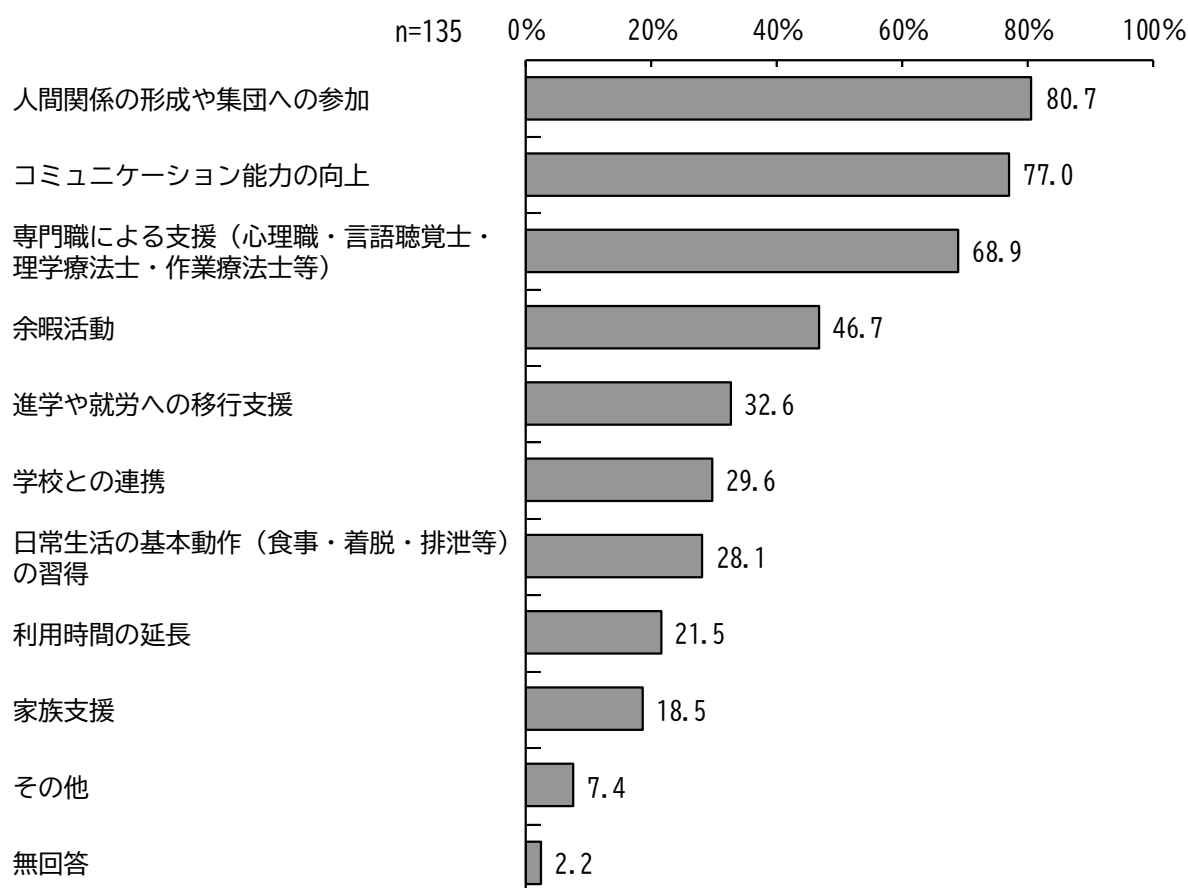
4.2.5. 放課後等デイサービスに求める支援

◆放課後等デイサービスに求める支援は「人間関係の形成や集団への参加」が約8割

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-5. 放課後等デイサービスにもとめる支援はどのようなことですか。当てはまるものを次から選択してください。(あてはまるものすべてに○)

図4-46 放課後等デイサービスに求める支援（6歳以上）



放課後等デイサービスを利用していると回答した方に、放課後等デイサービスに求める支援をきいたところ、「人間関係の形成や集団への参加」が約8割と最も高くなっており、次いで「コミュニケーション能力の向上」「専門職による支援（心理職・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士等）」「余暇活動」となっている。

図 4-47 【所持手帳別】放課後等デイサービスに求める支援（6歳以上）

区分	有効回答数（件）	専門職による支援 （心理職・言語聴覚士・ 理学療法士・作業療法士等）	日常生活の基本動作（食事・ 着脱・排泄等）の習得	コミュニケーション能力の 向上	人間関係の形成や 集団への参加	余暇活動	家族支援	進学や就労への移行支援	学校との連携	利用時間の延長	その他	無回答
全体	135	68.9	28.1	77.0	80.7	46.7	18.5	32.6	29.6	21.5	7.4	2.2
手帳非所持者	64	67.2	12.5	75.0	81.3	26.6	17.2	34.4	29.7	6.3	6.3	3.1
身体障害者手帳（軽度）	2	50.0	—	50.0	100.0	100.0	—	—	50.0	—	—	—
身体障害者手帳（重度）	13	84.6	76.9	84.6	84.6	84.6	38.5	23.1	46.2	46.2	23.1	—
愛の手帳	57	68.4	42.1	80.7	78.9	66.7	14.0	31.6	22.8	35.1	5.3	1.8
精神障害者保健福祉手帳	4	75.0	25.0	50.0	75.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0	—

図 4-48 【年齢別】放課後等デイサービスに求める支援（6歳以上）

区分	有効回答数（件）	専門職による支援 （心理職・言語聴覚士・ 理学療法士・作業療法士等）	日常生活の基本動作（食事・ 着脱・排泄等）の習得	コミュニケーション能力の 向上	人間関係の形成や 集団への参加	余暇活動	家族支援	進学や就労への移行支援	学校との連携	利用時間の延長	その他	無回答
全体	135	68.9	28.1	77.0	80.7	46.7	18.5	32.6	29.6	21.5	7.4	2.2
6～9歳	50	74.0	26.0	76.0	82.0	32.0	16.0	28.0	28.0	12.0	6.0	4.0
10～14歳	58	67.2	32.8	75.9	81.0	50.0	20.7	37.9	32.8	22.4	12.1	1.7
15～18歳	24	62.5	25.0	79.2	79.2	70.8	20.8	33.3	25.0	41.7	—	—

図 4-49 【在籍別】放課後等デイサービスに求める支援（6歳以上）

区分	有効回答数（件）	専門職による支援 （心理職・言語聴覚士・ 理学療法士・作業療法士等）	日常生活の基本動作（食事・ 着脱・排泄等）の習得	コミュニケーション能力の 向上	人間関係の形成や 集団への参加	余暇活動	家族支援	進学や就労への移行支援	学校との連携	利用時間の延長	その他	無回答
全体	132	68.9	28.8	76.5	81.1	47.0	18.9	33.3	29.5	22.0	7.6	2.3
小学校 （通常級・支援学級）	65	70.8	20.0	75.4	83.1	32.3	18.5	33.8	29.2	9.2	7.7	3.1
中学校 （通常級・支援学級）	21	52.4	14.3	71.4	81.0	38.1	9.5	38.1	19.0	14.3	4.8	4.8
高等学校	5	80.0	—	60.0	100.0	40.0	40.0	60.0	40.0	20.0	—	—
特別支援学校	41	73.2	53.7	82.9	75.6	75.6	22.0	26.8	34.1	46.3	9.8	—
在宅	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

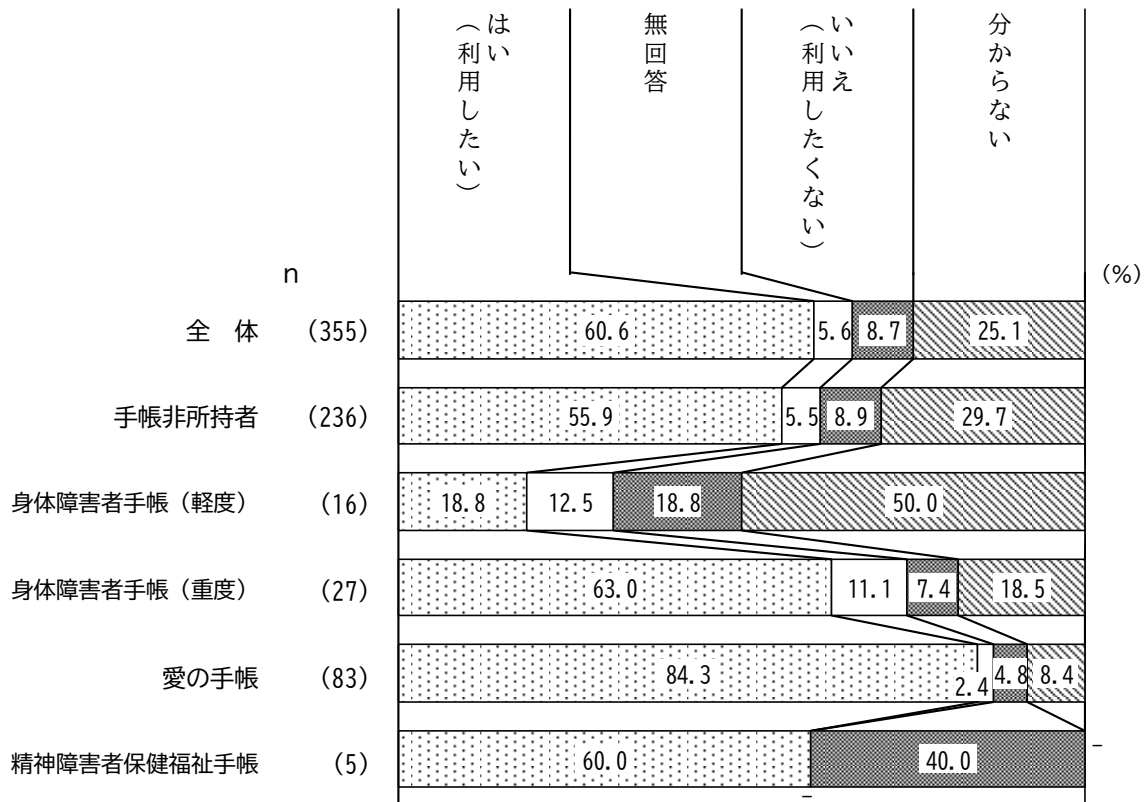
4.2.6. 放課後等デイサービスの利用意向

◆放課後等デイサービスを今後「利用したい」方は約6割

(全員の方に)

問11-6. 放課後等デイサービスを今後、利用したいですか。(○は1つ)

図4-50 【所持手帳別】放課後等デイサービスの利用意向



放課後等デイサービスの利用意向は、「はい (利用したい)」が約6割となっている。

図4-51 【年齢別】放課後等デイサービスの利用意向

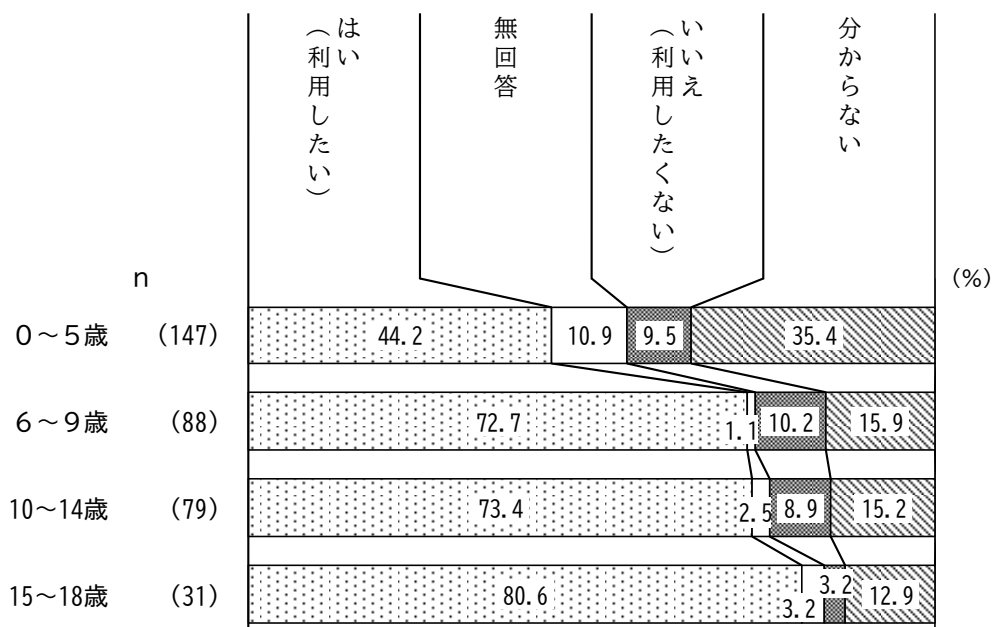


図 4-52 【在籍別】放課後等デイサービスの利用意向

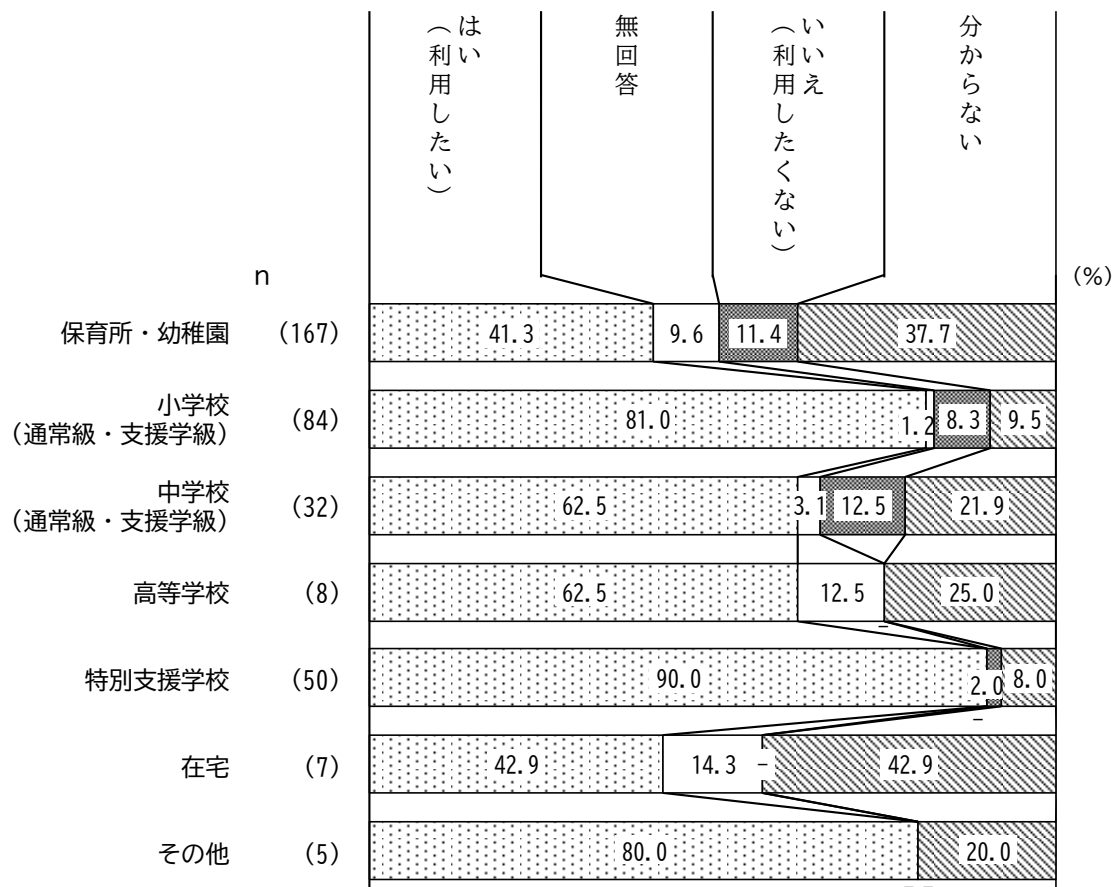
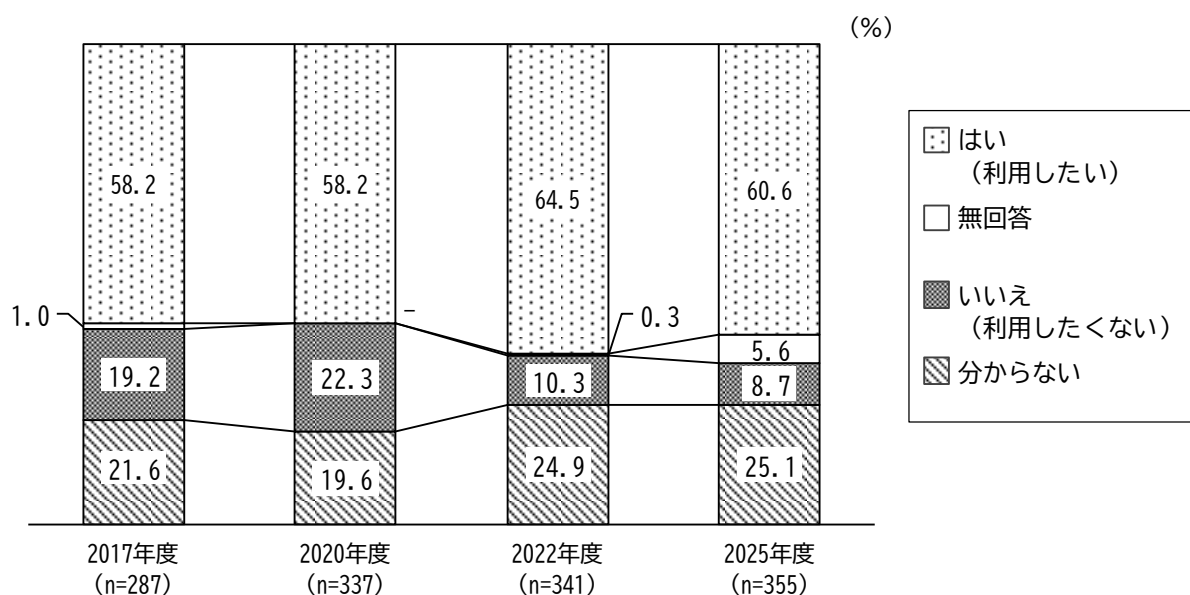


図 4-53 【経年比較】放課後等デイサービスの利用意向



放課後等デイサービスの利用意向を経年比較でみると、2025年度は2022年度と比べ大きな変化はみられない。

4.2.6.1. 放課後等デイサービスを利用したくない理由

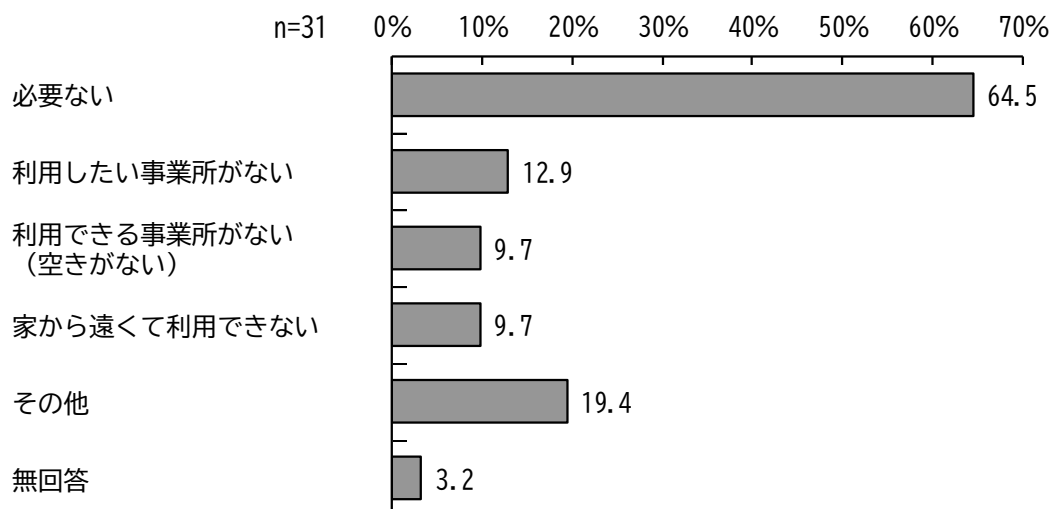
◆放課後等デイサービスを利用したくない理由は「必要ない」が6割半ば

(問11-6で「2. いいえ」とお答えの方に)

問11-6-1. 放課後等デイサービスを利用したくない理由はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

図4-54 放課後等デイサービスを利用したくない理由



放課後等デイサービスを利用したくないと回答した方に、放課後等デイサービスを利用したくない理由をきいたところ、「必要ない」が6割半ばで最も高い。

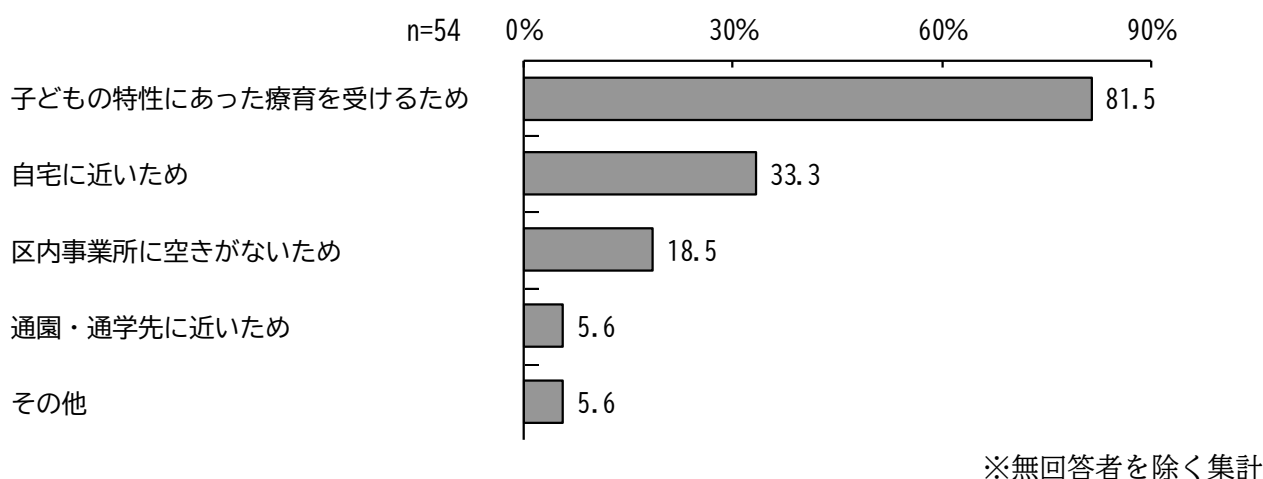
4.3. 区外の事業所を利用している理由

◆区外の事業所を利用している理由は「子どもの特性にあった療育を受けるため」が約8割

(区外の児童発達支援や放課後等デイサービス事業所を利用している方に)

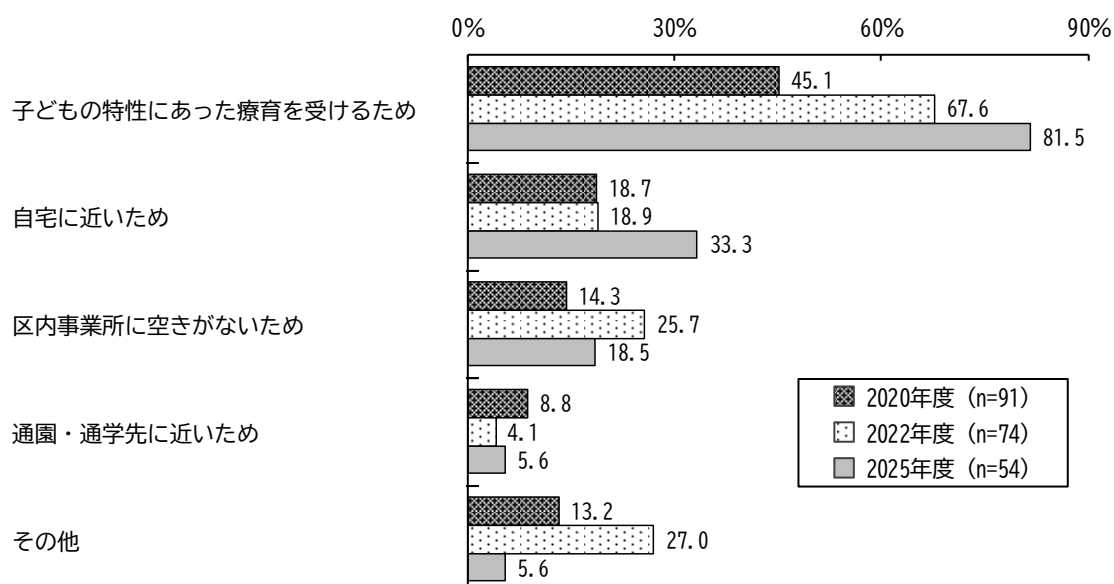
問 12 区外の児童発達支援や放課後等デイサービスの事業所を利用している方にお尋ねします。
区外の事業所を利用している理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

図 4-55 区外の事業所を利用している理由



区外の事業所を利用している理由は、「子どもの特性にあった療育を受けるため」が最も高く、次いで「自宅に近いため」「区内事業所に空きがないため」となっている。

図 4-56 【経年比較】区外の事業所を利用している理由



※「子どもの特性にあった療育を受けるため」は、2022 年度以前は「障害の特性にあった療育を受けるため」

※「通園・通学先に近いため」は、2022 年度以前は「通学先に近いため」

選択肢の文言が異なるため、グラフは参考として掲載する。

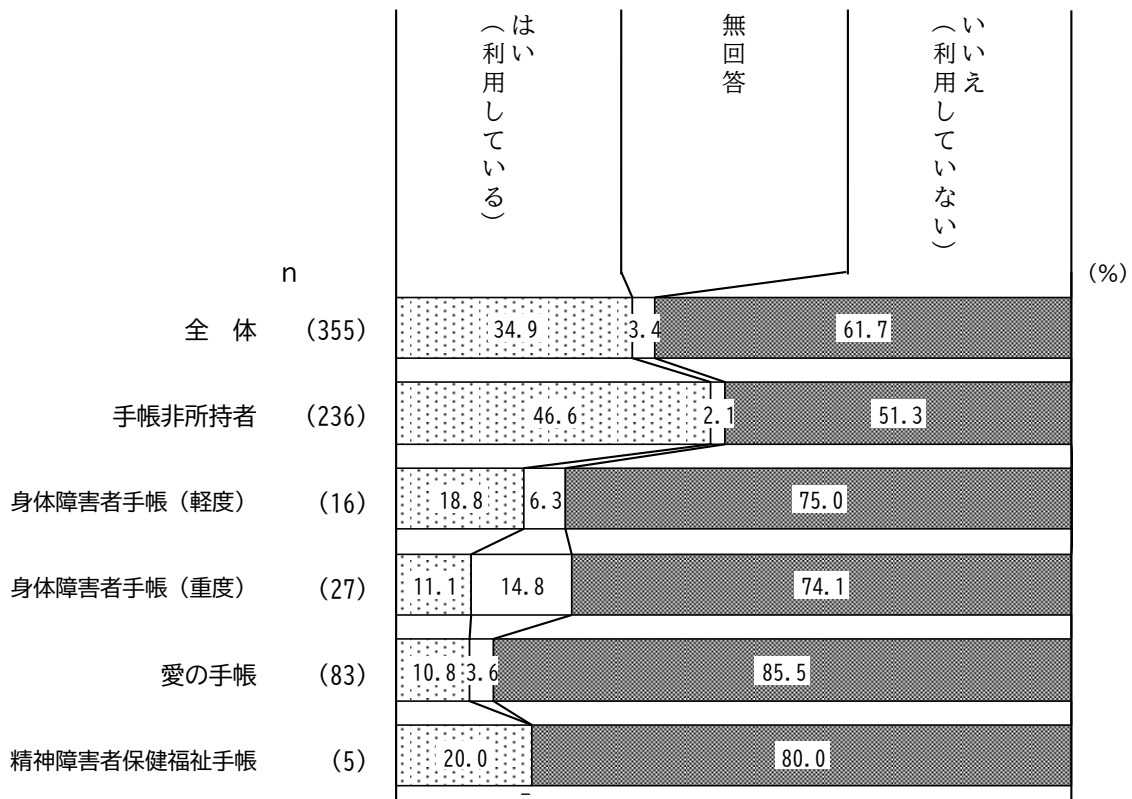
4.4. 保育所等訪問支援の利用状況

◆保育所等訪問支援を「利用している」方は3割半ば

(全員の方に)

問13. 保育所等訪問支援を現在、利用していますか。(○は1つ)

図4-57 【所持手帳別】保育所等訪問支援の利用状況



保育所等訪問支援の利用状況は、「はい (利用している)」の割合が3割半ばとなっている。

図 4-58 【年齢別】 保育所等訪問支援の利用状況

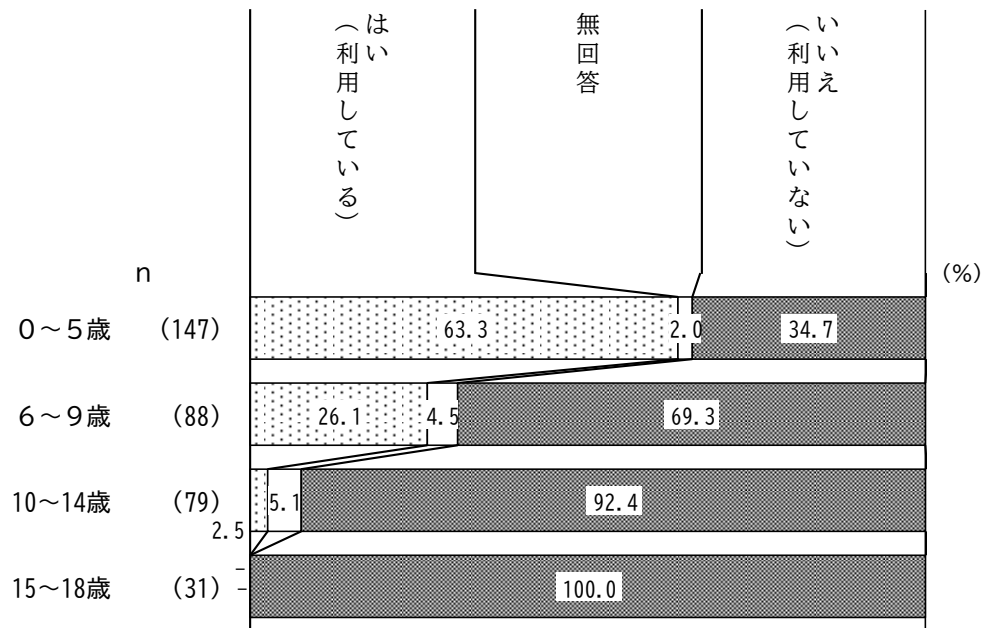
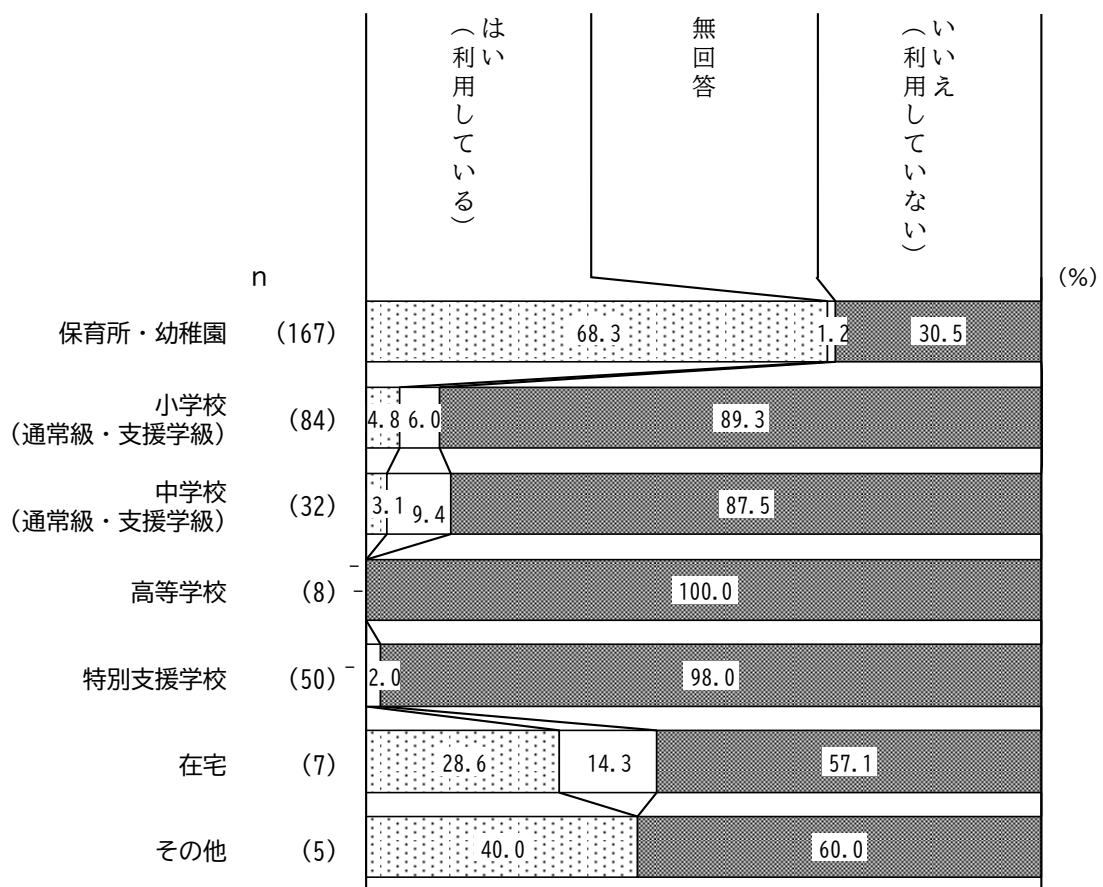


図 4-59 【在籍別】 保育所等訪問支援の利用状況



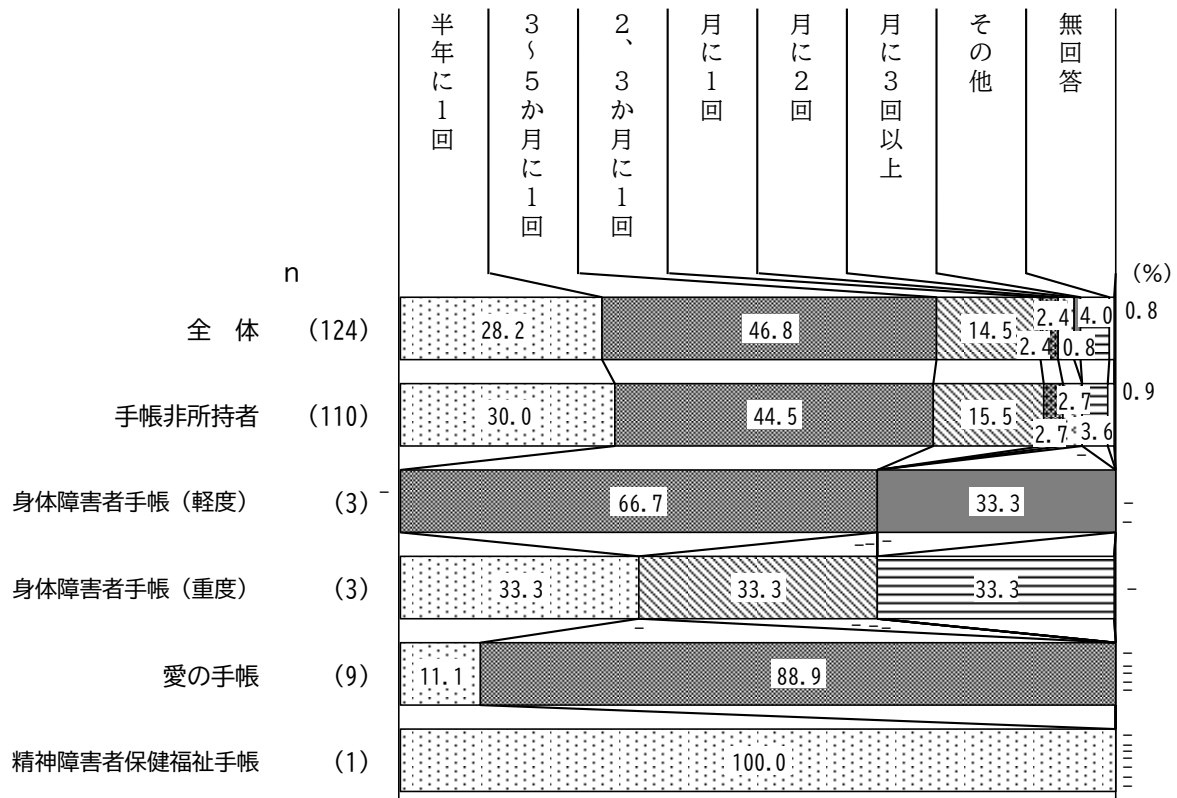
4.4.1. 保育所等訪問支援の利用頻度

◆保育所等訪問支援の利用頻度は「3～5か月に1回」が4割半ば

(問13で「1. はい」とお答えの方に)

問13-1. 現在、保育所等訪問支援の利用頻度はどのくらいですか。(○は1つ)
複数事業所を利用している場合は、全部合わせた日数をお答えください。

図4-60 【所持手帳別】保育所等訪問支援の利用頻度



保育所等訪問支援の利用頻度は、「3～5か月に1回」が4割半ばとなっている。

図 4-61 【年齢別】 保育所等訪問支援の利用頻度

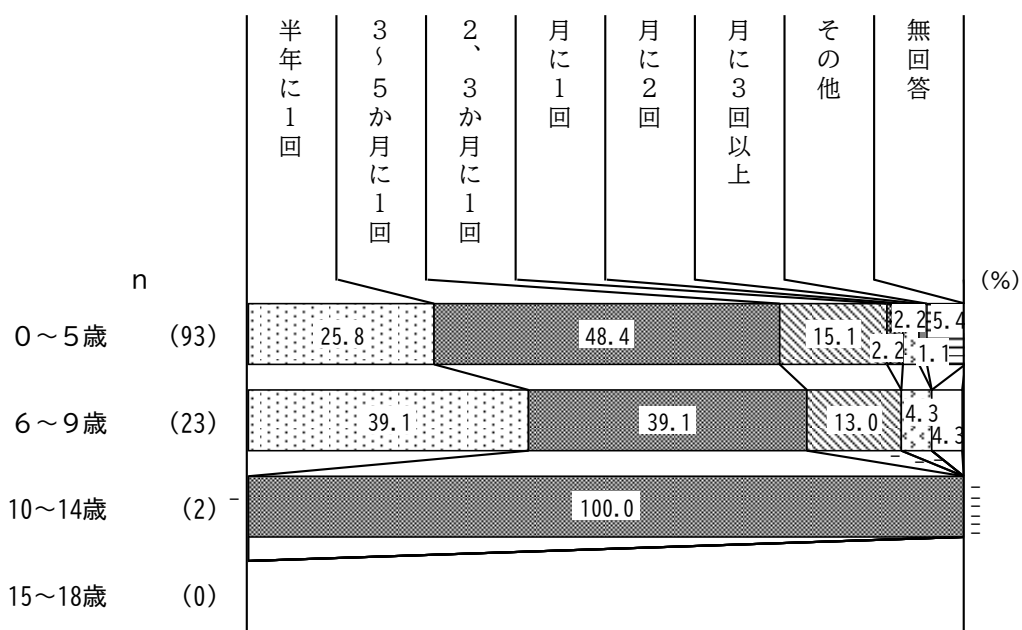
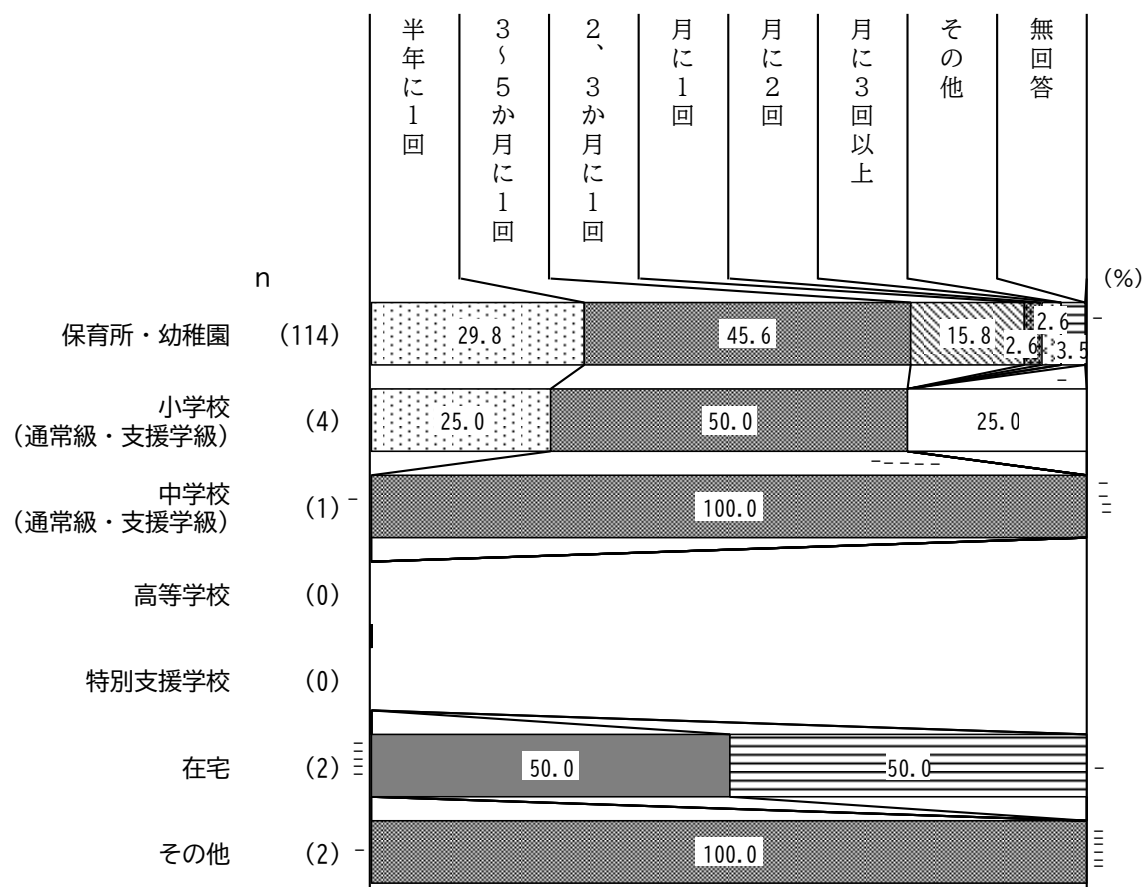


図 4-62 【在籍別】 保育所等訪問支援の利用頻度



4.4.2. 保育所等訪問支援を利用していない理由

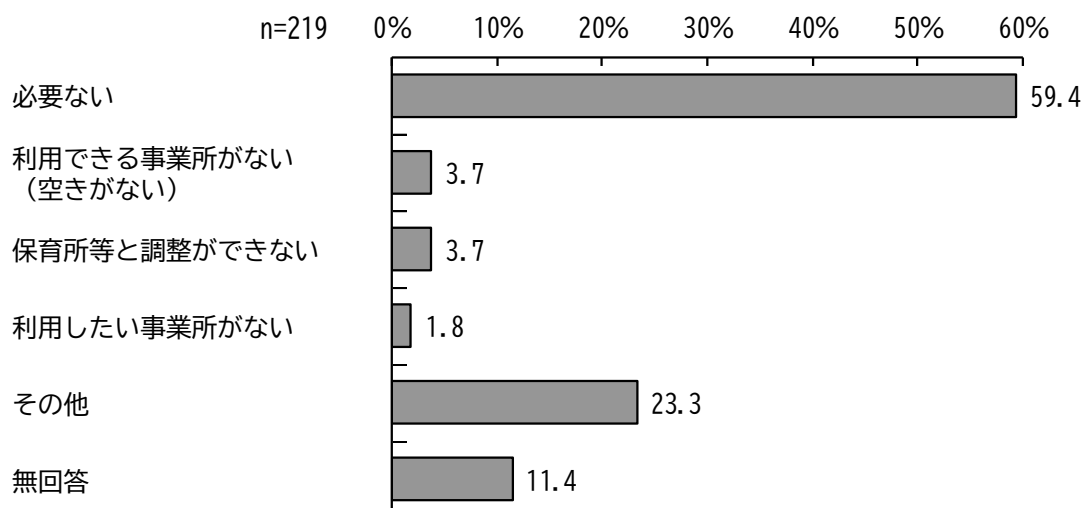
◆保育所等訪問支援を利用していない理由は「必要ない」が約6割

(問13で「2. いいえ」とお答えの方に)

問13-2. 保育所等訪問支援を利用していない理由はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

図4-63 保育所等訪問支援を利用していない理由



保育所等訪問支援を利用していないと回答した方に、保育所等訪問支援を利用していない理由をきいたところ、「必要ない」が約6割と最も高くなっている。

図4-64 【所持手帳別】保育所等訪問支援を利用していない理由

区分	有効回答数 (件)	利用したい事業所がない	利用できる事業所がない (空きがない)	保育所等と調整ができない	必要ない	その他	無回答
全体	219	1.8	3.7	3.7	59.4	23.3	11.4
手帳非所持者	121	0.8	4.1	5.8	58.7	21.5	11.6
身体障害者手帳 (軽度)	12	—	—	—	50.0	16.7	33.3
身体障害者手帳 (重度)	20	—	5.0	5.0	55.0	30.0	10.0
愛の手帳	71	4.2	4.2	—	60.6	26.8	8.5
精神障害者保健福祉手帳	4	—	—	—	25.0	50.0	25.0

図 4-65 【年齢別】 保育所等訪問支援を利用していない理由

区分	有効回答数（件）	利用したい事業所がない	利用できる事業所がない（空きがない）	保育所等と調整がでない	必要ない	その他	無回答
全体	219	1.8	3.7	3.7	59.4	23.3	11.4
0～5歳	51	—	3.9	11.8	54.9	23.5	7.8
6～9歳	61	—	1.6	—	57.4	27.9	13.1
10～14歳	73	5.5	6.8	1.4	57.5	20.5	12.3
15～18歳	31	—	—	—	80.6	19.4	6.5

図 4-66 【在籍別】 保育所等訪問支援を利用していない理由

区分	有効回答数（件）	利用したい事業所がない	利用できる事業所がない（空きがない）	保育所等と調整がでない	必要ない	その他	無回答
全体	219	1.8	3.7	3.7	59.4	23.3	11.4
保育所・幼稚園	51	—	3.9	13.7	56.9	25.5	3.9
小学校 （通常級・支援学級）	75	2.7	4.0	1.3	57.3	21.3	16.0
中学校 （通常級・支援学級）	28	3.6	3.6	—	64.3	21.4	10.7
高等学校	8	—	—	—	62.5	25.0	12.5
特別支援学校	49	2.0	4.1	—	63.3	26.5	8.2
在宅	4	—	—	—	50.0	—	50.0
その他	3	—	—	—	66.7	33.3	—

4.4.3. 保育所等訪問支援の利用意向

◆保育所等訪問支援を今後「利用したい」方は5歳以下において約7割

(全員の方に)

問 13-3. 保育所等訪問支援を今後、利用したいですか。(○は1つ)

図 4-67 【所持手帳別】保育所等訪問支援の利用意向

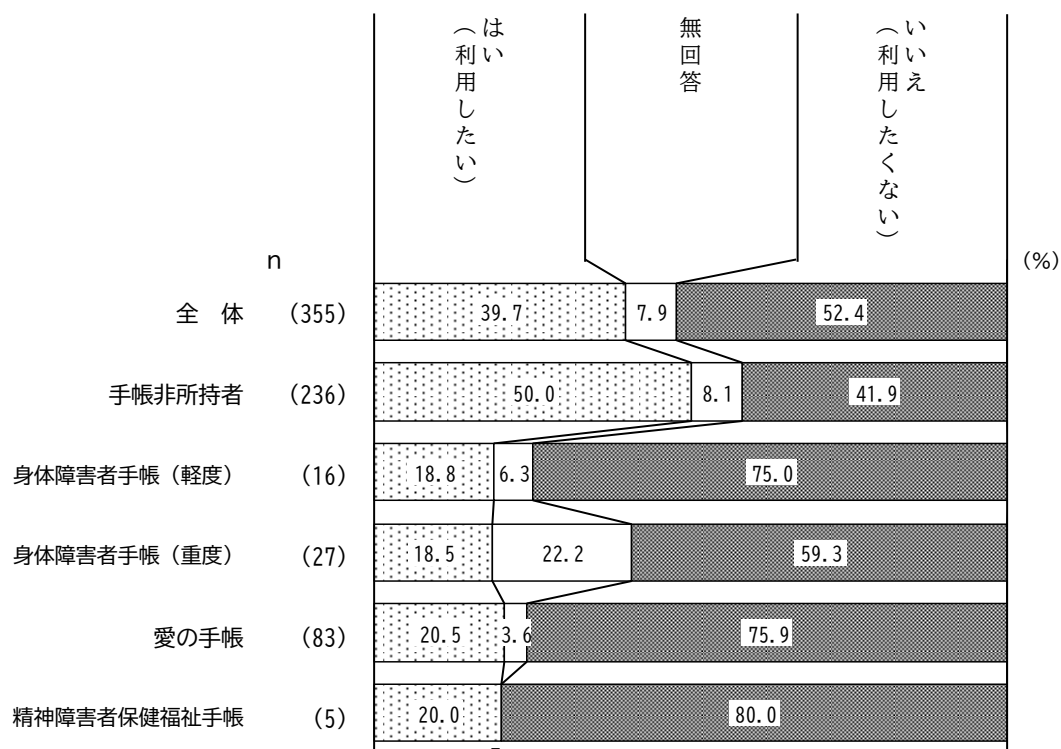
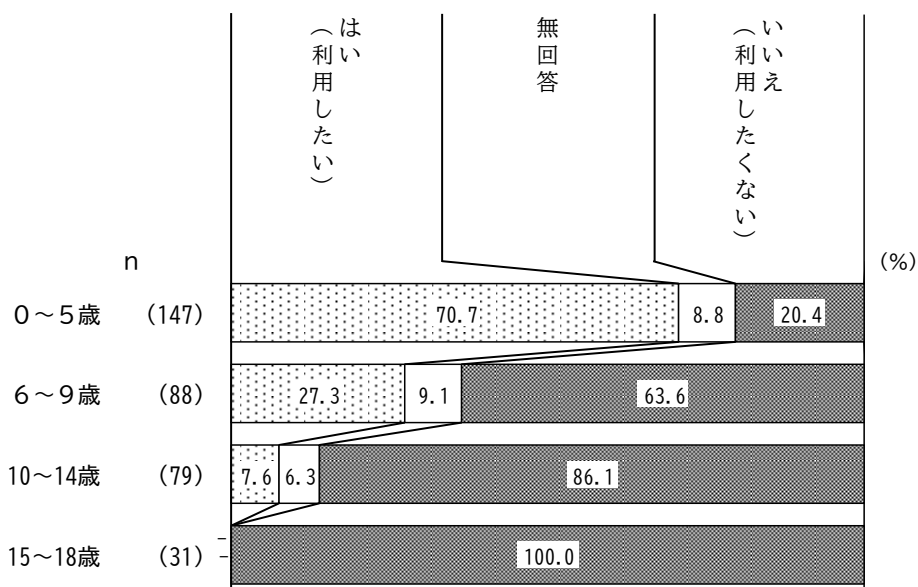


図 4-68 【年齢別】保育所等訪問支援の利用意向



保育所等訪問支援の利用意向は、5歳以下では「はい（利用したい）」が約7割と高くなっている。

図 4-69 【在籍別】保育所等訪問支援の利用意向

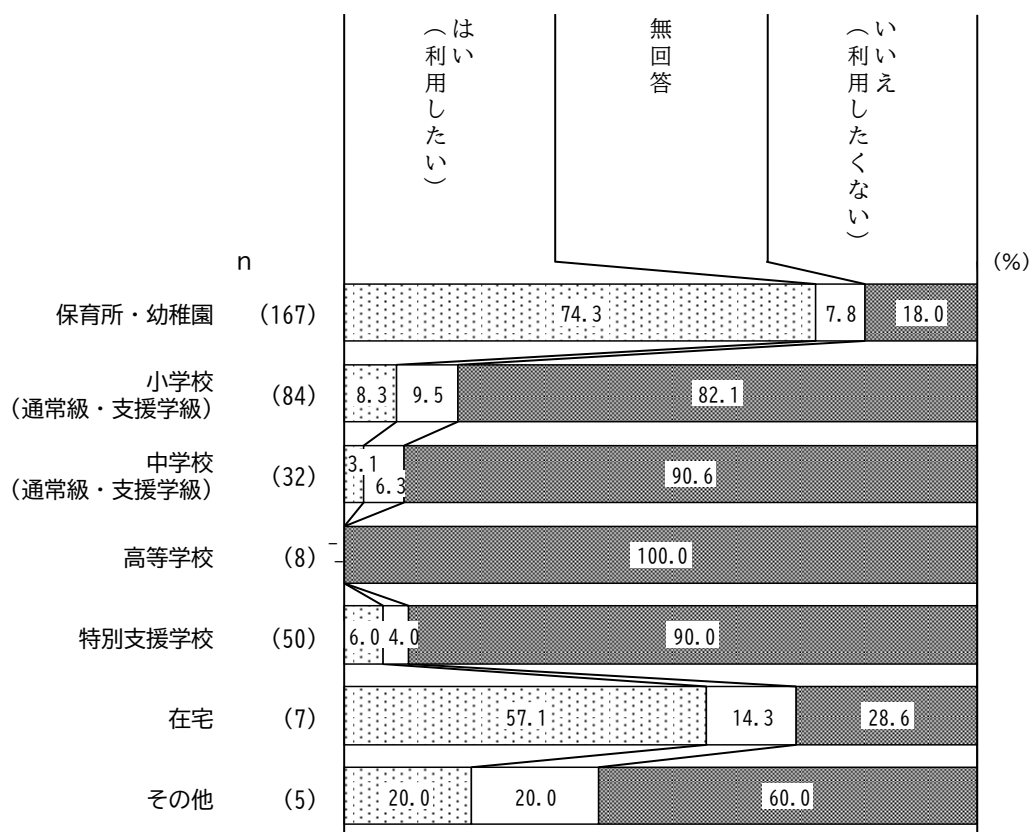
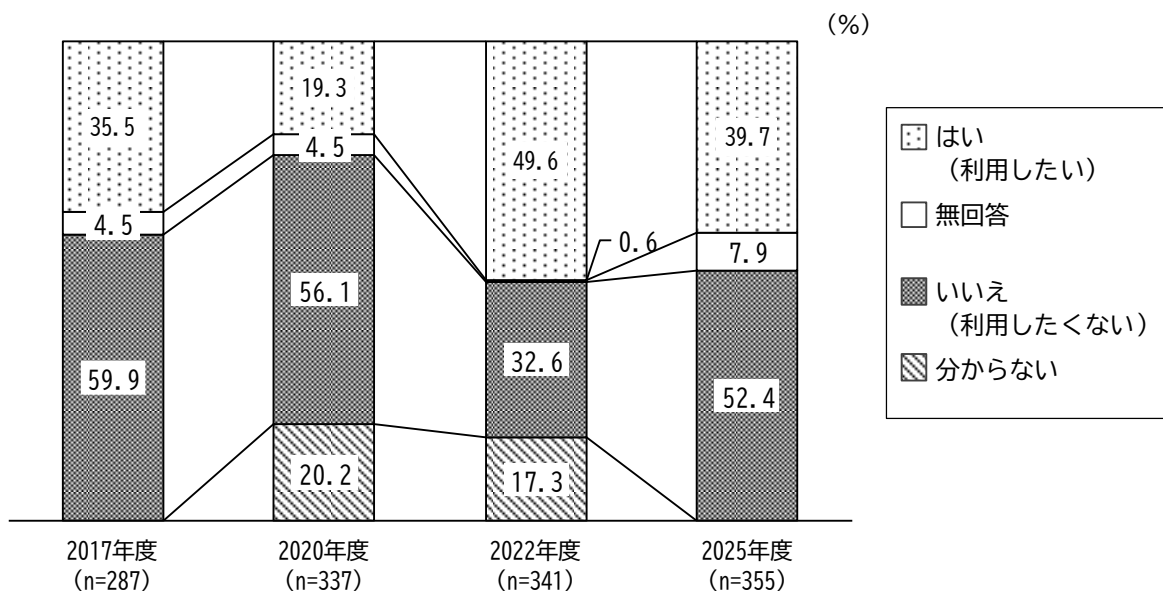


図 4-70 【経年比較】保育所等訪問支援の利用意向



※2020 年度・2022 年度は「分からない」の選択肢あり

選択肢の数が異なるため、グラフは参考として掲載する。

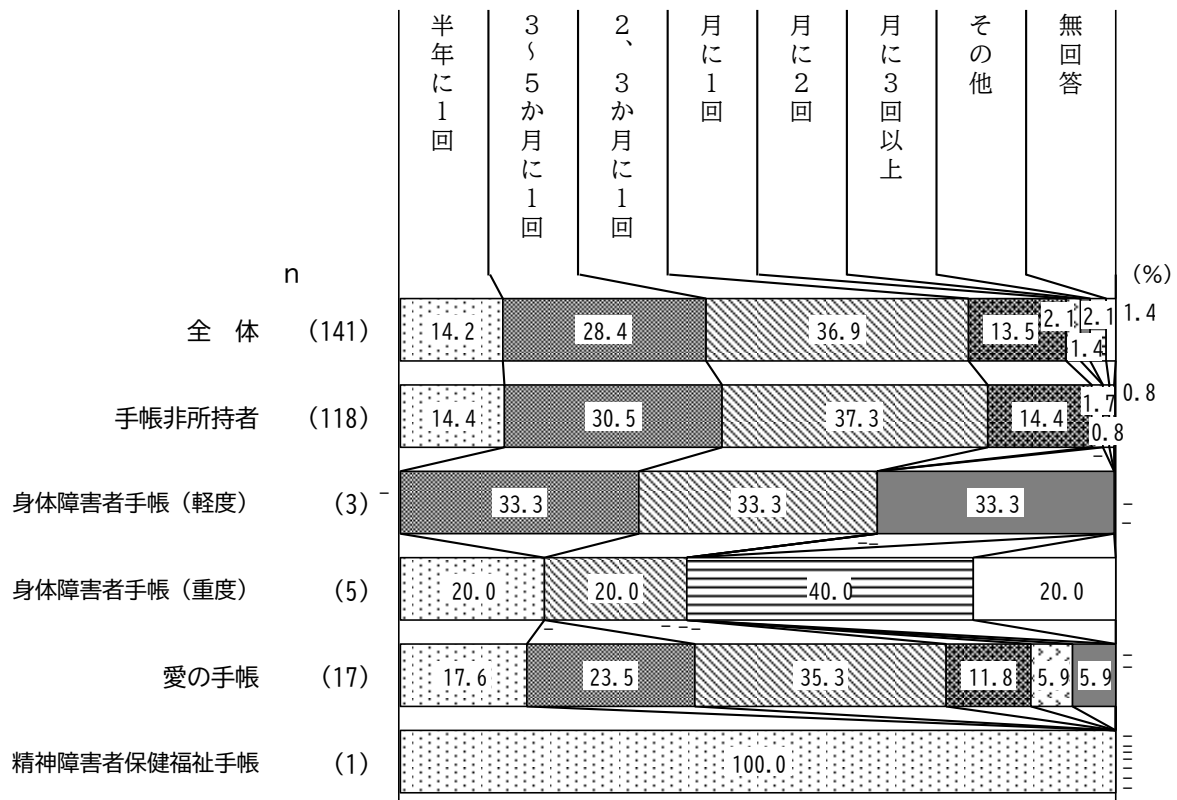
4.4.3.1. 保育所等訪問支援の希望利用頻度

◆保育所等訪問支援の希望する利用頻度は「2、3か月に1回」が3割半ば

(問13-3で「1. はい」とお答えの方に)

問13-3-1. 保育所等訪問支援を、どの程度利用したいですか。(○は1つ)

図4-71 【所持手帳別】保育所等訪問支援の希望利用頻度



保育所等訪問支援を利用したいと回答した方に、保育所等訪問支援の希望する利用頻度をきいたところ、「2、3か月に1回」が4割半ば、「3～5か月に1回」が2割台後半となっている。

図 4-72 【年齢別】 保育所等訪問支援の希望利用頻度

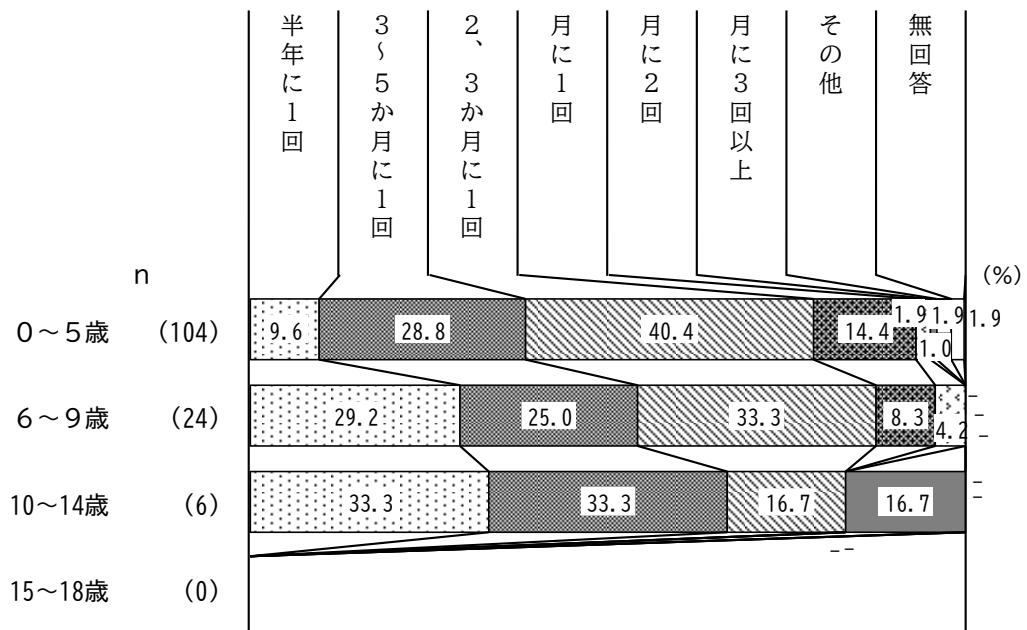
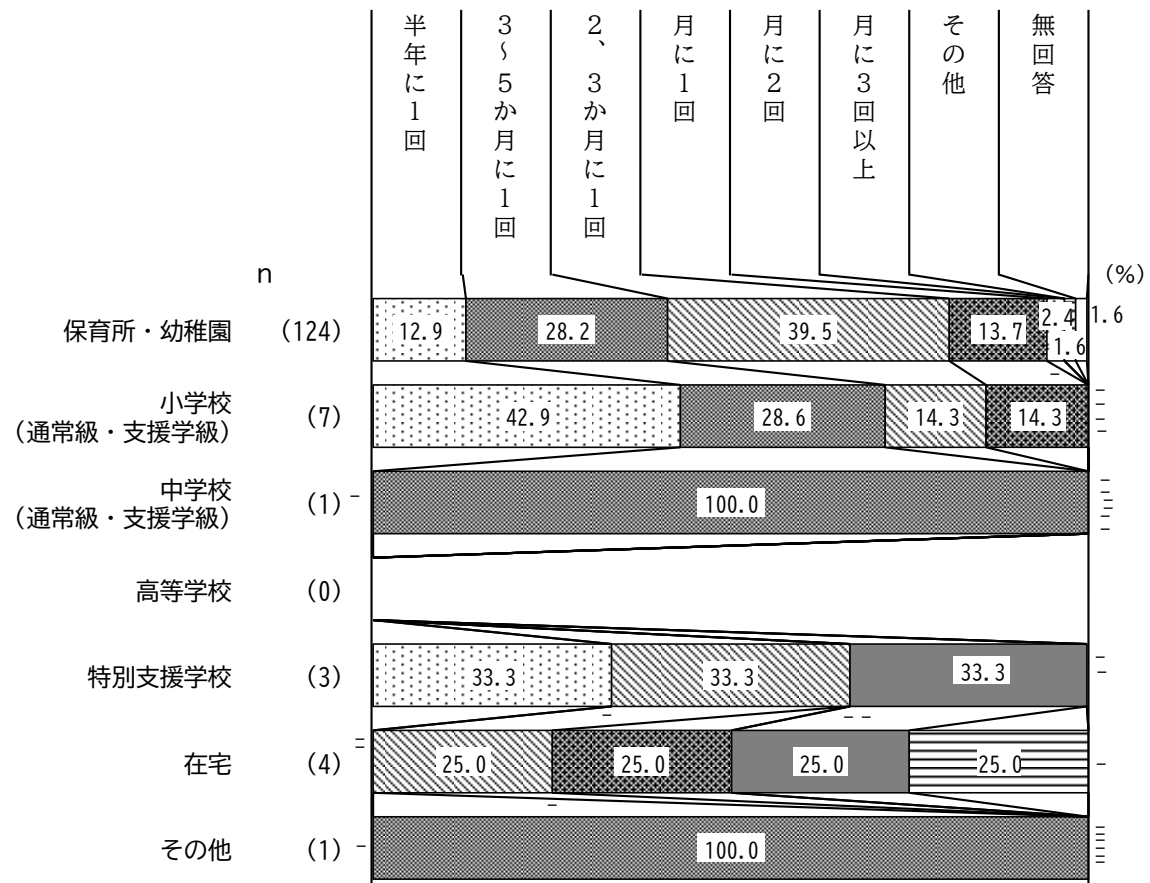


図 4-73 【在籍別】 保育所等訪問支援の希望利用頻度



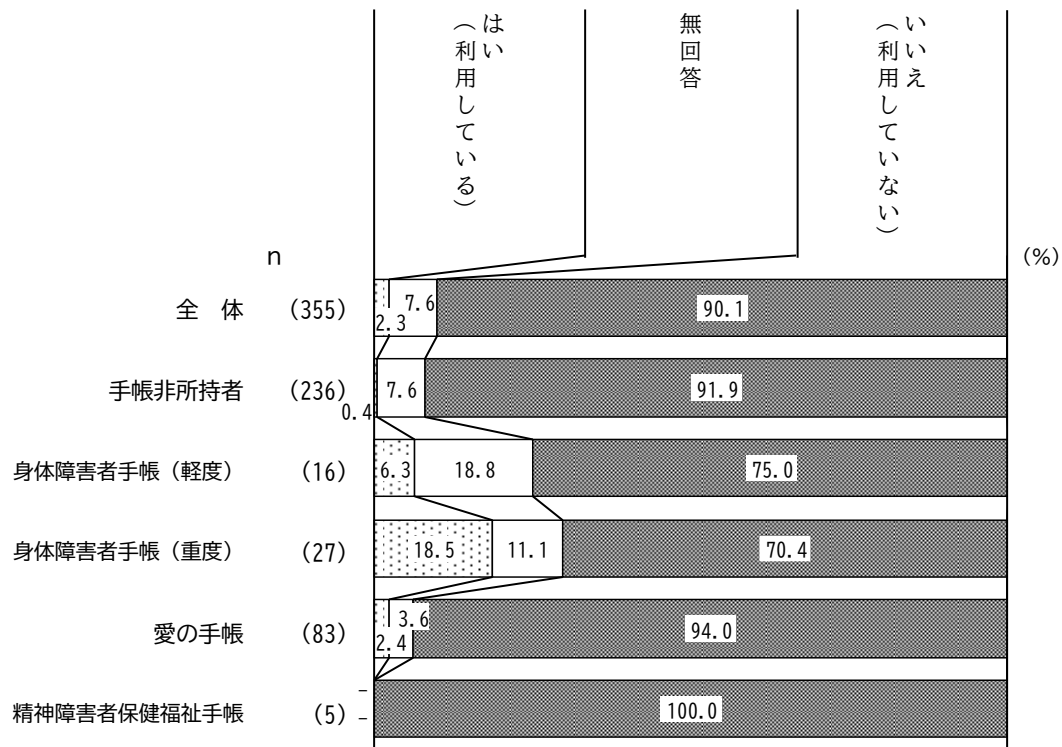
4.5. 居宅訪問型児童発達支援の利用状況

◆保育所等訪問支援を「利用している」方は身体障害者手帳所持者（重度）で1割台後半

（全員の方に）

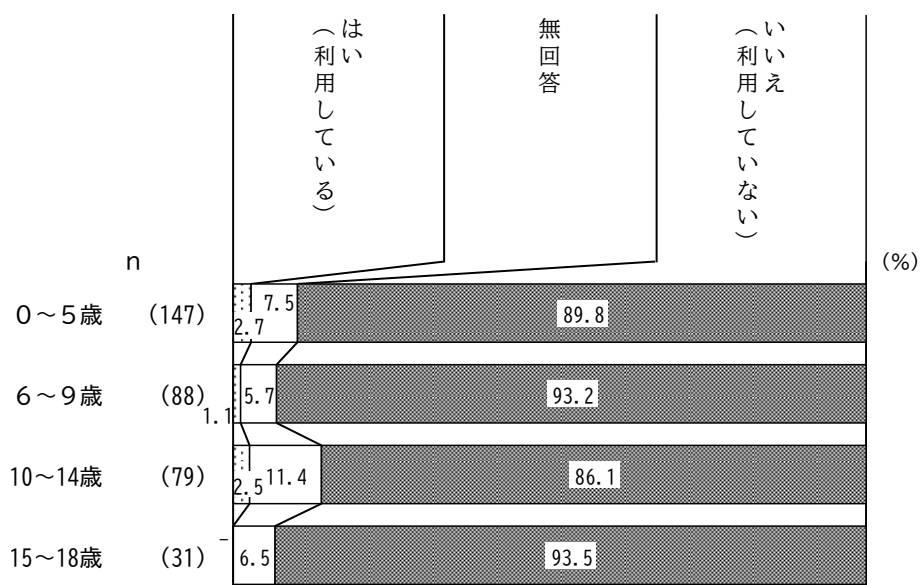
問 14. 居宅訪問型児童発達支援を現在、利用していますか。（○は1つ）

図 4-74 【所持手帳別】居宅訪問型児童発達支援の利用状況



居宅訪問型児童発達支援の利用状況は、身体障害者手帳所持者（重度）で「はい（利用している）」のが1割台後半となっている。

図 4-75 【年齢別】居宅訪問型児童発達支援の利用状況



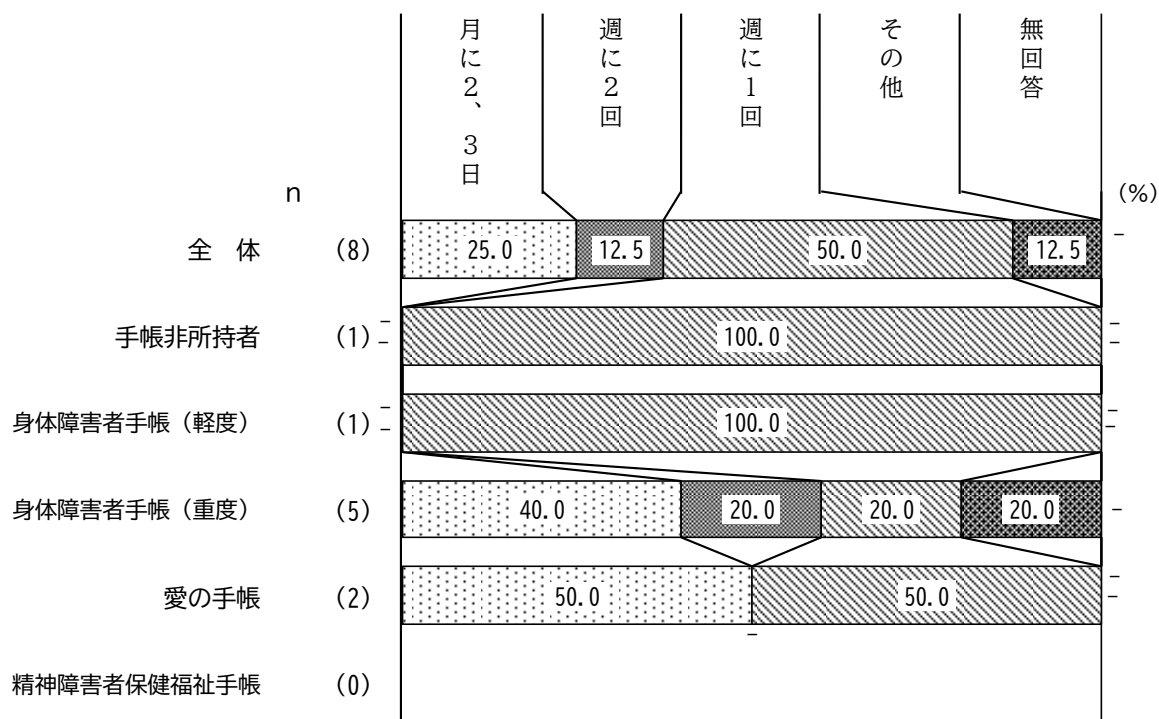
4.5.1. 居宅訪問型児童発達支援の利用頻度

◆利用したい日数は「週に1日」が5割

(問14で「1. はい」とお答えの方に)

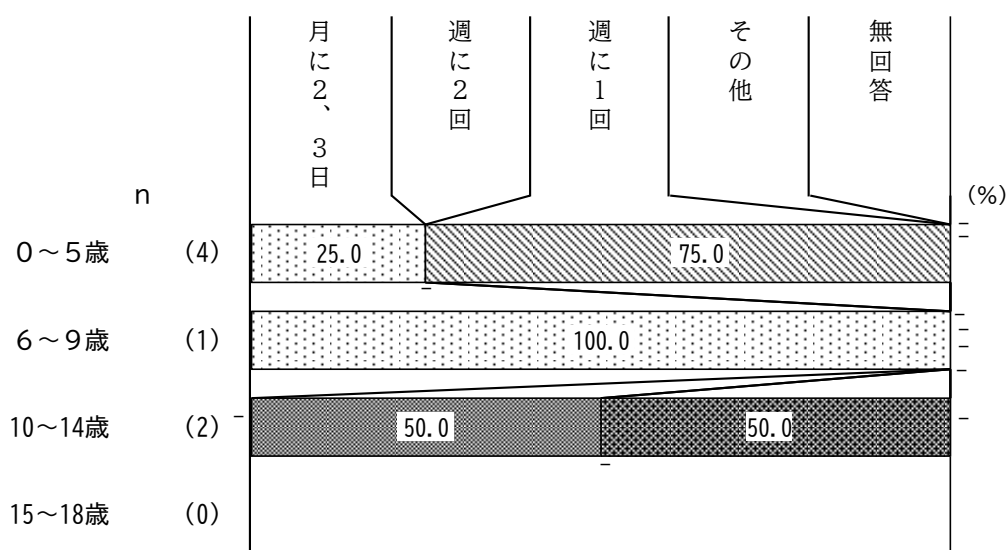
問14-1. 居宅訪問型児童発達支援の利用頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

図4-76 【所持手帳別】居宅訪問型児童発達支援の利用頻度



基数が少ないため、グラフは参考として掲載する。

図4-77 【年齢別】居宅訪問型児童発達支援の利用頻度



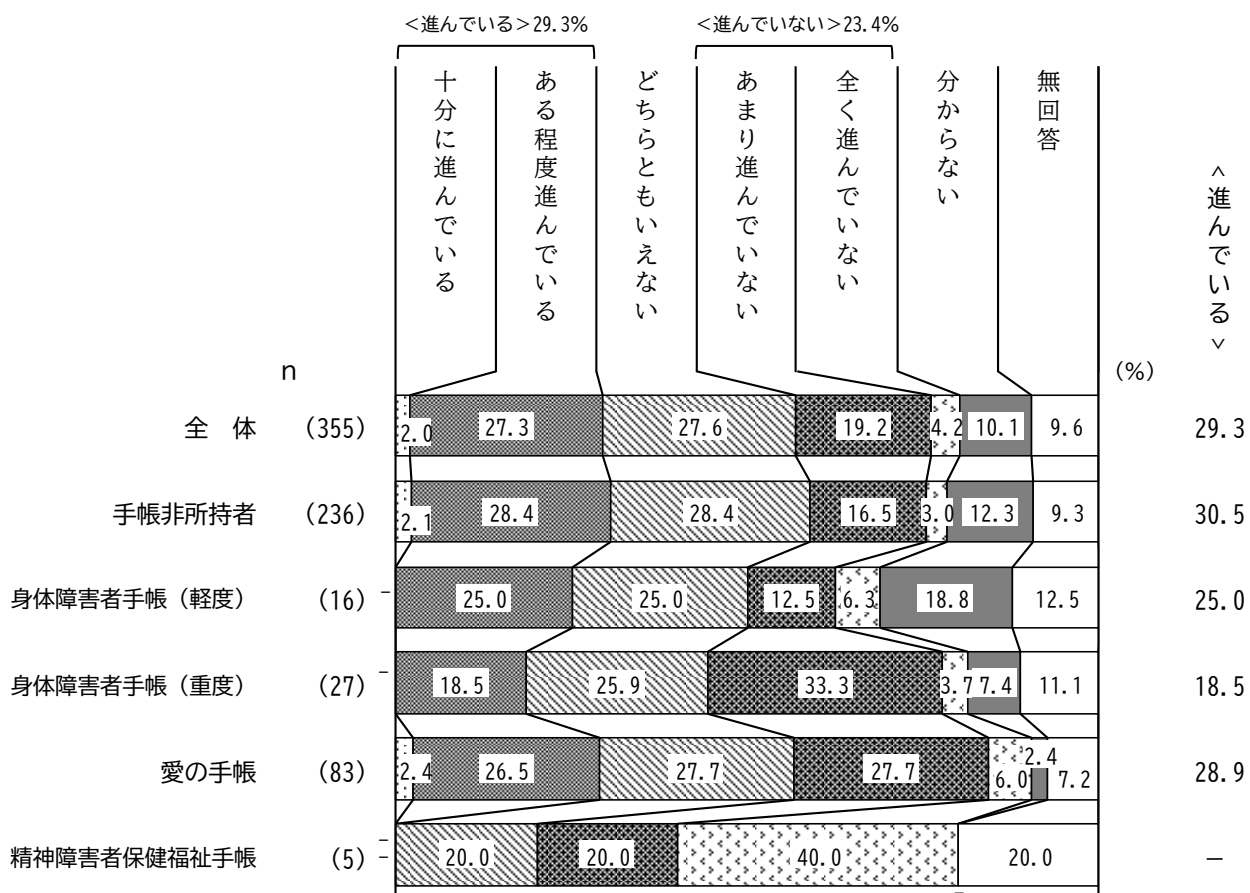
4.6. 障害児に対する地域の理解

◆障害児に対する地域の理解は、＜進んでいる＞が約３割

（全員の方に）

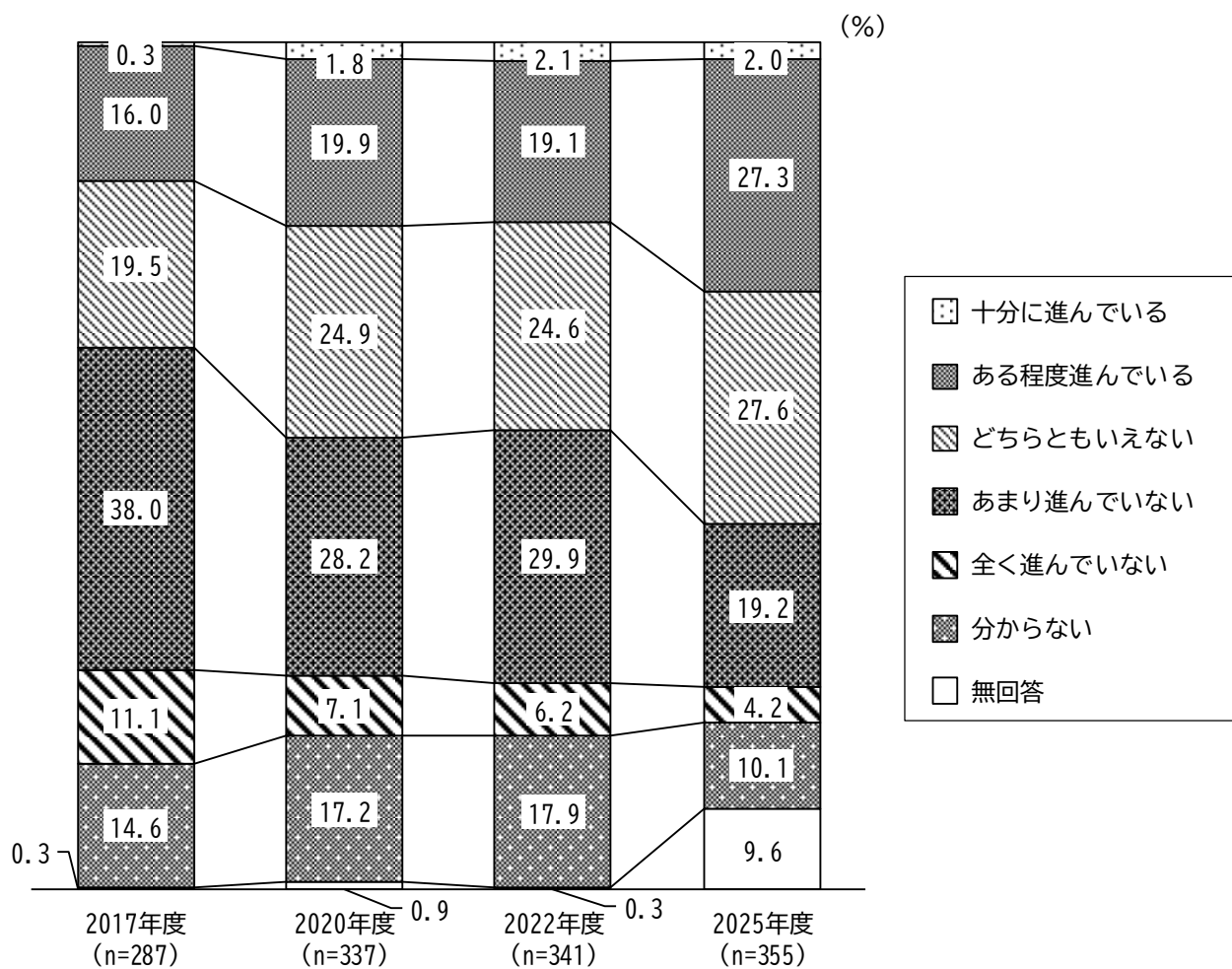
問 15. 障害や発達に特性のある子どもに対する地域の理解はどの程度進んでいると思いますか。
（○は１つ）

図 4-78 【所持手帳別】障害児に対する地域の理解



障害児に対する理解は、「十分に進んでいる」と「ある程度進んでいる」を合わせた＜進んでいる＞が約３割となっている。

図 4-79 【経年比較】障害児に対する地域の理解



障害児に対する地域の理解を経年比較でみると、2025年度は2022年度に比べて「ある程度進んでいる」が約8ポイント増加し、「あまり進んでいない」が約11ポイント減少している。

4.7. 充実してほしい施策・サービス

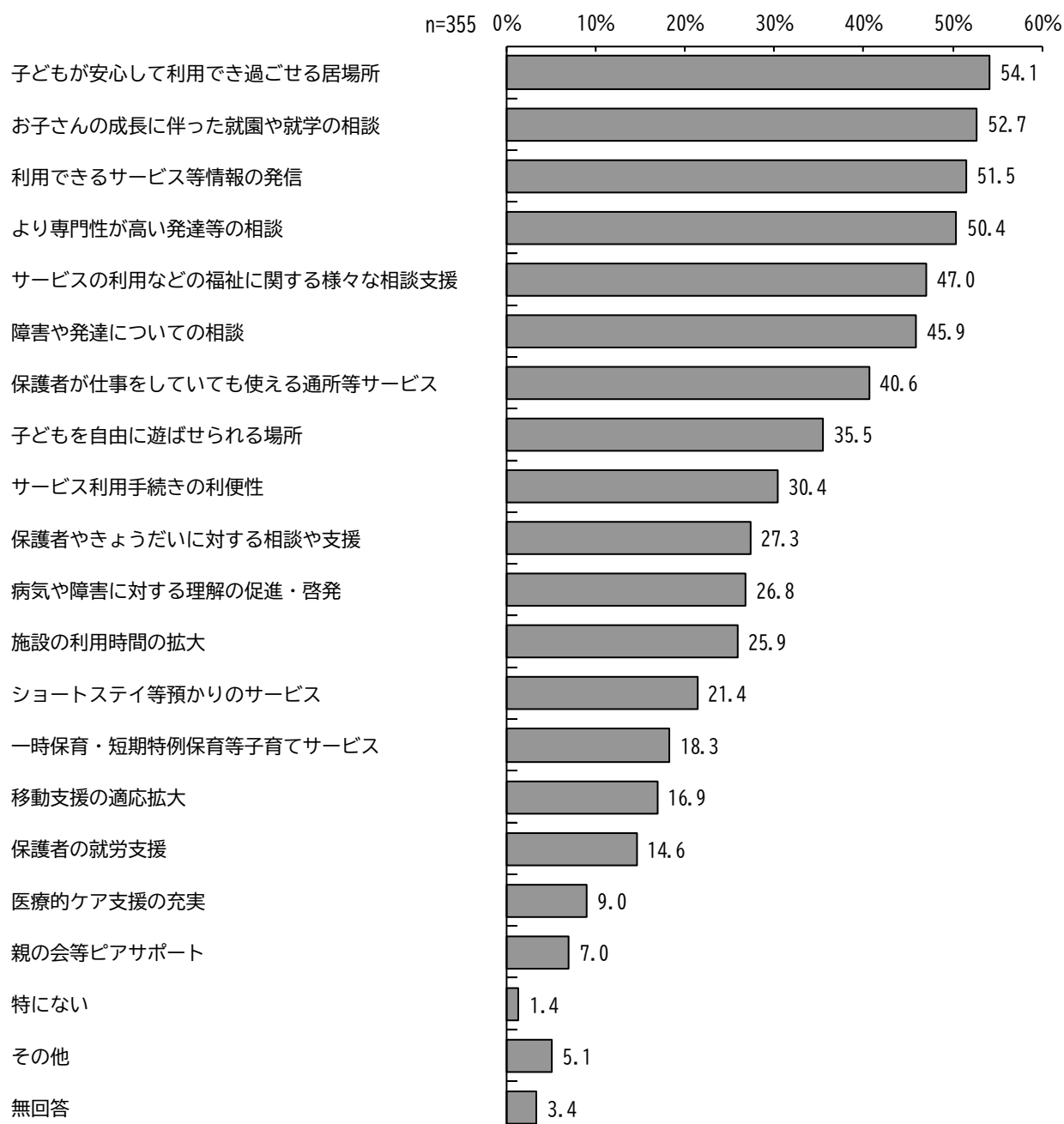
◆充実してほしい施策は「子どもが安心して利用でき過ごせる居場所」「お子さんの成長に伴った就園や就学の相談」「利用できるサービス等情報の発信」「より専門性が高い発達等の相談」が5割台

(全員の方に)

問 16. 次の施策・サービス等、特に充実してほしいと思うものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

図 4-80 充実してほしい施策・サービス



充実してほしい施策は、「子どもが安心して利用でき過ごせる居場所」が最も高くなっており、次いで「お子さんの成長に伴った就園や就学の相談」「利用できるサービス等情報の発信」「より専門性が高い発達等の相談」が5割台となっている。

図 4-81 【所持手帳別】上位 5 項目 充実してほしい施策・サービス

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
2025年度 n=355	子どもが安心して 利用でき過ご せる居場所 54.1	お子さんの成長 に伴った就園や 就学の相談 52.7	利用できるサー ビス等情報の発 信 51.5	より専門性が高 い発達等の相談 50.4	サービスの利用な どの福祉に関する 様々な相談支援 47.0
2022年度 n=341	ペアレントト レーニング等の 保護者支援 55.1	利用できるサー ビスについての 広報・周知 54.8	サービスの利用な どの福祉に関する 様々な相談支援 50.7	病気や障害に対 する理解の促進 39.9	活動の場、憩い の場の整備 39.3
2020年度 n=337	利用できるサー ビスについての 広報・周知 51.3	サービスの利用な どの福祉に関する 様々な相談支援 46.3	ペアレントトレ ーニング等の保護 者支援/病気や障害に対する理解 の促進 42.7	活動の場、憩い の場の整備 35.0	
2017年度 n=287	利用できるサー ビスについての 広報・周知 55.7	ペアレントト レーニング等の 保護者支援 54.0	サービスの利用な どの福祉に関する 様々な相談支援 52.6	病気や障害に対 する理解の促進 50.9	活動の場、憩い の場の整備 38.3

2022 年度までと選択肢数が異なるため、経年比較は参考として掲載する。

5. 自由回答

5.1. 日常生活で困っていること

(全員の方に)

問 17. 家族が就労等の生活環境を変えずに、お子さんの子育てをするために必要なサービスや支援等がありましたら、ご自由にお書きください。

家族が就労等の生活環境を変えずに、子育てをするために必要なサービスや支援等について、要望や意見を自由に記入していただいたところ、138 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

送迎サービス 31 件

- 療育施設をはじめ、放デイに通わせたいと思っている家庭はたくさんあると思いますが、送迎が困難であると同時に空きも少ないです。送迎してくれる施設がもっとふえてくれると通わせやすいし利用しやすいです。(0～5 歳)
- 児童発達支援や放課後デイサービスの送迎サービスを充実させてほしい。移動支援を放課後デイへの送迎に利用できるようにしてほしい。(6～9 歳)
- 全ての事業所で送迎サービスを完備する。(10～14 歳)

放課後等デイサービスについて 19 件

- 現在、放課後デイを利用させて頂いておりますが、利用料金の上限がぎりぎり 37,200 円に該当してしまい家計を圧迫しています。むすこにとって必要なサービスなので継続しますが、子どもに関するサービスの所得制限額の見直しや撤廃をしてほしいです。所得が多くても、家族に療養中の人がいたり、介護で帰省しないといけなかったり、個別に事情は様々です。全ての人が安心して子育てをできるように、子供に関するサービスの所得制限はなくすべきと思っています。(6～9 歳)
- 気軽にスポット的に利用できる放課後等デイサービスがあれば助かる。夏休み等の長期休暇中、預かってもらえる施設があると、就労等を検討できる。(6～9 歳)
- 現在利用している放課後等デイサービスは、長期休みは 9 時台前半から利用でき、仕事に行くことはできているが、遅刻して出勤する形となっている。夏休み、春休みは特に長いため、悩ましかった。8 時台から利用できる場所が増えるとありがたいが、施設の側の負担を考えると難しいようにも感じる。(10～14 歳)
- 現在中学生で放課後等デイサービスを利用していますが、長期休暇中は利用時間が短く、午前中在宅勤務をして凌いでいます。学童クラブの様に早い時間から利用できると大変ありがたいです。または近所に安心して通える居場所が欲しいです。児童館は自己管理が基本で一人一人の状況はみてもらえないと思うので、午前中児童館で一人で過ごすことは現実的ではないです。(15～18 歳)

療育施設・通所施設について 10 件

- 保育園と同じくらい、長時間子供をあずかってもらえる療育園があると嬉しいです。働きながら、療育施設に週に複数回通所させるのはかなり厳しいと思います。(0～5 歳)
- 通所施設の利用年齢の拡大。幼稚園までしか利用できず、小学校入学と同時に諸施設も変更になると環境の変化についていけない。幼稚園～小学校低学年までという区切りにしてほしい。(6～9 歳)
- 保育園や幼稚園に療育施設をもっと作ってほしい。(無回答)

卒業後の居場所について 10 件

- 学童に非常に通いづらくなる 4 年生以降の放課後の居場所に課題を感じている。知能に遅れはないが発達に問題のある子へのフォローの学校での少なさが気になっている。(6～9 歳)
- 子どもの受入れ先の拡充。特に小学校卒業後の居場所がなく困っている。(10～14 歳)
- 高校卒業以降も利用できる放デイのような場所がほしい。(15～18 歳)
- 私のように障害者の親が 1 番不安に思っているのは、本人の就労等、高校卒業後、子がどのように社会と関わり、生活をしていくかということだと思うのですが、我が子があと 1 年で成年(18 才)となるにあたり、その後のビジョンが何も提示されていないことが 1 番の心配ごとです。個人的に問い合わせや相談はするつもりですが、どのような選択肢があり、どうするのが最善なのかを選びとれるようなモデルケースの紹介などがあると良いと思っています。(無回答)

学童やファミリーサポートセンターなどの預かり施設について 7 件

- 発達の遅れがある子に対する学童クラブの様な所があると助かります。保育園から支援学校に行き放課後等デイサービスに預ける流れは出来ませんが夏休みなどの長期休みは 10 時からしか預けられないので…。(0～5 歳)
- 療育中、未就学児のあずかりはあるが、小学生のあずかりがない。低学年くらいまでは過せる場所があると、ありがたい。送迎サービスがあるとうれしい。(0～5 歳)
- 障害児に理解ある人ファミサポのように低賃金で柔軟なサポートをしてくれる団体があればいいと思います。職場から帰宅するまでの間の 2 時間程度を自宅で見守りをしたり、一緒にゲームをして趣味を楽しんだりしてほしいです。(15～18 歳)

相談支援について 6 件

- 小学生にあがる前に、どのような選択肢があるのか等、早めにその子の特性に合わせた相談や面談ができるといいなと思います。(0～5 歳)
- 子どもについて長い眼で相談できる支援がほしい。(15～18 歳)
- 就学前の相談・児童の適応支援に関する情報、サービスを充実して欲しい。発達支援が必要な子が通いやすい保育園、幼稚園、小学校等の情報や相談先についてもっと知りたい。(無回答)

申請等の手続きについて 4 件

- 現在児発を利用しているが受給者証をもらうためのプロセスがあまりにも長く複雑であった。面談も数回あり日程を合わせるのも大変だったのでもっとわかりやすくもう少し簡単なプロセスにしてほしい。(0～5 歳)
- 紙での申請に不便さを感じる部分が多いので、オンライン手続きを更に拡充していただけると助かります。(0～5 歳)

医療的ケア児の受け入れについて 3 件

- 医療的ケア児の受け入れ施設の増設または増員。ケア内容によっては受け入れができない場合がありますとのことですが、可能な限り受け入れを行って欲しい。医療的ケア児の受け入れ保育施設の増員はとても感謝しますが、施設設備の問題で対応できないという理由があると、とても残念です。(区立保育園は幼児室が 2 F の為、呼吸器が付いていると対応できないという状況があると聞きました。)(0～5 歳)

児童発達支援について 2件

- 児童発達支援で月2回施設へ通所していますが、共働きのため、夫婦で月1回ずつ会社を休み平日利用しており、毎回仕事の調整が大変です。土曜日の枠は希望者が多く取りにくいということですが、土日の枠も拡大してもらえると助かります。（または、施設の増加など）（0～5歳）

移動支援について 2件

- 現在、放課後等デイサービスの送迎に移動支援は使えないが、他の区のように使えるようにしていただきたい。（10～14歳）

その他 44件

- 発達のレベルごとのクラス（施設）があれば助かります。同じ障害をもつ親同士、先生の専門的なお話が聞きたいです。また、区に限らず都でもそのような会があれば、情報共有をしてもらいたいです。（0～5歳）
- 児童発達支援の利用日数を増やしたいが、仕事を休むことになるため増やせずにいます。送迎サービスはありがたいですが、事故などの不安があり、保育所等訪問支援が拡充して利用しやすくなれば、一番利用してみたいです。（0～5歳）
- 誰でも気軽に日々の育児ストレスから解放されるためのショートステイ（特に夏休み中など）の利用ができるようにして欲しい。後は長期的な例えばホームステイ的なサービスを公費で受けれたら良いと思います。（6～9歳）
- 中野区は小学校併設のキッズ、学童があるのが良い。将来的な要望として、その建物に発達支援の民間事業者がいくつか入れれば、事業者の家賃負担、送迎問題などの問題の解決と財政的にも軽減できるのでは。（6～9歳）
- 発達障害があり学校の雰囲気になじめず、現在不登校中です。毎日のお昼ごはん代、フリースクール代など費用がかかり、経済的に厳しい状況です。平日学校以外の場所で子供が安心してお昼ごはんを食べられる場所（無料、または安価で）があると大変助かります。（10～14歳）
- 読み書き障害（ディスレクシア）専門の支援機関ができるとうれしいです。（10～14歳）
- 片親で、ずっと働いているとデイサービスのホームページを調べたり、面接などに行く時間が取れません。もう少し分かりやすく簡単に、デイサービスに繋げてくれるサービスが欲しかったです。（10～14歳）
- 親が仕事から帰るまでの3～4時間、兄弟児がヤングケアラーにならざるを得ない現状にとっても困っています。障がい児本人の安全の為、ひとりで留守番させたくありません。学校周辺、自宅周辺、デイサービスなどで安全に過ごせないかと毎日頭を悩ませています。都や区の経済を支えているはたらく世代が苦しんでいる待ったなしの課題と思って早急に支援、サービス拡充の実現をよろしくお願いします。（15～18歳）
- 障がいのある子を持って働くことは並大抵ではありません。しかし少しでも周りの理解と物理的なサポートがあれば、親子とも楽しく生活していくことが可能です。当事者の話を聞いていただき行政のサービスに生かしていただけると有り難く思います。（15～18歳）
- 自立をサポートするサービス。（15～18歳）

5.2. 健康福祉行政全体への意見・要望

(全員の方に)

問 18. その他、日常生活の中で必要なサービスがありましたら、ご自由にお書きください。

その他日常生活の中で必要なサービスについて、要望や意見を自由に記入していただいたところ、100 人の方から回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

子どもの預かりについて 19 件

- 子どもをあずかってもらえるサービス。色々ありますが、登録に時間を要したり、割高である。特に、1 人親に対するサービスとして充実すると思う。1 人で子どもをみている時間が長くて、イライラしてしまったり、気持ちの余裕がなくなる前に、気軽に利用できる所があると思う。(0～5 歳)
- 土曜日日曜日、保育園生、小学生の預かり場所、保育園生と小学生の兄弟と一緒に親無しで預けられる場所(0～5 歳)
- 現在、ゆめなりあの放デイを利用しているが(週 2 回)、この先学年が進むと減らされてしまう可能性がある。新たな民間施設を探す必要があり、親も子も負担が大きくなることが予想される。このまま利用日数を減らさず、利用し続ける様にしてほしい。現状の生活リズムが続けられることが、子の負担も小さい。(6～9 歳)
- 葬儀や親の入院など、いざという時に預けられるショートステイの充実を希望いたします。(10～14 歳)
- 余暇活動、ショートステイ、短期・宿泊等の利用がよりスムーズに、場所も増やしていただきたい。現状中野区内で新規受入れを可能としている施設はほとんどありません。契約にすら至りません。福祉サービスの拡充をぜひよろしくお願いいたします。(15～18 歳)

送迎や移動等サポートについて 9 件

- 共働きでも通所利用できるよう送迎、付き添いサポートの充実。(0～5 歳)
- 放デイまでの送迎サービス、支援がほしい。(現在利用している所は送迎なしの為)(6～9 歳)
- 移動支援を利用しやすくしてほしい(15～18 歳)

情報の取得について 8 件

- 親同士の情報交換できる機会があればと思いました。(ピアサポート?でしょうか?) 娘がアポロ園に通っていた際も親同士のつながりの機会がもてず、不安な点があり、先生に色々と伺っていたことが多かったです。(0～5 歳)
- サービスの利用や福祉に関する情報が少ないので知らなくて損をしたことがたくさんあります。また聞いても正しい返答が返ってこなかったりまちがえた情報を伝えられたこともあるため、不信感が拭えない状況が続いています。当事者意識が感じられないのも気になります。(0～5 歳)
- サービスを一元的に管理・利用できるようなインターネットサービスの拡充(0～5 歳)

子どもの居場所について 8 件

- 日曜日、祝日に幼児が優先的に遊べる室内の居場所(児童館等)(0～5 歳)
- 土日など学校が休みの時に居場所がほしい。例えば区役所の 1 F で、うたのイベントをやるとか、車イスでも、どんな人でも気軽に行ける場所がほしい。健康な人も、重心児者も、知的の人も集えるようなスペース、たまり場、みたいな空間をつくってほしいです(10～14 歳)

- 長期休暇の際の親が仕事中的子どもの居場所に頭を悩ませています。朝から夕方までの長時間の留守番が難しいので。(10～14歳)
- 高校卒業後の居場所を作ってほしいです。高校生までは、放課後デイサービス的な居場所があるといいなと思っています。(15～18歳)
- 子供がにぎやかでもよい食事どころ、遊び場(室内)がほしい。中野はまだまだ高齢者も多く、食事するところに困ります。フードコート、ファミリーレストランなどがあると助かります。(無回答)

カウンセリングや精神的ケアについて 7件

- きょうだいの心のケア(0～5歳)
- 親のカウンセリング(0～5歳)
- 中野区は区内に児童精神科がありません。発達のことで困ったときにまず、どの病院にいけばいいか皆さん困っていると思います。(行政の範囲外のことでありますが)中野区民の通いやすいところにクリニックが誘致されると助かる方が多いと思います。・最近、どの小学校も発達特性のある外国籍のお子さんがいます。言葉の問題もさることながら、“療育”“発達”というイメージすらない方もいて、区からのお手紙を渡すだけでは全く響かないと実感しています(そもそも読めない)。外国籍の、困り感の多いお子さんには、ソーシャルワーカーなどが積極的に働きかけていくべきだと思います(6～9歳)
- 区内に児童精神科医と心理カウンセラーが一体化したクリニックをつくってほしい。都バスのように障害者手帳で関東バスも無料にしてほしい。中野坂上だけでなく、区内に複数、不登校児向けのフリースクールを開設してほしい。(自習ルームではなく授業が受けられる場所)(10～14歳)

相談支援について 6件

- 支援計画の事業所が当初みつからず、セルフプランを作成したが大変だった。保護者として支援の勉強にはなったが、専門性が高いことでかなり壁を感じた。(0～5歳)
- 保育園でどう過ごすべきか、家庭でどう過ごすべきかのアドバイスと確認をしてほしい。居宅訪問型がそれにあたるのであればお願いしたい。(0～5歳)
- 中野区の教育センターでやっている教育相談に数回お世話になりましたが、相談員の専門性、経験、知識共にとぼしく、解決や支援にならないばかりか、他の行政のサービスにもつなげてもらえず徒労におわりました。子供に関する切羽詰まった状況の中で利用させていただくサービスと思うので、相談の窓口がふえるのはよいことですが、人材もそれに追いつくように教育や採用に力を注いでほしいと感じました。(6～9歳)
- 小学生になり、通級等もしていないので気軽に相談出来る機会がないので、定期的に相談できるところがあるといいなと思います。(6～9歳)

サービス手続きについて 6件

- 色々なサービスや助成がありますが、3歳双子(うち一人は障害児)を育てながら両親ともフルタイムで働いていると、サービスを利用するまでの手続きが大変であったり、そもそも、そのサービスを知るのも大変だったりします。メールやLineなどで、障害児用のサービスや助成などをお知らせしてもらったり、インターネット上で色々とし込みが済むと良いと思います。(0～5歳)
- 訪問看護、レスパイト事業などとても充実させていただいているので感謝しております。申請必要書類など、区役所の中で窓口が違い、申請する際に何度も区役所を行き来しなければならない場合が多々ある為、専属の方が付いていただけると大変嬉しいですよ。(0～5歳)

- どのような支援があるのか分かりづらく相談先によっても情報量、知識が雲泥の差である。また、親の行動力、コミュニケーション能力次第で受けられる情報、サービス量が変わる。そのため誰でもわかりやすくすると共に、申請時の煩雑な申込を簡略化してほしい（0～5歳）

特別支援学校・特別支援学級について 5件

- 来年から小学生ですが支援級を検討しています。本人には手厚い支援のある支援級の方が安心して通えると想定していますが、普通級とも交流のあるような情緒学級があると普通級の子供達からいい刺激をもらいながら成長できると思っています。（0～5歳）
- 特別支援学級のより柔軟なクラス分け。程度が子供毎にバラバラ、また症状（声をよく上げる、ある程度落ち着ける）も様々である為、一緒にたに一クラスにしまうと、却って症状の軽い子供の成長やQOLに悪影響を与えてしまう事があると感じますし、実際にその様な事象が発生していると思われます。宜しくお願い致します。（6～9歳）
- 小学校で情緒級というクラスを設置している地域があります。発達に遅れがある子の中に、授業中、動いてしまって目立つ子と、おとなしく座ってられる子とありますが、動いてしまう子ばかりに気を取られ、おとなしく座ってられる子が置いてきぼりになっている状況があります。豊島区、小平市、西東京市では増設されているそうで、やむなくそちらに引っ越す方もいます。中野区でも情緒級(固定級)の設置をしてもらいたいです。（6～9歳）

学習支援について 4件

- 学習支援の場がほしい。通常の塾では受入不可のため。（10～14歳）
- 学校へ行きづらく授業にほとんど参加をしていない中、家でも勉強をしないので、特性を理解した上で勉強をサポートしてくれる、時間にしばられずいける場所があると嬉しいです。放デイは低学年の子が多くざわざわしていて、預かり時間も放課後のみで短いので宿題もできず、プログラムもそこまで参加できず集団も苦手な我が子には合わなかったです。フリーステップルームのもう少し緩い、もしくは個別のものがあると嬉しいです。（10～14歳）
- 学校に行けない子供達が、それぞれの習熟度に合わせて学べる場所が欲しいです。（10～14歳）

学校でのサポートについて 4件

- 来年度から（普通級）小学校に入学します。保育園の小集団から集団に移行するのが不安です。サービスとは関係なく各教室に担任の先生とは別に支援員のような方がいると安心します。（0～5歳）
- 学校との連携を取って欲しい。また交流級を実施してくれず、通常級への転籍が認めづらいことの情報提供やアドバイスが欲しい。（6～9歳）

家事支援について 3件

- 日頃の家事をするのが大変です。（夫が仕事で忙しく、毎日ワンオペ育児のため）子どもが1才になるまで受けられる家事支援サービスをもっと長く受けられたらいいなと思います。（現在、4才と1才の子がいます）（0～5歳）
- 家事代行サービス、特に普段手が回らず滞りがちな家事（換気扇掃除やエアコン掃除や風呂場のかびとりなど）（10～14歳）

助成や補助について 3件

- 脱走防止や転落防止、迷子防止などのグッズや取り付けなどの補助などあれば有難い。(0～5歳)
- 合併症や病気のリスクが通常よりも高く、手帳の等級などに関わらず、助成やサポートしてもらえる制度があると助かる。(0～5歳)

レスパイトについて 2件

- レスパイトの手軽な利用(15～18歳)
- 在宅レスパイトの時間拡充、自己負担無償(15～18歳)

その他 16件

- 区内道路のバリアフリー化(できる限り段差をなくす)。スムーズに歩ける場所もちろんありますが、ベビーカーを使っていると信号や横断歩道などでガタガタすることが多い。(歩道と車道の境でどうしても段差が必要なのであれば仕方がないが…)。(0～5歳)
- 定期的に発達検査してほしい。検査してくれる人がいるのかわからない。区の担当者の園訪問などはないのか。(6～9歳)
- 学校帰宅後～例えば寝るまでの間の日常生活動作の確認や助言を本人とマンツーマンで行ってくれるサービス。(公費希望) 毎日、自分のことを自分でできない子供だと、親としてそのことがストレスになり、気持ちが病んでしまいそうになるため。(6～9歳)
- 親子が体調不良の時にすぐサポート、助けに来てくれるサービスが全くないので増やして欲しいです。体調不良(急病)の時に予約なんてしてられませんし、予約も取れなければ親子共々倒れてしまいます。料金なども民間だものすごく高いので、サポートを受けやすい料金にして頂けると尚有り難いと思います。(6～9歳)
- 保護者側の、子との関わり方(日常生活における会話、遊びかた、スケジュールや注意事項等)を学べる機会があったら有料でも利用したいです。(6～9歳)
- 学校よりWISC検査依頼の際は対応機関を設置していただきたい。各医療機関等を調べたり問い合わせをしなければならず、混雑しているため検査まで数ヶ月、結果に1ヶ月要するため学校対応が遅れてしまう。(10～14歳)
- 発達支援を受けている子だと、はたから見ても分からない子の場合、外出先でさわりだり暴れたりすると、ただの言うことを聞かないうるさい、わがままな子と見られてしまうため、妊婦さんや障害のある方などのようなマークを携帯したい人はつけられるようにしても良いのではないのでしょうか。日本はまだ福祉的な考え方が遅れており、あたたかい目で見守ってくれない人も中にはまだまだいるように感じます。(無回答)

Ⅲ 調査票と単純集計

1. 障害者調査

れ い わ ね ん ど ね ん ど
令和7年度(2025年度)

しょうがいふくし いこうちょうさ しょうがいしゃちょうさ
障害福祉サービス意向調査 《障害者調査》

ちょう さ ひょう
調 査 票

ちょうさ きにゅう ねが
【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できる限りあて名の方ご本人がお答えください。ご本人が答えることが難しい場合は、ご本人が答える支援をお願いします。ご本人が答えられない場合には、ご家族や介護されている方がご本人の意向を尊重してご記入ください。

2. 令和7年8月1日現在の状況でお答えください。

3. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。

4. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。

5. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。

6. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。

7. 「その他(具体的に)」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的にご記入ください。

8. 郵送で回答する場合、本調査票を三つ折りにした上で、同封した返信用封筒(切手不要)に入れて郵送してください。

9. インターネットで回答する場合、右の二次元コードを

読み取るか、URLを入力して、最初の画面でIDとパスワードを入力し、ログインしてください。

※二次元コードを読み取ると、ID・パスワードが自動的に入力されます。

回答用URL : <https://www.cz-wee.com/if/r7nakanosf1.php>

【回答期限(郵送・インターネット共通)】

れ い わ ね ん ね ん が つ に ち き ん よ う ひ
令和7年(2025年)10月10日(金曜日)

10. 調査報告書は、令和8年7月から、図書館、区ホームページなどでご覧になれる予定です。

11. 調査の内容や記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

なかのくけんこうふくししょうがいふくししょうがいしゃしきくすいしんがかり
中野区健康福祉部障害福祉課障害者施策推進係

でんわ
電話 03-3228-8832 FAX 03-3228-5662

E-mail shogaihukusi@city.tokyo-nakano.lg.jp

質問の上に(全員のの方に)と記載のあるものは全員のの方が、(～の方に)とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

《あなた(あて名の方ご本人)の状況について、おうかがいします》

(全員のの方に) <回答者数：682>

問1 このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。(○は1つ)

- | | |
|--|------------|
| 1. あなた(あて名の方ご本人)が自分で回答(聞き取りなどによる代筆を含む) (78.3%) | |
| 2. ご家族 (18.3%) | |
| 3. その他の人 (0.7%) | 無回答 (2.6%) |

(全員のの方に) <回答者数：682>

問2 あなた(あて名の方ご本人)の性別と年齢をお答えください。

(○は1つ、右づめで数字を記入)

- | | | | | |
|------|----------------------|----------------------|----------------------|------------|
| <性別> | 1. 男性 (52.2%) | 2. 女性 (45.3%) | 3. その他 (0.9%) | 無回答 (1.6%) |
| <年齢> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 歳 |

(全員のの方に) <回答者数：682>

問3 あなた(あて名の方ご本人)の身体障害者手帳・愛の手帳(療育手帳)・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、等級または度数をお答えください。複数の手帳をお持ちの方は、それぞれの等級または度数についてお答えください。

(1) 身体障害者手帳(○は1つ) <回答者数：682>

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 1. 1級 (21.1%) | 2. 2級 (10.6%) | 3. 3級 (12.2%) | |
| 4. 4級 (13.0%) | 5. 5級 (3.1%) | 6. 6級 (3.5%) | 無回答 (36.5%) |

(2) 愛の手帳(○は1つ) <回答者数：682>

- | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 1. 1度 (0.7%) | 2. 2度 (3.7%) | 3. 3度 (3.1%) | 4. 4度 (4.5%) | 無回答 (88.0%) |
|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|

(3) 精神障害者保健福祉手帳(○は1つ) <回答者数：682>

- | | | | |
|--------------|---------------|---------------|-------------|
| 1. 1級 (0.9%) | 2. 2級 (10.9%) | 3. 3級 (13.6%) | 無回答 (74.6%) |
|--------------|---------------|---------------|-------------|

(全員のの方に)＜回答者数：682＞

問4 あなた(あて名の方ご本人)は、障害支援区分認定を受けていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------------------------|--------------|--------------|------------|
| 1. 障害支援区分認定は受けていない(70.8%) | | | |
| 2. 区分1(2.2%) | 3. 区分2(3.7%) | 4. 区分3(2.9%) | |
| 5. 区分4(2.8%) | 6. 区分5(0.7%) | 7. 区分6(1.0%) | 無回答(15.8%) |

(全員のの方に)＜回答者数：682＞

問5 あなた(あて名の方ご本人)は介護保険の要支援・要介護認定を受けていますか。
(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1. 要支援・要介護認定は受けていない(70.4%) | 2. 要支援1(5.1%) |
| 3. 要支援2(6.3%) | 4. 要介護1(2.5%) |
| 5. 要介護2(4.7%) | 6. 要介護3(2.2%) |
| 7. 要介護4(2.5%) | 8. 要介護5(1.8%) |
| 無回答(4.5%) | |

(全員のの方に)＜回答者数：682＞

問6 あなた(あて名の方ご本人)の家族構成をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. ひとり暮らし(35.2%) | 2. 配偶者と同居(21.1%) |
| 3. 配偶者と子どもと同居(9.1%) | 4. 親と同居(18.0%) |
| 5. 親と子どもと同居(0.6%) | 6. 子どもと同居(6.7%) |
| 7. その他(8.4%) | 無回答(0.9%) |

《あなた(あて名の方ご本人)のお住まいについておたずねします》

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 682>

問7 あなた(あて名の方ご本人)のお住まいは次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1. 持ち家(マンションも含む)(51.0%) | 2. 公営住宅(都営・区営住宅など)(7.8%) |
| 3. 民間賃貸住宅(アパート・マンションなど)(31.4%) | 4. グループホームなど(2.5%) |
| 5. その他(4.8%) | 無回答(2.5%) |

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 682>

問8 あなた(あて名の方ご本人)の住宅で困っていることはありますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(28.3%) | 2. いいえ(68.6%) | 無回答(3.1%) |
|--------------|---------------|-----------|

(問8で「1. はい」とお答えの方^{こた}に) <回答者数: 193>

問8-1 住宅で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 部屋が狭い(33.7%) | 2. バリアフリーになっていない(20.7%) |
| 3. 家が老朽化している(44.6%) | 4. 改修や建て替えができない(15.5%) |
| 5. アパートなどの契約時の保証人がいない(8.8%) | |
| 6. 立ち退きを迫られている(6.2%) | 7. 自分の住みたい場所が見当たらない(9.8%) |
| 8. その他(37.3%) | 無回答(2.5%) |

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 682>

問9 あなた(あて名の方ご本人)は、将来はどのようなところで生活したいと思いますか。
(○は1つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 今の住宅に引き続き暮らしたい(47.5%) |
| 2. 公営住宅(都営・区営住宅など)に入居したい(11.1%) |
| 3. グループホーム、生活寮に入居したい(4.1%) |
| 4. 施設に入所したい(5.1%) |
| 5. わからない(17.3%) |
| 6. その他(6.0%) |
| 無回答(8.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：682>

問10 火事や地震などの災害に関して、障害があるためにあなた(あて名の方ご本人)が不安を感じていることはありますか。(○は1つ)

1. はい(55.0%)

2. いいえ(41.8%)

無回答(3.2%)

(問10で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：375>

問10-1 不安を感じていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 災害の内容や避難指示等の情報を入手または理解できるかどうか(29.3%)
2. 避難所等への移動ができるかどうか(53.1%)
3. 周囲の人や家族等に状況や必要な支援を伝えることができるかどうか(27.7%)
4. 周囲の人から必要な支援を受けることができるかどうか(37.6%)
5. 避難所等で必要な相談、介護、看護等を受けることができるかどうか(45.1%)
6. 避難所等に必要設備、食糧、医薬品等があるかどうか(53.3%)
7. 連絡をとりあう相手がいない(9.9%)
8. その他(17.3%)

無回答(0.3%)

(全員のの方に) <回答者数：682>

問11 あなた(あて名の方ご本人)は、町会や自治会などの防災訓練に参加したことはありますか。(○は1つ)

1. はい(10.7%)

2. いいえ(85.3%)

無回答(4.0%)

(全員のの方に) <回答者数：682>

問12 あなた(あて名の方ご本人)が防災訓練に参加する場合、どのような訓練だったら参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 手話通訳者や要約筆記者の常時配置、訓練会場への送迎など、障害のある方への配慮がされている(13.8%)
2. 家族や友人などと一緒に参加しやすい(27.0%)
3. 一人でも参加しやすい(35.2%)
4. 訓練について事前に、分かりやすい資料や説明がある(31.2%)
5. 少人数で訓練を行う(12.2%)
6. なるべく短時間で訓練を行う(33.1%)
7. その他(10.0%)

無回答(12.9%)

(全員の方に) <回答者数：682>

問13 中野区では、災害時に一人では避難が難しい方の情報を掲載した「災害時避難行動要支援者名簿」をもとに、「災害時個別避難計画書※」を作成し、町会や自治会、民生児童委員などに共有しています。

あなた(あて名の方ご本人)は、この仕組みについて知っていましたか。(○は1つ)

※「災害時個別避難計画書」には、氏名、住所、年齢、性別、避難に必要なもの、支援者の有無が記載されています。

- | | | |
|-----------------|------------------|-----------|
| 1. 知っていた(40.2%) | 2. 知らなかった(57.8%) | 無回答(2.1%) |
|-----------------|------------------|-----------|

《あなた(あて名の方ご本人)の日常生活の介助や支援についておたずねします》

(全員の方に) <回答者数：682>

問14 あなた(あて名の方ご本人)の日常生活で介助を必要とすることはありますか。
(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(46.0%) | 2. いいえ(53.2%) | 無回答(0.7%) |
|--------------|---------------|-----------|

(問14で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：314>

問14-1 日常生活で介助を必要とすることは具体的にどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 食事(25.2%) | 2. 食事の支度や片付けなどの家事(48.1%) |
| 3. 排せつ(21.7%) | 4. 入浴(40.1%) |
| 5. 着替え(25.8%) | 6. 薬の管理(39.2%) |
| 7. 掃除・片付け(55.1%) | 8. コミュニケーション(32.2%) |
| 9. 外出(58.3%) | 10. 日常の買物(52.2%) |
| 11. お金の管理(38.9%) | |
| 12. その他(10.5%) | 無回答(0.6%) |

問14-2 あなた(あて名の方ご本人)の主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 父(3.2%) | 2. 母(23.2%) |
| 3. 配偶者(17.8%) | 4. 子ども(16.6%) |
| 5. 近所の人、友人・知人(3.5%) | 6. ホームヘルパー(14.0%) |
| 7. ボランティア(0.0%) | 8. その他(20.1%) |
| | 無回答(1.6%) |

(問14で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：314>

問14-3 主な介助者のほかに、あなた(あて名の方ご本人)を日常的に介助できる方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|-----------------|---------------------|-------------------|--------------|
| 1. いない(36.0%) | 2. 父(10.5%) | 3. 母(4.1%) | 4. 配偶者(2.2%) |
| 5. 子ども(13.7%) | 6. 近所の人、友人・知人(2.9%) | 7. ホームヘルパー(14.6%) | |
| 8. ボランティア(1.9%) | 9. その他(19.7%) | | 無回答(8.3%) |

(全員の方に) <回答者数：682>

問15 あなた(あて名の方ご本人)の主な介助者が急病・事故などで介助が困難になった場合、どのようにしたいですか。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------|
| 1. 同居している家族に頼む(22.1%) | |
| 2. 同居していない家族や親戚に頼む(17.3%) | |
| 3. 介助(介護)や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用する(26.7%) | |
| 4. 施設の短期入所(ショートステイ)を利用する(10.6%) | |
| 5. その他(17.2%) | 無回答(6.2%) |

(全員の方に) <回答者数：682>

問16 あなた(あて名の方ご本人)は、平日の日中は主にどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|-----------|
| 1. 自宅で過ごしている(61.6%) | |
| 2. 常勤で働いている(16.0%) | |
| 3. アルバイト・パート・非常勤・契約社員などで働いている(9.1%) | |
| 4. 就労移行支援や就労継続支援を行う事業所や作業所などに通っている(5.0%) | |
| 5. 身体機能や生活能力の向上のための訓練を行う事業所に通っている(5.4%) | |
| 6. 生活介護を行う事業所に通っている(4.7%) | |
| 7. 病院へ通院している(33.3%) | |
| 8. 学校(幼稚園等含む)に通っている(4.3%) | |
| 9. 趣味やスポーツ活動をしている(15.1%) | |
| 10. その他(9.2%) | 無回答(2.1%) |

あなた(あて名の方ご本人)の外出状況についておたずねします

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 682>

問17 あなた(あて名の方ご本人)は、一週間に、どのくらい外出しますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. ほとんど毎日 ^{まいにち} (35.9%) | 2. 3~5日程度 ^{にちていど} (30.4%) | 3. 1~2日程度 ^{にちていど} (17.3%) |
| 4. ほとんど外出 ^{がいしゅつ} しない(10.4%) | 5. まったく外出 ^{がいしゅつ} しない(2.9%) | 無回答(3.1%) |

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 682>

問18 あなた(あて名の方ご本人)の外出の主な目的は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 通勤 ^{つうきん} や通学 ^{つうがく} (26.8%) | 2. 福祉施設 ^{ふくししせつ} や作業所 ^{さぎょうしょ} などへの通所 ^{つうしょ} (14.2%) |
| 3. 買物 ^{かいもの} (58.7%) | 4. 通院 ^{つういん} (56.2%) |
| 5. 趣味 ^{しゅみ} (22.3%) | 6. スポーツ(8.1%) |
| 7. ボランティアや地域 ^{ちいきぎょうじ} 行事 ^{さんか} への参加(3.2%) | 8. 友人 ^{ゆうじん} と会うため(16.6%) |
| 9. 散歩 ^{さんぽ} (32.1%) | 10. 特にない ^{とく} (1.2%) |
| 11. その他 ^た (8.1%) | 無回答(3.5%) |

(全員のの方に)＜回答者数：682＞

問19 あなた(あて名の方ご本人)が外出する上で妨げになっていることはありますか。
(○は1つ)

1. はい(37.8%)

2. いいえ(57.6%)

無回答(4.5%)

(問19で「1. はい」とお答えの方に)＜回答者数：258＞

問19-1 外出する上で妨げになっていることは具体的にどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 道路や駅などの利用が不便(39.1%)

2. 電車やバスを使っの移動が不便(48.1%)

3. 利用する建物の設備が整備されていない(13.2%)

4. 点字ブロックが破損等により利用が不便(1.2%)

5. 介助者がいない(20.5%)

6. 情報が不在(7.8%)

7. 問い合わせ先の連絡方法が整備されていないため、問い合わせができない(5.4%)

8. まわりの人の障害者に対する理解不足(19.0%)

9. 障害を理由に施設などの利用を拒否される(3.5%)

10. 適切な指導者が不在(2.7%)

11. 一緒に行く仲間が不在(17.8%)

12. 障害者参加を想定していないため文字表示や点字など配慮がされていない(4.3%)

13. その他(24.8%)

無回答(2.3%)

(全員のの方に)＜回答者数：682＞

問20 あなた(あて名の方ご本人)が、外出に利用する主な交通手段は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 電車、地下鉄(61.3%)

2. 路線バス(48.4%)

3. 徒歩または車いす(46.9%)

4. 自転車(17.7%)

5. タクシー(30.1%)

6. リフト付きタクシー(4.1%)

7. 自家用車(家族などが運転)(11.6%)

8. 自家用車(自分で運転)(4.8%)

9. ボランティアによる移送サービス(0.9%)

10. 電動三輪車(電動車いす)(1.3%)

11. 障害者福祉会館や特別支援学校などの送迎バス(4.5%)

12. その他(6.0%)

無回答(5.3%)

《働くことについておたずねします》

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：682>

問21 あなた(あて名の^な方^{かた}ご本人^{ほんにん})は、給^{きゅうりょう}料^{りょう}など就^{しゅうろう}労^{ろう}による定期的な^{ていきてき}収^{しゅうに}入^{ゅう}はありますか。
(○は1つ)

1. はい(34.8%)

2. いいえ(61.3%)

→ 問22 へ(次の^{つぎ}ページ)

無回答(4.0%)

(問21 で「1. はい」とお答え^{こた}の方^{かた}に) <回答者数：237>

問21-1 あなた(あて名の^な方^{かた}ご本人^{ほんにん})の現在の^{げんざい}就^{しゅうろう}労^{ろう}形態^{けいだい}をお答え^{こた}ください。(○は1つ)

1. 常^{じょう}勤^{きん}の会^{かい}社^{しゃ}員^{いん}、公^{こう}務^む員^{いん}、団^{だん}体^{たい}職^{しよく}員^{いん} (46.4%)

2. 自^じ営^{えい}業^{ぎょう}、家^か族^{そく}従^{じゅう}業^{ぎょう}員^{いん} (8.9%)

3. アルバイト、パート、非^ひ常^{じょう}勤^{きん}職^{しよく}員^{いん} (21.5%)

4. 有^{ゆう}償^{しょう}ボランテア (0.0%)

5. 内^{ない}職^{しよく} (0.0%)

6. 作^{さき}業^{ぎょう}所^{しょ}に通^{つう}所^{しょ} (12.7%)

7. その他 (8.4%)

無回答(2.1%)

問21-2 あなた(あて名の^な方^{かた}ご本人^{ほんにん})は、現在の^{げんざい}仕^し事^{ごと}をどのような^{ほうほう}方法^みで見^みつけましたか。
(○は1つ)

1. ハローワークの^{しょうかい}紹^{しょう}介^{かい} (10.1%)

2. 学^{がっこう}校^{しょうかい}の紹^{しょう}介^{かい} (7.6%)

3. 役^{やく}所^{しょ}の紹^{しょうかい}介^{かい} (2.5%)

4. 友^{ゆう}人^{じん}や知^ち人^{じん}の紹^{しょうかい}介^{かい} (8.0%)

5. 障^{しょう}害^{がい}者^{しゃ}就^{しゅう}労^{ろう}支^し援^{えん}機^き関^{かん}の利^り用^{りよう} (13.9%)

6. 直^{ちよく}接^{せつ}自^じ分^{ぶん}で探^{さが}した (24.1%)

7. 新^{しん}聞^{ぶん}や求^{きゅう}人^{じん}情^{じょう}報^{ほう}誌^しで探^{さが}した (7.2%)

8. その他 (22.8%)

無回答(3.8%)

問21-3 あなた(あて名の^な方^{かた}ご本人^{ほんにん})は、現在の^{げんざい}仕^し事^{ごと}に關^{かん}して不^ふ安^{あん}や不^ふ満^{まん}はありますか。(○は1つ)

1. はい(38.8%)

2. いいえ(60.3%)

無回答(0.8%)

↓
問21-3-1 へ(次の^{つぎ}ページ)

(問21-3で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：92>

問21-3-1 あなた(あて名の方ご本人)は、現在の仕事に関してどのような不安や不満がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 収入が少ない(57.6%) | 2. 作業内容が難しい(10.9%) |
| 3. 休みが取りにくい(7.6%) | 4. 就業時間が長い(13.0%) |
| 5. 作業ペースが人と合わない(9.8%) | 6. 職場の人間関係がうまくいかない(23.9%) |
| 7. 体力的に負担が大きい(26.1%) | 8. 雇用形態が不安定(21.7%) |
| 9. 障害者用の設備が整っていない(12.0%) | 10. 昇給や昇進が不平等である(20.7%) |
| 11. 通勤時間が長い(9.8%) | 12. 特にない(1.1%) |
| 13. その他(14.1%) | 無回答(0.0%) |

(全員の方に) <回答者数：682>

問22 あなた(あて名の方ご本人)は、今後、どのように働きたいと思いますか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 一般企業などで常勤の社員として働きたい(13.8%) |
| 2. 一般企業などでパート・アルバイトとして働きたい(5.9%) |
| 3. 障害者が多く働いている職場で働きたい(2.9%) |
| 4. 指導員やジョブコーチなどがいて支援してくれる職場で働きたい(2.8%) |
| 5. 作業所や就労支援事業所などで働きたい(4.4%) |
| 6. 働きたいが、働く場所については特に希望はない(3.7%) |
| 7. 働きたくない(22.6%) |
| 8. わからない(14.8%) |
| 9. その他(17.2%) |
| 無回答(12.0%) |

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数：682>

問23 あなた(^なあて^{かた}名^{ほんにん}の方^{しょうがいしゃ}ご本人^{はたら})は、障害者が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ^{いどうしゅだん}移動手段^{かくほ}が確保されていること(36.7%)
2. ^{けんこうじょうたい}健康状態^あに合わせた^{はたら}働き方^{かた}ができること(54.8%)
3. ^{じぎょうぬし}事業主^{しょくば}や職場^{ひと}の人が障害者^{しょうがいしゃ}について十^{じゅうぶんり}分^{かい}理解していること(49.4%)
4. ^{じりつ}自立した生活^{せいかつ}ができる^{きゅうりよう}給料^{きゅうりよう}であること(36.4%)
5. ^{しょくば}職場^{しせつ}の施設^{せつび}や設備^{しょうがい}が障害^{しょうがい}のある人^{ひと}にも利用^{りよう}できるよう配慮^{はいりょ}されていること(30.6%)
6. ^{しょくば}職場^{てきせつ}に適切な助言^{じょげん}や指導^{しどう}、配慮^{はいりょ}をしてくれる人^{ひと}がいること(38.9%)
7. ^{じぶん}自分の^{しょうがい}障害^あに合った仕事^{しごと}があること(51.2%)
8. ^{しゅうろう}就労^ばの場^ばをあっせんしたり、相談^{そうだん}できる場^ばが整っていること(24.5%)
9. ^{しゅうろう}就労^{きかい}のためのジョブトレーニング^{きかい}の機会^{きかい}があること(19.4%)
10. ^{とく}特^{とく}にない(12.8%)
11. ^たその他^た(5.3%)

無回答(8.8%)

《健康福祉サービスについておたずねします》

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数: 682>

問24 あなた(あて名^なの方^{かた}ご本人^{ほんにん})は、過去^{かこ}1年^{ねん}の間に、相談^{さうだん}サービスを利用^{りよう}したことがありますか。
(○は1つ)

1. はい(23.8%) 2. いいえ(73.6%) 無回答(2.6%)

(問24で「1. はい」とお答え^{こた}の方に^{かた}) <回答者数: 162>

問24-1. 利用^{りよう}した相談^{さうだん}サービスをお答え^{こた}ください。(あてはまるものすべてに○)

1. 区役所^{くやくしょ}での相談^{さうだん}(43.2%)
2. すこやか福祉^{ふくし}センターでの相談^{さうだん}(48.1%)
3. 障害^{しょうがい}者^{しゃ}地域^{ちいき}自立^{じつり}生活^{くわつしえん}支援^{しえん}センター「つむぎ」での相談^{さうだん}(ピアカウンセリング^{ふく}含む)(4.3%)
4. 地域^{ちいき}生活^{くわつしえん}支援^{しえん}センター「せせらぎ」での相談^{さうだん}(6.8%)
5. 民生^{みんせい}委員^{いいん}・児童^{じどう}委員^{いいん}との相談^{さうだん}(3.1%)
6. 中野^{なかの}区^く障害^{しょうがい}者^{しゃ}福祉^{ふくし}事業^{じぎょう}団^{だん}(ニコニコ事業^{しゅうぎょう}団^{さうだん})での就^{しゅう}業^{ぎょう}相談^{さうだん}(9.9%)
7. その他^た(16.7%) 無回答(2.5%)

問24-2 利用^{りよう}した相談^{さうだん}サービスについて満足^{まんぞく}していますか。(○は1つ)

1. とても満足^{まんぞく}している(29.0%) 2. おおむね満足^{まんぞく}している(50.6%)
3. やや不満^{ふまん}である(13.0%) 4. 大変^{たいへん}不満^{ふまん}である(6.2%) → 問24-2-2へ(次の^{つぎ}ページ)
- 無回答(1.2%)

(問24-2で「1. とても満足^{まんぞく}している」または「2. おおむね満足^{まんぞく}している」とお答え^{こた}の方に^{かた})

<回答者数: 129>

問24-2-1 理由^{りゆう}としてあてはまるものを、次^{つぎ}の中^{なか}から選^{えら}んでください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 職員^{しょくいん}の接^{せつ}し方^{かた}がよい、親切^{しんせつ}である(88.4%)
2. 雰^{ふん}囲^い気^きや場^ば所^{しょ}、開^{かい}館^{かん}時^じ間^{かん}など、施^し設^{せつ}が利^り用^{りよう}しや^しすい(19.4%)
3. 施^し設^{せつ}がき^きれい(17.8%) 4. サ^さービ^{さい}ス^すの^{ない}内^{よう}容^{じゅう}が充^{じつ}実^{じつ}して^いる(10.1%)
5. 自^じ分^{ぶん}の悩^{なや}み^{こま}や困^{こま}っ^てい^るこ^とが解^{かい}決^{けつ}した(30.2%) 6. 利^り用^{りよう}の^て手^て続^{つづ}き^わが分^わかり^やすい(17.8%)
7. その他^た(7.0%) 無回答(1.6%)

(問24-2で「3. やや不満である」または「4. 大変不満である」とお答えの方に) <回答者数: 31>

問24-2-2 理由としてあてはまるものを、次の中から選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------------------------|-----------------------|-----------|
| 1. 職員の説明が分かりにくい、不親切である(19.4%) | | |
| 2. 雰囲気や場所、開館時間など、施設が利用しにくい(22.6%) | | |
| 3. 施設がきれいではない(6.5%) | 4. サービスの内容が少ない(22.6%) | |
| 5. 自分の悩みや困っていることが解決しない(58.1%) | | |
| 6. 利用の手続きが分かりにくい(22.6%) | 7. その他(38.7%) | 無回答(0.0%) |

(全員のの方に) <回答者数: 682>

問25 あなた(あて名の方ご本人)は、次のサービスを利用していますか。また今後利用したいと
考えますか。(①から⑧のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」
の両方を回答(番号に○)してください)

	現在、利用 していますか			今後、利用 したいですか		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
① 居宅介護(ホームヘルプ) 自宅で食事や入浴、排せつなどの介助 を行うサービス	7.8%	77.9%	14.4%	25.7%	54.7%	19.6%
② 重度訪問介護 重度の障害があり常に介護が必要な 方に、自宅で食事や入浴、排せつなど の介助や外出時の移動の補助を行う サービス	0.7%	81.8%	17.4%	15.1%	63.9%	21.0%
③ 同行援護 視覚障害により移動が著しく困難な 方に、外出に必要な情報の提供や 移動の援護などを行うサービス	1.6%	80.9%	17.4%	11.0%	67.0%	22.0%
④ 行動援護 知的障害や精神障害により行動が 困難で常に介護が必要な方に、行動す るときに必要な介助や外出時の移動の 補助などを行うサービス	2.5%	80.8%	16.7%	15.7%	63.3%	21.0%

	現在、利用 していますか			今後、利用 したいですか		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
⑤生活介護 つね かいご ひつよう かた しせつ にゅうよく 常に介護が必要な方に、施設で入浴や はい しよくじ かいご そうさくてきかつどう 排せつ、食事の介護や創作的活動など きかい ていきよう の機会を提供するサービス	6.5%	79.0%	14.5%	22.0%	57.8%	20.2%
⑥自立訓練(機能訓練) じりつくねん きのうくねん じりつ にちじようせいかつ しゃかいせいかつ 自立した日常生活や社会生活ができる いってい きかん しんたいきのう よう、一定の期間における身体機能のた ひつよう くねん おこな めに必要な訓練を行うサービス	7.6%	77.1%	15.2%	24.8%	56.2%	19.1%
⑦自立訓練(生活訓練) じりつくねん せいかつくねん じりつ にちじようせいかつ しゃかいせいかつ 自立した日常生活や社会生活ができる いってい きかん せいかつのうりよく よう、一定の期間における生活能力 こうじよう ひつよう くねん おこな 向上のために必要な訓練を行うサー ビス	4.3%	80.2%	15.5%	22.9%	57.2%	19.9%
⑧就労選択支援 しゅうろうせんたくしえん しょうがいしゃ しゅうろうさき はたら かた 障害者が就労先・働き方についてよ せんたく きぼう てきせい あ い選択ができるよう、希望や適正に合っ せんたく しえん た選択を支援するサービス	1.3%	82.4%	16.3%	20.8%	58.4%	20.8%
⑨就労移行支援 しゅうろういこうしえん つうじよう じぎょうしょ はたら かた いってい 通常の事業所で働きたい方に、一定 きかん しゅうろう ひつよう ちしきおよ のうりよく の期間、就労に必要な知識及び能力 こうじよう ひつよう くねん おこな の向上のための訓練を行うサービス	1.5%	82.0%	16.6%	16.4%	62.2%	21.4%
⑩就労継続支援(A型、B型) しゅうろうけいぞくしえん がた がた つうじよう じぎょうしょ はたら こんなん かた 通常の事業所で働くことが困難な方 しゅうろう きかい ていきよう せいさんかつどう に、就労の機会の提供や生産活動そ た かつどう きかい ていきよう ちしき の他の活動の機会の提供、知識や のうりよく こうじよう くねん おこな 能力の向上のための訓練を行うサー ビス	3.5%	80.1%	16.4%	15.7%	62.5%	21.8%
⑪就労定着支援 しゅうろうていちゃくしえん しゅうろう ともな せいかつ かだい たいおう 就労に伴う生活の課題に対応できる じぎょうしょ ほうもん しえん おこな ように、事業所などを訪問し支援を行う サービス	2.1%	81.2%	16.7%	14.8%	64.1%	21.1%

	現在、利用 していますか			今後、利用 したいですか		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
⑫療養介護 いりよう ひつよう かた つね かいご ひつよう 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間に病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービス	3.4%	79.9%	16.7%	17.4%	58.9%	23.6%
⑬短期入所(ショートステイ) ざいたく しょうがいしゃ じ かいご 在宅の障害者(児)を介護する方が病気の場合などに、障害者が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護などを行うサービス	2.9%	80.1%	17.0%	21.3%	56.6%	22.1%
⑭自立生活援助 しょうがいしゃしえんしせつ 障害者支援施設やグループホームから一人暮らしに移行した方を訪問し、生活について助言を行うサービス	1.0%	81.4%	17.6%	14.7%	61.9%	23.5%
⑮共同生活援助(グループホーム) やかん きゅうじつ きょうどうせいかつ おこな じゅうきよ 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービス	2.9%	79.5%	17.6%	16.3%	59.4%	24.3%
⑯施設入所支援 しせつにゆうしよしえん 主として夜間、施設に入所する障害者(児)に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービス	2.1%	80.4%	17.6%	15.8%	60.3%	23.9%
⑰相談支援 ふくし かん もんだい かいごしゃ そうだん 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行うサービス	10.4%	72.3%	17.3%	40.6%	37.2%	22.1%
⑱移動支援 いどうしえん 屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための支援を行うサービス	7.6%	75.2%	17.2%	27.0%	48.5%	24.5%

「現在利用しているか」について

①～⑱うち1つでも「1. はい」とお答えの方
問25-1へ(次のページ)

「現在利用しているか」について

①～⑱うちすべてに「2. いいえ」とお答えの方
問25-2へ(次のページ)

(問25の「現在、利用していますか」の設問で、1つ以上「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：209>

問25-1 あなた(あて名の方ご本人)がサービス等利用計画について、不満に思うことを次の中から選んでください。(あてはまるものすべてに○)

1. 希望するサービスが利用できない(9.6%)
 2. 希望しないサービスが、サービス等利用計画に含まれている(1.9%)
 3. 希望する事業者が利用できない(3.8%)
 4. サービスの利用回数や時間が少ない(15.3%)
 5. サービスの利用料金が安い(7.7%)
 6. 相談支援専門員から説明がない、もしくは説明がよく分からない(6.2%)
 7. 不満な点はない(39.2%)
 8. その他(8.1%)
- 無回答(23.0%)

(問25の「現在、利用していますか」の設問で、全てに「2. いいえ」とお答えの方に) <回答者数：362>

問25-2 障害福祉サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 自力で生活できるから(65.2%) | 2. 家族が介助しているから(25.4%) |
| 3. 他人が家に入ってほしくないから(11.6%) | 4. 利用したいサービスがないから(9.7%) |
| 5. 事業者に対して信頼が持てないから(3.6%) | 6. 事業者に断られたから(0.6%) |
| 7. 施設が遠いから(2.2%) | 8. 利用料が支払えないから(8.0%) |
| 9. 利用方法が分からないから(12.2%) | 10. サービスを知らなかったから(19.1%) |
| 11. 病院・診療所に入院しているから(1.1%) | 12. その他(5.8%) |
- 無回答(6.6%)

(全員の方に) <回答者数：682>

問26 あなた(あて名の方ご本人)は、障害福祉に関する情報をどこで知りますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. なかの区報(42.2%)
 2. 中野区ホームページ(20.7%)
 3. インターネット(中野区ホームページ以外)(13.8%)
 4. 中野区公式X(旧Twitter)、中野区公式LINE(1.6%)
 5. 区役所・すこやか福祉センターの窓口(24.8%)
 6. 中野区障害福祉課が発行している「障害福祉のしおり」(12.6%)
 7. 家族、友人、知人(18.5%)
 8. スマートフォンやタブレットなどのアプリ(6.7%)
 9. その他(14.5%)
- 無回答(9.4%)

(全員のの方に) <回答者数：682>

問27 あなた(あて名の方ご本人)は、障害者に対する理解はどの程度進んでいると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 十分に進んでいる(5.3%) | 2. ある程度進んでいる(28.9%) |
| 3. どちらともいえない(18.5%) | 4. あまり進んでいない(20.2%) |
| 5. 全く進んでいない(4.4%) | 6. わからない(17.2%) |
| 7. その他(0.4%) | 無回答(5.1%) |

(全員のの方に) <回答者数：682>

問28 あなた(あて名の方ご本人)はヘルプマークを知っていますか。(○は1つ)

- ヘルプマークの意味を含めて知っている(60.6%)
- ヘルプマークがあることは知っているが、意味は知らない(19.8%)
- 知らない(14.7%)

無回答(5.0%)



(全員のの方に) <回答者数：682>

問29 あなた(あて名の方ご本人)は次の施策のうち、特に充実してほしいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 障害福祉サービスの利用などの障害者の福祉に関する様々な相談支援(44.1%)
- ピアサポート(当事者同士の相談活動)(8.9%)
- 障害当事者の文化活動、社会貢献活動など(9.8%)
- 余暇活動の支援(17.0%)
- 活動の場、憩いの場の整備(15.8%)
- 一般企業などへの就労支援(19.2%)
- 利用できるサービスについての広報・周知(情報提供)(38.6%)
- 病気や障害に対する理解の促進(32.6%)
- スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器の利用に関する相談(14.8%)
- 特にない(13.9%)
- その他(7.5%)

無回答(7.3%)

(全員のの方に) <回答者数：682>

問30 障害のある人への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別
 解消法」が施行されましたが、あなた(あて名の方ご本人)はこのことを知っていますか。
 (○は1つ)

- | | | |
|--------------------|-------------------|----------------|
| 1. 名前は知っている(16.9%) | 2. 内容も知っている(7.3%) | 3. 知らない(70.2%) |
| 無回答(5.6%) | | |

(全員のの方に) <回答者数：682>

問31 あなた(あて名の方ご本人)は過去3年の間に、日常生活の中で、障害を理由に、差別的な
 対応を受けたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 誰もが一般に利用できる施設で利用を断られた(1.5%) |
| 2. 飲食店やホテルなどで利用を断られた(1.3%) |
| 3. 鉄道・バス・タクシー・飛行機などで乗車を拒否された(1.9%) |
| 4. アパートの契約を断られた(2.8%) |
| 5. スポーツクラブや習い事などで入会を断られた(1.0%) |
| 6. 催しへの出席を断られた(0.9%) |
| 7. 仕事の求人への応募を拒否された(2.8%) |
| 8. 職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い(4.5%) |
| 9. 希望した学校に入学できなかった(0.7%) |
| 10. 職場、学校、地域の人などに、障害のことで嫌がらせを受けた(4.8%) |
| 11. その他(具体的に：) |
| 12. 特にない(4.4%) |
| 無回答(71.7%) |

(全員のの方に)

問32 あなた(あて名の方ご本人)が日常生活の中で、周りの方から受けた障害への配慮で、
 特に嬉しいと感じたことがありましたら、ご自由にお書きください。

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に)

問33 ^{とい}日常生活で^{にちじょうせいかつ}困^{こま}っていることがありましたら、ご^{じゆう}自由^かにお書きください。

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に)

問34 ^{とい}健康福祉行政^{けんこうふくしぎょうせい}に関することや今回の調査^{こんかい ちょうさ}について、ご^{ようぼう}要望^{いけん}やご意見などありましたら、ご^{じゆう}自由^かにお書きください。

^{きょうりよく}
ご協力ありがとうございました

2. 施設入所者調査

れ い わ ね ん ど ね ん ど
令和4年度(2022年度)

しょうがいふ く し い こう ちょう さ
障害福祉サービス意向調査

し せ つ に ゆ う し ょ し ゃ ち ょ う さ
《施設入所者調査》

ち ょ う さ ひ ょ う
調 査 票

ち ょ う さ き に ゆ う ね が
【調査のご記入にあたってのお願い】

- この調査は、できる限りあて名の方ご本人がお答えください。ご本人が答えることが難しい場合は、ご本人が答える支援をお願いします。ご本人が答えられない場合には、ご家族や介護されている方がご本人の意向を尊重してご記入ください。
- 令和4年8月1日現在の状況でお答えください。
- このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
- ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆をお願いします。
- 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
- お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
- 「その他(具体的に)」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的に記入ください。
- ご記入いただきました調査票は、

れ い わ ね ん が つ に ち か よ う び
令和4年10月11日(火曜日)までに

み お う え どう ふ う へ ん し ん よ う ふ う と う き っ て ふ よ う い ゆ う そ う
三つ折りにした上で、同封した返信用封筒(切手不要)に入れて郵送してください。

- 調査報告書は、令和5年7月から、図書館、すこやか福祉センター、区ホームページなどでご覧になれる予定です。
- 調査の内容や記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

な か の く け ん こ う ふ く し ば し ょ う が い ふ く し か し ょ う が い し ゃ し さ く す い し ん が か り
中野区健康福祉部障害福祉課障害者施策推進係

で ん わ
電話 03-3228-8832 FAX 03-3228-5660

E-mail shogaihukusi@city.tokyo-nakano.lg.jp

— Ⅲ 調査票と単純集計 —

質問の上に(全員の方に)と記載のあるものは全員の方が、(～の方に)とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

(全員の方に) <回答者数：134>

問1 このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。(○は1つ)

- | | |
|--|------------|
| 1. あなた(あて名の方ご本人)が自分で回答(聞き取りなどによる代筆を含む) (45.5%) | |
| 2. ご家族 (1.5%) | |
| 3. その他の人 (53.0%) | 無回答 (0.0%) |

(全員の方に) <回答者数：134>

問2 あなた(あて名の方ご本人)の性別と年齢をお答えください。

(○は1つ、右づめで数字を記入)

- | | | | | |
|------|--|---------------|---------------|------------|
| <性別> | 1. 男性 (56.7%) | 2. 女性 (42.5%) | 3. その他 (0.0%) | 無回答 (0.7%) |
| <年齢> | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin-right: 5px;"></div> <div style="margin-left: 5px;">歳</div> </div> | | | |

(全員の方に)

問3 あなた(あて名の方ご本人)の身体障害者手帳・愛の手帳(療育手帳)の等級をお答えください。両方の手帳をお持ちの方は、それぞれについてお答えください。

(1) 身体障害者手帳(○は1つ) <回答者数：48>

- | | | | |
|---------------|---------------|--------------|------------|
| 1. 1級 (50.0%) | 2. 2級 (35.4%) | 3. 3級 (2.1%) | |
| 4. 4級 (8.3%) | 5. 5級 (2.1%) | 6. 6級 (2.1%) | 無回答 (0.0%) |

(2) 愛の手帳(○は1つ) <回答者数：112>

- | | | | | |
|--------------|---------------|---------------|---------------|------------|
| 1. 1度 (0.0%) | 2. 2度 (64.3%) | 3. 3度 (22.3%) | 4. 4度 (13.4%) | 無回答 (0.0%) |
|--------------|---------------|---------------|---------------|------------|

(身体障害者手帳をお持ちの方に) <回答者数：48>

問3-1 あなた(あて名の方ご本人)の身体障害者手帳に記載された障害名をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 上肢機能障害 (33.3%) | 2. 聴覚障害・平衡機能障害 (8.3%) |
| 3. 下肢機能障害 (41.7%) | 4. 音声・言語・そしゃく機能障害 (16.7%) |
| 5. 体幹機能障害 (27.1%) | 6. 脳原性まひ (12.5%) |
| 7. 内部機能障害 (2.1%) | 8. 視覚障害 (4.2%) |
| 9. その他 (16.7%) | 無回答 (2.1%) |

(愛の手帳をお持ちの方に)

問3-2 差し支えがなければ、あなた(あて名の方ご本人)の診断名をお答えください。(直接記入)

()

(全員の方に)＜回答者数：134＞

問4 あなた(あて名の方ご本人)の、障害支援区分をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 障害支援区分の認定を受けていない(1.5%) | 2. 区分Ⅰ(0.0%) |
| 3. 区分Ⅱ(0.7%) | 4. 区分Ⅲ(1.5%) |
| 5. 区分Ⅳ(13.4%) | |
| 6. 区分Ⅴ(28.4%) | 7. 区分Ⅵ(48.5%) |
| | 無回答(6.0%) |

(全員の方に)＜回答者数：134＞

問5 あなた(あて名の方ご本人)が現在入所している施設は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 指定障害者支援施設(身体障害者)(20.9%) | 2. 指定障害者支援施設(知的障害者)(74.6%) |
| 3. 療養介護(0.0%) | |
| 4. その他(2.2%) | 無回答(2.2%) |

(全員の方に)＜回答者数：134＞

問6 現在の施設に入所して何年になりますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 1年未満(6.0%) | 2. 1年以上5年未満(10.4%) |
| 3. 5年以上10年未満(19.4%) | 4. 10年以上(64.2%) |
| | 無回答(0.0%) |

(全員の方に)＜回答者数：134＞

問7 現在の施設に入所することになった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 心身の機能が著しく低下したため(18.7%) |
| 2. 介助者が高齢などの理由で在宅での生活が困難になったため(50.0%) |
| 3. 介助者が病気や転勤のため、介助(介護)できなくなったため(10.4%) |
| 4. 段差が多いなど、住まいに支障があるため(4.5%) |
| 5. 在宅生活を続けるために必要なサービスが不十分なため(22.4%) |
| 6. 専門的な訓練を受けたかったため(6.0%) |
| 7. その他(15.7%) |
| 無回答(0.7%) |

(全員の方に)＜回答者数：134＞

問8 施設のある場所は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--|
| 1. 東京都(50.7%) | 2. 関東各県(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県)(26.1%) |
| 3. その他(22.4%) | 無回答(0.7%) |

(全員のの方に) <回答者数：134>

問9 今後、どこで生活したいですか。(○は1つ)

1. 施設を出て地域の中で暮らしたい(8.2%)	→ 問9-1へ
2. 施設を出て地域のグループホームで暮らしたい(10.4%)	
3. 現在のように、入所施設で暮らしたい(50.0%)	
4. わからない(29.1%)	
5. その他(2.2%)	
無回答(0.0%)	

(問9で「1」または「2」に○をつけた方に) <回答者数：25>

問9-1 仮に施設を退所するとしたら、どのような生活を送りたいですか。(○は1つ)

1. 家族やヘルパー、支援員などから介助(介護)を受けて生活したい(24.0%)
2. 働いて経済的に自立した生活を送りたい(28.0%)
3. 通所施設などに通いながら生活したい(40.0%)
4. わからない(8.0%)
5. その他(0.0%)
無回答(0.0%)

問9-2 施設を退所したら、どこに住みたいですか。(○は1つ)

1. 中野区内に住みたい(60.0%)	2. 今生活している施設の近く(0.0%)
3. 特に場所はこだわらない(16.0%)	4. その他(8.0%)
5. わからない(16.0%)	無回答(0.0%)

(全員のの方に)

問10 健康福祉行政全体や今回の調査について、ご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

きょうりよく
ご協力ありがとうございました

3. 発達支援等調査

れ い わ ね ん ど ね ん ど
令和7年度(2025年度)

は っ た つ し え ん と う ち ェ う さ
《発達支援等調査》

ち ェ う さ ひ ェ う
調 査 票

ち ェ う さ き に ェ う ね が
【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、ご家族の方がお答えください。
2. 令和7年8月1日現在の状況でお答えください。
3. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
4. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
5. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
6. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
7. 「その他()」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的に記入ください。
8. 郵送で回答する場合、本調査票を三つ折りにした上で、同封した返信用封筒(切手不要)に入れて郵送してください。
9. インターネットで回答する場合、右の二次元コードを読み取るか、URLを入力して、最初の画面でIDとパスワードを入力し、ログインしてください。
- ※二次元コードを読み取ると、ID・パスワードが自動的に入力されます。

かい ェ う よ う
回答用URL : <https://www.cz-wee.com/if/r7nakanokdh.php>

かい ェ う き げ ん ェ う ち ェ う き ェ う つ う
【 回答期限 (郵送・インターネット共通) 】
れ い わ ね ん ね ん が つ に ち き ん よ う び
令和7年(2025年)10月10日(金曜日)

10. 調査報告書は、令和8年7月から、図書館、区ホームページなどでご覧になれる予定です。
11. 調査の内容や記入方法等について、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

な か の く け ん こ う ふ く し ば し ェ う が い ふ く し か こ は っ た つ し え ん が か り
中野区健康福祉部障害福祉課子ども発達支援係
TEL. 03-3228-5613 FAX. 03-3228-5505
E-mail hattatsushien@city.tokyo-nakano.lg.jp

質問の上に(全員の方に)と記載のあるものは全員の方が、(～の方に)とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

《お子さん(あて名の方ご本人)の状況について、お伺いします》

(全員の方に)＜回答者数：355＞

問1 このアンケートにお答えいただく方はどなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|----------------|-----------|
| 1. ご家族(99.2%) | 2. その他の人(0.3%) | 無回答(0.6%) |
|---------------|----------------|-----------|

(全員の方に)＜回答者数：355＞

問2 お子さん(あて名の方ご本人)の性別と年齢をお答えください。

(○は1つ、右づめで数字を直接記入)

- | | | | | |
|------|----------------------|----------------------|--------------|-----------|
| 〈性別〉 | 1. 男性(68.7%) | 2. 女性(30.4%) | 3. その他(0.3%) | 無回答(0.6%) |
| 〈年齢〉 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 歳 | |

(全員の方に)＜回答者数：355＞

問3 お子さん(あて名の方ご本人)と同居するご家族をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|--------------|-------------|----------------|-----------|
| 1. 父(90.1%) | 2. 母(98.0%) | 3. 兄弟姉妹(58.3%) | 無回答(0.6%) |
| 4. その他(6.8%) | | | |

(全員の方に)＜回答者数：355＞

問4 お子さんの在籍はどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 保育所・幼稚園(47.0%) | 2. 小学校(通常級・支援学級)(23.7%) |
| 3. 中学校(通常級・支援学級)(9.0%) | 4. 高等学校(2.3%) |
| 5. 特別支援学校(14.1%) | 6. 在宅(2.0%) |
| 7. その他(1.4%) | 無回答(0.6%) |

(全員の方に)＜回答者数：355＞

問5 お子さんの発育や発達が気になった時期はいつ頃ですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 生後間もなく(22.0%) | 2. 1歳6か月健診頃(33.8%) |
| 3. 3歳児健診頃(23.9%) | 4. 入園後(5歳未満)(14.6%) |
| 5. 就学児健診頃(1.1%) | 6. 小学校入学後1・2年生(3.1%) |
| 7. 小学校3～6年生(0.3%) | 8. 中学生以降(0.0%) |
| | 無回答(1.1%) |

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた})＜回答者数：355＞

問6 療育^{りょういく}センターアポ^{えんまた}口園^{りょういく}又は療育^{りょういく}センターゆめ^{おこな}なりあ^{りょういく}で行^うっている「療育^{りょういく}相談^{そうだん}」を受けた^うことはありますか。(○は1つ)

1. はい(76.3%)

2. いいえ(23.7%)

無回答(0.0%)

(問6で「1. はい」とお^{こた}えの方に)

問6-1 療育^{りょういく}相談^{そうだん}について、どの^{ていど}程度^{まんぞく}満足^{まんぞく}しましたか。(○は1つ)

1. 非常に^{ひじょう}満足^{まんぞく}している(39.1%) 2. やや満足^{まんぞく}している(45.8%)

3. どちらともい^いえない(8.1%)

4. あまり満足^{まんぞく}してい^{ない}(5.2%) 5. 全く^{まった}満足^{まんぞく}してい^{ない}(1.5%)

無回答(0.4%)

(問6-1で「1. 非常に^{ひじょう}満足^{まんぞく}している」または「2. やや満足^{まんぞく}している」とお^{こた}えの^{かた}方に)

＜回答者数：230＞

問6-1-1 満足^{まんぞく}した^{りゆう}理由^{こた}をお^{こた}えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 適切な^{てきせつ}支援^{しえん}につなが^つった(72.2%)

2. 子どもの^こ発達^{はつたつ}に対する^{たい}状^{じょう}況^{きやう}理解^{りかい}のき^きっかけ^{かけ}にな^なった(70.9%)

3. 子育て^{こそだ}に関する^{かん}不安^{ふあん}が軽^{けい}減^{げん}した(40.4%)

4. 子ども^こ自身^{じしん}に変^{へん}化^かが見^みられ^られた(29.6%)

5. 保育所^{ほいくしやう}等の^{りかい}理解^えが得^えられ関^{かん}係^{けい}が良^よくな^なった(15.2%)

6. その他^た(3.5%)

無回答(0.4%)

(問6-1で「4. あまり満足^{まんぞく}してい^{ない}」または「5. 全く^{まった}満足^{まんぞく}してい^{ない}」とお^{こた}えの^{かた}方に)

＜回答者数：18＞

問6-1-2 満足^{まんぞく}しな^{りゆう}かった^{こた}理由^{こた}をお^{こた}えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 療育^{りょういく}相談^{そうだん}からサー^なビス^がにつな^ながる^なまでの^な流^{なが}れ^{なが}がわ^わかり^{かり}に^にく^くい(27.8%)

2. 療育^{りょういく}相談^{そうだん}ま^まで待^{まち}っている^き期^{かん}間^なが長^{なが}か^かった(27.8%)

3. より専^{せん}門^{もん}的^{てき}なア^あド^どバ^ばイス^いがほ^ほしか^かった(55.6%)

4. 通^{つう}所^{しよ}で^じぎ^ぎょう^{しよ}事^し業^{えい}所^{しよ}を^{あん}案^{ない}内^{ない}してほ^ほしか^かった(44.4%)

5. その他^た(16.7%)

無回答(0.0%)

(全員のの方に) <回答者数：355>

問7 次のサービス等を現在、利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 児童発達支援(47.0%) | 2. 放課後等デイサービス(37.5%) |
| 3. 居宅訪問型児童発達支援(1.1%) | 4. 保育所等訪問支援(27.3%) |
| 5. 区立障害児通所支援施設一時保護事業(0.8%) | 6. 短期入所(ショートステイ)(3.1%) |
| 7. 移動支援(5.9%) | 8. 居宅介護(ホームヘルプ)(3.1%) |
| 9. 在宅レスパイト事業(2.5%) | 10. その他(2.5%) 無回答(12.4%) |

(全員のの方に) <回答者数：355>

問7-1 これまで利用できなかったサービス等がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(15.5%) | 2. いいえ(81.1%) | 無回答(3.4%) |
|--------------|---------------|-----------|

(問7-1で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：55>

問7-1-1 利用できなかったサービス等は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 児童発達支援(25.5%) | 2. 放課後等デイサービス(25.5%) |
| 3. 居宅訪問型児童発達支援(18.2%) | 4. 保育所等訪問支援(9.1%) |
| 5. 区立障害児通所支援施設一時保護事業(18.2%) | 6. 短期入所(ショートステイ)(36.4%) |
| 7. 移動支援(21.8%) | 8. 居宅介護(ホームヘルプ)(14.5%) |
| 9. 在宅レスパイト事業(20.0%) | 10. その他(9.1%) 無回答(1.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：355>

問8 障害児通所支援サービスを利用するにあたり、サービス等利用計画の作成について、障害児相談支援事業所と契約をしましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1. はい(55.2%) | |
| 2. いいえ(セルフプランで作成)(30.4%) | |
| 3. いいえ(障害児通所支援サービスを利用したことがない)(6.8%) | 無回答(7.6%) |

(全員のの方に)

問8-1 サービス等利用計画作成についてご要望やご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

(お子さん(あて名の方ご本人)が手帳をお持ちの方に)

問9 お子さん(あて名の方ご本人)が身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、等級または度数をお答えください。複数の手帳をお持ちの方は、それぞれの等級または度数についてお答えください。

(1) 身体障害者手帳(○は1つ) <回答者数：355>

1. Ⅰ級 (6.2%)	2. Ⅱ級 (1.4%)	3. Ⅲ級 (2.5%)	
4. Ⅳ級 (1.1%)	5. Ⅴ級 (0.3%)	6. Ⅵ級 (0.6%)	無回答(87.9%)

(2) 愛の手帳(○は1つ) <回答者数：355>

1. Ⅰ度 (0.8%)	2. Ⅱ度 (3.9%)	3. Ⅲ度 (7.9%)	4. Ⅳ度 (10.7%)	無回答(76.6%)
--------------	--------------	--------------	---------------	------------

(3) 精神障害者保健福祉手帳(○は1つ) <回答者数：355>

1. Ⅰ級 (0.0%)	2. Ⅱ級 (0.3%)	3. Ⅲ級 (1.1%)	無回答(98.6%)
--------------	--------------	--------------	------------

《児童福祉法のサービスについておたずねします》

(全員の^{ぜんいん}方に)^{かた}<回答者数：355>

問10 児童発達支援^{じどうはつたつしえん}を現在、利用^{りよう}していますか。(○は1つ)

1. はい(52.1%)

2. いいえ(47.3%)

無回答(0.6%)

(問10で「1. はい」とお答えの方に)^{こた}<回答者数：185>

問10-1 現在、利用^{りよう}している児童発達支援事業所^{じどうはつたつしえんじぎょうしょ}は何か所ですか。(○は1つ)

1. 1か所^{しよ}(69.2%) 2. 2か所^{しよ}(20.0%) 3. 3か所^{しよ}(7.6%) 4. 4か所以上^{しよいじょう}(3.2%) 無回答(0.0%)

問10-2 現在、利用^{りよう}している児童発達支援事業所^{じどうはつたつしえんじぎょうしょ}には、週^{しゅう}にどの程度^{ていど}通^{とほ}われていますか。

複数^{ふくすう}か所利用^{しりよう}している場合は、全部^{ぜんぶ}合わせた日数^あをお答えください。(○は1つ)

1. 週^{しゅう}に1日^{にち}(30.3%)

2. 週^{しゅう}に2日^{にち}(17.8%)

3. 週^{しゅう}に3日^{にち}(6.5%)

4. 週^{しゅう}に4日^{にち}(4.9%)

5. 週^{しゅう}に5日^{にち}(7.0%)

6. 月^{つき}に2、3日^{にち}(22.7%)

7. その他^た(10.8%)

無回答(0.0%)

問10-3 児童発達支援^{じどうはつたつしえん}について、希望^{きぼう}する利用日数^{りようにつう}はどの程度^{ていど}ですか。(○は1つ)

1. 週^{しゅう}に1日^{にち}(29.2%)

2. 週^{しゅう}に2日^{にち}(22.7%)

3. 週^{しゅう}に3日^{にち}(6.5%)

4. 週^{しゅう}に4日^{にち}(6.5%)

5. 週^{しゅう}に5日^{にち}(9.2%)

6. 月^{つき}に2、3日^{にち}(19.5%)

7. その他^た(5.4%)

無回答(1.1%)

問10-4 児童発達支援^{じどうはつたつしえん}の利用日数^{りようにつう}を増やしたい場合^ふ、当^あてはまるものを次^{つぎ}から選択^{せんたく}してください。

(○は1つ)

1. 現在利用^{げんざいりよう}している事業所^{じぎょうしょ}の利用日数^{りようにつう}を増やしたい(区内^ふ)(33.5%)

2. 現在利用^{げんざいりよう}している事業所^{じぎょうしょ}の利用日数^{りようにつう}を増やしたい(区外^ふ)(2.7%)

3. 現在利用^{げんざいりよう}していない事業所^{じぎょうしょ}を利用したい(区内^ふ)(10.3%)

4. 現在利用^{げんざいりよう}していない事業所^{じぎょうしょ}を利用したい(区外^ふ)(2.7%)

無回答(50.8%)

問10-5 児童発達支援^{じどうはつたつしえん}にもとめる支援^{しえん}はどのようなことですか。当^あてはまるものを次^{つぎ}から選択^{せんたく}してください。(あてはまるものすべてに○)

1. 専門職^{せんもんしよく}による支援^{しえん}(心理職^{しんりしよく}・言語聴覚士^{げんごちようかくし}・理学療法士^{りがくりようほうし}・作業療法士^{さぎようりようほうし}等)(86.5%)

2. 日常生活^{にちじようせいかつ}の基本動作^{きほんどうさ}(食事^{しょくじ}・着脱^{ちゃくだつ}・排泄^{はいせつ}等)の習得^{しゅうとく}(35.1%)

3. ことばの習得^{しゅうとく}(55.7%)

4. 人間関係^{にんげんかんけい}の形成^{けいせい}や集団^{しゅうだん}への参加^{さんか}(72.4%)

5. 子ども単独^この預かり^{たんどく}(14.6%)

6. 家族支援^{かぞくしえん}(23.8%)

7. 就学^{しゅうがく}への移行支援^{いこうしえん}(54.6%)

8. 保育園^{ほいくえん}等との連携^{れんけい}(50.3%)

9. 利用時間^{りようじかん}の延長^{えんちよう}(9.2%)

10. その他^た(0.5%)

無回答(0.5%)

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 355>

問10-6 児童^{じどう}発達^{はったつしえん}支援^{こんご}を今後^{こんご}、利用^{りよう}したいですか。(○は1つ)

1. はい(55.5%) 2. いいえ(17.2%) 3. 分^わからない(18.3%) 無回答(9.0%)

(問10-6で「2. いいえ」とお答^{こた}えの方^{かた}に) <回答者数: 61>

問10-6-1 児童^{じどう}発達^{はったつしえん}支援^{こんご}を利用^{りよう}したくない理由^{りゆう}はどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 必要^{ひつよう}ない(45.9%) 2. 利用^{りよう}したい事業^{じぎょう}所^{しょ}がない(0.0%)
3. 利用^{りよう}できる事業^{じぎょう}所^{しょ}がない(8.2%) 4. 家^{いえ}から遠^{とお}くて利用^{りよう}できない(1.6%)
5. その他^た(41.0%) 無回答(4.9%)

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 355>

問11 放課^{ほうか}後^ご等^{とう}デイサービス^{げんざい}を現在^{げんざい}、利用^{りよう}していますか。(○は1つ)

1. はい(38.0%) 2. いいえ(58.6%) 無回答(3.4%)

(問11で「1. はい」とお答^{こた}えの方^{かた}に) <回答者数: 135>

問11-1 現在^{げんざい}、利用^{りよう}している放課^{ほうか}後^ご等^{とう}デイサービス^{じぎょう}事業^{しょ}所^{なん}は何^{なん}か所^{しょ}ですか。(○は1つ)

1. 1か所^{しよ}(57.8%) 2. 2か所^{しよ}(25.9%) 3. 3か所^{しよ}(11.1%) 4. 4か所^{しよ}以上^{じょうじょう}(5.2%) 無回答(0.0%)

問11-2 現在^{げんざい}、利用^{りよう}している放課^{ほうか}後^ご等^{とう}デイサービス^{じぎょう}事業^{しょ}所^{なん}には、週^{しゅう}にどの程度^{ていど}通^とわれていますか。
複数^{ふくすう}か所^{しよ}利用^{りよう}している場合^{ばあい}は、全部^{ぜんぶ}合^あわせた日数^{にっすう}をお答^{こた}えください。(○は1つ)

1. 週^{しゅう}に1日^{にち}(28.1%) 2. 週^{しゅう}に2日^{にち}(20.0%) 3. 週^{しゅう}に3日^{にち}(16.3%)
4. 週^{しゅう}に4日^{にち}(8.9%) 5. 週^{しゅう}に5日^{にち}(13.3%) 6. 月^{つき}に2、3日^{にち}(7.4%)
7. その他^た(5.9%) 無回答(0.0%)

問11-3 放課^{ほうか}後^ご等^{とう}デイサービス^{きぼう}について、希望^{きぼう}する利用^{りよう}日数^{にっすう}はどの程度^{ていど}ですか。(○は1つ)

1. 週^{しゅう}に1日^{にち}(22.2%) 2. 週^{しゅう}に2日^{にち}(21.5%) 3. 週^{しゅう}に3日^{にち}(15.6%)
4. 週^{しゅう}に4日^{にち}(10.4%) 5. 週^{しゅう}に5日^{にち}(23.7%) 6. 月^{つき}に2、3日^{にち}(5.9%)
7. その他^た(0.7%) 無回答(0.0%)

問11-4へ(次^{つぎ}のページ)

(問11で「1. はい」とお答えの方に) <回答者数：135>

問11-4 放課後等デイサービスの利用日数を増やしたい場合、当てはまるものを次から選択してください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| 1. 現在利用している事業所の利用日数を増やしたい(39.3%) | |
| 2. 現在利用していない事業所を利用したい(16.3%) | |
| 3. 利用日数を増やしたくない(36.3%) | 無回答(8.1%) |

問11-5 放課後等デイサービスにもとめる支援はどのようなことですか。当てはまるものを次から選択してください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. 専門職による支援(心理職・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士等)(68.9%) | |
| 2. 日常生活の基本動作(食事・着脱・排泄等)の習得(28.1%) | |
| 3. コミュニケーション能力の向上(77.0%) | 4. 人間関係の形成や集団への参加(80.7%) |
| 5. 余暇活動(46.7%) | 6. 家族支援(18.5%) |
| 7. 進学や就労への移行支援(32.6%) | 8. 学校との連携(29.6%) |
| 9. 利用時間の延長(21.5%) | 10. その他(7.4%) |
| | 無回答(2.2%) |

(全員のの方に) <回答者数：355>

問11-6 放課後等デイサービスを今後、利用したいですか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------------|--------------|-----------------|-----------|
| 1. はい(60.6%) | 2. いいえ(8.7%) | 3. 分からない(25.1%) | 無回答(5.6%) |
|--------------|--------------|-----------------|-----------|

(問11-6で「2. いいえ」とお答えの方に) <回答者数：31>

問11-6-1 放課後等デイサービスを利用したくない理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 必要ない(64.5%) | 2. 利用したい事業所がない(12.9%) |
| 3. 利用できる事業所がない(空きがない)(9.7%) | 4. 家から遠くて利用できない(9.7%) |
| 5. その他(19.4%) | 無回答(3.2%) |

(区外の児童発達支援や放課後等デイサービス事業所を利用しているの方に) <回答者数：355>

問12 区外の児童発達支援や放課後等デイサービスの事業所を利用している方にお尋ねします。区外の事業所を利用している理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 子どもの特性にあった療育を受けるため(12.4%) | 2. 区内事業所に空きがないため(2.8%) |
| 3. 自宅に近い(5.1%) | 4. 通園・通学先に近い(0.8%) |
| 5. その他(0.8%) | 無回答(84.8%) |

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 355>

問13 保育所等訪問支援^{ほいくしょうとうほうもんしえん}を現在^{げんざい}、利用^{りよう}していますか。(○は1つ)

1. はい(34.9%)

2. いいえ(61.7%)

無回答(3.4%)

(問13で「1. はい」とお答^{こた}えの方^{かた}に) <回答者数: 124>

問13-1 現在^{げんざい}、保育所等訪問支援^{ほいくしょうとうほうもんしえん}の利用頻度^{りようひんど}はどのくらいですか。

複数事業所^{ふくすうじぎょうしょ}を利用^{りよう}している場合は、全て^{すべ}を合わせ^あた日数^{にっすう}をお答^{こた}えください。(○は1つ)

1. 半年^{はんとし}に1回^{かい}(28.2%)

2. 3~5か月に1回^{げつ}(46.8%)

3. 2、3か月に1回^{げつ}(14.5%)

4. 月に1回^{つき}(2.4%)

5. 月に2回^{つき}(2.4%)

6. 月に3回以上^{つぎ}(0.8%)

7. その他^た(4.0%)

無回答(0.8%)

(問13で「2. いいえ」とお答^{こた}えの方^{かた}に) <回答者数: 219>

問13-2 保育所等訪問支援^{ほいくしょうとうほうもんしえん}を利用^{りよう}していない理由^{りゆう}はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 利用^{りよう}したい事業所^{じぎょうしょ}がない(1.8%)

2. 利用^{りよう}できる事業所^{じぎょうしょ}がない(空^あきがない)(3.7%)

3. 保育所等^{ほいくしょうとう}と調^{ちよう}整^{せい}ができない(3.7%)

4. 必要^{ひつよう}ない(59.4%)

5. その他^た(23.3%)

無回答(11.4%)

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に) <回答者数: 355>

問13-3 保育所等訪問支援^{ほいくしょうとうほうもんしえん}を今後^{こんご}、利用^{りよう}したいですか。(○は1つ)

1. はい(39.7%)

2. いいえ(52.4%)

無回答(7.9%)

(問13-3で「1. はい」とお答^{こた}えの方^{かた}に) <回答者数: 141>

問13-3-1 保育所等訪問支援^{ほいくしょうとうほうもんしえん}を、どの程度^{ていど}利用^{りよう}したいですか。(○は1つ)

1. 半年^{はんとし}に1回^{かい}(14.2%)

2. 3~5か月に1回^{げつ}(28.4%)

3. 2、3か月に1回^{げつ}(36.9%)

4. 月に1回^{つき}(13.5%)

5. 月に2回^{つき}(2.1%)

6. 月に3回以上^{つぎ}(1.4%)

7. その他^た(2.1%)

無回答(1.4%)

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数：355>

問14 ^{きょたくほうもんがたじどうはったつしえん}居宅訪問型児童発達支援^{げんざい}を^{りよう}現在、利用^{して}していますか。(○は1つ)

1. はい(2.3%)

2. いいえ(90.1%)

無回答(7.6%)

(問14 で「1. はい」とお答え^{こた}の方に) <回答者数：8>

問14-1 ^{きょたくほうもんがたじどうはったつしえん}居宅訪問型児童発達支援^{りようひんど}の利用頻度^はどのくらいですか。(○は1つ)

1. ^{つき}月に^{にち}2、3日(25.0%)

2. ^{しゅう}週^{かい}に2回(12.5%)

3. ^{しゅう}週^{かい}に1回(50.0%)

4. ^たその他(12.5%)

無回答(0.0%)

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数：355>

問15 ^{しょうがい}障害^{はったつ}や発達^{とくせい}に特性のある子ども^こに対する^{たい}地域^{ちいき}の理解^{りかい}はどの程度^{ていど}進んでいる^{すす}と思いますか。
(○は1つ)

1. ^{じゅうぶん}十分に^{すす}進んでいる(2.0%)

2. ある程度^{ていど}進んでいる(27.3%)

3. どちらともいえない(27.6%)

4. あまり^{すす}進んでいない(19.2%)

5. ^{まった}全く^{すす}進んでいない(4.2%)

6. ^わ分からない(10.1%)

無回答(9.6%)

(全員の^{ぜんいん}の方^{かた}に)＜回答者数：355＞

問16 次の^{つぎ}施策^{しさく}・サービス等^{とう}、特に充^{とく}実^{じゅうじつ}してほしいと思^{おも}うものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. サービスの^{りよう}利用^{ふくし}などの福祉^{かん}に関する様々^{さまざま}な相談^{そうだん}支援^{しえん}(47.0%)
2. 障^{しょう}害^{がい}や発^は達^{たつ}についての相談^{そうだん}(45.9%)
3. より専門^{せんもん}性^{せい}が高^{たか}い発^は達^{たつ}等^{とう}の相談^{そうだん}(50.4%)
4. お子^こさんの成^{せい}長^{ちやう}に伴^{ともな}った就^{しゅう}園^{えん}や就^{しゅう}学^{がく}の相談^{そうだん}(52.7%)
5. 保^ほ護^ご者^{しゃ}やきょうだいに対する相談^{たい}や支援^{そうだん}(27.3%)
6. 利用^{りよう}できるサービス等^{とうじょうほう}情^は報^{っしん}の発^は信^{しん}(51.5%)
7. 病^び気^きや障^{しょう}害^{がい}に対する理^り解^{かい}の促^{そく}進^{しん}・啓^{けい}発^{はつ}(26.8%)
8. 一^{いち}時^じ保^ほ育^{いく}・短^{たん}期^き特^{とく}例^{れい}保^ほ育^{いく}等^{とう}子^こ育^{そだ}てサービス(18.3%)
9. ショートステイ等^{とうあず}預^あかりのサービス(21.4%)
10. 保^ほ護^ご者^{しゃ}が仕^し事^{ごと}をしていても使^{つか}え^る通^{つう}所^{しょ}等^{とう}サービス(40.6%)
11. 保^ほ護^ご者^{しゃ}の就^{しゅう}労^{ろう}支^し援^{えん}(14.6%)
12. 施^し設^{せつ}の利^り用^{よう}時^じ間^{かん}の拡^{かく}大^{だい}(25.9%)
13. 移^い動^{どう}支^し援^{えん}の適^{てき}応^{おう}拡^{かく}大^{だい}(16.9%)
14. 医^い療^{りょう}的^{てき}ケ^かア支^し援^{えん}の充^{じゅう}実^{じつ}(9.0%)
15. 親^{おや}の会^{かい}等^{とう}ピ^ぴアサ^さポ^ぽー^と(7.0%)
16. サービス利^り用^{よう}手^て続^{つづ}きの利^り便^{べん}性^{せい}(30.4%)
17. 子^こどもを自^じ由^{ゆう}に遊^{あそ}ばせられる場^ば所^{しょ}(35.5%)
18. 子^こどもが安^{あん}心^{しん}して利^り用^{よう}でき過^すごせる居^い場^ば所^{しょ}(54.1%)
19. 特^{とく}にない(1.4%)
20. その他^た(5.1%)

無回答(3.4%)

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に)

問17 ^い家族が^か就^{しゅうろうとう}労等^{せいかつかんきょう}の生活環境^かを変えずに、^こお子さん^{こそだ}の子育て^{ひつよう}をするために必要なサービスや
^{しえんとう}支援等^{じゆう}がありましたら、ご自由^かにお書きください。

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に)

問18 ^いその他、^た日常生活^{にちじょうせいかつ}の中で^{なか}必要なサービス^{ひつよう}がありましたら、ご自由^{じゆう}にお書き^かください。

ご協^{きょうりよく}力ありがとうございました

令和7年度（2025年度）
障害福祉サービス意向調査
報告書

発行日／令和8年（2026年）3月

発行／中野区健康福祉部 福祉推進課 健康福祉企画係
中野区健康福祉部 障害福祉課 障害者施策推進係
子ども発達支援係

〒164-8501

東京都中野区中野 4-11-19

電話 03-3228-8832 / 03-3228-5613

編集分析／株式会社アイアールエス

〒160-0004

東京都新宿区四谷 3-1-3 第1 富澤ビル 7F

電話 03-3357-7181（代表）